

## ● 目録

## ■ 目録の作成にあたって

この目録は2016(平成28)年～2019(平成31～令和元)年の4年間に、高森町に自生、帰化、逸出している維管束植物(シダ植物、種子植物)を採集し作製した標本に基づいて記録したものです。また、この期間に長野県植物研究会で行われた観察会(2017年10月、2018年10月)の藤田淳一氏の記録(長野県植物研究会誌第51号、52号)や、採集ができず観察のみのものも少数含まれています。調査は全町を可能な限り踏査して、記録と採集を行い、作成した標本は高森町用の標本ラベルを添えて「長野県環境保全研究所」に収め、同館の연구원ならびに協力者によって同定の後に標本庫に保管されています。その数は6,120本ほど、記録された種数は1,027種、66亜種、246変種、58品種、36雑種を合わせて1,433種となりました。このうち長野県指定の絶滅危惧種は54種(植栽の可能性のあるものも含む)ありました。

目録の科の配列、和名、学名などの記載は最新のAPG分類体系にもとづく『日本維管束植物目録』(米倉浩司, 2012)に従いました。また、『長野県植物目録』(長野県植物目録編纂委員会, 2017)及び、『BG Plants 和名-学名インデックス』(YList), <http://ylist.info>』(米倉浩司・梶田忠, 2003)も参考にしました。

この目録作成に関して、長野県植物研究会の前会長の中山冽氏には現地調査ならび同定等で、全面的に懇切丁寧なご指導をいただきました。長野県環境保全研究所のスタッフの大塚孝一、石田祐子、柳澤衿哉の各氏には同定や標本の保管等で援助をいただきました。元千葉県立博物館の副館長の中池敏之博士にはシダ類の同定の労を賜りました。高森町役場の松島高根氏、町民の宮下明子氏、橋本光子氏には採集・記録の協力をいただきました。皆様方には心より感謝の意を表します。

## ■ 目録の表記方法について

1. 和名には学名も付しました。但し紙面の都合上、命名者を略しました。
2. 生活形は、1年草、越年草、2年草、多年草、落葉樹、常緑樹、低木、高木、つる性などで示しました。生育地は、湿地、乾燥地、日当たりの地、山地、林縁、林下、道端、庭先などで示しました。
3. 採集記録は、各種の分布が反映されるように、町全体から広く4点から6点を選んで記しました。3点以下の個体は、それ以上の産地を見出せなかったことによります。各個体は採集地、標高、標本番号(高森町用のラベルの番号)、採集年は西暦の下二桁('16 '17 '18 '19)で記しました。
4. 備考には、固有種(固)、帰化植物(帰)、栽培したもの逸出したものは(裁・逸)とし、分布、形態、和名のいわれ、食用、薬用、有毒などを記しました。絶滅危惧種はRL(環境省/長野県)で記載し、レッドレータのカテゴリは、絶滅危惧IA類はCR、絶滅危惧IB類はEN、絶滅危惧II類はVU、準絶滅危惧はNTで記しました。また、帰化植物のうち、外来生物法によって特定外来生物に指定されているものを記載し、特定外来生物以外の生態系被害防止外来種リスト記載種は、生態系被害防止外来種と記載しました。



高森町の標本も多数収められている  
長野県環境保全研究所の保管室

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ヒカゲノカズラ科 <i>Lycopodiaceae</i></b>			
トウゲシバ (広義) <i>Huperzia serrata</i>	つる状常緑性 湿った林床	大丸山公園北斜面 530m (1731) '16 林道不動滝線 770m (2567) '16 田沢大橋 750m (2227) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (3929) '16 黒沢川順礼沢 500m (4020) '16	高さ 20cm前後。森林内のやや湿った日陰に生育する。 ホソバトウゲシバ、ヒロハトウゲシバなどの変種があるが、ここでは区別しない。
ヒカゲノカズラ (広義) <i>Lycopodium clavatum</i>	つる状常緑性 林床 草地	林道吉原線 1020m (2418) '16 山の寺南側 850m (3790) '16 不動滝直上 1080m '16 林道弓矢沢線 770m '16 林道出原線 880m '16 湯ヶ洞周辺 660m '16 高森公園 770m '16	蔓状に地面を張って広がる。針状の細い葉が茎に一面に生えているので、やたらに細長いブラシのような姿である。
マンネンズギ <i>Lycopodium dendroideum</i>	小形常緑性 林床	山の寺キャンプ場 880m (1132) '16 大丸山公園北面 530m (1730) '16 林道出原線 740m (2144) '16 田沢大橋 750m (2249) '16 増野・山吹停車場線 770m (2593) '16	和名は万年杉で、スギの枝葉に似ていて、常緑であることによる。品種にタチマンネンズギ、ウチワマンネンズギもあるが、ここでは区別しない。
<b>■イワヒバ科 <i>Selaginellaceae</i></b>			
イワヒバ <i>Selaginella tamariscina</i>	小形常緑性 岩場 石垣	吉田城岸 465m (6,270) '18 山吹・市田ウォーキングコース 450m '16	和名はその枝葉が松に似ており、岩の上に生じることに由来。乾燥すると、この枝全体が内側に巻き込むように丸まる。盆栽に使われる。
<b>■ハナヤスリ科 <i>Ophioglossaceae</i></b>			
オオハナワラビ <i>Botrychium japonicum</i>	夏緑性 葉は二形 林床	天白公園 635m (2070) '16 出原二又沢橋付近 640m (2119) '16 田沢 700m (5961) '17 林道不動滝線 (6191) '17 田沢 700m (5961) '17 松岡城址 鏡子ヶ洞 480m '17	RL (環ノ県) 葉は九月頃地下茎から出て高さは50cmほどになる。フユノハナワラビに似るが、葉はやや大型。
アカハナワラビ <i>Botrychium × elegans</i>	冬緑性 葉は二形 林床 道端	山の寺観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52 号) '18	オオハナワラビ×アカハナワラビ
エゾフユノハナワラビ <i>Botrychium multifidum</i> var. <i>robustum</i>	冬緑性 葉は二形 林床 道端	山の寺観音沢 1000m (観察) '18	フユノハナワラビに比べて、葉が厚く硬い。フユノハナワラビより、高地、寒地に生育。
アカハナワラビ <i>Botrychium nipponicum</i>	冬緑性 葉は二形 林床 道端	山の寺・観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52 号) '18 松岡城址 鏡子ヶ洞 550m '17 林道不動滝線 960m (6202) '17	冬季、葉が紅葉する。本種は小羽片(鋸葉)が尖っていること、茎に毛がないことで、オオハナワラビ、フユノハナワラビと見分けられる。
ナガホノツノハナワラビ <i>Botrychium strictum</i>	夏緑性 葉は二形 林床 道端	田沢・田沢川南岸 670m (3334) '16 林道不動滝線 800m (6205) '17 小沼大橋緑ため池付近 1000m (6687) '18 高森公園 776m (6355) '18 天白公園 - 不動滝 (長野県植物研究会誌 51 号) '17	スギ林下に見える。栄養葉と胞子葉はほぼ同じ長さ。
アカフユノハナワラビ <i>Botrychium ternatum</i> var. <i>pseudoternatum</i>	冬緑性 葉は二形 林床 道端	山の寺観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52 号) '18	(図) フユノハナワラビとアカハナワラビの中間的な性質を持っていることから両種の雑種の可能性もある。類似種のアカハナワラビは胞子散布後に胞子葉が枯れるのに対しアカフユノハナワラビはこのように枯れない。
フユノハナワラビ <i>Botrychium ternatum</i>	冬緑性 葉は二形 草地 林床	山の寺境内 880m (1404) '16 山吹駅北段丘崖 460m (4084) '17 天白公園 640m (4113) '17 出原二又沢橋付近 640m '16 松岡城址 鏡子ヶ洞 460m '17 山の寺境内 775m '16	オオハナワラビに似るが、小羽片は尖らない。盆栽用に植栽される。
ナツハナワラビ <i>Botrychium virginianum</i>	夏緑性 葉は二形 林床	出原二又沢橋付近 640m (2118) '16 増野・大沢川沿岸 715m (3323) '16 林道小沼大沢線 1050m (3780m) '16 田沢川南岸 670m '16 増野大沢川沿い 770m '16 増野 700m (4613) '17	ナガホノツノハナワラビに似るが、胞子葉が栄養葉よりはるかに長い。
<b>■トクサ科 <i>Equisetaceae</i></b>			
スギナ <i>Equisetum arvense</i>	夏緑性 日当たりの草地	山吹駅周辺 439m '16 駒場 - 新田線 550m '16 高森カントリークラブ東側 740m '16 ぼたるパーク山吹西側 430m (3889) '16 林道不動滝線 800m '16 万年橋付近 445m '16 越田原 760m '16	栄養茎をスギナ、胞子茎をツクシと呼ぶ。食用、薬用。地下茎を伸ばしてよく繁殖し、畑地にも生え、難防除雑草である。
トクサ <i>Equisetum hyemale</i>	常緑性 林床 溪流沿い	出原二又沢橋付近 640m (2103) '16 大沢川北斜面 460m '16 山吹駅周辺 480m (4098) '17 駒場子安神社 510m '16	山間の湿地地に生え、観賞用などの目的で栽培される。古来、茎を煮て乾燥したものを研磨の用途に用いた。「とくさ」(砥草)の名はこれに由来。
イヌトクサ <i>Equisetum ramosissimum</i>	常緑性 堤防 湿地	天竜自動車学校の河原 420m (1822) '16 万年橋堤防 445m (2899) '16 下市田親水公園堤防 420m (3171) '16 下平 440m (5002) '17 ぼたるパーク山吹西側 430m (3889) '16 高森公園 770m '17	和名は「犬砥草」の意で、トクサのように物を磨くことができず、役に立たないトクサのこと。別名「カラワトクサ(河原砥草)は河原などに生えるので。
<b>■ゼンマイ科 <i>Osmundaceae</i></b>			
オオバヤシヤゼンマイ <i>Osmunda × intermedia</i>	常緑性 葉は二形 水際から少し上	新田原 580m (5190) '17	別名「オクタマゼンマイ」ゼンマイ×ヤシヤゼンマイその形や大きさはほぼ両者の中間である。
ゼンマイ <i>Osmunda japonica</i>	夏緑性 葉は二形 草地	千水ノ沢 1170m-1240m (2534) '16 寺沢川沿岸 490m '16 越田 570m '16 本高森山登山路 (1180m) '16 新田原 580m (5191) '17 林道弓矢沢線 800m (5251) '17 中学校南・唐沢洞 470m-500m '16	若芽は食用 綿毛は織物の材料 根茎はランの栽培用 山菜採りのマナーでは、男ゼンマイ(胞子葉)を採ってはならないとされている。
ヤマドリゼンマイ <i>Osmundastrum cinnamomeum</i> var. <i>fokiense</i>	夏緑性 葉は二形 草地 林下	山の寺南側 850m (3795) '16 高森カントリークラブ東側 740m '16 山吹青木ヶ沢 710m '16 前高森山登山路 1530m '16 林道吉原線 1080m (6026) '17 高森カントリークラブ西側 880m (4854) '17	若芽は食用 根茎はランの栽培用 和名は褐色の細長い胞子葉をヤマドリ(山鳥)の尾に見立てたことによる。
<b>■コケシノブ科 <i>Hymenophyllaceae</i></b>			
コウヤコケシノブ <i>Hymenophyllum barbatum</i>	小形常緑性 林下の岩や樹幹	山の寺戒壇不動 1245m (3761) '17	岩上や樹幹に着生する常緑性の小型のシダ。長さ 12cm前後に達する。和名は最初に発見された和歌山県の高野山にちなんだもの。
ヒメコケシノブ <i>Hymenophyllum coreanum</i>	小形常緑性 湿った岸壁や樹幹	林道不動滝線路上駐車場 970m (2807) '16	ソーラスは葉の先端に固まってつづのが本種の特徴で、葉の先端だけでなく、中間にもつづるコケシノブと異なる。
ホソバコケシノブ <i>Hymenophyllum polyanthos</i>	小形常緑性 林下の岩や樹幹	千水ノ沢 1170m-1240m (2766) '16 不動滝駐車場 1060m (3114) '16 林道不動滝線床波沢駐車場 975m (3118) '16 大島川本沢 1080m (5374) '17 高森公園 770m (3965) '16	コケシノブに似るが細かく分かれた薄い葉を持つ、葉はやや大きい樹幹の上や岩上に生え、時には地上に出現する。密生してマット状になることも多い。
コケシノブ <i>Hymenophyllum wrightii</i>	小形常緑性 林下の岩や樹幹	千水ノ沢 1170m-1240m (2733) '16 林道不動滝線 980m (3741) '16 不動滝直上 1080m '16	和名はコケのようなシダ(シノブ)という意。低山-山地の湿った岩上、樹幹などに着生する小型の常緑性シダ。マット状に群生することが多い。
<b>■キジノシダ科 <i>Plagiogyriaceae</i></b>			
キジノシダ <i>Plagiogyria japonica</i>	常緑性 葉は二形 スギ・ヒノキの林床	萩山神社 500m (3906) '16 牛牧浄化センター南斜面 530m (4038) '16 南大島川北斜面 530m (4038) '16	暖温帯性シダ 葉は革質。葉は栄養葉と胞子葉の2形がある。
<b>■コバノイシカグマ科 <i>Dennstaedtiaceae</i></b>			
イヌシダ <i>Dennstaedtia hirsuta</i>	夏緑性 日当たりの崖地 石垣	林道出原線起点 740m(2164) '16 林道弓矢沢二又付近 850m (2622) '16 林道弓矢沢線 800m (5259) '17 大島川本沢 1150m (5384) '17 林道吉田線終点 870m '17 林道不動滝線 1060m '16	崖地や岩の隙間から出て細長い葉を垂らす小型のシダで人家周辺にも見られる。和名は白い毛が密生する様子をイヌにたとえたものと言われる。
コバノイシカグマ <i>Dennstaedtia zeylanica</i>	常緑性 山地山麓の林床	本学神社北斜面 680m (2878) '16 山の寺南側 850m (3804) '16 出原中里 670m (2384) '16 牛牧浄化センター 530m (1890) '16 大丸山公園北斜面 530m (1738) '16	葉柄はやや光沢があって、赤褐色から茶褐色を帯び、全体に長い毛がある。葉は細かく裂け、胞子囊群はコップ状の凹みに包まれる。
オウレンシダ <i>Dennstaedtia wilfordii</i>	夏緑性 山地山麓の林縁・石垣	林道小沼大沢線 960m (1955) '16 大島川千水ノ沢 1170m (2516) '16 大島川本沢 1080m (5327) '17 山吹・正木 640m '16 萩山神社林 460m '17 国道山吹交差点付近 440m '16	葉の裂片の先にコップ状のソーラスがつく。葉柄下部は光沢のある褐色。和名はオウレンの葉に似ることから。
イワヒメワラビ <i>Hyleopis punctata</i>	夏緑性 日当たりの林床	追分・田沢川沿岸 590m (1645) '16 出原・林道出原線 815m (2180) '16 出原中里 670m (2358) '16 本学神社北斜面 680m (2868) '16 山の寺南側 850m (3800) '16 中学校南・唐沢洞 500m '16	温帯-暖温帯性シダ バイオニア的な性格を持ち、例えば森林の伐採跡などに素早く侵入して繁殖するが、木が茂ると見えなくなる。
フモトシダ <i>Microleptia marginata</i>	常緑性 山地の林床	萩山神社 500m (4133) '16 黒沢川順礼沢 510m (4114) '17	暖温帯性シダ 根茎は直径 4-5mm、赤褐色の毛が密生する。葉柄は白色、硬く、長さ 50-70cm、基部は根茎と同じ毛があり、毛の量は変化する。
フジシダ <i>Monachosorum maximowiczii</i>	常緑性 林下や崖地	出原二又沢橋付近 640m (2105) '16	和名の富士は大山市の尾張富士に由来する。細長い単羽状の葉を持ち、その先端から根を下ろして新たな株を作る。関東地方以西に分布。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■コバノイシカグマ科 <i>Dennstaedtiaceae</i></b>			
ワラビ <i>Pteridium aquilinum</i> subsp. <i>japonicum</i>	夏緑性 日当たりの草地	松岡城址東斜面 500m'16 越田 570m'16 山の寺境内 770m'16 月夜平 660m'17 太白公園 640m'16 ぼたるパーク山吹周辺 440m'16 泰山神社 500m'16 新田原 600m'16	春から初夏にまだ葉の開いてない若芽(葉)を採取し食用にするほか、根茎から取れるデンプンを「ワラビ粉」として利用する。山菜の代表種。
<b>■イノモトソウ科 <i>Pteridaceae</i></b>			
クジャクシダ <i>Adiantum pedatum</i>	夏緑性 林床 林縁	田沢・田沢川南岸 620m'16 山吹・正木 640m'16 堂所橋南 725m'16 不動滝駐車場 1060m'16 高森公園 770m'16 前高森山登山路 1150m'16 林道弓矢沢線 860m'16	葉の枝分かれに特徴があって、それぞれに羽状複葉になった枝(羽片)を扇のように広げた姿がクジャクの尾羽を思わせるのが和名の由来。観葉植物。
イワガネゼンマイ <i>Coniogramme intermedia</i>	常緑性 林床 林縁	大沢川沿岸 475m (1289) '16 干水ノ沢 1170m-1240m (2782) '16 龍口八幡宮 460m (3969) '16 黒沢川順礼沢 520m'16 林道小沼大沢線 1000m (5212) '17 大島川本沢 1080m (5342) '17	本種は葉脈が二また状に分枝した遊離脈であり、一方のイワガネソウは羽片の中脈の隣に網状結合をつくることで区別できる。
ウラゲイワガネ <i>Coniogramme intermedia</i> var. <i>intermedia</i>	常緑性 林床 林縁	弓矢沢橋付近 650m (5121) '17	本種は葉の裏面だけに毛のあるものをいう。毛のないものはイワガネゼンマイ
イワガネソウ <i>Coniogramme japonica</i>	常緑性 林床 林縁	山吹・市田ウォーキングコース 440m (3923) '16	暖温帯性シダ となり同士の葉脈が連結して、網目となるのがイワガネソウの特徴で、よく似たイワガネゼンマイとの区別点。
オオバノイノモトソウ <i>Pteris cretica</i>	常緑性 2形 林床 林縁	竜口八幡神社 460m (3967) '16	暖温帯性シダ 和名は大葉のイノモトソウであり、イノモトソウより大型であることによる
イノモトソウ <i>Pteris multifida</i>	常緑性 2形 石垣 崖	中学校南・唐沢洞 510m (2847) '16 山吹・小沼 440m (4011) '16 山吹 480m (4101) '17 県道山吹駐車場線 455m (4900) '17 ぼたるパーク山吹周辺 437m'16 国道山吹交差点付近 440m'17	人里で日当りのよい道端の石垣などによく見かける。ごく明るい森にも生える。名前の由来は井の元草で、井戸の脇などに生えることから。
<b>■チャセンシダ科 <i>Aspleniaceae</i></b>			
トラノオシダ <i>Asplenium incisum</i>	常緑性 2形 石垣 崖 林縁	胡麻目川沿岸南側 530m (1667) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (3922) '16 林道吉田線起点 665m'16 太白公園 640m'16 龍口八幡宮 450m'16 月夜平 660m'17	よく石垣等に附着して生育しているのが見られる。名前の由来は虎の尾羊歯で、幅が狭くて細長い葉の形をトラの尾に見立てたものと思われる。
コバノヒノキシダ <i>Asplenium anogrammoides</i>	常緑性 岩上 石垣	出原中里 640m (1265) '16 林道二又沢線 665m'16 山吹町菅住宅 付近 439m (7073) '19 林道吉田線起点 665m (3828) '16 中学校南・唐沢洞 480 '16	岩上や石垣などに群生して見られる葉の長さ 20cmほどの常緑のシダ。葉は長さ 5cm 程度。全体が無毛で、2-3回に羽状複生。
コタニワタリ <i>Asplenium scolopendrium</i> subsp. <i>japonicum</i>	常緑性 山地の林床	林道吉田線起点 665m (3834) '16 林道不動滝線堂所 750m (4229) '17	落葉樹林中や薄暗い谷沿いの崖などに生育する。葉の長さは 30cm 前後。葉の基部は心形で、耳状になる。裏面のソーラスは線形。
イワトラノオ <i>Asplenium tenuicaule</i>	常緑性 渓谷の岩上	大沢川沿岸 450m (4010) '16	よく似ているコバノヒノキシダは、羽軸表面の中央の丸い盛り上がりが目立つが、イワトラノオは目立たない。コバノヒノキシダより葉質がずっと柔らかい
<b>■ヒメシダ科 <i>Thelypteridaceae</i></b>			
ミノシダ <i>Thelypteris pozoi</i> subsp. <i>mollissima</i>	夏緑性 林内湿地	黒沢川順礼沢 520m (4874) '17 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m 林道吉田線起点 665m (3828) '16 新田・青木ヶ沢 710m 林道吉田 線起点 665m (3828) '16 下市田保育園北側 430m'16	山野、路傍の陰地にごく普通のヒメシダ科の夏緑性シダ。和名は溝の傍に多いことに由来する。
ゲジゲジシダ <i>Thelypteris decurvipinnata</i>	夏緑性 日当たり崖地、石垣	ぼたるパーク山吹周辺 440m (1451) '16 松岡城址南洞 520m (2437) '16 林道出原線 880m (2929) '16 国道山吹交差点付近 455m (4899) '17 林道二又沢線終点 690m (4786)	葉が鋸状羽片は交互に出て、基部が中軸に流れて翼となるので、全体から見ればジグザクに見える。ゲジゲジというより、ジグザクシダと言いたい。
ハリガネワラビ <i>Thelypteris japonica</i>	夏緑性 山地の林床	湯ヶ川 660m (1600) '16 胡麻目川沿岸 530m (1669) '16 駒場新田線 550m (3367) '16 出原二又沢橋付近 640m (2110) '16 林道出原線起点 740m (2136) '16 林道不動滝線 770m (2557) '16	葉柄は赤褐色でまばらに黒褐色の毛と鱗片がある。和名は針金織で、葉柄が針金の様なため。
ヤワランシダ <i>Thelypteris laxa</i>	夏緑性 山地林床	高森カントリークラブ付近 960m (1542) '16 大丸山公園北側 530m (1732) '16 山の寺キャンプ場 880m (1765) '16 新田原 570m (2314) '16 出原中里 680m (2376) '16 鏡子ヶ洞 520m (2438) '16	和名の由来は葉が柔らかいことから。葉柄は 15-35cm と長く、わら色-淡緑色で紫色を帯びることもあり、葉身は草質-柔らかい紙質。
イワハリガネワラビ <i>Thelypteris musashiensis</i>	夏緑性 山地の林縁や岩下	中学校南・唐沢洞 510m (2852) '16	ハリガネワラビに似ているが、全体やや小型で、葉柄や葉軸は淡緑色、葉柄基部の鱗片はより黒い。
ヒメシダ <i>Thelypteris palustris</i>	夏緑性 2形 田畔 湿地	山吹・越田 570m'16 高森南小学校校庭 527m'16 胡麻目川沿岸 480m'16 山の寺キャンプ場 880m'16 胡麻目川沿岸 530m (1677) '16 寺沢川沿い 470m'16 山吹駅周辺 460m'16	向陽の湿地、池や田の土手でしばしば群生。葉柄はわら色で無毛。葉身は広披針形の1回羽状複葉。
ミヤマワラビ <i>Thelypteris phegopteris</i>	夏緑性 山地林床や原野	林道出原線 815m (2177) '16 干水ノ沢 1170m-1240m (2729) '16 山吹青木ヶ沢 710m'16 本高森山登山路 1560m'16 大島川本沢 1150m (5399) '17 新田・青木ヶ沢 710m'16	冷涼な落葉樹林下に散在するシダで、葉軸上部に翼が発達するのが一番の特徴。
ヒメワラビ <i>Thelypteris torresiana</i> var. <i>calvata</i>	夏緑性 日の当たる林縁	吉田南段丘 470m (2452) '16 下市田保育園北側 430m'16 太白公園 - 不動滝 (長野県植物研究会誌 51 号) '17	和名は「姫ワラビ」であり、ワラビに似ているが、葉がより細かく分かれ、しかも薄くて弱々しく見えることによる。葉の長さは黄緑色で 1m ほどにもなる。
ミドリヒメワラビ <i>Thelypteris viridifrons</i>	夏緑性 日の当たる林縁	松岡城址南洞 520m (2436) '16 下平・下平橋付近 (2721) '16 高森南小学校 510m (2855) '16 中学校南・唐沢洞 510m (2856) '16 ウォーキングコース山吹・市田 460m (1197) '16	暖温帯性 ヒメワラビによく似るが、葉身は鮮緑色、小羽片はややまばらにつき、小羽軸には狭い翼があり、短い柄があることが特徴。
<b>■イワデシダ科 <i>Woodsiaceae</i></b>			
ウスヒメワラビ <i>Acystopteris japonica</i>	夏緑性 山地林床の湿地	山の寺キャンプ場 880m (1760) '16 出原中里 670m (2371) '16 山の寺南側 850m (3799) '16	葉柄は光沢のある紫褐色で毛と鱗片がつき、基部鱗片は広披針形、若い時は白色で後に淡褐色。葉は鮮緑色の柔らかい草質、繊細で弱々しい。
イヌワラビ <i>Anisocampium niponicum</i>	夏緑性 居住地や山地	泰山神社 500m (1515) 胡麻目川沿岸 500m (1679) '16 林道小沼 大沢線 760m (1951) '16 林道吉原線 1020m (2420) '16 林道二又沢線起点 665m (3848) '16 山吹・増野 700m (4619) '17	本種は道端、林縁など至る所に生育し、鱗片は淡褐色、葉の先端は急に狭まり尾状になる。
ニシキシダ <i>Athyrium niponicum</i> f. <i>metallicum</i>	夏緑性 居住地や山地	林道不動滝線 (3714) 800m'16 林道二又沢線 (上線終点) 785m (4812) '17 山吹下平橋 420m (6226) '18 高森公園 770m'16	本種は軸の紅紫色が著しく、羽軸に沿って白斑(はくはん)のある品種。觀賞に適する。
カラクサイヌワラビ <i>Athyrium clivicola</i>	夏緑性 林下の湿った地	胡麻目川沿岸 530 (1527) '16 林道出原線 (起点 740m (2134) '16 田沢大橋付近 750m (2248) '16 山吹・小沼 470m (2336) '16 新田原 570m (2299) '16 山の寺キャンプ場 940m (2410) '16	本種の特徴は、小羽片が丸っこいことと、小羽片の前側が耳状に発達して、羽軸裏側をかならず覆ってしまうこと。
サトメシダ <i>Athyrium deltoideifrons</i>	夏緑性 山地の湿地	高森カントリークラブ東 770m (5076) '17 出原中里 670m (3004) '16 山の寺キャンプ場 880m (1789) '16 松岡城址 540m (2663) '16 黒沢川順礼沢 490m (2686) '16 干水ノ沢 1200m (2746) '16	ソーラスは馬蹄形-楕円形-J形、中肋寄りにつく。包膜は馬蹄形-楕円形-J形、縁が細かく裂ける。
オゼサトメシダ <i>Athyrium deltoideifrons</i> f. <i>ohmurae</i>	夏緑性 山地の湿地	山の寺・観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52 号) '18	サトメシダの葉表に毛が生えるタイプ。
ホソバイヌワラビ <i>Athyrium iseanum</i> var. <i>iseanum</i>	夏緑性 山地林下の湿地	出原中里 620m (1264) '16 山の寺キャンプ場 880m (1784) '16 干水ノ沢 1170m-1240m (2498) '16 松岡城址 510m (2672) '16 出原中里 640m (2994) '16 吉田南段丘 480m'16	雑種を生じることが多い。小羽軸の表面には著しい刺をもつ。
ヘビヤマイヌワラビ <i>Athyrium × mentiense</i>	夏緑性 山地の林床	出原中里 640m (3007) '16 寺沢川沿岸 470m'16	ヘビノゴザとヤマイヌワラビの雑種 両母種の間中間的な形状をします。
オオサトメシダ <i>Athyrium × multifidum</i>	夏緑性 山地の林床	胡麻目川沿岸 530m (1528) '16 田沢大橋南側 750m 付近 (2224) '16 高森カントリークラブ付近 960m (1561) '16 出原中里 670m (2361) '16 山の寺キャンプ場 940m (2403) '16	サトメシダとヤマイヌワラビの雑種 両母種より大形になり、葉柄や中軸が紅紫色を帯び、包膜の縁が細裂する。
コシノサトメシダ <i>Athyrium neglectum</i>	夏緑性 山地の林床	林道小沼一又沢線 760m (1963) '16	(図) タカサトメシダに似るが、小羽片の基部で上下ではほぼ対生的に出るので、右辺には柄があらかになる。
ヘビホソバイヌワラビ <i>Athyrium × inouei</i>	夏緑性 山地の林床	松岡城址 鏡子ヶ洞 500m (長野県植物研究会誌 51 号) '17	ホソバイヌワラビとヘビノゴザの雑種
ヤマイヌワラビ <i>Athyrium vidalii</i>	夏緑性 山地の林床	林道小沼 - 大橋線 760m (1963) '16 下市田 4 区洞 470m (2214) '16 林道出原線起点 740m (2139) '16 新田原 570m (2308) '16 鏡子ヶ洞 520m'17 吉田南段丘 470m (3975) '16	本種はソーラスに馬蹄形のものか混じる点でカラクサイヌワラビと異なる。葉柄が紅紫色を帯び、包膜がほぼ全縁である点でサトメシダと異なる。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■イワテンダ科 Woodsiaceae</b>			
ヒロハヌワラビ <i>Athyrium wardii</i>	夏緑性 山地の林床	山吹・小沼 470m (2323) '16 黒沢川順礼沢 490m (2685) '16 高森カントリークラブ東側 770m (1549) '16 山の寺南側 850m (3810) '16 下市田 4区洞 470m '16	暖温帯性 ヤマヌワラビに似るが、羽片の柄は明らかに下部羽片では、5mm前後の柄をもつ。
ヘビノネゴザ <i>Athyrium yokoscense</i>	夏緑性 山地の林床	増野・大沢川沿岸 715m (2604) '16 出原中里 670m (1999) '16 田沢大橋西側 750m (2223) '16 松岡城址鏡子ヶ洞 490m '16 増野大沢川沿い 770m '16 新田諏訪神社 620m '16	和名は葉の間にへびがとぐるまをまいていることがあることに由来。
ハコネシケチンダ <i>Athyrium christensenianum</i>	夏緑性 山地林下の湿地	林道不動滝線 770m (2566) '16	暖温帯性 イッポンワラビ×シケチンダの雑種と推定され、シケチンダの大きいなみに似る。
イッポンワラビ <i>Athyrium crenuloserrulatum</i>	夏緑性 山地林下の湿地	大島川干水ノ沢 1170m-1240m (2494) '16 牛牧高森公園 770m (3225) '16 大島川本沢 1080m (5326) '17	東北地方ではアブラコゴミと呼んで若芽を食用。
シケチンダ <i>Athyrium decurrentialatum</i>	夏緑性 山地林下の湿地	林道弓矢沢線 850m (2616) '16 林道弓矢沢線 600m (5225) '17 林道弓矢沢線 760m (5416) '17	里山や低山の湿った林床などに生育するシダで、和名は「湿地シダ」の意。
ホソバシケチンダ <i>Deparia conilii</i>	夏緑性 2形 山地林下	胡麻目川南岸 530m (1678) '16 林道小沼大沢線 760m (1965) '16 新田原 570m (2284) '16 出原中里 670m (2364) '16	葉は細長く、胞子葉と栄養葉では長さがかたまりと異なり、胞子葉の方が長く、長さ 50cm に達するものもある。
セイトカシケチンダ <i>Deparia dimorphophylla</i>	夏緑性 2形 山地林床	竜口八幡神社 460m (3968) '16 新田原 570m '16	暖温帯性 シケチンダとよく似ているが、葉がほぼ二形、胞子葉は長柄があって裸葉の倍も抽出。葉は明るいグリーンで、光沢はあまりない。
シケチンダ <i>Deparia japonica</i>	夏緑性 山地林床	ほたるパーク山吹周辺 440m (1450) '16 胡麻目川南岸 530m (1659) '16 出原中里 670m (2356) '16 萩山神社 400m (2661) '16 順礼沢 490m (2681) '16 本学神社北斜面 680m (2872) '16	シケチンダは葉が2形性でない。葉幅が広く、羽片が鋭頭。
ムクゲシケチンダ <i>Deparia kiussiana</i>	夏緑性 2形 山地林床	林道吉田線終点 860m '16 林道小沼大沢線 1050m (5766) '17	RL (環ノ県EN) 暖温帯性 セイトカシケチンダとよく似ているが、葉柄及び葉軸上には淡茶色の毛や鱗片が著しく目立つ。
ウスゲミヤマシケチンダ <i>Deparia mucilagina</i>	夏緑性 2形 山地林床	干水ノ沢 (1240) 1240m '16 干水ノ沢 (1210m) '16	ミヤマシケチンダ類はハクモウイノデ、ウスゲミヤマシケチンダ、ミヤマシケチンダの3種に分けられる。葉柄が太く、長く、40cm を超えることがある。
オオヒメワラビ <i>Deparia okuboana</i>	夏緑性 2形 山地林床	林道弓矢沢線 700m (5301) '17	柔らかくて細かく裂けた葉に毛が多い。夏緑性の草本。根茎は短くて塊状になって斜めに立ち、鱗片があり、葉を多数生じる。
ハクモウイノデ <i>Deparia jiu lungensis</i> var. <i>albosquamata</i>	夏緑性 2形 山地林床	林道小沼一大沢線 1050m (1929) '16 増野・大沢川付近 770m (3329) '16 追分・田沢川沿岸 590m (1639) '16 林道弓矢沢線 800m (1577) '16 林道不動滝線 1090m (6179)	ミヤマシケチンダの軸や葉に毛がたくさんある種
フモトシケチンダ <i>Deparia pseudoconilii</i>	夏緑性 2形 山地林床	松尾か城址鏡子ヶ洞 510m (5480) '17 子安神社 545m (6497) '18 出原中里 640m '16 林道小沼大沢線 770m '16	本種はよく似たホソバシケチンダと同様に葉が2形であるが、葉柄が黒紫色を帯び、細くて硬く、最下羽片がかなり大きく、鋭頭になる傾向がある。
ミヤマシケチンダ <i>Deparia pycnosora</i>	夏緑性 2形 山地林床	胡麻川沿岸 530m (1666) '16 山の寺キャンプ場 880m (1772) '16 新田原 570m (2283) '16 出原中里 670m (2300) '16 大島川本沢 1080m (5411) '17 山吹田沢 700m (5959) '17	セイトカシケチンダと葉の質感が似ているが、本種は下部羽片が短縮するのが特徴。
ミヤマシダ <i>Diplazium sibiricum</i> var. <i>glabrum</i>	夏緑性 山地林床	大島川干水ノ沢 1170m-1240m (2730) '16 大島川本沢 1150m (5382) '17	キヨタキシダに似るが、羽片の切れ込みが多い。
キヨタキシダ <i>Diplazium squamigerum</i>	夏緑性 山地林下の湿地	下平・下平橋付近 480m (2860) '16 出原中里 640m (2997) '16 山吹・小沼 470m (2332) '16 松岡城址 510m (2670) '16	葉柄下部は褐色鱗片が密生
フクシダ <i>Woodсия manchuriensis</i>	夏緑性 山地林下の岩上	大島川干水ノ沢 1170m-1240m (2785) '16 大島川本沢 1150m (5389) '17 不動滝駐車場 1060m '16 林道不動滝線 920m '16	山地林下の湿った崖(かけ)や溪流沿いの岩上でよくみられる。包膜の形が袋状なのでこの名がある。
イワテンダ <i>Woodсия polystichoides</i>	夏緑性 2形 山麓の岩上や石垣	林道弓矢沢線 800m (5262) '17 大島川本沢 1150m (5388) '17 田沢川南岸 620m '16 林道不動滝線 800m '16 不動滝駐車場 1060m '16	岩上に生じる中型のシダで、和名それぞれに由来。デンダは連衆(れんた)ともいい、シダの古い名の一つ。
<b>■シシガンシラ科 Blechnaceae</b>			
シシガンシラ <i>Struthiopteris niponica</i>	夏緑性 2形 山地林下や林縁	林道二又沢線起点 665m (3836) '16 南大島川北斜面 665m (4026) '16 山吹・新田原 580m (5188) '17 山吹・市田ウォーキングコース 442m '16 萩山神社 500m '16 原城 510m '16	(図) 茎はごく短く立ち上がり、茎には多数の葉を密生する。葉の大部分は栄養葉で、ロゼット状に広がる。少数の胞子葉はやや立ち上がる。
<b>■コウヤワラビ科 Onocleaceae</b>			
クサソテツ <i>Matteuccia struthiopteris</i>	夏緑性 2形 山麓や原野	竜口八幡神社 460m (4967) '17 林道弓矢沢線 800m (5264) 万年橋付近 445m '16 田沢川南岸 620m '17 堂所橋南 725m '16 吉田山・山の寺 1000m '17 林道吉田線 820m '17 吉田城山 547m '17	若芽はコゴミ(屈)といわれ山菜のひとつ。5月上旬から6月中旬に渦巻状に丸まった幼葉を採取し、おひたし、ゴマ和え、天ぷらなどにして食べる。
コウヤワラビ <i>Onoclea sensibilis</i> var. <i>interrupta</i>	夏緑性 2形 山麓や原野	山の寺キャンプ場 940m (2408) 林道吉原線 885m '17 胡麻目川南岸 480m '17 中学校南・唐沢洞 490m '17 高森南小学校 527m '17 駒場・新田線 505m '17 南大島川上橋付近 440m '17	日当たりの湿った地に群生 独特の羽片の幅が広い栄養葉と球形の胞子葉群を含む小羽片が数珠のように並ぶ胞子葉をつける。
イヌガンソク <i>pentarhizidium orientale</i>	夏緑性 2形 山麓や原野	林道弓矢沢線 850m (5247) '17 大島川本沢 1080m (5366) '17 寺沢川沿い 480m '16 増野大沢川 770m '16 林道不動滝線 800m '16 高森公園 770m '17 大島川干水ノ沢 1170m '17	大型のシダで、葉には明瞭な2形がある。胞子葉はその姿のおもしろさから、生け花やドライフラワーで利用されることがある。
<b>■オシダ科 Dryopteridaceae</b>			
シノバクガマ <i>Arachniodes mutica</i>	常緑性 山地の林床	林道出原線起点 740m (2137) '16 新田原 570m (2307) '16 林道不動滝線 770m (2543) '16 本高森山登山路 1560m (3672) '16 出原中里 670m (2367) '16 林道吉原線 1080m (6020) '17	亜高山性 端正な容姿にしては非常に毛深い感じの鱗片重量感がある。亜高山帯で普通にみられる。
ハカチンダ <i>Arachniodes simplicior</i>	常緑性 山林下のやや乾燥地	下平・下平橋付近 480m (3956) '16 松岡城址鏡子ヶ洞 510m (5486) '17	暖温帯性 丘陵地のやや乾燥した森林で崖下や林床に生える。班入りは観葉植物に利用
リョウメンシダ <i>Arachniodes standishii</i>	常緑性 山地林下のやや湿潤地	出原二又沢橋付近 640m (2125) '16 出原中里 670m (2383) '16 黒沢川順礼沢 490m (2697) '16 山吹駅周辺 460m '16 寺沢川沿い 480m '16 山吹・市田ウォーキングコース 460m '16	和名は「両面」シダで、葉の表と裏の葉質がよく似ていることによる。葉は黄緑色から明るい緑色で高さは 60 ~ 150cm。スギ林下に多い。
ヤブソテツ <i>Cyrtomium fortune</i>	常緑性 山麓山地のやや湿潤地	林道二又沢線起点 665m (3850) '16 山吹駅北段丘 460m (4072) '16 林道弓矢沢線 760m (5419) '17 山吹唐沢川 443m '17 牛牧小木曾洞 750m '17 天白公園 640m '16	羽片は 15-20 対 羽片はほとんど耳垂をもたず、羽片の基部は丸い。
テリハヤマソテツ <i>Cyrtomium fortunei</i>	常緑性 山麓山地のやや湿潤地	矢沢橋付近 650m (5126) '17 林道弓矢沢線 760m (5417) '17	葉の質は厚く光沢がある。
ヤマソテツ <i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>clivicola</i>	常緑性 山麓山地のやや湿潤地	山の寺キャンプ場 880m (1755) '16 出原二又沢橋付近 640m (2122) '16 萩山神社 500m (3918) '16 林道吉田線起点 665m (3820) '16 萩山神社境内 500m (3918) '16 林道弓矢沢線 760m (5420) '17	羽片は 10 対前後で幅が 3cm 以上と広く、耳垂が顕著で、包膜が大きい
テリハソテツ <i>Cyrtomium laetevirens</i>	常緑性 山麓山地のやや湿潤地	山吹・市田ウォーキングコース 440m (3932) '16 山吹田沢 700m (5964) '17 弓矢沢橋 650m (5126) '17	(図) ヤブソテツから別種に分けられたもので、葉質が硬くて薄く光沢があり、羽片がやや短く、先が滑らかに細い。また、包膜がやや大きい。
キヨシミヘワラビ <i>Dryopsis maximowicziana</i>	常緑性 山麓山地のやや湿潤地	山の寺キャンプ場 880m (2399) '16 出原中里 640m (3006) '16 黒沢川順礼沢 510m (4116) 弓矢沢橋付近 650m (5120) '16 山の寺キャンプ場 940m '16 出原中里 640m '16	RL (環ノ県NT) 暖温帯性 異名はシラガシダ 葉は長さ 1m 前後に達し、葉柄、葉軸には目立ちのちろは白色に近いが、後に茶褐色になる鱗片を密にもつ。
ヤマイタチシダ <i>Dryopteris bissetiana</i>	常緑性 山地の林縁、林下	山道・駒場 - 新田線 505m-550m (2033) '16 胡麻目川沿岸 505m (3585) '16 出原中里 670m (2352) '16 竜口八幡神社 469m (3970) '16 寺沢川沿岸 470m (4086) '17 山吹 480m (4104) '17	葉が 40-70 センチメートル、深緑色で柔らかい革質。
サイゴクベニシダ <i>Dryopteris championii</i>	常緑性 山地林下のやや乾燥地	山吹・市田ウォーキングコース 420m (3266) '16 黒沢川順礼沢 510m (4117) '17 矢沢橋付近 650m (5129) '17 寺沢川沿い 480m '16 萩山神社 500m '16 高森カントリークラブ北側 780m '16	暖温帯性 関東以西に分布 葉柄や葉軸には茶色の鱗片が密生。
ミサキカガマ <i>Dryopteris chinensis</i>	夏緑性 山地山麓の林下林縁	天白公園 635m (2090) '16 牛牧高森公園 770m (3220) '16 黒沢川順礼沢 520m (4875) '17 松岡城址間ヶ沢 550m (5478) '17 高森公園 760m '16	和名は三浦半島の三崎とする説と柳とする説がある。カガマはシダの古名。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
■オシダ科 <i>Dryopteridaceae</i>			
オシダ <i>Dryopteris crassirhizoma</i>	夏緑性 山地山麓の林下林縁	林道小沼大沢線 1050m (1936) '16 出原二又沢橋付近 640m (2107) '16 林道吉原線 1025m (2421) '16 林道不動滝線 770m (3974) '16 萩山神社 500m '16 原城 510m '16	丘陵・低山の林下に、しばしば群落をつくる。根茎は太くて直立し、多数の葉を漏斗状につける。
イノウエシダ <i>Dryopteris × yasuhikoana</i>	夏緑性 山地山麓の林下林縁	林道吉田線起点 665m (3998) '16	オオクジャクシダとオシダの雑種 両親の混生する場所に生じる。
イワヘゴ <i>Dryopteris cycadina</i>	常緑性 山地林下の溪流付近	出原二又沢橋付近 640m (2128) '16 林道吉田線起点 665m (3849) '16 林道弓矢線 760m (5418) '17	RL(環ノ県 EN) 暖温帯性 関東以西に分布 スギ林内および林縁、いずれも川沿いの付近に見られる。葉柄下部の鱗片は黒褐色・濃褐色・披針形で光沢がある。
オオクジャクシダ <i>Dryopteris dickinsii</i>	常緑性 山地林下の溪流付近	胡麻目川南岸 530m (1681) '16 松岡城址南洞 540m (2664) '16 黒沢川順礼沢 490m (2687) '16 林道弓矢沢線 700m (5304) '17 林道吉田線起点 665m '16	イワヘゴとよく似ているけれど、本種はソーラスが葉の縁寄りにつくので区別できる。
ベニシダ <i>Dryopteris erythrosora</i>	常緑性 山地林下や林縁	出原二又沢橋付近 640m (2126) '16 順礼沢 490m (2679) '16 中学校南唐沢洞 510m (2851) '16 萩山神社 500m (3912) '16 南大島山北斜面 530m (4035) '16 山吹・新田原 580m (5207) '17	暖温帯性 常緑性で、葉は長さ 50cm 前後、幅 20cm 前後の 2 回羽状複葉。若葉は赤いためにこの名があり、また若い胞子嚢も赤い。
シラネワラビ <i>Dryopteris expansa</i>	夏緑性 山地林下	干水ノ沢 1170m-1240m (2475) '16 本高森山登山路 1120m (3615) '16 本高森山登山路尾根 1680m '16 前高森山登山路 1565m '16	和名のシラネは日光の白根山に由来。亜高山帯の針葉樹林下に、しばしば優占的な群落をつくる。
マルバベニシダ <i>Dryopteris fuscipes</i>	常緑性 山地林下のやや乾燥地	胡麻目川南岸 530m (1536) '16 高森カントリークラブ東側 770m (1544) '16 牛牧浄化センター 520m (1889) '16 林道小沼大沢線 760m (1964) '16 出原二又沢橋付近 640m (2130) '16	暖温帯性 ベニシダよりも鱗片の丸み強いのでマルバベニシダという。ソーラスは軸寄りにつく。
オオベニシダ <i>Dryopteris hondoensis</i>	常緑性 山地林下のやや乾燥地	牛牧浄化センター 520m (1893) '16 新田原 570m (2288) '16 出原中里 670m (2360) '16 中学校南・唐沢洞 510m (2853) '16 萩山神社 400m (2658) '16 松岡城址鉈子ヶ洞 480m '16	暖温帯性 林縁にベニシダとともに生育。ベニシダと比べると葉面に光沢がなく、淡黄色を帯びて質も薄いことがよくわかる。
クマワラビ <i>Dryopteris lacera</i>	常緑性 山麓山地の林縁	山道駒場・新田原 640m (2027) '16 田沢・田沢大橋西側 750m (2259) '16 出原中里 670m (2351) '16 胡麻目川沿岸 500m (2711) '16 山の寺水源池付近 850m (2829) '16	身近な石垣や林縁に普通に生育。胞子嚢群は葉の先端付近にだけ生じ、その部分の羽片は特に小さくなっている。
アイノクマワラビ <i>Dryopteris × mituii</i>	常緑性 山麓山地の林縁	追分・田沢川沿岸 590m (1642) '16 胡麻目川沿岸 530m (1653) '16 黒沢川順礼沢 490m (3994) '16 出原中里小胡桃沢 620m (1266) '16 山の寺キャンプ場 880m (1779) '16	クマワラビ×オクマワラビ
キヨズミオオクジャク <i>Dryopteris namegatae</i>	常緑性 山地林下の溪流付近	林道弓矢沢線 760m (5418) '17	RL(環ノ県 NT) イワヘゴとオオクジャクシダによく似る。
トウゴクシダ <i>Dryopteris nipponensis</i>	常緑性 山麓山地の林縁や林下	本学神社北斜面 680m (2866) '16 小沼・寺沢川沿い 440m (3902) '16 萩山神社 500m (3909) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (3945) '16 萩山神社 500m (4139) '17	暖温帯性 根茎は斜上し塊状。葉柄の基部に線状披針形、黒褐色の鱗片がつく。葉身は広卵形の 2 回羽状複葉。先端は急に狭まり短い尾状になる。
オオイタチシダ <i>Dryopteris immixta</i>	常緑性 山の日当りの林縁	山吹下平橋付近 420m (2717)	暖温帯性 葉身の先がややほこ形に近く、裂片に鋸歯があり、ソーラスが小さい。m 葉が 1 メートル以上になり、堅い紙質で、表面に光沢がある。
ミヤマクマワラビ <i>Dryopteris polylepis</i>	夏緑性 山地の林下	山の寺キャンプ場 880m (1766) '16 林道小沼大沢線 775m (1904) '16 出原二又沢橋付近 640m (2108) '16 林道不動滝線 770m (2564) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2487) '16	オシダに似るがそれより繊細。根茎は太く直立。葉柄基部に長卵形・披針形、やや光沢のある黒色・黒褐色の鱗片が密生。
ミヤマオクマワラビ <i>Dryopteris × pseudouniformis</i>	夏緑性 山地の林下	林道吉田線起点 665m (3856) '16 黒沢川順礼沢 490m (3979) '16 新田原 570m (3982) 山の寺キャンプ場 880m (3992) '16 山吹・新田原 580m (5202) '17	ミヤマクマワラビ×オクマワラビ
ミヤマイタチシダ <i>Dryopteris sabae</i>	常緑性 やや二形 山地の林下	高森カントリークラブ付近 960m (1555) '16 新田原 570m (2309) '16 干水ノ沢 1170m-1240m (2470) '16 牛牧高森公園 770m (3247) '16 山の寺南側 850m (3811) '16 林道吉原線 1080m (6015) '17	表面の葉脈がよく見えて模様美しい。これは葉脈が凹んでいるからである。
ヒメイタチシダ <i>Dryopteris sacrosancta</i>	常緑性 山地の日当りの林縁	胡麻目川南岸 530m (1672) 山の寺キャンプ場 880m (1758) 松岡城址南洞 520m (2433) 林道吉田線起点付近 665m (3826) 寺沢川沿い 470m (4083) '17 牛牧神社 640m '16	暖温帯性 葉が黄緑色で、鱗片が黒色
イワイタチシダ <i>Dryopteris saxifraga</i>	常緑性 山地林下の崖や岩	干水ノ沢 1170m-1240m (2784) '16 不動滝駐車場 1060m (2812) '16 林道不動滝線波沢駐車場 975m (3117) '16 林道弓矢沢線 600 (5231) '16	小型で湿った岩上に生える。葉柄の鱗片の先端部が釣り針のように上向きに曲がる。
クマオシダ <i>Dryopteris × tokudae</i>	常緑性 山地林下や林縁	胡麻目川南岸 530m (1539) '16 田沢・田沢大橋西側 665m (3999) '16 黒沢川順礼沢 500m (4015) '16 本学神社北斜面 6m '16 林道小沼大沢線 1050m	オシダ×ミヤマクマワラビ 両親の生育するところ生じる。
タニヘゴ <i>Dryopteris tokyoensis</i>	夏緑性 やや日当りの林床	出原中里 640m (2363) '16 林道吉原線起点 665m (3845) '16 黒沢川順礼沢 510m (4122) '17 牛牧小木曾洞 720m (4167) '17 林道不動滝線堂所橋 750m (4227) '16 田沢 700m (5977) '16	本種はオオクジャクシダとはソーラスは中肋寄りであり、イワヘゴとは下部羽片があまり縮小しないことで見分けられる。群生することが多い。
オクマワラビ <i>Dryopteris uniformis</i>	常緑性 山地の林下や林縁	胡麻目川沿い 530m (1682) '16 出原二又沢橋付近 640m (2121) '16 新田原 570m (2290) '16 吉田南段丘崖 470m (3972) '16 林道吉田線終点 870m (4727) '17 胡麻目川沿い 500m (2705) '16	ソーラスは葉身上部 1/2 の羽片の中間につく。胞子嚢群がつく羽片は萎縮しない。
フジオシダ <i>Dryopteris × watanabei</i>	常緑性 山地の林下や林縁	林道吉田線起点 665m (4001) '16 出原中里 640m (3991) '16 黒沢川順礼沢 490m (3993) '16 山吹・吉田ウォーキングコース 455m (1222) '16 林道弓矢沢線砂防ダム付近 800m (1569) '16	オシダ×オクマワラビ
ナンゴクナライシダ <i>Arachniodes fargesii</i>	夏緑性 山地の林下	胡麻目川南岸 530m (1533) '16 追分・田沢川沿岸 590m (1646) '16 大丸山公園北斜面 530m (1727) '16 林道不動滝線 770m (2560) '16 本学神社北斜面 680m (2869) '16	暖温帯性、本種は常緑で、冬でも深緑色の葉を広げる。裂片の幅が広く、小羽軸上に毛が密生し、西日本を中心に分布。
ホソバナライシダ <i>Arachniodes borealis</i>	夏緑性 山地の林下	泰山神社 500m (1514) '16 山の寺キャンプ場 880m (1787) '16 林道小沼大沢線 775m (1913) '16 天白公園 635m (2088) '16 出原二又沢橋付近 640m (2114) '16 新田原 570m (2280) '16	本種は落葉性で冬に黄葉する。葉の表面にはほとんど毛がないものが多い。
ヒロバナライシダ <i>Arachniodes quadripinnata</i> subsp. <i>fimbriata</i>	夏緑性 山地の林下	林道弓矢沢線付近 650m (5108) '17	RL(環 EN/県-) このシダの特徴は、包膜上に毛があることで、5 月下旬から包膜が脱落する秋までが観察好機である。
タカヤマナライシダ <i>Arachniodes × miqueliana</i>	夏葉性 両親の混生する場所	林道吉田線起点付近 665m (3819) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (4000) '16 大丸山公園北斜面 530m (1733) '16 林道出原線 740m (2140) '16	ナンゴクナライシダ×ホソバナライシダ 両親の中間的な形質が見られる。
アイツヤナシノデ <i>Polystichum × amboversum</i>	常緑性 山地の林下	松岡城址鉈子ヶ洞 520m (2440) '17	ツヤナシノデ×サカゲイノデ
ホソイノデ <i>Polystichum braunii</i>	夏緑性 山地の林下や林縁	干水ノ沢 1170m-1240m (2408) '16 大沢川沿い 715m (2600) '16	谷川沿いに生じる。ツヤナシノデに似るがそれより小型「ツヤナシノデとは下部羽片が著しく短くなる点で区別される」。
オクヌイノデ <i>P. braunii</i> × <i>P. retrosopaleaceum</i>	夏葉性 両親の混生する場所	干水ノ沢 1170m-1240m (2506) '16	ホソイノデ×サカゲイノデ
スオウイノデ <i>Polystichum × kuratae</i>	常緑性 丘陵林下	松岡城址鉈子ヶ洞 520m '16	イノデ×サイゴクイノデ
アイアスカイノデ <i>Polystichum longifrons</i>	常緑性 山地の林下や林縁	出原中里 620m (1270) '16 松岡城址南洞 510m (2668) '16 山吹下平橋付近 420m (2668) '16 牛牧高森公園 (770m (3248) '16 田沢田沢川南岸 670m (3342) '16	暖温帯性 岩手県以西に分布 葉柄基部の鱗片の幅が狭く、中央部が暗褐色、ソーラスも辺縁寄りにつく。
ゴテンバイノデ <i>Polystichum longifrons</i> × <i>P. ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i>	半常緑性 山地の林下や林縁	林道不動滝線 770m (2569) '16	アイアスカイノデ×イワシロイノデ
ハタジュクイノデ <i>Polystichum × hatajukuense</i>	夏葉性 両親の混生する場所	出原中里 670m (2353) '16 松岡城址鉈子ヶ洞 510m '16 下平・下平橋付近 445m (2713) '16	アイアスカイノデ×イノデモドキ
オンガタイノデ <i>Polystichum × ongataense</i>	夏葉性 両親の混生する場所	出原中里 620m (1267) '16 林道不動滝線 770m (2569) '16 松岡城址 510m	ツヤナシノデ×サイゴクイノデ
カタイノデ <i>Polystichum makinoi</i>	常緑性 山地林床	牛牧高森公園 770m (3219) '16	RL(環ノ県 VU) 暖温帯性 サイゴクイノデと似ているが、本種は葉の表面に光沢があり、ソーラスが中間性であること、葉柄基部の鱗片が淡褐色の縁取りがある。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■オシダ科 <i>Dryopteridaceae</i></b>			
イワシロイノデ <i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i>	半常緑性 山地林床	林道小沼大沢線 760m (1962) '16 干水ノ沢 1170m-1240m (2486) '16 牛牧役人平 725m (3052) '16 山吹・市田ウォーキングコース 420m (3054) '16 大島川本沢 1150m (5400) '17	葉柄・中軸の鱗片は広披針形～被針形でツヤナシイノデよりも細長い。葉柄下部ではツヤナシイノデのように幅の広い鱗片が目立つことはない。
ツヤナシイノデ <i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>ovatopaleaceum</i>	半常緑性 山地林床	出原中里小胡桃沢 620m (1268) '16 松岡城址銚子ヶ洞 520m (3983) '16 林道小沼大沢線 775m (1905) '16 林道吉原線 1000m (2415) '16 黒沢川順礼沢 490m (2678) '16	葉は長さ 80cm 前後に達し、葉柄の鱗片がイノデより幅が広く、広卵形をなし色も淡く、葉の表面に光沢がないことで区別される。
サカゲイワシロイノデ <i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i> × <i>P. retrosopaleaceum</i>	半常緑性 山地林床	弓矢沢橋付近 650m (5115) '17 山吹・正木 740m (5023) '17	イワシロイノデ×サカゲイノデ
カネヤマイノデ <i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i> × <i>P. pseudomakinoi</i>	落葉性 両親の混生する場所	胡麻目川沿岸 530m (3995) '18	ツヤナシイノデ×サイゴクイノデ
イノデ <i>Polystichum polyblepharon</i>	常緑性 山地林床	小沼大沢川沿い 475m (1271) '16 松岡城址銚子ヶ洞 520m (2435) '16 林道吉田線起点付近 665m (3986) '16 山吹・市田ウォーキングコース 460m (4089) '16	暖温帯性 宮城県以西に分布 葉柄の基部には長さ 2cm ほどの大形の鱗片が密生。中軸の鱗片は毛状、鱗片の縁には不規則な鋸歯状の突起。
サイゴクイノデ <i>Polystichum pseudomakinoi</i>	常緑性 山地林床	出原中里 620m (1269) '16 山の寺キャンプ場 880m (1788) '16 新田原 570m (2301) 林道不動滝線 770m (2569) '16 黒沢川順礼沢 490m (2688) '16 牛牧小本曾洞 720m (4168) '17	暖温帯性 埼玉県以西に分布 イノデと似ているが、葉の表面に光沢がなく、葉柄下部の鱗片の色が濃いところが本種の特徴。
サカゲイノデ <i>Polystichum retrosopaleaceum</i>	夏緑性 山地林床	干水ノ沢 1170m-1240m (2495) '16 天白公園～不動滝(長野県植物研究会誌 '18) '16	日本海要素 b 葉は長さ 80cm 程度の 2 回羽状複葉。葉軸の鱗片は下を向き、葉軸にへばりつくようにつく。小羽片は小さい。
タカオイノデ <i>Polystichum</i> × <i>takaosanense</i>	常緑性 山地の林下や林縁	出原中里 670m (3997) '16 松岡城址南洞 510m '16	アイアスカイノデ×ツヤナシイノデ
チチブイノデ <i>Polystichum</i> × <i>titibuense</i>	常緑性 両親の混生する場所	弓矢沢橋付近 650m (5115) '17	イワシロイノデ×ホソイノデ
イノデモドキ <i>Polystichum tagawanum</i>	常緑性 山地林床	牛牧浄化センター 520m (1873) '16 林道小沼大沢線 775m (1914) '16 出原二又沢橋付近 640m (2117) '16 山吹・小沼 470m (2335) '16 出原中里 670m (2378) '16 胡麻目川沿い 500m (2708) '16	(図) 本種の葉はイノデより幅が狭く、葉先の肩がなく先は尾状に伸びる。小羽片は長さが短く、小さい。
ジュウモンジシダ <i>Polystichum tripterum</i>	夏緑性 山地林床	出原中里 670m (2374) '16 干水ノ沢 1170m-1240m (2504) '16 松岡城址南洞 540m (2666) '16 黒沢川順礼沢 520m '16 高森公園 770m '16 本学神社北斜面 680m '16 牛牧小本曾洞 720m '17	山間部で見られるやや小型のシダ。葉の形が十字型に見えるのでこの和名がある。
オオシユモクシダ <i>Polystichum tripterum</i> f. <i>subbipinnatum</i>	夏緑性 山地林床	高森公園 770m '16 (長野県植物会誌 51 号 '16)	ジュウモンジシダの品種で裂片の切れ込みが深いもの。
<b>■シノブ科 <i>Davalliaceae</i></b>			
シノブ <i>Davallia mariesii</i>	小形夏緑性 山地の樹幹や岩上	山吹駅付近 '16	樹木の樹皮上に生育する着生植物 園芸用に栽培 特に棕綱(シュロ)皮などを丸く固めたものにシノブを這わせ、紐で吊るしたものをシノブ玉と呼ぶ。
<b>■ウラボシ科 <i>Polypodiaceae</i></b>			
ナガオノキシノブ <i>Lepisorus angustus</i>	小形常緑性 身近な樹幹や岩上	やすらぎ荘周辺 500m (1308) '16 南小学校校庭 527m (1744) '16 山道駒場～新田線 550m (3358) '16 萩山城址 500m (3911) '16 本高森山登山路 1220m (3614) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3156) '16	ノキシノブとの違いは葉身の先が徐々に細くなり鋭く尖る。
ホテイシダ <i>Lepisorus annuifrons</i>	小形夏緑性 山地の樹幹や岩上	牛牧高森公園 770m '16	葉は長さ 15cm 程度で幅は 4cm 程度。和名は、葉の幅が広いのを布袋に見立てたものとされる。
ヒメノキシノブ <i>Lepisorus onoei</i>	小形常緑性 山麓の樹幹や岩上	山の寺境内 820m '16 高森南小学校校庭 527m (4005) '16	ノキシノブより本種ほうが葉が小さく、葉の先が丸い。
ノキシノブ <i>Lepisorus thunbergianus</i>	小形常緑性 身近な樹幹や岩上	高森南小学校校庭 527m (4004) '16 山吹・小沼 520m (4008) '16 秋山神社 500m (3911) '16 寺沢川沿い 470m (4103) '16 山吹 480m (4103) '17 駒場・新田線 550m (3358) '16	低山帯の山林から人里までの樹木や岩の上などに着生する。和名は、軒下などにも生え、シノブのように着生することから。
ミヤマノキシノブ <i>Lepisorus ussuriensis</i> var. <i>distans</i>	小形常緑性 山地の樹幹や岩上	前高森山～吉田山 1634m (3758) '16 本高森山登山路 1680m '16	ノキシノブよりも本種のほうが葉が薄く、葉の縁があまり巻かない。
オオクボシダ <i>Micropolypodium okuboi</i>	小形常緑性 山地の樹幹や岩上	大島川本沢 1080m (6071) '17 不動滝 1000m '17 山の寺～観音沢(長野県植物研究会誌 52 号) '18	RL (環ノ県 NT) 樹幹や岩壁にコケに紛れるようにして生える微小なシダ。和名であるオオクボシダは、明治時代の植物学者である大久保三郎にちなむ。
オシャゲジデンダ <i>Polypodium fauriei</i>	小形冬緑性 山地の樹幹や岩上	高森公園 770m (3948) '16 本高森山登山路 780m '16 林道不動滝線 1000m '17	山地の林の中の日陰地の樹幹や岩上など湿った場所を好む 冬性の着生多年性シダ植物で初秋に開葉し、盛夏には落葉する。
イワオモダカ <i>Pyrrosia hastata</i>	常緑性 山地の樹幹や岩上	林道弓矢沢線 780m '16 山吹 460m '16	RL (環ノ県 UV) 岩上や樹幹に着生して生育。ほこ型に 3 裂する葉をつける。乾燥時や冬期には、葉が内側に巻きこむ。観葉植物として栽培。
ミツデウラボシ <i>Selliguea hastata</i>	小形常緑性 山地の樹幹や岩上	不動滝駐車場 1060m '16 弓矢沢橋付近 650m (5113) '17	各地の低山で岩の上などに付着して見られる着生植物。名前は葉が大きく三つに裂けることから。ただし、十分成長しないこの形にならない。
ミヤマウラボシ <i>Selliguea veitchii</i>	小形夏緑性 山地の岩上	牛牧高森公園 770m (3966) '16 山の寺南側 850m (3798) '16 林道不動滝線 770m (2582) '16 戒壇不動周辺 1245m '16	深流川の岩場に見られる夏緑性のシダ。葉は長さ 8cm 程度。葉は羽状深裂し、側裂片は 1.4 対。
<b>■イチョウ科 <i>Ginkgoaceae</i></b>			
イチョウ <i>Ginkgo biloba</i>	落葉広葉高木 植栽 逸出	南小 527m (7942) '16 出原神社 615m (6393) '18 山吹・小沼 440m '18	(栽・逸) 中国原産の裸子植物 社寺林、公園、街路、河岸などに植栽 種子は銀杏(ぎんなん)と呼ばれ食用
<b>■マツ科 <i>Pinaceae</i></b>			
モミ <i>Abies firma</i>	常緑針葉高木 丘陵・山地	牛牧小本曾洞 750m (4165) '17 山吹・増野 700m (4616) '16 秋山神社 500m '16 高森公園 770m '16 林道不動滝線 790m '16 松岡城址銚子ヶ洞 460m-520m '16	(図) 分布(福島県南部～紀伊半島) 照葉樹林帯と落葉樹林帯の中間地帯には、高木にモミとツガが優占する森林が成立することがある。
ウラジロモミ <i>Abies homolepis</i>	常緑針葉高木 山地	大島川干水ノ沢 1200m (2471) '16 本高森山登山路 1220m (3818) '16 林道弓矢沢線 800m (5250) '17 高森山 1889m '16 吉田山山頂 1450m '16 前高森山登山路 1565m '16	(図) 分布(秋田～九州) 本州中部では、おおよそ高度 1000m でモミと入れ替わり、1700～1800m でシラビソと入れ替わる。
カラマツ <i>Larix kaempferi</i>	落葉針葉高木 植栽 丘陵・山地	増野大沢川 770m '16 山の寺境内 770m '16 林道不動滝線 980m '16 高森山山頂 1890m '16 前高森山登山路 1565m '16 越田原 760m '16 国道・山吹交差点 440m '16	(図) 東北地方南部・関東地方・中部地方の亜高山帯から高山帯に分布し天然林は少なく、当町の木も植栽されたもの。
ドイトウヒ <i>Picea abies</i>	常緑針葉高木 栽培 逸出	林道吉原線 413m (6005) '16	(栽・逸) ヨーロッパ原産の常緑針葉高木で、公園や庭園によく植えられている。モミの木などとともにクリスマスツリーとしてもよく使われる。
トウヒ <i>Picea jezoensis</i> var. <i>hondoensis</i>	常緑針葉高木 山地・深山	本高森山登山路 1880m (6600) '18	分布(栃木～紀伊) 海拔 1,500～2,500m にかけての亜高山帯に生育。
ハリモミ <i>Picea polita</i>	常緑針葉高木 山地 尾根筋	山の寺戒壇不動・奥の院～吉田山 1315m (3771) '16 林道弓矢沢線 900m (5292) '17 山吹・小沼 485m '18	(図) 分布(福島～紀伊)。名前のとおり鋭く尖った葉を持つ。日本で一番、触ると痛い葉であり、試しに触れた程度で疼痛が生じる。
アカマツ <i>Pinus densiflora</i>	常緑針葉高木 河原や尾根筋	松岡城址 550m '16 高森公園 770m '16 高森カントリークラブ北側 830m '16 山の寺 750m '16 林道吉原線 1000m '16 前高森山登山路 1060m '16 前高森山～吉田山 1490m '16	日本産のマツの中でもっとも広い範囲に分布。樹皮は赤褐色で、傷をつけると粘りのある樹脂が出て後に淡黄色の塊になる。近年、枯死により減少。
チョウセンゴヨウ <i>Pinus koraiensis</i>	常緑針葉高木 山地や社寺	高森山 1085m (1358) '16 本高森山登山路 1865m '16	朝鮮半島に多く、葉が 5 枚であるので、チョウセンゴヨウ。日本では本州の一部(福島県南部から岐阜県)と四国の一部に見られる。種子は食用される。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■マツ科 Pinaceae</b>			
ヒメコマツ <i>Pinus parviflora</i> var. <i>parviflora</i>	常緑針葉高木 山地や庭園	本高森山登山路 1680m'16 前高森山登山路 1450m'16 吉田山山頂 1450m'16 前高森山~吉田山 1410m'16 下市田 4区洞 470m'16	樹高が 30-35m にもなる比較的、大きな木で、枝に松葉が 5 枚付く為、ゴヨウマツとも呼ばれた。
コマツガ <i>Tsuga diversifolia</i>	常緑針葉高木 山地	本高森山登山路 1600m (3679) '16 高森町山頂 1890m'16	(因) 山岳地帯に分布する。町内では高森山、前高森に産する。ツガと似るが、自生する高度の違いと葉がやや小さい点で識別できる
ツガ <i>Tsuga sieboldii</i>	常緑針葉高木 山地 植栽	林道小沼一大沢線 775m (1909) '16 前高森山~吉田山 1410m-1520m (3753) '16 大島川本沢 1150m (5412) '17 林道吉原線 1080m (6014) '17 萩山神社 500m'16	本州中部から屋久島にかけてと韓国の鬱陵島に分布。暖温帯(照葉樹林)から冷温帯(落葉広葉樹林)の中間地帯(中間温帯林)に主に分布する。
<b>■ヒノキ科 Cupressaceae</b>			
ヒノキ <i>Chamaecyparis obtusa</i>	常緑針葉高木 山林 社寺	萩山神社 500m'16 原城 510m'16 高森公園 770m'16 松岡謙子ヶ洞 500m'16 山の寺周辺 750m'16 新田謙助神社 620m'16 堂所橋南 725m'16	(因) 日本と台湾に分布。有用樹種として植林 木曾五木の一種 加工が容易な上に緻密で狂いがなく、強い芳香を長期にわたって発する。
サワラ <i>Chamaecyparis pisifera</i>	常緑針葉高木 山地 河岸	大島川本沢 1080m'17 大島川本沢 1150m'17 大島川干水ノ沢 1170m'16 本高森山登山路 1330m'16 前高森山~吉田山 1410m'16 林道小沼一大沢線 780m'16	(因) 岩手県から九州各地にかけての山地に自生。木曾五樹木の一つ。町内では天竜川支流の河川敷などに自生。
スギ <i>Cryptomeria japonica</i>	常緑針葉高木 山地 社寺	萩山神社 500m'16 胡麻目川沿い 505m'16 山吹・市田ウォーキングコース 470m'16 中学校南・唐沢洞 480m'16 林道小沼一大沢線 1050m'16 山吹駅北方眼球崖 460m'16	(因) 本州北端から屋久島まで自生する。有用樹種として各地にも広く造林。沢沿いなど比較的水分と栄養分に富む環境を好む傾向がある。
ネズミサシ <i>Juniperus rigida</i>	常緑針葉小高木 山地	山の寺キヤンパ場 880m (1133) '16 駒場子安神社 470m (4056) '16 松岡城址東側 450m-550m'16 吉田山山頂 1450m'16 山吹公園 480m'16	日本では東北以南の日当たりの良い丘陵や花崗岩地に自生。和名はネズの硬い針葉をネズミ除けに使っていたこと。庭木、生垣、盆栽に活用。
<b>■イチイ科 Taxaceae</b>			
イチイ <i>Taxus cuspidata</i>	常緑針葉高木 丘陵 山地	山吹駅北方段丘 480m'16 田沢・田沢川南側 670m'16 林道小沼一大沢線 920m'16 不動滝直上 1060m'16 牛牧浄化センター南斜面 520m'16 駒場子安神社 470m'16	まっすぐに伸びる幹と綺麗な円錐形を保つ樹姿が美しく、和風庭園の木、生垣、植込込みの定番。赤い実の果肉(仮種皮)は甘く、食用や果実酒用となる。
カヤ <i>Torreya nucifera</i>	常緑針葉高木 丘陵 山地	山吹・市田ウォーキングコース 440m (3939) '16 駒場子安神社 470m (4021) '16 寺沢川沿い 470m (4085) '16 竜口八幡神社 460m (4095) '16 白髭神社 (4921) '17	暖帯林に生育し、屋敷林としても大木が存在する。材は基盤、将棋盤の素材として最上級のものであることは広く知られている。
<b>■イヌガヤ科 Cephalotaxaceae</b>			
イヌガヤ <i>Cephalotaxus harringtonia</i> var. <i>harringtonia</i>	常緑針葉小高木 山地	駒場~新田の山道 550m (3363) '16 南大島川北斜面 530m (4025) '16 駒場子安神社 470m (4060) '16 寺沢川沿い 470m (4084) '17 林道吉田線 710m (4776) '17	樹高は 6~10m で稀に 15m に。樹皮は暗褐色で、縦に浅く裂けず剥がれる。果実は苦くて食べれない 夏緑広葉樹林などに生育する。耐陰性が強い。
ハイイヌガヤ <i>Cephalotaxus harringtonia</i> var. <i>nana</i>	常緑針葉小高木 日本海側の山地	駒場南信州支所付近 500m (2010) '16 牛牧役人平側 725m (3028) '16 山の寺境内 775m'16 山吹駅北方段丘 460m'16	(因) イヌガヤが北海道、本州の日本海側の多雪地帯に適応した変種。積雪に適応して幹の下部が地を這い、枝は斜上し、高さは 1~2m ほど。
<b>■マツバサ科 Schisandraceae</b>			
シキミ <i>Illicium anisatum</i>	常緑広葉小高木 神社 墓地	新田原 570m (2287) 本学神社 680m (2342) '16 出原中里 640m (3011) '16 萩山神社 500m (4128) '17 山吹・新田原 580m (5187) '16 湯ヶ洞周辺 660m'16	暖温帯性 分布(宮城・石川以西) 種子は有毒、神木、用途は線香、抹香。
サネカズラ <i>Kadsura japonica</i>	常緑つる性木本 山野	下市田 4区洞 475m (2197) '16 黒沢川順礼沢 500m (4021) '16 南大島川北斜面 530m (4048) '16 萩山神社 500m (4144) '16 下市田保育園北側 430m'16 山吹・小沼 466m'16	RL(環ノ県VU) 暖温帯性 分布(関東以西) 別名「ビナンカズラ」は昔つるから粘液をとって整髪料に使われていたことに由来する。
マツバサ <i>Schisandra repanda</i>	落葉つる性木本 山地	林道出原線起点 740m (2149) '16 前高森山登山路 1275m (2640m) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2741) '16 不動滝駐車場 1060m (3103) '16 山吹・増野 700m (4623) '17	和名の由来は、樹皮がマツに似ていることと果実がブドウの房のように垂れ下がる様子から。別名「ウシブドウ」果実は薬用。
<b>■センリョウ科 Chloranthaceae</b>			
ヒトリシズカ <i>Chloranthus quadrifolius</i>	多年草 林床、草地	黒沢川順礼沢 490m (2693) '16 山吹・越田 570m'16 林道小沼一大沢線 1050m'16 山の寺水源地付近 850m'16 胡麻目川沿い 480m'16 林道不動滝線 780m'16	高さは 10~30cm。葉は 4 枚が輪生状に付き、花期は 4~5 月で、茎の先に 1 本の穂状花序を出し、ブラシ状の小さな白い花をつける。別名「ヨシシズカ」。
フタリシズカ <i>Chloranthus serratus</i>	多年草 林床、草地	林道小沼一大沢線 1050m (1954) '16 林道吉原線 1080m (6021) '17 山の寺哲學の道 770m'16 高森公園 770m'16 林道不動滝線 800m'16	和名は、2 本の花序を、能楽「二人静」の静御前とその亡霊の舞姿にたとえたもの。花序 1 本のヒトリシズカと対を成す。ただし、花序は 3~4 つく例もある。
<b>■ドクダミ科 Houttuynia cordata</b>			
ドクダミ <i>Houttuynia cordata</i>	多年草 林床、日陰	松岡城址間ヶ沢 500m (5155) '17 林道弓矢沢線 760m (5495) '17 吉田城址 547m'17 泰山神社 500m'16 新田・青木ヶ沢 710m'16 山吹・正木 635m'16 高森公園 770m'16	住宅周辺や道ばたなどに自生し半日陰地を好む。別名「ジュウヤク」で民間薬として利尿、高血圧、動脈硬化の予防作用などがある。
<b>■ウマノスズクサ科 Aristolochiaceae</b>			
ウマノスズクサ <i>Aristolochia debilis</i>	つる性の多年草 草地 荒地 土手	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1209) '16	RL(環ノ県VU) 和名の由来は、葉が馬の顔の形に、花の球形部分が馬の首に掛かるような形に似ていることから命名されたという。ジャコウアゲハなどの幼虫の食草。
ウスバサイシン <i>Asarum sieboldii</i>	多年草 林床、林縁	山の寺参道 800m'16	名の由来は他のカンアオイ属より葉が薄いため「薄葉」、細い根は辛味があることから「細辛」で薄葉細辛となったという。
<b>■モクレン科 Magnoliaceae</b>			
コブシ <i>Magnolia kobus</i>	落葉小高木~高木 山地	駒場~新田線 530m (2052) '16 下市田 4区洞 475m (2196) '16 高森町登山路 1220m (3605) '16 湯ヶ洞海道北斜面 490m (4553) '17 高森カントリークラブ西側 880m (4860) '17	早春に他の木々に先駆けて白い花をいっぱい咲かせる。果実は集合果で、にぎりこぶし状のデコボコがある。この果実の形状が名前の由来。
ホオノキ <i>magnolia obovata</i>	落葉高木 山地	胡麻目川沿い 505m'16 やすらぎ荘北西の沢 540m'16 山吹・市田ウォーキングコース 470m'16 山吹・越田 570m'16 松岡城址間ヶ沢 480m'16 高森公園 770m'16	(因) 大きくなる木で、樹高 30m、直径 1m 以上になるものもある。公園樹 街路樹 彫刻材 別名「ホウガンバ」。
タムシバ <i>Magnolia salicifolia</i>	落葉小高木 山地	前高森山登山路 1060m (2629) 吉田山~山の寺 1000m-1245m (3765) '16 本高森山登山路 1230m	(因) 別名を「ニオイコブシ」といい、花には芳香がある。早春に白い 6 弁花を葉に先立って咲かせる。伊那谷ではコブシより高所に生える。
<b>■クスノキ科 Lauraceae</b>			
ヤマコウバシ <i>Lindera glauca</i>	落葉小高木 山地	山吹 500m (4478) '17 湯ヶ洞海道北斜面 490m (4549) '17 胡麻目川沿岸 520m (5135) '17 牛牧浄化センター南斜面 520m'16 萩山神社 500m'16 子安神社 470m'16	和名は、枝を折るとよい香りがするから。葉柄は短い。冬も枯葉が枝に残る。
ダンコウバイ <i>Lindera obtusiloba</i>	落葉小高木 山地	山吹・増野 700m (4614) '17 林道吉田線 820m (4746) '16 高森カントリークラブ西側 880m (4857) '16 山吹・増野 700m (4956) '17 林道弓矢沢線 1050m (5257) '17	分布(新潟、関東以西) 別名「ウコンバナ」「シロジシャ」材に芳香あり。
アブラヤシ <i>Lindera praecox</i>	落葉低木~小高木 山地	林道弓矢沢線 950m (1143) '16 林道小沼一大沢線 775m (1906) '16 林道不動滝線床波沢駐車場 975m (3122) '16 山の手南側 850m (3801) '16 林道吉原線 1080m (6019) '17	別名「ムラダチ」「ジシャ」 早春に黄色い花を咲かせる。
ミヤマクロモジ <i>Lindera sericea</i> var. <i>glabrata</i>	落葉低木 山地	林道不動滝線上駐車場 970m (2811) '17 林道吉原線 1080m (6008) '17 牛牧役人平 725m (3031) '16 林道弓矢沢線 900m (5287) '17 大島川本沢 1080m (5306) '17	裏面の葉脈がはっきり隆起する。これに対し、クロモジは裏面の葉脈がほとんど隆起しない。
オオバクロモジ <i>Lindera umbellata</i> var. <i>membranacea</i>	落葉低木 山地	大島川本沢 1080m (5375) '17	クロモジより葉が大きく長さ 10 センチほど。分布(中部地方以東、北海道)
クロモジ <i>Lindera umbellata</i> var. <i>umbellata</i>	落葉低木 山地	林道小沼一大沢線 775m (1908) '16 林道出原線起点 740m (2153) '17 大島川干水ノ沢 1200m (2515) '16 牛牧役人平 725m (3025) '16 竜口八幡神社 460m (4972) '16	材に特有な香気があり、楊枝や箸、細工物に使う。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ショウブ科 <i>Acoraceae</i></b>			
ショウブ <i>Acorus calamus</i>	多年草 湿地	寺沢川沿い 490m'16 唐沢川河口 442m'16	湿地や休耕田などにはえる。草全体に香りがあり、5月の節間に軒下に飾ったり、菖蒲湯として用いられる。
セキショウ <i>Acorus gramineus</i>	常緑多年草 河川、溪谷	寺沢川岸 470m (4907) '17 胡麻目川沿い 505m'16 松岡城址鏡子ヶ洞 500m'16 中学校南・唐沢洞 480m'16 ほとるパーク山吹西側 440m'16 山吹駅付近 439m'16	ショウブより小形の常緑多年草。やや小柄な深緑色の草で、溪流沿いにはえる。
<b>■サトイモ科 <i>Araceae</i></b>			
ヤマザトマシグサ <i>Arisaema galeiforme</i>	多年草 林縁	山の寺キャンプ場 875m (5069) '17 弓矢沢橋付近 650m (5123) 胡麻目川沿い 520m (5140) '17 山吹・新田原 580m (5205) '17 林道小沼・大沢線 1000m (5210) '17	(固) 仏炎苞は筒部は淡色、苞部は濃紫色でヘルメット状にふくらみ、横に広がる。付属体は棒状で濃紫色、苞部に隠れて見にくい。
キタマシグサ <i>Arisaema peninsulense</i> subsp. <i>boreale</i>	多年草 林縁	不動滝 1060m (5047) '17 林道小沼・大沢線 1000m (5209) '17 弓矢沢橋付近 650m (5111) '17 山の寺薬草園付近 921m (6275) '18 林道弓矢沢線 1050m (6900) '19	(固) 仏炎苞は緑色で縦の筋があるかまたは不明。仏炎苞基部はヘルメット状に膨らみ、白条が広がって半透明になる。
スルガテンナンショウ <i>Arisaema yamatense</i> subsp. <i>sugimotoi</i>	多年草 林縁	増野大沢川沿い 770m (3321) '16 駒場・新田線 550m (3366) '16 山吹・正木 635m (3436) '16 中学校南・唐沢洞 480m (3481) '16 山の寺キャンプ場 875m (4440) '17	(固) 仏炎苞基部内側は乳頭状の細突起があり、白っぽく見える。付属体先端はやや前屈し、球状にふくらむ。
アオウキクサ <i>Lemna aoukikusa</i> subsp. <i>aoukikusa</i>	1年草 浮遊植物 水田	寺沢川沿い 480m (6762) '19	浮遊植物で、湖や水田の水面に群生する。日本全国の湖沼や水田などに分布。
カラスビシャク <i>Pinellia ternata</i>	多年草 道端 荒れ地	松岡城址東斜面 470m'16 山吹・正木 635m'16 山吹駅周辺 460m'16 松岡城址間ヶ沢 500m'16	道端や畑地に自生する多年草で、畑では雑草になる。ウランソウを小さくしたような花序の姿である。
ウキクサ <i>Spirodela polyrhiza</i>	一年草 水田 溝	松岡城址間ヶ沢 (長野県植物研究会誌 52号) '17 出原小胡桃沢沿い 600m (6949) '19	水田の雑草として水面に浮いている雑草。水流があると流されてしまうため、水流のない水田溜池などに生育する。
ザゼンソウ <i>Symplocarpus renifolius</i>	多年草 山地の湿地	山吹マレットゴルフ場下 780m (6328) '18 新田・青木ヶ沢 720m (6478) '18 高森カントリークラブ北側 800m'16 高森カントリークラブ東側 740m'16 新田・青木ヶ沢 710m'16	別名「ダルマソウ」花の姿を座禅を組んだ達磨大使に見立てての名である。種子は野ネズミに食害されるが、種子はそれによって散布される。
<b>■オモダカ科 <i>Alismataceae</i></b>			
ヘラオモダカ <i>Alisma canaliculatum</i>	多年草 湿地 水田 溝	下市田工業団地東河原 420m (1047) '16 やすらぎ荘北 430m (1245) '16	湿生植物、または抽水植物として生育。短い茎からヘラ状の葉を根生。花は7-9月に白色3弁の花をつける。
サジオモダカ <i>Alisma plantago-aquatica</i> var. <i>orientale</i>	多年草 湿地	下市田工業団地東河原 420m (1101) '16	RL (環 / 県 CR) 湿生植物、または抽水植物として生育する。短い茎から楕円形の葉を根生し、花期は7-9月。
ウリカワ <i>Sagittaria pygmaea</i>	多年草 水生植物 水田	牛牧大東 610m (6957) '16 山吹・竜口 445m (7015) '19	RL (環 / 県 VU) 水田雑草として知られる。日本や中国などの東アジアに分布。水田や湿地に生息している。
オモダカ <i>Sagittaria trifolia</i>	多年草 湿地 水田 溝	市田郵便局西方 450m (1018) '16 高森浄化センター西方 420m (1041) '16 やすらぎ荘北方 430m (1246) '16 ほとるパーク山吹西側 440m (1446)	水田や湿地、ため池などに自生。花は単性花で、雌雄同株、白い花弁を3枚つける。地中に伸びた地下茎の先に塊茎をつけ、それによって繁殖。
<b>■トチカガミ科 <i>Hydrocharitaceae</i></b>			
スプタ <i>Blyxa echinosperma</i>	1年草 荒れ地 水田	カインズ西方 435m (2901) '16 下市田親水公園 415m'16	RL (環 VU / 県 EN) かつては水田、ため池、流れの緩やかな浅い水路や溝に生育。現在では、農薬の使用や乾田化や夏季の水落しなどで減少。
コカナダモ <i>Elodea nuttallii</i>	多年草 沈水植物 河川	市田郵便局西方 450m (1016) '16 万年橋付近 442m (3385) '16 山吹沢川 (5809) '17 下市田・江戸ヶ沢川 414m (5832) '17 ほとるパーク山吹西側 440m'17	(婦) 生態系被害防止外来種 北アメリカ原産 線形の葉は、基部では対生となり上部では3輪生。5~10月に白い花を咲かせる。異常に繁殖することで、生態系に悪影響を与える。
<b>■ヒルムシロ科 <i>Potamogetonaceae</i></b>			
エビモ <i>Potamogeton crispus</i>	多年草 沈水植物 河川	江戸ヶ沢川 414m (5831) '17	小川などの流水中に生え、群落を作る。地下茎から水中茎を伸ばし、縮れた線形の沈水葉をつける。
ヒルムシロ <i>Potamogeton distinctus</i>	多年草 河川 池沼	ほとるパーク山吹西側溝 440m (1442) '16	浮遊性水草。日本全土の湖沼や河川などの水中にはえる。沈水葉は細長く、浮葉は長楕円形~長楕円がある。
<b>■キンコウカ科 <i>Nartheciaceae</i></b>			
ノギリラン <i>Metanarthecium luteoviride</i>	多年草 山地	林道弓矢沢線 780m (1175) '16 林道吉原線 960m (5627) 林道弓矢沢線 780m (1175) '17 高森カントリークラブ東側 740m 林道 '16 新田・青木ヶ沢 710m'16	(固) 根生葉は10枚ほどでロゼット状 初夏、葉の間から高さ30センチメートルほどの花茎を伸ばし、茎頂に10個ほどの花をつける。
<b>■ヤマノイモ科 <i>Dioscoreaceae</i></b>			
タチドコロ <i>Dioscorea gracillima</i>	つる性多年草 山地	新田・青木ヶ沢 710m (3160) '16 山の寺境内 770m (1415) '16 林道出原線終点 910m (2954) '16	葉は互生で三角状。卵形葉がオニドコロに似ているが、葉の中心がオニドコロよりもやや狭く、また葉の基部が少し横に張り出している。
ヤマノイモ <i>Dioscorea japonica</i>	つる性多年草 山地	下市田工業団地東河原 420m (1063) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m (1875) '16 山吹・下平 440m (5014) '17 林道小沼・大沢線 920m (5748) '17	葉は対生で長卵形で先が尖る。葉のわきにムカゴをつける。多肉根は食用 別名「ジネンショウ」
ナガイモ <i>Dioscorea polystachya</i>	つる性多年草 山地	太白公園 - 不動滝 (長野県研究会誌 51号) '17	(婦) 中国原産。古い時代に渡来。ヤマノイモによく似ているが、茎や葉柄はふつう紫色を帯びる。葉は厚く、基部が左右に大きくはりだす。
カエデドコロ <i>Dioscorea quinquelobata</i>	つる性多年草 山地	松岡城址間ヶ沢 475m (5890) '17	(固) 葉が明らかに3裂(葉の基部が明瞭に横に張り出す)しているが、掌状に5-9浅裂~中裂している。
オニドコロ <i>Dioscorea tokoro</i>	つる性多年草 山地	山の寺境内 770m (1418) '16 林道小沼・大沢線 775m (1919) '16 山吹・新田原 570m (2310) '16 黒沢川順礼沢 520m (4884) '17 山吹・新田原 580m (5200) '17	葉は対生し、円形または三角状心形 下部の葉が掌状に浅裂しているのが大きな特徴 別名「トコロ」
<b>■シュロソウ科 <i>Melanthiaceae</i></b>			
ショウジョウバカマ <i>Helioopsis orientalis</i>	多年草 湿地や溪流沿い	出原二又沢橋付近 640m (2132) '16 林道吉原線終点 870m (4724) '17 高森カントリークラブ東側 740m'16 大丸山公園北斜面 530m'16 山の寺キャンプ場 880m'16	早春に木陰の湿地で開花。和名は花色を狸々の顔の色に根生葉を袴にみたてたもの。古い葉の先から苗ができる。
ツクバネソウ <i>Paris tetraphylla</i>	多年草 深山の林床	本高森山登山路 1360m (3658) '16 林道不動滝線 980m (3736) '16 不動滝直上 1360m'16 前高森山登山路 1565m'16	亜高山帯 - 高山帯の湿った草地や明るい林床に生える多年草で日本固有種 葉は茎の先端に4枚輪生。
エンレイソウ <i>Trillium apetalon</i>	多年草 深山の林床	本高森山登山路 (1386) '16 南大島川干ノ沢 1200m (2496) '16	春、茎頂から1本の花茎を出し、径約2cm、褐紫色~緑色の花を1個つける。花弁はなく、花弁のように見えるのは、萼片である。
ミヤマエンレイソウ <i>Trillium tschonoskii</i>	多年草 深山の林床	山の寺キャンプ場 875m (4940) '17 山の寺境内 800m'16	葉は3枚輪生 花は3枚の外花被片は緑色、内花被片は白色 別名はシロバナエンレイソウ
<b>■イヌサフラン科 <i>Colchicaceae</i></b>			
ホウチャクソウ <i>Disporum sessile</i> var. <i>sessile</i>	多年草 山地や丘陵の林床	黒沢川順礼沢 490 (2690) '16 山の寺水源付近 850m (2830) '16 山吹・正木 635m (3440) '16 松岡城址鏡子ヶ洞 500m (3526)	花の形が寺院や五重塔の軒に下がっている宝篋に似ている。雑木林などの樹間のひらけた場所に群生する。
チゴユリ <i>Disporum smilacinum</i>	多年草 山地や丘陵の林内・林縁	本高森山登山路 1085m (1361) '16 太白公園 635m (2096) '16 駒場・新田線 550m (3383) '16 林道二又沢線終点 690m'17 田沢・田沢大橋西側 750m'16 高森カントリークラブ付近 960m (1553) '16	和名は「稚児ユリ」で、その姿が小さく可愛いことによる。エタウチチゴユリも含む。
<b>■サルトリイバラ科 <i>Smilacaceae</i></b>			
サルマメ <i>Smilax biflora</i> var. <i>trinervula</i>	落葉少低木 山地や丘陵	山吹・小沼 460m (4375) '17 林道吉原線終点 870m (4729) '17 月夜平 660m'17 太白公園 640m'16 越田原 760m'16 吉田山山頂 1450m'16 新田原 570m'16	サルトリイバラのミニタイプであるが、刺はない 秋に小さな赤い実をつける
サルトリイバラ <i>Smilax china</i>	落葉つる性木本 林内・林縁	出原二又沢橋付近 640m (2120) '16 田沢・田沢大橋西側 750m (2236) '16 高森カントリークラブ東側 740m (3425) '16 林道不動滝線 800m (3716) '16 林道弓矢沢線 1050m'17	山地の林縁に生える落葉つる性半低木。枝に刺が散生する。刺と葉柄の巻きひげでからみついて、茎を伸ばす。果実は紅色に熟す 根茎は薬用。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■サルトリイバラ科 Smilacaceae</b>			
タチシオデ <i>Smilax nipponica</i>	多年草 山地や丘陵の林内・林縁	山の寺キャンプ場 880m (1793) '16 新田原 570m (2303) '16 増野大沢川沿岸 715m (2612) '16 林道出原線 880m (2942) (2942) '16 山吹・新田原 580m (5193) '17	シオデに似るが、葉は薄く光沢がなく、裏面は粉白色を帯びる。茎ははじめは直立。山菜
オオバタチシオデ <i>Smilax nipponica</i>	多年草 山地や丘陵の林内・林縁	駒場子安神社 545m (6489) '17	タチシオデに似ているが、葉の幅が広い。
ホソバタチシオデ <i>Smilax nipponica f.tenuifolia</i>	多年草 山地や丘陵の林内・林縁	南大島川順礼沢 520m (4893) '17 増野・大沢川沿い 715m (2596) '16	タチシオデに似ているが、葉の幅が狭く、基部が楔形になる。山菜
シオデ <i>Smilax riparia</i>	多年草 山地や丘陵の林内・林縁	山の寺境内 770m (1412) '16 山吹・下平 470m (2469) '16 駒場・新田原 530m (2047) '16 高森公園 770m (3238) '16 黒沢川順礼沢 520m (4883) '17 泰山神社 500m '16	草木に絡まって伸びる。若い茎は山菜として利用。シオデはつるが出るのと他のものに絡むが、タチシオデはしばらく絡まないで上に伸びる。
ホソバシオデ <i>Smilax riparia</i>	多年草 山地や丘陵の林内・林縁	山吹・新田原 580m (5186) '16	葉の細いシオデの種類 山菜
ヤマカシウ <i>Smilax sieboldii</i>	落葉つる性木本 林内・林縁	山の寺境内 770m (1416) '16 太白公園 635m (2084) '16 田沢大橋西側 750m (2261) '16 林道吉田線終点 870m (4715) '17 林道小沼・大沢線 1050m (1948) '16	果実は藍黒色に熟す。茎は細くて稜があり刺が多い。別名「サイカチバラ」
マルバサンキライ <i>Smilax stans</i>	落葉小形低木 林内・林縁	本高森山登山路 (1375) '16 太白公園 - 不動滝 (長野県植物研究会誌 51 号) '17	サルトリイバラと似ているが、茎は刺がなく直立して高さ 50cm ほど。葉は卵形で、下面は白色を帯びる。
<b>■ユリ科 Liliaceae</b>			
アマナ <i>Amara edulis</i>	多年草 野原、土手	山吹・小沼 460m (4366) '17 やすらぎ荘北西の土手 540m '16	RL(環ノ県 VU) 春早く花をつけて結実する「春の妖精」の類。和名は球根が甘いから。
ウバユリ <i>Cardiocrinum cordatum</i>	多年草 林内・林縁	山吹・市田ウォーキングコース 442m '16 寺沢川沿い 480m '16 原城 510m '16 胡麻目川沿い 505m '16 松岡城址東斜面 470m '16 林道不動滝線 1060m '16	分布(宮城・石川以西の西南日本) もっと多くの花をつけるオオバユリは中部地方以北に分布。
カタクリ <i>Erythronium japonicum</i>	多年草 林内・林縁	牛牧上平 730m (6253) '18 山の寺境内 880m '16	山野によく群生。「春の妖精」といわれる象徴的な種。昔は鱗茎からデンプン粉を採取。
ヤマユリ <i>Lilium auratum</i>	多年草 草地・崖地・林縁	松岡城址銚子ヶ洞 520m '16 新田諏訪神社 620m '16	RL(環ノ県 NT) (固) 分布(近畿以北、伊那谷では天竜川の東側に多い。) 花は大輪で日本を代表する種
タカサゴユリ <i>Lilium formosanum</i>	多年草 居住地・草原	山吹・小沼 468m (5603) '17 太白公園 630m (5703) '16 新田・高森カントリークラブ山道 670m '16 南小学校周辺 527m '16 南大島川川上橋付近 '16	(帰) 台湾が原産 繁殖力が旺盛で、種子からよく増えて、分布を広めている。テッポウユリによく似る。
シンテッポウユリ <i>Lilium ×formolongo</i>	多年草 居住地・草原	太白公園 - 不動滝 (長野県植物研究会誌 51 号) '17	(帰) タカサゴユリと材在のテッポウユリの交配種。生態系被害防止外来種
ササユリ <i>Lilium japonicum</i>	多年草 草地 林間	山の寺境内 770m '16 本高森山登山路 1230m '16	RL(環ノ県 NT) 長野県の準絶滅危惧種 (固) ヤマユリと同様に日本を代表する種 分布(中部地方以西)
オニユリ <i>Lilium lancifolium</i>	多年草 野原 植栽	高森カントリークラブ東側 770m '16	人里近くに生える。古く中国から渡来されたもの。葉のわきにムカゴがつく。茎は紫色を帯びる。
コオニユリ <i>Lilium leichlinii f. pseudotigrinum</i>	多年草 湿り気のある山地	山吹・正木 570m (6685) '18	オニユリに比べて、小形で、茎は緑色、ムカゴをつけない。りん茎は食用にされる。
タケシマラン <i>Streptopus streptopoides subsp. japonicus</i>	多年草 深山の針葉樹林	本高森山登山路 1220m (3619) '16 本高森山登山路 1865m '16	分布(中部地方以北) 初夏、一個ずつ淡赤褐色の小花を下向きつけ、秋に球形の実が赤熟す。
ヤマジノホトギス <i>Tricyrtis affinis</i>	多年草 林縁 草地	泰山神社 500m (1516) '16 胡麻目川南側沿岸 530m (1674) '16 田沢大橋西側 750m (2222) '16 本高森山登山路 1360m (3657) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5475) '17	花被片は平に開き、反り返らない。
タマガワホトギス <i>Tricyrtis latifolia</i>	多年草 山地の湿った地	大島川本沢 1080m (5324) '17 大島川干水ノ沢 1170m '16 本高森山登山路 1560m '16 不動滝駐車場 1060m '16	冷温帯に生育で黄色い花をつける。
ヤマホトギス <i>Tricyrtis macropoda</i>	多年草 深山の針葉樹林	松岡城址銚子ヶ洞 520m (2434) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2499) '16 胡麻目川沿い 500m (2701) '16 本高森山登山路 1360m (3670) '16 林道吉田線 710m (4774) '17	ヤマジノホトギスによく似るが、花被片が反り返るので区別できる。
<b>■ラン科 Orchidaceae</b>			
エビネ <i>Calanthe discolor</i>	多年草 常緑広葉樹林下	下市田段丘 520m (6165) '16	RL(環ノ県 NT) ラン科の常緑多年草。地下の偽球茎は太く連なる。名はその形をエビに見立てたもの。5月に葉間から花茎を出し多数の花をつける。
ギンラン <i>Cephalanthera erecta</i>	多年草 丘陵や山地の林下	高森公園 770m '16 本高森山登山路 1220m '16	RL(環ノ県 NT) 「菌根菌」と呼ばれる菌類と共生する。
キンラン <i>Cephalanthera falcata</i>	多年草 丘陵や山地の林下	本高森山登山路 1230m '16	RL(環ノ県 NT) 菌類と共生しているため、移植は難しい。
ササバギンラン <i>Cephalanthera longibracteata</i>	多年草 丘陵や山地の林下	高森公園 770m (3237) '16	葉はササの形をしており、花穂より高くなる。ギンランよりやや大きめ。
サイハイラン <i>Cremastra appendiculata var. variabilis</i>	多年草 丘陵や山地の林下	黒沢川順礼沢 510m (4115) '17	地中にラッキョウ大の偽球茎がある。和名は花茎を昔戦場で使った米配にみたてたもの。
シュンラン <i>Cymbidium goeringii</i>	多年草 丘陵や山地の林下	萩山神社 500m '16 山吹・市田ウォーキングコース 420m '16 駒場・新田原 550m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16 新田原 570m '16 山吹子安神社 '16 胡麻目大橋付近 470m '16	早春に開花 観賞用に栽培
ミヤマウスラ <i>Goodyera schlechtendaliana</i>	多年草 丘陵や山地の林下	山吹・市田ウォーキングコース 420m (3259) '16 大丸山公園北斜面 (1728) '16	8～9月、茎は 20cm ほどになり、花茎に 10 個ほどの桃色の小花が、鳥が翼を広げたような形でつく。
シュスラン <i>Goodyera velutina</i>	多年草 丘陵や山地の林下	山吹・市田ウォーキングコース 420m '16 丸山公園北斜面 515m '19	里山の照葉樹林下や落葉樹林下などに生え、落ち葉に包まれるように葉を広げて群生。普通の草花のようで、ツクサを思わせる。
ジガバチソウ <i>Liparis krameri var. krameri</i>	多年草 丘陵や山地の林下	前高森山山頂 1634m '16 下市田 4 区洞 470m '16 松岡城址銚子ヶ洞 460m '17	初夏、暗紫褐色の花を数個まばらにつける。草姿は近縁のクモキリソウに似るが、唇弁の先端が尾状にとがるのが特徴である。
クモキリソウ <i>Liparis kumokiri</i>	多年草 丘陵や山地の林下	出原中里 640m (1997) '16 松岡城址銚子ヶ洞 510m (2674) '16 弓矢池橋 650m (5107) '17 大島川干水ノ沢 1200m (2746) '16 前高森山 - 吉田山 1310m (3760) '16	山地の疎林の林下などに生育する。葉は茎の基部に 2 枚が対してつき、花茎を直立させ、先端に 5～15 の花を総状につけ、下方から開花していく。
コケイラン <i>Oreorchis patens</i>	多年草 山地の林下	不動滝周辺 1060m (5043) '17	RL(環ノ県 NT) 山林下の岩上や朽木の上に生える。2 枚の葉が向き合ってつき、クモキリソウによく似るが、葉脈の間に横脈がうきでるのが特徴。
オオバトンボソウ <i>Platanthera minor</i>	多年草 山地の林下 草地	本学神社北斜面 680m (2861) '16	RL(環ノ県 NT) 暖温帯の日当たりのよい低山や丘陵の疎林内に生育。花期は 6～7 月。総状花序に黄緑色の花を 10～25 個まばらにつける。
ネジバナ <i>Spiranthes sinensis var. amoena</i>	多年草 芝地 土手	本学神社北斜面 680m '16 不動滝駐車場 360m '16 越田原 760m '16	花色は通常桃色で小さな花を多数細長い花茎に密着させるようにつけるが、その花が花茎の周りに螺旋状に並んで咲く「ねじれた花序」が和名の由来。
<b>■アヤメ科 Iridaceae</b>			
ヒメヒオウギスイセン <i>Crocasmia × crocosmiiflora</i>	多年草 人家周辺	追分・正木 692m (6937) '19	(帰) ヒオウギスイセン(英語版) <i>Crocasmia aurea</i> とヒメヒオウギ(スペイン語版) <i>ii</i> の交配種。生態系被害防止外来種
シャガ <i>Iris japonica</i>	多年草 人家周辺の木陰	黒沢川順礼沢 520m (4891) '17 林道不動滝線 960m '17 下市田 4 区洞 470m '16 林道弓矢池線 850m '16 萩山神社 500m '16 松岡城址間ヶ沢 470m '16	(帰) 中国原産で、かなり古くに日本に入ってきた。開花期は 4～5 月ごろで、白っぽい紫色に似た花をつける。花弁に濃い紫と黄色の模様がある。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■アヤメ科 <i>Iridaceae</i></b>			
キショウブ <i>Iris pseudacorus</i>	多年草 池沼	山吹駒場 500m'16	(帰) 西アジアからヨーロッパ原産の植物で、明治頃から栽培されていたものが日本全国の水辺や湿地、水田脇に野生化している。生態系被害防止外来種
アヤメ <i>Iris sanguinea</i>	多年草 草地	山吹・市田ウォーキングコース 420m	アヤメの多くが山野の草地に自生、他のアヤメ属の種であるノハシヨウブやカキツバタのように湿地に生えることは、まれ。
ニワゼキショウ <i>Sisyrinchium rosulatum</i>	1年草 芝生 草地	下市田親水公園 420m (3173) '16	(帰) 花期は5月-6月で、直径5mmほどの小さな花を咲かせる。花色は白のものと赤紫のものがあがり、花は受精すると、一日でしぼんでしまう。
<b>■ススキノキ科 <i>Xanthorrhoeaceae</i></b>			
ユウスゲ (キスゲ) <i>Hemerocallis citrina</i> var. <i>vespertina</i>	多年草 川岸	大沢川沿岸 475m'16 高森公園 800m (6709) '18 胡麻目川付近 438m (7093) '19 大丸山公園北側 540m (7109) '19	RL(環ノ県NT) 夏、高さ1m内外の花茎を立て、数個の花をつける。花は長さ10cm内外、漏斗形で淡黄色、夕暮れの山野に咲く花姿がうわい。
ノカンゾウ <i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>disticha</i>	多年草 山麓 林縁	萩神社 500m'16 胡麻目川沿い 505m'16 山吹・市田ウォーキングコース 470m'16 駒場・新田線 550m'16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m'16 松岡城址 銚子ヶ洞 480m'16	ヤブカンゾウに似ているが、葉は細長く、花は一回咲きなので見分けられる。花は一日花で、朝開き夕方にはしぼむ。若芽は山菜として利用。
ヤブカンゾウ <i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>kwanso</i>	多年草 田の畔 雑木林の縁	山吹駅付近 439m'16 ほとるパーク山吹西側 437m'16 山吹・市田ウォーキングコース 442m'16 下市田親水公園 416m'16 吉田南城址 500m'16 下市田工場団地東 417m'16	(帰) 夏にたく強い茎を出し、八重の花をつけていく。花の形は百合(ユリ)に似ていて、橙色。なお、花は一日花で、朝開き夕方にはしぼむ。
<b>■ヒガンバナ科 <i>Amaryllidaceae</i></b>			
ノビル <i>Allium macrostemon</i>	多年草 土手 田の畔	山吹駅付近 439m'16 松岡城址 550m'16 山吹・市田ウォーキングコース 442m'16 駒場・新田線 550m'16 吉田南城址 500m'16 万年橋付近 '16 明神橋付近 430m'17	地下に白色球形の鱗茎をつける。花は普通は大部分が発達せず、球形で無柄のむかごに変化している。
アサツキ <i>Allium schoenoprasum</i> var. <i>foliosum</i>	多年草 栽培 野化	松岡城址 550m'16 大島山区民会館付近 650'16	ネギよりも色が薄く、食用とされるネギ類の中では最も細い葉を持つ。野草であり、山野で自生が見られる。葉や鱗茎を食用とするため、栽培される。
ニラ <i>Allium tuberosum</i>	多年草 栽培 畔や道端に野化	山吹・正木 626m (5543) '17 山吹田沢川 '17 万年橋付近 445m'16 南大島川上橋付近 440m'16 山吹・市田ウォーキングコース 455m'16	(帰) コリ科の緑黄野菜。原産地は中国で、わが国へは9世紀に伝わったといわれる。
ハナニラ <i>Ipheion uniflorum</i>	多年草 人里付近の土手、畔	胡麻目川沿い 505m (3581) '16 松岡城址間ヶ沢 500m'17	(帰) 明治時代に園芸植物として導入され、逸出し帰化。葉にはニラやネギのような匂いがある。生態系被害防止外来種
ヒガンバナ <i>Lycoris radiata</i>	多年草 人里付近の草地、畦、墓地	山吹駅付近 460m'16 ほとるパーク山吹周辺 440m'16 大島山区民会館周辺 650m'17 山の寺境内 780m'16	(帰) 有毒な球根性植物 秋の彼岸のころ、花茎を伸ばし、長い雄しべ・雌しべをもつ赤い6弁花を数個輪状につける。
ナツズイセン <i>Lycoris × squamigera</i>	多年草 人里付近の草地、畦	湯ヶ洞線 '16	(帰) 有毒な球根性植物 花期に葉がないことから別名「ハダカユリ」とも呼ばれる。
スイセン <i>Narcissus tazetta</i> var. <i>chinensis</i>	多年草 栽培 逸脱	大島山区民会館付近 660m'17	(帰) 有毒な球根性植物 原産地は主にスペイン、ポルトガルを中心に地中海沿岸地域。古くに渡来し、本州以南の比較的暖かい海岸近くで野生化。
<b>■キジカクシ科 <i>Asparagaceae</i></b>			
オランダキジカクシ <i>Asparagus officinalis</i>	多年草 栽培 逸脱	山吹・下平 440m (5012) '17 ほとるパーク山吹周辺 440m (6313) '18 南大島川沿い (6625) '18	(帰・逸) 栽培作物のアスパラガスのこと。繁殖は実生による。4月から5月にかけてが収穫時で、収穫できる株に仕上げるまでに2年から3年かかる。
ツルボ <i>Barnardia japonica</i>	多年草 林縁や堤防、草地等	松岡城址 550m'16 胡麻目川沿い 505m'16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m'16 大沢川沿い 475m'16 明神橋付近 420m'16 下市田工場団地東 410m'16 山吹駅周辺 460m'16	有毒な球根植物。葉は春に5-10枚の春葉が出て、これは夏に枯れる。その後初秋に2-3枚の葉が出る。
キヨスミギボウシ <i>Hosta kiyosumiensis</i>	多年草 丘陵や山地の湿地	松岡城址(長野県植物研究会誌 51号) '17	(帰) 葉は広披針形-長楕円形 大きさと葉脈数は産地によって違う。葉脚と茎がはっきりと区別できる。葉の表面は 光沢がなく 薄緑色。
イワギボウシ <i>Hosta longipes</i> var. <i>longipes</i>	多年草 山の湿った崖地や岩場	田沢川南岸 620m'16	観賞 食用 開花は8-9月と遅いこと、葉柄があり、葉は卵形で長さ10-15cmで、葉柄に紫褐色の斑点があるのが特徴
コバギボウシ(オモトギボウシ) <i>Hosta sieboldii</i>	多年草 日当たりのよい湿地	出原中里小胡桃沢 610m(1258) '16 出原二又沢橋付近 640m(2101) '16 大沢川沿い 469m(5594) '17 太白公園 630m(5717) '17 湯ヶ洞周辺 660m'16 山の寺・観音沢(長野県植物研究会誌 52号) '18	オオバギボウシにくらべて小形。葉の基部が次第に細くなり、葉柄との境が不明瞭。
オオバギボウシ <i>Hosta sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>	多年草 丘陵や山地の湿地	堂所橋南 725m'16 林道弓矢沢線 850m'16 萩原神社 460m'16 松岡城址 銚子ヶ洞 520m'16 市田・山吹ウォーキングコース 420m'16	観賞 食用 若い茎葉は東北地方でウレイと呼んで山菜にする。別名「トウキボウシ」
トクダマ <i>Hosta sieboldiana</i> var. <i>condensata</i>	多年草 栽培・逸出	松岡城址 銚子ヶ洞 520m (2442) '17	(栽培・逸出) ギボウシの変種で山陰地方に分布。鉢植えが可能なので園芸用として流通している。
ヒメヤブラン <i>Liriope minor</i>	常緑多年草 日当たりのよい草地	ほとるパーク山吹西側 437m'16 山吹・市田ウォーキングコース 442m'16 松岡城址 550m'16 胡麻目川沿い 505m'16 下市田4区洞 '16 湯ヶ洞線北斜面 490m'17	ジャノヒゲに似ているが、葉がやわらかく、花序は直立、種子は黒色。
ヤブラン <i>Liriope muscari</i>	常緑多年草 常緑樹の林縁や林床	胡麻目川沿い 530m (1668) '16 山吹・正木 626m (5539) '17 やすらぎ荘北西山麓 530m (5913) '17 萩神社南洞 480m'16 高森南小学校 527m'17	暖温帯性 分布(関東以西) 観賞用に庭園で栽培
マイヅルソウ <i>Maianthemum dilatatum</i>	多年草 山地の林床	本高森山登山路 1600m (3679) '16 高森町山頂 1890m'16 前高森山-吉田山 1490m'16 吉田山山頂 1450m'16	高さ20cmほどの小形の草本、白い花、赤熟した実が目立つ。
ユキザサ <i>Maianthemum japonicum</i>	多年草 山地の林床	本高森山登山路 1360m (3666) '16 本高森山登山路 1600m (3684) '16 吉田山-山の寺 1000m'16 前高森山登山路 1530'16	和名は「雪笹」の意で、花が白いので「雪」にたとえ、葉がササ(笹)に似た形状によることからという。
ムスカリ <i>Muscari neglectum</i>	多年草 栽培 庭園 土手	大島山区民会館付近 650m'17 松岡城址間ヶ沢 500m'17 月夜平 660m'17	(栽培・逸) 丸い壺形の小花が、ブドウの房のように密集して咲く。
ジャノヒゲ <i>Ophiopogon japonicus</i>	常緑多年草 林床	萩神社 500m'16 寺沢川沿い 480m'16 原城 510m'16 胡麻目川沿い 505m'16 山吹駅北 480m'16 山吹・市田ウォーキングコース 460m'16 山の寺境内 760m'16	長さ20cmほどの細い葉で株立ち、淡紫色の花、青く熟す種子
ナガバジャノヒゲ <i>Ophiopogon japonicus</i> var. <i>umbrosus</i>	常緑多年草 林床	駒場支所付近 500m'16 山吹・市田ウォーキングコース 470m'16 原城 510m'16 寺沢川沿い 480m'16 胡麻目川沿い 480m'16	長さ40cmほどの細い葉で株立ち
オオバジャノヒゲ <i>Ophiopogon planiscapus</i>	常緑多年草 林床	出原二又沢橋付近 640m (2123) '16 田沢大橋西側 750m (2220) '16 山吹駅北段丘 460m (4074) '17 竜口八幡神社 460m (4093) '17	林下の日陰に群生 ジャノヒゲに比べて葉が広く花茎が大きく、花は白色なので区別しやすい。
オオアマナ <i>Ornithogalum umbellatum</i>	多年草 栽培植物 逸出して野生	松岡城址 560m (6805) '19	(帰) 欧州からアジア南西部が原産。名はアマナに似ていることに由来するが、アマナと異なり有毒植物の為注意が必要。
ナルコユリ(ホソバナナルコユリ) <i>Polygonatum falcatum</i>	多年草 草原 林床	胡麻目川沿い 500m'16 本高森山登山路 1560m'16 前高森山-吉田山 1450m'16 吉田山-山の寺 1450m'16 白髭神社 500m'17 林道弓矢沢線 800m'16	茎は丸い。花の長さを20mmほど。
ミヤマナルコユリ <i>Polygonatum lasianthum</i>	多年草 草原 林床	新田原 570m (2312) 前高森山 1060m (2628) '16 牛牧・堂所南 725m (3037) '16 駒場・新田線 550m (3381) '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 530m (3408) '16	花柄は2-3回分枝し斜上して広がる。
オオナルコユリ(ヤマナルコユリ) <i>Polygonatum macranthum</i>	多年草 草原 林床	吉田南段丘 470m (2454) '16 林道小沼大沢線 1000m (5215) '17	本種は花の長さ30mm以上、雄しべの花糸の下部には細かい突起がある。
アマドコロ <i>Polygonatum odoratum</i> var. <i>pluriflorum</i>	多年草 草原 林床	胡麻目川沿い 530m (1529) '16 不動滝-駐車場 1060m (3098) '16 前高森山山頂 1634m'16 前高森山登山路 1230m'16	茎には6本の稜があり、触ると少し角張った感じがする花の基部に短柄はない。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■キジカクシ科 Asparagaceae</b>			
キチジョウソウ <i>Reineckea carnea</i>	常緑多年草 林床	萩山神社 500m'16 松岡城址東斜面 470m'16 増野カントリー東側 740m'16 下市田 4 区洞 470m'16	暖温帯性 分布(関東以西) 花が咲くと緑が美しいこと で、庭などに栽培される。
オモト <i>Rohdea japonica</i>	常緑多年草 林下	山吹駅北段丘庫 460m (4081) '16 胡麻目大橋北斜面 470m'17 山吹・市田ウォーキングコース 450m'16 黒沢川順礼沢 520m'16 萩山神社 500m'16 中学校南・唐沢洞 480'16	温暖性 分布(関東以西の人家周辺) 観賞植物として 栽培。
<b>■ヤシ科 Arecaceae</b>			
シュロ <i>Trachycarpus fortunei</i>	常緑多年草 林下	山吹・市田ウォーキングコース 442m'16 山吹沢川沿い 480m'16 萩山神社 500m'16 中学校南 唐沢洞 480m'16 下市田 4 区洞 470m'16 駒場子安神社 470m'16	暖温帯性 九州南部を原産で、野化して関東地方まで 生育。
<b>■ツククサ科 Commelinaceae</b>			
ツククサ <i>Commelina communis</i>	1年草 溝、空き地や道端	山の寺境内 7604m (1422) '16 天竜自動車学校東側 420m (1846) '16 太白公園 630m (5682) '17 下市田・江戸ヶ沢川 414m (5792) '17 吉田城山 547m'17	人家周辺に生育。和名ツククサは一日花であるから露 のようにはかない花という意味。
シロバナツククサ <i>Commelina communis f. albiflora</i>	1年草 溝、空き地や道端	山吹駅周辺 460m'16	白い花をつける品種。
ケツククサ <i>Commelina communis f. ciliata</i>	1年草 溝、空き地や道端	山の寺境内 960m'17	苞葉に毛が多い品種。
イボクサ <i>Murdannia keisak</i>	1年草 水田や湿地	市田郵便局西方 450m (1024) '16 やすらぎ荘北 430m (1240) '16 中里小胡桃沢 610m (1262) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (1445) '16 江戸ヶ沢川 415m'17	水田の畔などに密生。葉の汁をつけると疣(イボ)が取 れるといわれる。
ヤブミョウガ <i>Pollia japonica</i>	多年草 林下の湿地	松岡城址 鎌子ヶ洞 510m (5488) '17 松岡城址間ヶ沢 475m (5871) '17 萩山神社 460m'16 下市田保育園北 430m'16 萩山神社 460m'16	暖温帯性 分布(関東以西) 食用になるミョウガの類 ではなく、ツククサの類である。
ムラサキツククサ <i>Tradescantia ohiensis</i>	多年草 道端に逸出	(栽・逸) 山吹・量販店南東 438m'17 山吹交差点付近 440m'16	(栽・逸) 北米原産の園芸種。高さは 50cm 内外で、 葉は長さ 30~40cm の広線形。初夏、茎頂に 3 弁で 紫色花を開花するが、1 日でしぼむ。
<b>■ミズアオイ科 Pontederiaceae</b>			
コナギ <i>Monochoria vaginalis</i>	1年草 水田	市田郵便局西方 450m (1011) '16 出原中里小胡桃沢 610m (1256) '16 下市田親水公園西 415m (1720) '16 山吹・下平 460m (6070) '17 下市田・江戸ヶ沢川 415m (6128) '17	水田の 1 年生雑草 花はホテイアオイに似るがそれより ずっと小さい。
<b>■ショウガ科 Zingiber mioga</b>			
ミョウガ <i>Zingiber mioga</i>	多年草 栽培 逸出	(帰) 山の寺キャンプ場 950m (6038) '17 山吹・市田ウォーキングコース 420m'16 新田原 600m'16 林道出原線 880m'16 山の寺境内 '16 出原林道起点 740m'16	(栽・逸) 裏庭などに栽培、湿地に逸脱。花穂を花(は な) ミョウガまたはミョウガの子とよび食用、また若い 茎をミョウガタケ(茗荷竹)といい、食用にする。
<b>■ガマ科 Typhaceae</b>			
ヒメガマ <i>Typha domingensis</i>	多年草 池沼 湿地 休耕田	山吹・下平 440 (4991) '17 下市田天竜河原 406m'17	花穂が細長く、葉も細い。
ガマ <i>Typha latifolia</i>	多年草 池沼 湿地 休耕田	下市田天竜河原 406m (5676) '17 山吹・量販店南東 438 (5679) '17 山吹大沢川沿い 469m (5681) '17	ガマ科ガマ属の科一属。穂黄(花粉)は止血剤、鎮 痛剤、利尿剤として用いられる。
コガマ <i>Typha orientalis</i>	多年草 池沼 湿地 休耕田	下市田天竜河原 406m (1071) '17 山吹大沢川沿い(5677) '17	花穂が太く短い。葉はヒメガマとガマの中間ほどの幅
<b>■イグサ科 Juncaceae</b>			
イグサ <i>Juncus decipiens</i>	多年草 池沼 湿地 休耕田	唐沢川河口 442m'17 やすらぎ荘付近 500m'16	細長い茎だけで葉が無く約 1.6 メートルほどに成長。畳 の原料になる。
ホソコウガイゼキショウ <i>Juncus fauriensis</i>	多年草 池沼 湿地 休耕田	下市田天竜川河原 420m (1067) '16	水田の畦、休耕田、河畔、溜池畔などの湿地に生える。
タチコウガイゼキショウ <i>Juncus krameri</i>	多年草 河原	下市田工業団地東 420m (1072) '16 天竜自動車学校東 420m (1847) '16	湿地、溜池畔、河畔などの日当たりのよい湿った場所に 生育する多年草。
イトイ <i>Juncus maximowiczii</i>	多年草 湿った岩上	大島川本沢 1080m (5376) '17	本州中部地方の深山の岩上に生育、草丈 10cm ほど。
アオコウガイゼキショウ <i>Juncus papillosus</i>	多年草 湿地	林道不動滝線床波沢駐車場 970m (2827) '16	湿地に生える草丈 30cm ほど 別名「ホソバコウガ イゼキショウ」
コウガイゼキショウ <i>Juncus prismatocarpus subsp. leschenaultii</i>	多年草 湿地や水辺 水田	大沢川沿い 475m (1286) '16 下市田工業団地東 410m'16	水田にも多く発生し強害草。茎は扁平で、ごく狭い翼が あり、高さ 30~40cm。葉は扁平で長さ 15cm。
クサイ <i>Juncus tenuis</i>	多年草 道(人の踏みあと)	追分沢川沿岸 590m (1684) '16 林道不動滝線 770m (2550) '16 胡麻目川沿い 500m (2699) '16 下市田天竜河原 410m (5059) '17 林道小沼・大沢線 800m (5218) '17	草丈 30~50cm になる。葉は扁平で細い。イグサと違っ て細長い葉をつくるため、草のような形態をしたイグサ ということで、草蘭(くさい)の名がある。
スズメノヤリ スズメノヒエ <i>Luzula capitata</i>	多年草 草地	林道不動滝線堂所橋付近 750m (4231) '17 市田港付近 429m'16 胡麻目川沿い 505m'16 下市田天竜河原 420m'16 中学校南・唐沢洞 510m'16 万年橋付近 445m'16	花が頭状につく。葉の先端の部分が細いながらも厚い 棒状の形になって終わる。
ヤマスズメノヤリ <i>Luzula multiflora</i>	多年草 草地	大沢川沿い 750m (6255) '18	スズメノヤリ…花が頭状につく。 ヤマスズメノヒエ…枝の先に数個の花がつく。 メカボシウ…枝の先に 1 個の花がつく。
ヌカボシウ <i>Luzula plumosa subsp. plumosa</i>	多年草 林緑や草地	不動滝駐車場 1060m (3090) (3090) '16 増野大沢線 770m (3327) '16 田沢田沢川沿い 670m (3335) '16 松岡城址 500m (3523) '16 本高森山登山路 1220m (3598) '16	枝の先に 1 個の花がつく。似たもののスズメノヤリは花 が頭状につく、ヤマスズメノヒエは枝の先に数個の花が つく。
<b>■カヤツリグサ科 Cyperaceae</b>			
シロイトスゲ <i>Carex alterniflora var. alterniflora</i>	多年草 山地や丘陵の林下、 林緑	吉田城址 480m (4319) '17 松岡城址 鎌子ヶ洞 550m (6159) '17 太白公園 - 不動滝(長野県植物研究会誌 51 号) '16	山地や丘陵の林下、林緑などに生える多年草で、高さは 20-40 センチ。匍枝を伸ばし、茎を疎かに叢生する。
エナシヒゴクサ <i>Carex aphanolepis</i>	多年草 草地 林内	林道二又沢線(上線) 740m (4834) '16	草丈 30cm ほどで、湿った草地や林内に生える。
ハリガネスゲ <i>Carex capillacea</i>	多年草 湿地	駒場 - 新田 550m (3367) '16	山地の湿地にはえる多年草。叢生し茎は細く鈍 3 稜形 で幅 0.5mm ほど、高さは 10-30cm。葉は糸状、幅 1mm ほど、長さは茎の半長以下。
ヒメカンスゲ <i>Carex fernaldiana</i>	常緑多年草 やや乾いた地	本高森山登山路 1085m (1366) '16 松岡城址周辺 500m (3518) '16 牛牧小水曾洞 750m (4164) '17 大島川本沢 1080m (5332) '17	草丈 20cm ほどで、冬でもつやのある堅い葉を多数密生、 早春に咲く花は目立つ。
ナルコスゲ <i>Carex curvicolis</i>	常緑多年草 川の縁	(帰) 山吹大沢川沿い 460m (4290) '17 林道吉田線 820m (4756) '17 下平量販店東 438m'16	山地の谷川の縁に多数密生して大株となる。細い柄から 垂れ下がった果穂が鳴子のようである。
カサスゲ <i>Carex dispalata</i>	多年草 湿地や池の浅いところ	大沢川沿い 500m (4700) '17 湯ヶ付付近 660m'16 林道小沼・大沢線 785m'16	大型のスゲの代表的なもので、菅などの材料として利 用されてきた。
イトスゲ <i>Carex fernaldiana</i>	多年草 山地の林下	林道二又沢線起点付近 680m (4209) '17 林道弓矢沢線 760m (5426) '17 太白公園 - 不動滝(長野県植物会誌 51 号) '17	葉がカヤツリグサ科スゲ属の中では最も細い多年草。
オクノカンスゲ <i>Carex foliosissima</i>	常緑多年草 落葉広葉樹林下	大島川本沢 1080m (5335) '17 大島川本沢 1150m (5403) '17 太白公園 - 不動滝(長野県植物会誌 51 号) '17	オクノカンスゲは冷温帯の林床に生育。冬季に積雪のある 山地付近に普通に見られる。地下に匍枝を伸ばし栄養 繁殖して広がる。
ヤマアゼスゲ <i>Carex heterolepis</i>	多年草 谷間の水辺	大沢川沿い 500m (4701) '17	草丈 30-70 の多年草。河畔、水辺に生育。北海道、 本州、四国、九州に分布。根茎は短く匍枝を出さず叢 生して、大株になる。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■カヤツリグサ科 Cyperaceae</b>			
ホソバヒカゲスゲ <i>Carex humilis</i> var. <i>nana</i>	常緑多年草 雑木林	田沢大橋西 880m (2250) '16 田沢川南岸 670m (3559) '16 太白公園 - 不動滝 (長野県植物会誌 51 号) '17	株は密に叢生し、ほふく枝はない。株基部の鞘は褐色、葉は糸状で幅 0.5-1.2mm、長さ 50-60cm の前年の葉がある。
カワラスゲ <i>Carex incisa</i>	多年草 湿った草地や踏み跡	山の寺観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52 号) '19	(固) 柔らかい植物で、非常に細くて重なる小穂をつける。タヌキの異名がある。
ハガクレスゲ <i>Carex jacens</i>	多年草 針葉樹林下	山の寺キャンプ場 870m (4437) '17	針葉樹林帯に生える単子葉植物。下部の雌小穂 1-2 個はつねに根生状になる。
テキリスゲ <i>Carex kiotensis</i>	多年草 水辺	山吹・下平 440m (5008) '17 太白公園 - 観音沢 (長野県植物研究会誌 52 号) '18	和名の由来は葉の縁が著しくざらつき、手が切れるほど痛いことから。
ヒカゲスゲ <i>Carex lanceolata</i>	多年草 林床 道路沿い	山吹・竜口 480m (3858) '16 松岡城址間ヶ沢 450m-550m (4400) '17 月夜平 660m (4411) '17 松岡中学校の南洞 470m-500m (3474) '17 林道小沼大沢線 775m (1912) '16	比較的乾燥した山岳に生育する。中型のスケで、山林には普通に見られる。
アオスゲ <i>Carex leucochlora</i> var. <i>leucochlora</i>	多年草 日当たりの湿地	万年橋付近 442 (3386) '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 530m (3414) '16	日当たりがよく多少の湿り気があり、大型植物の少ない草原に生育する多年生。草丈は 20-30cm。
ヒロードスゲ <i>Carex miyabei</i>	多年草 道端 河原	国道・山吹交差点 440m (3076) '16 林道不動滝線 980m (3723) '16 山吹下平橋付近 450m (4456) '17 山吹・下平 440m (5016) '17	和名は果胞に一面に毛があることに由来。
ホソバカンスゲ <i>Carex temnolepis</i>	常緑多年草 湿地、湿原	林道弓矢沢線 650m (5112) '17 林道弓矢沢線 760m (5429) '17	(固) 日本海が多雪地に多い。カンスゲより葉が細く冬でもツヤのある硬い葉をしている。
ミヤマカンスゲ <i>Carex multifolia</i> var. <i>multifolia</i>	常緑多年草 落葉広葉樹林下	山の寺キャンプ場 880m (1341) '16 林道不動滝線波沢駐車場 975m (3123) '16 高森カントリークラブ北側 800m (3306) '16 田沢大橋西側 770m (4264) '17	北海道・本州・九州に分布する常緑多年草。基部の鞘はやや長伸び、光沢の紫褐色。葉は柔らかく平滑、幅 5~10mm。
ヒカゲハリスゲ ハリスゲ <i>Carex oneoi</i>	多年草 渓谷	大島川干水ノ沢 1200m (2484) '16 山吹・市田ウォーキングコース 442m '16	草丈 25cm ほど。林内の水湿地に生育
オタルスゲ ヒメテキリスゲ <i>Carex otaruensis</i>	多年草 山地の湿った場所 水辺	新田・青木ヶ沢 710m (3157) '16	(固) 株は叢生し、基部の鞘は葉身を欠き、濃褐色、糸網を生じる。茎の稜に小刺があり、ざらつく。別名「ヒメテキリスゲ」
ヒメスゲ <i>Carex oxyandra</i>	多年草 草原	太白公園 - 不動滝 (長野県植物会誌 51 号) '17	山地の草原などに生える小型のスケ。背丈はせいぜい 30cm。
コカンスゲ <i>Carex reinii</i>	常緑多年草 落葉広葉樹林下	(固) 林道小沼大沢線 1005m (1927) '16 不動滝周辺 1060m (3091) '16 本高森山登山路 1330m '16	(固) 匍匐を伸ばして栄養繁殖し群生する。基部の鞘は暗褐色のちに繊維に分解する。
クサスゲ <i>Carex rugata</i>	多年草 落葉広葉樹林下	山吹・小沼 460m (4284) '17	落葉樹林内の湿った場所、林縁の小湿地などに自生する多年草。やや半日陰から日陰になるような場所を好む。
オオイトスゲ シロイトスゲ <i>Carex alterniflora</i> var. <i>alterniflora</i>	多年草 林道や草むら	山の寺キャンプ場 875 (4435) '17 吉田城址 480m (4319) '17 松岡城址鏡子ヶ洞 550m (6151) '17	花期は 5 月 - 6 月 山間の林道や草むらに生える多年草。別名「シロイトスゲ」
アブラシバ <i>Carex satsumensis</i>	多年草 林道や林縁	太白公園 651m (6550) 山吹駅周辺 460m '18	山地の風化した砂礫地に生えるスケの仲間。地下匍匐を伸ばして殖える。全体に油を塗ったような光沢があるのでこの名がある。
タガネソウ <i>Carex siderosticta</i>	多年草 日陰の林縁	松岡城址 500m (3529) '16 山の寺キャンプ場 875m (4446) '17 山吹・増野 710m (4627) '17 林道二又沢線終点 690m '16 月夜平 660m '16 太白公園 640m '16	カヤツリグサ科の葉は細長い、この植物の葉は長楕円形。
ニシノホンモンジスゲ <i>Carex stenostachys</i> var. <i>stenostachys</i>	多年草 落葉広葉樹林下	ほたるパーク山吹周辺 440m (3344) '16 林道弓矢沢線 760m (5427) '17	落葉広葉樹林内などに生え根茎は短く密に叢生し、大株になる。
アゼスゲ <i>Carex thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>	多年草 ため池や湿原	胡麻目川沿い 480m (3292) '16 下市田親水公園堤防沿い 415m (2016) '16 山吹・下平 500m '16	放棄水田、湿原の周辺、小川や河原などに生育。地下茎で広がりマット状の群落を形成することが多い。
ヤワラスゲ <i>Carex transversa</i>	多年草 湿地	寺沢川沿い 480m (6830) '16	花茎の苞葉がよく発達するのが目につく。鮮やかな緑で、全体に強いつやを持つ。名前は全体に緑色で柔らかに見えることによる。
ヒメクゲ <i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>	多年草 畔や湿った地	大沢川沿い 475m (1281) '16 山吹駅周辺 460m (1345) '16 山の寺境内 770m (1401) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (1449) '16 寺沢川沿い 470m (5851) '17	全体緑色で高さ 10cm くらいの細い多年草。
タマガヤツリ <i>Cyperus difformis</i>	1 年草 休耕地や湿地	下市田天竜河原 420m (1079) '16 大沢川沿い 475m (1276) '16 山吹・田沢川沿い 433m (5828) '17 山吹・寺沢川沿い 470m (5841) '16 山吹・下平 460m (6068) '16	カヤツリグサ類の中では水田に最も多くはえ、繁殖力が強く強草である。
シヨクヨウガヤツリ <i>Cyperus esculentus</i>	多年草 湿地	(帰) 松岡城址間ヶ沢 550m (5447) '17	(帰) 原産地は不明の帰化植物。世界中の温帯 - 熱帯に分布。茎は断面が三角形で、高さ 1-1.2m に達する。
カヤツリグサ <i>Cyperus microiria</i>	1 年草 道端や田畑	明神橋付近 420m (1167) '16 大沢川沿い 475m (1277) '16 やすらぎ荘付近 460m (1313) '16 山吹駅周辺 460m (1355) '16 ほたるパーク山吹 440m (1433) '16	道端や田畑にも出現する雑草。茎は鈍い三角柱形で、高さ 50cm ほど。
アオガヤツリ <i>Cyperus nipponicus</i>	1 年草 湿った地	下市田天竜川河原 420m (1068) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1299) '16	RL (環ノ県 NT) タマガヤツリに比べ、全体に小さく、花穂が緑色。
ウシクゲ <i>Cyperus orthostachyus</i>	1 年草 湿った地	高森カントリークラブ東側 765m (1486) 山吹・越田 600m (5953) '17	田の畦や湿地に生え、葉は稈より長く、縁はざらつく。
シロガヤツリ <i>Cyperus pacificus</i>	1 年草 休耕地 荒地	山吹・量販店東 430m (6729) '18	RL (環ノ県 EN) 平野部の沼沢地などに生育。アオガヤツリ: そう果が卵状楕円形であるが、シロガヤツリ: そう果の稜が狭い翼状、そう果が長楕円形。
クログワイ <i>Eleocharis kuroguwai</i>	多年草 池沼 水田	やすらぎ荘周辺 500m (1294) '16	塊茎で繁殖。池や沼、溝などに群生するが、最近では水田にはびこり強草草として問題になっている。
シカクイ <i>Eleocharis wichurae</i>	多年草 湿地や休耕地	高森カントリークラブ東 765m (1488)	茎は密に叢生し、高さ 30-50cm、普通 4 稜あり、基部には赤紫色から赤褐色の鞘がある。
テンツキ <i>Fimbristylis dichotoma</i> var. <i>tentsuki</i>	多年草 田の畔やや湿った草地	ほたるパーク山吹付近 440m (1429) '16 高森小学校 527m (1519) '16 森北小学校 518m (5568) '16 山吹・寺沢川沿い 470m (5840) '17 松岡城址間ヶ沢 475m (5879) '17	和名の由来は小穂が上向きで、天を突き意味からとする説と、小穂で点をつける点つきという説がある。
アオテンツキ <i>Fimbristylis dipsacea</i> var. <i>verrucifera</i>	1 年草 湿地	松岡城址間ヶ沢 450m-500m (6848) '17	RL (環ノ県 CR) ごく小柄なテンツキ属の植物である。丸い小穂を少数つける姿は、同属の他のものとはあまり似ていない。
ヒデリコ <i>Fimbristylis littoralis</i>	多年草 田畔や湿った草地	下市田親水公園南側堤防沿い 414m (1712) '16 やすらぎ荘北西の沢 530m (5922) '17	水田の畔に生え、小穂が小さな卵円形で水田にきわめて多い。
オオイヌハナヒゲ <i>Rhynchospora fauriei</i>	多年草 湿地 湿原	やすらぎ荘北 430m (1244) '16	(固) 穂が垂れ下からず、刺針状花被片は長さが果実の 3 倍以上で、平滑又は下向きの小刺をつける。
ホタルイ <i>Schoenoplectiella hotarui</i>	多年草 湿地 水田	下市田天竜川河原 406m (5524) '17 山吹・下平 460m (6067) '17 量販店東 435m (2917) '16	多数の花茎を伸ばす。葉は花茎の基部の鞘となって、葉身は全く出ない。
イヌホタルイ <i>Schoenoplectiella juncoides</i>	1 年草 湿地 休耕地	山吹・駒場 430m (1243) '16 出原中里小湖桃沢 610m (1263) '16 下市田親水公園南側堤防沿い 415m (1714) '16	水田雑草。ホタルイは花の形が卵型で、イヌホタルイはほろ長い。
フトイ <i>Schoenoplectus tabernaemontani</i>	多年草 湿地 池	下市田天竜川河原 420m (1098) '16	湿地や浅い池などに生育する大柄な多年草で、高さは 2m 近くにもなる個体もある。
サンカクイ <i>Schoenoplectus triquetus</i>	多年草 湿地 水田	下市田天竜川河原 410m (5532) '17 下市田・江戸ヶ沢川 415m (6088) '17	茎の断面が三角でイグサに似ている。サンカクイの和名の由来は、三角形のイグサ(蘆草) から。
アブラガヤ <i>Scirpus wichurae</i> f. <i>concolor</i>	多年草 湿地 池	山の寺キャンプ場 880m (1792) '16 天竜自動車学校東側 420m (1842) '17 県道山吹停車場線 912m (5729) '17 林道小沼・大沢線 920m (5741) '17	小穂は柄の先端に 1 個から数個が集まって着く。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
■カヤツリグサ科 Cyperaceae			
アイバソウ <i>Scirpus wichurae</i> f. <i>wichurae</i>	多年草 湿地 池	出原中里小胡桃沢 610m (1253) '16 湯ヶ洞付近 660m (1598) '16 松岡城址鏡子ヶ洞 520m (2439) '16	アブラガヤとは小穂が1個ずつ完全にバラバラにつくところが異なる。
■イネ科 Poaceae			
ヌカボ <i>Agrostis clavata</i> var. <i>nukabo</i>	2年草 湿地 田の畔	大沢川沿い 480m (4688) '17	高さ40~80cm、5~6月開花。花穂は細長い円錐形で、多数の小穂がつく。
コヌカガサ <i>Agrostis gigantea</i>	多年草 道端 空地 草地	越田原 760m (1634) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5463) '17	(帰) 牧草として移植されたものが、現在ではほぼ帰化植物として広がってしまっている。生態系被害防止外来種
スズメノテッポウ <i>Alopecurus aequalis</i>	2年草~多年草 水田 畑	ぼたるパーク山吹 445m (3352) '16 山吹・越田 580m (3490) '16 胡麻目大橋西方 470m (4259) '17 松岡城址間ヶ沢 500m (4337) '17 下市田中谷 420m (4503) '17	史前帰化植物 小型の草本で、春の水田によく見られ、細くて真っすぐな穂を一面に出す。
メリケンカルガヤ <i>Andropogon virginicus</i>	多年草 土手 道端 空地	ぼたるパーク山吹付近 440m (1435) '16 高森カントリークラブ東 765m (1470) '16 林道弓矢沢線 800m (1588) '16 天竜自動車学校東 420m (1849) '16 駒場子安神社 470m '16	(帰) 北アメリカ原産 在来種や農作物を駆逐する危険性があり、生態系被害防止外来種リストに記載されている。
コウボウ <i>Anthoxanthum nitens</i> var. <i>sachalinense</i>	多年草 土手 山地 空地	大島山区民会館付近 650m (4256) '17 田沢大橋西方 770m (4356) '17 松岡城址間ヶ沢 500m '17	和名は「香茅」と書き、茎や葉に甘い香りがある。
ケナシハルガヤ <i>Anthoxanthum odoratum</i> subsp. <i>glabrescens</i>	多年草 路傍や庭園、原野	松岡城址 550m (3868) '16 堂所橋付近 750m (4232) '17 寺沢川沿い 470m (4903) '17 万年橋付近 445m (4948) '17	別名「メハルガヤ」 小穂の柄や苞穎が無毛の亜種。
ハルガヤ <i>Anthoxanthum odoratum</i> subsp. <i>Odoratum</i>	多年草 路傍や庭園、原野	新田・青木ヶ沢 710m (3165) '16 万年橋付近 442m (3393) '16 寺沢川付近 490m (3539) '16	(帰) ヨーロッパ原産、やや密に群生、茎は叢生し直立する。生態系被害防止外来種
オオカニツリ <i>Arrhenatherum elatius</i> var. <i>elatius</i>	多年草 草地	松岡城址間ヶ沢 550m (5171) '17	(帰) ヨーロッパ原産の牧草。小穂は2小花があり、下方の花は雄性で、上の小花は両性になる。
コブナガサ <i>Arrhaxon hispidus</i>	2年草 田畑の周りや草地	天竜自動車学校東 420m (1850) '16 南大島川大橋付近 540m '16 下市田工業団地東 410m '16 山の寺キャンプ場 880m '16 林道弓矢沢線 800m '16	田畑などにごく普通に見かける。和名の由来は、葉の形が幅広いのを「ナガサ」に見立てたことから。
トダシバ <i>Arundinella hirta</i>	多年草 路傍、畦、湿地	下市田工業団地東 420m (1062) '16 山の寺キャンプ場 980m (1343) '16 山吹駅周辺 460m (1346) '16 湯ヶ洞周辺 660m (1596) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m (1898) '16	やや大型になるイネ科の多年草。秋に芒のない粒々がぎっしり並んだような穂を立てる。変異が大きく、見た目では随分違ったものがある。
ウスゲトダシバ <i>Arundinella hirta</i> var. <i>ciliata</i>	多年草 路傍、畦、湿地	下市田工業団地東 420m (1102) '16	葉には伏毛が生えるが、少ないものをウスゲトダシバと分類。別名「トダシバ」
シロトダシバ <i>Arundinella hirta</i> var. <i>glauca</i>	多年草 路傍、畦、湿地	山の寺キャンプ場 880m (1115) '16 山吹・小沼 468m (5611) '17	全体に白色帯びるが花序が目立って白色帯びるもの。
ケトダシバ <i>Arundinella hirta</i> var. <i>hirta</i>	多年草 路傍、畦、湿地	林道吉原線 960m (5623) '17 山吹垣外 510m (5855) '17	葉鞘、葉面、稈の節などに硬い毛を密生するもの。
カラスムギ <i>Avena fatua</i>	1-2年草 畑地、休耕地、路傍	駒場・新田線 550m '16 国道山吹交差点付近 440m '16	ヨーロッパ原産の史前帰化植物 夏、茎頂に円錐状の花穂を出し、ややまばらに下垂する小穂をつける。
ヤマカモジグサ <i>Brachypodium sylvaticum</i>	1年草 林道の林縁	林道小沼大沢線 1050m (5759) '17	カモジグサとの違いは茎や葉に毛が生えることと、小穂に短い柄があることが大きく違う。
コバンソウ <i>Briza maxima</i>	1年草 道端 空地	下市田駅周辺 430m (6754) '19 山吹・市田ウォーキングコース 440m '17	(帰) ヨーロッパ原産。小判に似た形の穂をつけることから名付けられた。
ヒメコバンソウ <i>Briza minor</i>	1年草 道端 空地	山吹・市田ウォーキングコース 465m (6309) '18	(帰) コバンソウに似た小さい穂(形は三角形)をつける1年生植物。草丈は10~60cmで、茎は直立または単生で直立し、根元はややふくする。
ヤクナガイヌムギ <i>Bromus carinatus</i>	多年草 道端 空地	ぼたるパーク山吹周辺 438m (6312) '18	(帰) イヌムギに似ているが、花期はイヌムギより早く、護衛の先の芒は長さ5~10mm(イヌムギでは0~4mm)、葇の下垂するが目立つ。
イヌムギ <i>Bromus catharticus</i>	多年草 道端 空地	下市田浄化センター西 420m (1026) '16 やすらぎ荘付近 500m (1319) '16 高森南小学校校庭 527m (1749) '16 国道山吹交差点付近 440m (3067) '16	(帰) 南アメリカ原産。牧草として渡来したが、野生化している。
ヒゲナガスズメノチャヒキ <i>Bromus diandrus</i>	1年草~越年草 空地 路傍	国道山吹交差点付近 440m (3066) '16 下市田天竜川河原 410m (4488) '17 万年橋付近 445m (4705) '17	(帰) ヨーロッパ原産。茎は直立し、叢生、小穂が大きく目立つ。
コスズメノチャヒキ <i>Bromus inermis</i>	多年草 道端	松岡城址間ヶ沢 450m-550m (5174) '17	(帰) ヨーロッパ~シベリア原産。牧草として利用されている。
スズメノチャヒキ <i>Bromus japonicus</i>	1年草 路傍	国道山吹交差点付近 440m (3075) '16 下市田親水公園付近 420m (3187) '16 山吹大沢川沿い 460m (4289) '17 ぼたるパーク山吹付近 440m (4642) '16 山吹・下市 440m '17	(帰) アジア大陸原産 和名は小穂がカラスムギに似るが、より小さく、食用にならないことによる。
キツネガヤ <i>Bromus remotiflorus</i>	多年草 山野の林内	山吹・下市 470m (2456) '16	6~7月、輪生状に分枝し下垂する円錐花序をつくり、まばらに小穂をつける。
カラスノチャヒキ <i>Bromus secalinus</i>	1年草~越年草 耕地や荒地	国道山吹交差点付近 440m (3077) '16 下市田親水公園付近 420m (3184) '16 明神橋北 430m (5093) '17 松岡城址間ヶ沢 550m (5169) '17 山吹・下市 440m (4983) '17	(帰) ヨーロッパから西アジア原産、草丈50cm、散生またはやや群生する。全体に軟毛が多い。
ウマノチャヒキ <i>Bromus tectorum</i>	1年草~2年草 空地や荒地	国道山吹交差点 440m (3085) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (4313) '17 寺沢川沿い 470m '16	(帰) ヨーロッパ原産、全草に軟毛が生えており、茎は中空で細く直立するも穂が重く垂れ下がる。
ノガリヤス <i>Deyeuxia brachytricha</i>	多年草 山地の空地や草地	山の寺キャンプ場 880m (1333) '16 本高森山登山路 1085m (1364) '16 高森カントリークラブ東 765m (1484) '16 駒場・新田線 525m (2032) '16 太白公園 635m (2092) '16	和名はカリヤスに似ており、野原に普通にみられることによる。
ヒメノガリヤス <i>Deyeuxia hakonensis</i>	多年草 渓谷 斜面	太白公園~不動滝(長野県植物研究会誌 51号) '17	ノガリヤスより小型で、背丈は20~40cm。名前は野に生える刈り取りやすい草という、安易な意味。
ホッソガヤ <i>Calamagrostis pseudophragmites</i>	多年草 河原の砂地	天竜自動車学校河原 420m (1836) '16 天竜川~山吹・量販店 438m '16	和名は白い綿毛におおわれた果穂を禪宗の僧が煩惱を払うのに使う払子に見立てたもの。
メカルガヤ <i>Cymbopogon</i> var. <i>goeringii</i>	多年草 河原 荒地 空地	下市田天竜河原 420m (1065) '16 高森カントリークラブ東 765m (1069) '16 下市田市田 460m (5899) '17 山吹・越田 600m (5935) '17	刈って利用することからカルガヤ。草丈はススキより低く葉は線形で細長く、秋に花穂をまばらにつける。
コウセンガヤ カセンガヤ <i>Chloris radiata</i>	多年草 荒地 空地	ぼたるパーク山吹周辺 440m (1457) '16	(帰) 熱帯アメリカ原産、別名「カセンガヤ」
ジュズダマ <i>Coix lacryma-jobi</i>	2年草 河川	下市田天竜川河原 406m (5671) '17 大沢川沿い 437m (5782) '17	(帰) アジア熱帯の原産 ハトムギの原種で、全体がやや小柄、花序が垂れず、実が固いことが異なる。
オカルガヤ <i>Cymbopogon tortilis</i> var. <i>goeringii</i>	多年草 河原や山地の空地	大沢川沿い 469m (5577) '17 下市田・市田 460m (5898) '17 やすらぎ荘周辺 500m (1302) '16	日当たりの良いやせ地に生育する。晩秋に咲く小穂のめは独特で、黒く面白い形なのでよく目立つ。
カモガヤ <i>Dactylis glomerata</i>	多年草 道端 空地	山吹駅付近 439m '16 ぼたるパーク山吹西 437m '16 萩山神社 500m '16 松岡城址 550m '16 胡麻目川沿い 505m '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m '16 下市田親水公園南 420m '16	(帰) 英名「オーチャードグラス」 花粉病の原因 ヨーロッパ~西アジア原産、牧草として輸入、野生化した。生態系被害防止外来種
メヒシバ <i>Digitaria ciliaris</i>	2年草 耕地、荒地	万年橋付近 445m (1231) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1314) '16 山の寺境内 770m (1395) '16 ぼたるパーク山吹周辺 440m (1456) '16 太白公園 630m (5683) '17	身近に見られる雑草。細い茎で地表を這い、立ち上がった花茎の先に数本の細い穂を放射状に伸ばす。
コメヒシバ <i>Digitaria radicata</i>	1年草 耕地、荒地	やすらぎ荘周辺 500m (1316) '16 県道・山吹停車場線 912m (5735) '17	メヒシバに似るが、花序の軸はコメヒシバではその縁は滑らかなが、メヒシバは鋸歯が出るのでざらつく。
アラゲメヒシバ <i>Digitaria violascens</i> var. <i>lasiophylla</i>	1年草 耕地、荒地	明神橋付近 418m (6076) '17 山の寺境内 760m '16	葉鞘に毛が密生している。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
■イネ科 Poaceae			
アキメシバ <i>Digitaria violascens</i>	1年草 耕作地、荒地	ほたるパーク山吹周辺 440m (1468) '16 林道弓矢沢線 800m (1570) '16 湯ヶ洞付近 660m (1593) '16 明神橋付近 418m (6103) '17	メシバに似るが、小穂の形を比べると、長さがメシバの半分位しかなく、楕円形をしている。
ケヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>aristata</i>	1年草 河原 湿地 荒地	市田郵便局西 450m (1010) '16 下市田工業団地東 420m (1064) '16 明神橋付近 420m (2881) '16 山吹・大沢川沿い 437m (5781) '17 明神橋付近 420m (2016) '16	イヌビエの中で、特に長い毛(芒)があるもの。イヌビエより全体に大きいことが多い。別名「クロイヌビエ」
イヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>crus-galli</i>	1年草 農耕地などの湿地	山吹・大沢川沿い 437m (5780) '17 山吹・田沢川沿い 433m (5827) '17 山吹・市田ウォーキングコース 455m (1212) '16 下市田親水公園堤防沿い 415m (1707) '16	イネに擬態し、稲作のサイクルに見事に適応した水田雑草。
ヒメイヌビエ <i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>pratensis</i>	1年草 荒地 草地	高森カントリークラブ東 765m (1507) '16	乾燥地でもなく、湿地でもない場所に生育。小穂に毛がない。
タイヌビエ <i>Echinochloa oryzicola</i>	1年草 水田など湿地	市田郵便局西 450m (1009) '16 下市田浄化センター西 420m (1037) '16 下市田工業団地東 420m (1073) '16 出原中里小胡桃沢 610m (1251) '16 大沢川沿い 475m '16	イヌビエとタイヌビエは、小穂の大ききで区別。タイヌビエは小穂が大きくコロコロとした感じの花序。
オヒシバ <i>Eleusine indica</i>	1年草 畑の周辺や道端	やすらぎ荘付近 500m (1325) '16 下平天竜川堤防沿い 430m (1691) '16 北小学校 518m (5561) '17 明神橋付近 420m '16 太白公園 635m '16 吉田城山 547m '17	メシバに比べ強健でオヒシバと呼ばれる。路傍や畑の周辺などに生育する。踏みつけに強い。
カモジグサ <i>Elymus tsukushiensis</i> var. <i>transiens</i>	1年草 道端 荒地	山吹・下平 450m (2395) '16 万年橋南側 440m (2889) '16 山吹・市田ウォーキングコース 420m (3251) '16 明神橋北 430m (5091) '17 松岡城址間ヶ沢 500m '17	ごく普通に見られる。大きめの小穂をつけた細い穂がたれ、また小穂に長い芒が出るのが目立つ。
スズメガヤ <i>Eragrostis cilianensis</i>	1年草 空地 庭	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1203) '16 やすらぎ荘 500m (1309) '16 駅周辺 460m (1350) '16 天竜自動車学校河原 420m (1840m) '16 北小学校 518m (5555) '17	(帰) 欧州原産 コスズメガヤによく似ている。コスズメガヤに比べて少なく、なかなか見られない。小穂の幅が明確に広く、果実が捻てくると、より白っぽく見える。
シナダレスズメガヤ <i>Eragrostis curvula</i>	多年草 河原 道端	下市田工業団地東 420m (1080) '16 南大島川上橋付近 440m (1820m) '16 明神橋付近 420m (2882) '16 万年橋付近 440m (4595) '17 山吹・大沢川 443m '16	(帰) 南アフリカ原産 砂防用に各地に植えられ広がった。毛髪のように垂れ下がった葉の姿が特徴的。生態系被害防止外来種
カゼクサ <i>Eragrostis ferruginea</i>	多年草 道端 荒地	胡麻目川沿岸 530m (1680) '16 林道吉原線 960m (5926) '17 林道弓矢沢線 880m (6099) '17 下市田親水公園南 416m '16 国道山吹交差点付近 440m '16	道端などでごく普通の大きな株になる雑草。大柄な広がった穂に細かい小穂を多数つけるのが特徴。
コスズメガヤ <i>Eragrostis minor</i>	1年草 道端 荒地	やすらぎ荘周辺 500m (1309) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (1463) '16 明神橋付近 420m (2879) '16 北小学校 518m (5555) '17 林道小沼大沢線 760m (1994) '16	(帰) 空き地や路傍に生育し、疎生またはやや群生。茎は高さ 10 ~ 35cm、平滑、下部は倒伏する。葉は長さ 3 ~ 12cm、幅 3 ~ 5mm、基部に毛がある。
ニワホコリ <i>Eragrostis multicaulis</i>	1年草 道端 庭先 畑	やすらぎ荘周辺 500m (1295) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (1431) '16 山の寺キャンプ場 880m (1801) '16 北小学校校庭 518m (5560) '16	小形の雑草。和名は庭埃で、庭一面に生えること、穂を出した様子で埃が立っているのが目立つため。
オオニワホコリ <i>Eragrostis pilosa</i>	2年草 道端 庭先 畑	下市田天竜川河原 405m (5515) '17	名は、庭先によく生え、小穂が灰色になるため埃(ほこり)に見立てた。
ナルコビエ <i>Eriochloa villosa</i>	多年草 河原 草地	胡麻目川沿い 530m (1657) '16 北小学校 518m (5546) '17	日当りの原野や河原などに生え大きな株となる。葉は線形で長さ 20cm、質は薄く柔らかい毛がある。
ウシノケガサ(広義) <i>Festuca ovina</i>	多年草 山地の岩場	下市田天竜川河原 410m (4499) '17	名は、葉が畳まって細く糸状としたので、ウシやヒツジの毛にたとえていう。似たものにオオウシノケガサがある。これは走出枝をもち、株がやや広がる。
トボンガヤ <i>Festuca parvigluma</i> var. <i>parvigluma</i>	多年草 木陰 草原 林縁	不動滝周辺 1060m (3088) '16 大沢川沿い 480m (4686) '17	全体にひょろりとした軟弱な植物。長い芒のある小穂を長い柄の先にぶら下げる。
ムツオレガサ <i>Glyceria acutiflora</i> subsp. <i>japonica</i>	多年草 湿地 水田	大沢川沿い 480m (4681) '17	(帰) 北アメリカ原産。水田や池畔などに生育し、やや群生する。高さ 30 ~ 90cm。名は小花が成熟すると容易に小穂軸から折れて脱落するためつけた。
ウシノシツペイ <i>Hemarthria sibirica</i>	多年草 湿った草原	山の寺キャンプ場 880m (1121) '16 越田原 760m (1620) '16 下市田天竜川河原 405m (5512) '17 林道小沼大沢線 920m (5751) '16 山吹・大沢川沿い 437m (5778) '17	湿地に生え、ひょろっとした姿の多年草。穂は太い軸に小穂が密着して、棒状に見えるのが特徴的。
シラゲガヤ <i>Holcus lanatus</i>	多年草 牧草地 路傍 林縁	松岡城址間ヶ沢 550m (5441) '17	(帰) ヨーロッパ原産 草丈 20 ~ 100cm。和名は全体的に白い軟毛が密生していることによる。
ムギクサ <i>Hordeum murinum</i>	1年草 ~ 越年草 荒地 草地 路傍	新田原 600m (2277) '16 国道・山吹交差点 440m (3074) '16 山吹・新田原 580m (5177) '17	(帰) ヨーロッパ原産 草丈は 10 から 50cm、オオムギに似た小穂をつける。
ケナシチガヤ <i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i> f. <i>pallida Honda</i>	多年草 土手 路傍 草地	下市田工場団地堤防 420m '16 万年橋付近 445m '16 市田港周辺 420m '16 市田郵便局西 450m '16 明神橋北 430m '17 量販店東 436m '17 山吹・唐沢川 443m '17	土手や草地に細い葉を一面に立てた群落を作り、白い穂を出す。新芽や若い花穂は食用された。
チガヤ <i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>	多年草 土手 路傍 草地	松岡城址(鏡子ヶ洞 ~ 間ヶ沢)(長野県植物研究会誌 51号) '17	茎の節に毛があるものをチガヤ(ケチガヤ、フシゲチガヤ) var. <i>koenigii</i> 、毛がないものをケナシチガヤ var. <i>cylindrica</i> と分類されている。
チゴザサ <i>Isachne globosa</i>	多年草 水田 沼沢地 溜池	出原中里小胡桃沢 610m (1260) '16 山吹・下平 450m (2390) '16 山吹・寺沢川沿い 470m (5846) '16 下市田親水公園堤防沿い 415m '16	和名は稚児笹の意味であり、小さい笹のような植物である。
エゾノサヤヌカガサ <i>Leersia oryzoides</i>	多年草 水田 沼沢地 溜池	下市田・江戸ヶ沢川 415m (6098) '17	小穂の縁に白っぽい長い毛がある。
サヤヌカガサ <i>Leersia sayanuka</i>	多年草 水田 沼沢地 溜池	胡麻目川沿い 530m (1664) '16	和名は小穂がイネに似ながら米がとれず、初穀しかなかったためについた
ササガヤ <i>Leptatherum japonicum</i> var. <i>japonicum</i>	1年草 湿った路傍 林縁	山の寺キャンプ場 880 (1110) '16 林道弓矢沢線 780m (1182) '16 本高森山登山路 1085m (1365) '16 湯ヶ洞周辺 660m (1594) '16 越田原 760m (1622) '16	和名は葉が笹の葉に似ていることから。秋に、一見メシバの細いものと思えるような花穂を形成する。
フイリササガヤ	1年草 湿った路傍 林縁	山吹・田沢 700m (5984) '17	緑色の葉の一部が白や黄色あるいは赤の模様になることを指すことが多い。外的または遺伝的要因によって多色になってしまう品種
ネズミホソムギ <i>Lolium × hybridum</i>	多年草 草地 路傍	高森カントリークラブ東 765m (1490) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (4639) '17	ネズミムギとホソムギの交配種 小穂の「芒」は、短い
ホソムギ <i>Lolium perenne</i>	多年草 草地 路傍	やすらぎ荘周辺 500m (1322) '16 泰山神社 500m (1517) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m (1880) '16 明神橋北 430m (5079) '16 市田郵便局西方 450m	(帰) ヨーロッパ原産 ネズミムギに似るが、小穂の「芒(のぎ)」はないのが特徴。
ネズミムギ <i>Lolium multiflorum</i>	多年草 草地 路傍	市田郵便局西北 450m (1006) '16 牛牧浄化センター付近 550m (3272) '16 下市田天竜川河原 410m (4480) '17 湯ヶ洞線北斜面 490m (4545) '17	(帰) ヨーロッパ・アジア大陸原産 ホソムギに似るが、小穂の「芒」が長いのが特徴
ドクムギ <i>Lolium temulentum</i>	多年草 草地 路傍	湯ヶ洞線北斜面 490m (4561) '16 万年橋 445m (4593) '17	(帰) ヨーロッパ原産 ネズミムギ、ホソムギに似るが、花軸が太くて屈曲するのが特徴
アンボソ <i>Microstegium vimineum</i>	1年草 山道 あげ道	山の寺境内 770m (1408) '16 林道弓矢沢線 800m (1571) '16 湯ヶ洞周辺 660m (1601) '16 太白公園 635m (2080) '16 山吹・田沢 700m (5979) '16	ひょろひょろとした姿で湿ったところに生育する。穂が棒状なのが少し変わっている。
ヒメアシボソ <i>Microstegium vimineum</i> f. <i>willdenowianum</i>	1年草 山道 あげ道	林道出原線起点 740m (2141) '16 田沢・田沢大橋西側 750m (2260) '16 林道弓矢沢線 880m (6138) '17 松岡城址鏡子ヶ洞 550m '17	小穂に芒があるものがアシボソ、ないものがヒメアシボソ。
オギ <i>Miscanthus sacchariflorus</i>	多年草 河原	市田港周辺 420m '16 万年橋南側 445m '16 山吹・量販店付近 435m '16 明神橋北 430m '17 林道小沼大沢線 785m '16	草丈は 1~2.5m 程で、河川敷などの湿地に群落を作る。根茎は地下をはい、1つずつ芽を出す。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
■イネ科 <i>Poaceae</i>			
ススキ <i>Miscanthus sinensis</i>	多年草 日当たりのよい山地	山吹・寺沢川沿い 480m'16 胡麻目川沿い 505m'16 下市田親水公園南 416m'16 下市田工場団地東堤防 417m'16 新田諏訪神社 620m'16 林道小沼大沢線 1025m'16	草丈は 1-2.5m 程で、山地などに群落を作る。尾花と白い、秋の七草のひとつ。
ムラサキススキ <i>Miscanthus sinensis</i> f. <i>purpurascens</i>	多年草 日当たりのよい山地	山の寺観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52 号) '18	山地から平地の道端などに普通に生える多年草。花序は長さ 15cm-30cm で中軸は長く多くの枝を放射状に出す。小穂は赤褐色で長さ 5mm-7mm。
ススキカリヤス <i>Miscanthus sinensis</i> × <i>M. tinctorius</i>	多年草 日当たりのよい山地	山の寺観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52 号) '18	カリヤスとススキの交配種
カリヤス <i>Arthraxon hispidus</i>	多年草 日当たりのよい山地	山の寺キャンプ場 880m (1111) '16 南小学校 527m (1526) '16 林道出原線終点 910m (2964) '16 林道吉原線 880m (5646) '17 林道弓矢沢線 880m (6111) '17 小沼大沢線 1050m (5769) '17	(固) 日本の本州中部の山地の特産種。山林中の草地に群生ススキによく似ているが小型で細い。
ミヤマネズミガヤ <i>Muhlenbergia curviflora</i> var. <i>nipponica</i>	多年草 林縁 林下	天白公園 - 不動滝 (長野県植物会誌 51 号) '17	温帯の山地林下にはえる多年草。鱗片に覆われた長い地下茎がある。稈は基部から直立し高さ 60-100cm。
オオネズミガヤ <i>Muhlenbergia longistolon</i>	多年草 道端 林縁	山の寺キャンプ場 880m (1113) '16 林道弓矢沢線 850m (1142) '16 林道小沼大沢線 760m (1987) '16 山吹・田沢 700m (5969) '17	根茎があり、苞葉が小花の長さの 1/2 より短く、芒の長さが 8-14mm と長い。
ネズミガヤ <i>Muhlenbergia japonica</i>	多年草 道端 林縁 林下	山の寺キャンプ場 880m (1334) '16 高森カントリークラブ東 765m (1474) '16 山吹・寺沢川沿い 470m (5843) '17 山吹・田沢 700m (5980) '17	根茎がなく、苞葉の長さが小花の長さの約 1/2、芒の長さが 3-6mm とやや短い。
チヂミザサ <i>Oplismenus undulatifolius</i>	1 年草 林縁 木陰	林道小沼大沢線 760m (1969) '16 山吹・小沼 460m (5991) '17 林道出原線起点 740m'16 林道弓矢沢線 800m'16	和名は葉の形がササに似ていて、やや縮んだようなしわがあることから。茎は枝分かれしながら地表を這い、多数の葉をつける。
コチヂミザサ <i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>	1 年草 林縁 木陰	山の寺境内 770m (1424) '16 林道弓矢沢線 880m (6140) '17	花軸、茎ともほとんど無毛。葉の基部には毛があり、葉鞘の縁に長い毛。長い芒があり、先は粘る。
ケチヂミザサ <i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>	1 年草 林縁 木陰	高森カントリークラブ東 765m (1475) '16 山吹・寺沢川沿い 470m (5837) '17 山吹・田沢 700m (5963) '17 林道弓矢沢線 880m (6221) '17	花軸、葉、および葉鞘に開出する長い毛が多い。長い芒があり、先は粘る。
ヌカキビ <i>Panicum bisulcatum</i>	1 年草 畦道 湿地 荒地	市田郵便局西北 450m (1005) '16 高森センター東 765m (1489) '16 林道矢沢線 800m (1568) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (5887) '17 林道吉原線 1080m (6030) '17	和名は細い穂を鎌に例えたもの。茎の下部は地を這いよく分枝して立ち上がり高さ 30-120cm になる。
オオクサキビ <i>Panicum dichotomiflorum</i>	1 年草 畦道 湿地 休耕地	はたるパーク山吹周辺 440m (1428) '16 天竜自動車学校河原 420m (1848) '16 北小学校 518m (5562) '17 田沢川沿い 433m (5818) '16	(帰) 北米原産の帰化種。クサキビより大型。小穂は卵状楕円形で長さ約 2.5mm、第 1 苞葉は小穂の 1/4 以下。生態系被害防止外来種
アメリカスズメノヒエ <i>Paspalum notatum</i>	1 年草 荒地	松岡城址間ヶ沢 480m (5468) '17 松岡城址銚子ヶ洞 550m (6155) '17	(帰) 地表に張り付いて伸びる匍匐茎を伸ばし、穂は太くて Y 字に分かれる。日本では都市近郊の道路脇でよく見かける雑草。生態系被害防止外来種
スズメノヒエ スズメノヤリ <i>Paspalum thunbergii</i>	多年草 道端 荒地	山の寺境内 770m (2680) '16 はたるパーク山吹周辺 440m (1440) '16 南小学校 527m (1523)	和名は雀のヒエであり、雀の食べるヒエになぞらえたものとしている。
チカラシバ <i>Pennisetum alopecuroides</i>	多年草 道端 荒地	山の寺キャンプ場 880m (1122) '16 林道小沼大沢線 1050m (5762) '17 林道弓矢沢線 860m'16 天竜自動車学校東堤防 420m'16 山吹駅周辺 460m'16	地下茎はごく短く、大きな株を作り、根元から多数の葉を出す。ブラシのような花茎が目立つ。
クサヨシ <i>Phalaris arundinacea</i>	多年草 河川 湿地	天竜自動車学校東 420m (1832) '16 山吹・下平 450m (2393) '16 万年橋付近 440m (3131) '16 明神橋北 430m (5081) '17 松岡城址間ヶ沢 475m (5172) '17	湿地に群生し、草丈 1メートルを越す。初夏に穂を真っすぐ立てる。
オオアワガエリ <i>Phleum pratense</i>	多年草 道端 草原	越田原 760m (1617) '16	(帰) ヨーロッパ原産。チモシー・グラス、チモシーとも呼ばれ、牧草として移入された。花粉症の原因になる。生態系被害防止外来種
ヨシ <i>Phragmites australis</i>	多年草 河川 湖沼	山吹下平橋 440m (6663) '17 追分・正木 545m'17 下市田親水公園南 416m'16	河川及び湖沼の水際に背の高い群落を形成する。
ツルヨシ <i>Phragmites japonicus</i>	多年草 河川 湖沼	明神橋付近 420m (1174) '16 はたるパーク山吹付近 440m (1467) '16 天竜自動車学校東 420m (1831) '16 下市田天竜川河原 410m (5053) '17	ヨシに姿が非常に似ているが、やや小型の植物。違いは、匍匐茎が地下でなく地表を走る点。
モウソウチク <i>Phyllostachys edulis</i>	竹 栽培	胡麻目大橋北斜面 470m (4182) '17 山吹・正木 626m (5536) '17 山吹・市田ウォーキングコース 442m'16 山吹・寺沢川沿い 440m'16 南大島川大橋付近 540m'16	(帰) 節の輪が 1 本 新しい竹は粉で白く見える 新しい竹は節の白い粉が目立つ。
ハチク <i>Phyllostachys nigra</i> var. <i>henonis</i>	竹 栽培	胡麻目大橋北斜面 470m (4181) '17 山吹・市田ウォーキングコース 442m'16 寺沢川沿い 480m'16 松岡城址銚子ヶ洞 480m'16 牛牧浄化センター南斜面 520m'16	(帰) 節の輪が 2 本 上の輪も比較的角張っている 幹が全体に白っぽく見える。
クロチク <i>Phyllostachys nigra</i> var. <i>nigra</i>	竹 栽培	胡麻目川橋付近 470m (4146) '17	和名は幹(さお)が黒いので命名、竹の一種。ハチク(淡竹)の変種と言われる。さおの色は、春は緑で、秋に黒斑が出現した後(紫)黒色となる。
マダケ <i>Phyllostachys reticulata</i>	竹 栽培	山吹・市田ウォーキングコース 442m'16 萩山神社 500m'16 中学校南・唐沢洞 480m'16 吉田城山 547'17 下市田天竜川河原 410m'17 泰山神社 500'16	(帰) 節の輪が 2 本 細めの竹は上の輪が目立つ 上の輪の手触りは角がない。
ネザサ <i>Pleioblastus argenteostriatus</i> f. <i>glaber</i>	笹 山野	南大島川北斜面 530m (4029) '16 龍口八幡宮 460m (4096) '16 萩山神社 500m (4137) '17	アズマネザサ(東根笹)の変種で、東海地方および北陸地方以西の本州から九州本土の山野に分布。葉の幅が広く、質が少し厚い。葉はたれない。
アズマネザサ <i>Pleioblastus chino</i>	笹 山野	駒場 - 新田線 530m (2054) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3150) '16 牛牧浄化センター付近 550m (3269) '16 本高森山登山路 1310m (3654) '16 松岡城址 480m (3527) '16	(固) 本州の関東地方と東北地方の低地にごく普通にみられる。葉は少し薄く幅が狭い。
キボウシノ <i>Pleioblastus kodzuma</i>	竹 人家周辺	竜口八幡神社 460m'17 山吹・増野 700m'17 山吹・市田ウォーキングコース 440m'17	(固) 北陸・関東南部以西の本州、四国、九州の暖温帯に分布する中型竹本。高さ 3m、枝は 3-7 個ずつ出る
メンヤダケ <i>Pseudosasa japonica</i> f. <i>pleioblastoides</i>	竹 人家周辺	山吹下平橋 440m (6665) '18 松岡城址銚子ヶ洞 470m (6164) '18 山吹・量販店東 6740m (6740m) '18 山の寺 - 完成恩沢 (長野県植物研究会誌 52 号) '18	ヤダケとメダケの自然雑種というわれる。「ヤダケ」に似ていますが枝は各節から数個がでます。竹材も「ヤダケ」より柔らかい。
スズメノカタビラ <i>Poa annua</i>	1 年草 - 越年草 庭 路傍	はたるパーク山吹西側 430m (3887) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (2963) '16 胡麻目大橋北斜面 470m (4152) '17 山吹駅 - はたるパーク山吹 470m (4193) '17	(帰?) ヨーロッパ原産 畑地や路傍など至るところにはえる。草丈 20cm ほどになり、おもに春に開花する。
アオスズメノカタビラ <i>Poa annua</i> subsp. <i>annua</i>	越年草 乾燥田	胡麻目川沿い 438m (6766) '19	(帰) ヨーロッパ原産 乾燥田に生育し早春に開花、結実、枯死する。
ヤマミソイチゴツナギ <i>Poa hisauchi</i>	1 年草 - 多年草 林縁 草地	新田・青木ヶ沢 710m (3162) '16 胡麻目川沿い 480m (3287) '16 湯ヶ洞線北斜面 490m (4544) '17	半日陰となる林縁や草地、山間の細流の脇などに生育する 1 年草または短命な多年草。
ナガハダサ <i>Poa pratensis</i>	多年草 荒地 草地 道端	下市田親水公園付近 420m (3175) '16 はたるパーク山吹周辺 440m (4644) '17 南大島川上橋付近 440m'16 万年橋付近 442m'16 林道不動滝線 800m'16	(帰) ヨーロッパ原産 和名は葉が長いことによるが、葉はそんなに長くない。
イチゴツナギ <i>Poa sphondylodes</i>	多年草 道端、土手、河原	国道・山吹交差点 440m (3080) '16 増野・大沢川沿い 715m (2598) '16 林道弓矢沢線 900m'16	和名は、昔子供が野いちごを摘んだときに、この草の茎に通して持ち運んだという伝承による。
オオスズメノカタビラ <i>Poa trivialis</i>	多年草 荒地 草地	国道山吹交差点 440m (3070) '16 山吹・小沼 460m (4287) '16 下市田天竜川河原 410m (4479) '17 万年橋 445m (4587) '17 林道弓矢沢線 760m (5501) '17	(帰) 欧州 - 西アジア原産 長さ 5mm ほどの葉舌のあるのが特徴。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■イネ科 Poaceae</b>			
ヤダケ <i>Pseudosasa japonica</i>	笹類 山地 庭園	山吹・市田ウォーキングコース 442m'16 松岡城址 550m'16 寺沢川 沿い 480m'16 下平北向き斜面 470m'16 吉田南城址 500m'16 中学校南・唐沢洞 480m'16	和名は矢の材料となることから。本州以西原産で四国・ 九州にも分布。高さ2~5m。節はほとんどふくらまない。 枝は上部で、ふつう1節から1個分枝。
スズタケ <i>Sasa borealis</i>	笹類 山地	出原二又沢橋付近 640m (2112) '16 新田原 570m (2278) '16 林道出原線終点 910m (2958) '16 本高森山登山路 1220m (3612) '16 林道不動滝線 1080m (5045) '17	稈(かん)は直立し、高さ1-2メートル。節は隆起せず、 竹の皮が長いので稈面は露出しない。
ニッコウザサ <i>Sasa chartacea</i> var. <i>nana</i>	笹類 丘陵 山地	湯ヶ洞周辺 660m (1604) '16 出原二又沢橋付近 640m (2131) '16 山吹・正木 635m (3441) '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m (3568) '16 林道弓矢沢線 660m (6114) '16	高さ1メートル以下のササ。分岐しないがまれに基部から 分岐 葉の裏に細毛。
オオバザサ <i>Sasa megalophylla</i>	笹類 丘陵 山地	秋山神社境内 500m (3921) '16	チマキザサに似ているが葉裏は有毛で葉縁に刺がある。
ミヤコザサ <i>Sasa nipponica</i>	笹類 丘陵 山地	林道出原線起点 740m (2133) '16 新田原 570m (2285) '16 前高 森山登山路 1275m (2638) '16 林道小沼大沢線 1025m (3773) '16 南大島川北斜面 530m (4041) '16	(固) 高さ1メートル以下のササ。分岐しないがまれに 基部から分岐。稈鞘、葉鞘、節は無毛。節が球状
シナノザサ(クマイザサ) <i>Sasa senanensis</i> var. <i>senanensis</i>	笹類 丘陵 山地	本高森山登山路 1550m (1383) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2520) '16 林道出原線 980m (2978) '16 山の寺南側 850m (3809) '16 前高森山登山路 1335m (2656) '16	チマキザサに似るが、チマキザサは両面とも無毛、シナ ノザサは葉裏に軟毛が密生。別名「クマイザサ」
ケズズ <i>Sasa kesuzu</i> Muroi	笹類 丘陵 山地	山吹・新田原 580m (5183) '18	稈の高さは1.5-2メートル。稈鞘に長い毛があり、葉 の裏面には軟毛が密生。和名は毛のある「スズタケ(S. borealis)」ということから。
イナコスズ <i>Sasa tsukubensis</i> subsp. <i>Pubifolia</i>	笹類 丘陵 山地	胡麻目川沿い 530m (1532) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m (1897) '16 林道弓矢沢線 660m (6073) '17 山吹・新田原 580m (5183) '17	ツクバナンブスの亜種一矮小型
ツクバナンブス <i>Sasa tsukubensis</i> subsp. <i>tsukubensis</i>	笹類 丘陵 山地	林道弓矢沢線 1060m (6708) '19	(固) 別名はツクバザサ、キンキナンブス、ヨナイナ ンブス長野県中部・南部。北海道・九州、太平洋側。 日本固有。
クマザサ <i>Sasa veitchii</i>	笹類 丘陵 神社	不動滝・駐車場 1060m (3086) '16	和名は冬の葉の縁が白く隈どられことによる。稈鞘に毛 が密生。栽培されるが野化したものもある。
クリオザサ <i>Sasaella masamuneana</i>	笹類 雑木林 草原	山吹・新田原 580m (5184) '16 山吹・小沼 480m (5777) '17 松岡城址間ヶ沢 500m (6225) '16 林道弓矢沢線 600m	アズマザサの仲間。稈の節の下部から上部にかけて、 一節、時には3個である。葉は両面とも無毛。
アズマザサ <i>Sasaella ramosa</i>	笹類 丘陵	山道・駒場新田線 510m-540m(2054)'16 新田青木が沢 710m(3150) '16 牛牧浄化センター付近 550m(3269) '16 南大島川北斜面 530m (4034) '16 松岡城址周辺 460m-520m (3527) '16	稈の上部で密に分枝、1節から1-3個である。裏面に軟毛 が密生する。
オニウシノケガサ <i>Lolium arundinaceum</i>	多年草 道端 荒地	山吹・市田ウォーキングコース 420m (3249) '16 万年橋付近 442m (3388) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5170) '17	(帰) ヨーロッパ原産だが、日本にも外来種として広く 定着している。この仲間にはヒロハウシノケガサ、オオウ シノケガサがある。生態系被害防止外来種
ヒロハウシノケガサ <i>Lolium pratense</i>	多年草 道端 荒地	下市田・天竜川河原 410m (4499) '17	(帰) オニウシノケガサと比較して、葉は直立して叢生し、 無毛。葉は平らか又はゆるく巻き、幅2-7mmの線形。葉 舌(ligule)はほとんど無い。
アキノエノコログサ <i>Setaria faberi</i>	1年草 放棄地 路傍	下市田浄化センター西 420m (1033) '16 北小学校 518m (5564) '17 牛牧太白公園 630m (5716) '17 下市田・江戸ヶ沢川 415m (6122) '17	エノコログサよりも大型で1m前後、より肥沃な場所に 生育する傾向が高い。秋に開花。
コウキンエノコログサ <i>Setaria pallidifusca</i>	1年草 荒地 農耕地周辺	高森町浄化センター西 420m (1040) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m'16	花穂は長さ2~2.8mmで長楕円形で 紫色を帯びた汚 褐色
キンエノコログサ <i>Setaria pumila</i>	2年草 荒地 農耕地周辺	下市田工業団地周辺 420m(1058) '16 やすらぎ荘周辺 500m(1324) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (1467) '16 胡麻目川沿岸 530m (1671) '16 松岡城址 550m (5460) '17	年生植物の雑草である。穂の形がエノコログサとよく似 ているが、穂にびっしり生える毛が、黄緑色のエノコ ログサと異なり、黄色である。
オオエノコログサ <i>Setaria × pycnocomma</i>	1年草 道端 畑	追分・田沢川沿い 590m (1649) '16 胡麻目川沿い 530m (1661) '16 南大島川北斜面 530m (1819) '16 山吹駅周辺 460m (1354) '16 明神橋付近 420m (2886) '16	アワとエノコログサの自然雑種。葉は長さ15-40cm花 穂は大きく、花序が枝分かれする。
ザラツキエノコログサ <i>Setaria verticillata</i>	1年草 道端 畑	明神橋付近 418m (4119) '17	(帰) 小穂下の花軸は下向きの小刺がありざつつく。エ ノコログサは上向きの長毛がある。
エノコログサ <i>Setaria viridis</i>	1年草 道端 畑	下市田天竜川河原 420m (1055) '16 山吹駅周辺 460m (1351) '16 天竜自動車学校東側 420m (1837) '16 明神橋付近 420m (2885) '16 万年橋南側 440m (2890) '16	プランのように長い穂の形が独特な雑草である。俗称「ネ コジャラン(猫じららし)」
ムラサキエノコログサ <i>Setaria viridis</i> f. <i>misera</i>	1年草 道端 畑	下市田天竜川河原 420m (1059) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1292) '16 山吹・正木 626m (5540) '17 牛牧太白公園 630m (5709) '17 明神橋付近 418m (6116) '17	特に穂の剛毛が紫に染まるもの。
オカメザサ <i>Shibataea kumasaca</i>	竹類 庭園	下市田浄化センター西 420m (1031) '16	(帰) 庭園や公園に植栽され冬でも緑を保って美しい。 細く短い枝が節から5本出てその先に1枚の葉をつける。
セイバンモロコシ <i>Sorghum propinquum</i>	多年草 畑地 河川敷 果樹園 荒地	山吹・量販店南東 438m (5665) '17 太白公園 630m (5690) '17 下市田・江戸ヶ沢川 414m (5805) '17 明神橋付近 418m (6084) '17	(帰) ヨーロッパ中東原産 大型草本で、草丈は0.5~ 2m程度になり、地下の根茎を伸ばして群生する。生態 系被害防止外来種
アブラスキ <i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>cutulifer</i>	多年草 日当りのよい草地	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1199) '16 大沢川沿い 475m (1273) '16 太白公園 635m(2081) '16 田沢大橋西側 750m(2262) '16 山吹・小沼 480m (5774) '17	大型の多年草。穂にややまとまった小穂が枝先に垂れ る。和名は穂から油のような成分を出すため。
オオアブラスキ <i>Spodiopogon sibiricus</i>	多年草 林縁の草地	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1200) '16 明神橋付近 420m (2884) '16 山吹・小沼 468m (5614) '17 林道吉原線 960m (5645) '16 林道弓矢沢線 880m (6224) '17	本種は穂の軸に関節があり、これが折れて脱落するが、 アブラスキは折れて脱落することはない。
ネズミノオ <i>Sporobolus fertilis</i> var. <i>fertilis</i>	多年草 日当りのよい草地	山道・駒場新田線 530m (2038) '16	和名は、細長く枝が広がらない穂がネズミの尾を思わせ ることによる。
ヒロハハネガヤ <i>Patis coreana</i>	多年草 林内 草原	山吹・垣外 510m (5865) '17 松岡城址間ヶ沢 500m (5878) '17 山吹・越田 600m (5930) '17 林道弓矢沢線 880m (6133) '17	RL(環ノ県EN)(固) ハネガヤとは、閉じて総状に見 える花序の形で識別できる。
ハネガヤ <i>Achnatherum pekinense</i>	多年草 林縁 草地	山の寺キャンプ場 880m (1116) '16 山の寺境内 770 (1396) '16 出原・林道出原線終点 910m (2946) '16	和名は、果実に長くねじれた葉は羽状の芒(のき)があ るから。
メカルガヤ <i>Themeda barbata</i>	多年草 林縁 草地	下市田天竜川河原 420m (1065) '16 高森カントリークラブ東 765m (1469) '16 山吹・越田 600m (5935) '16	萱葺き屋根などに使われ、カルカヤは「刈る茅」らしい。 高さ1m程度でスキより背が低い。
カニツリガサ <i>Trisetum bifidum</i>	多年草 林縁 草地 道端	山吹下平橋付近 420m (4292) '17 新田・青木ヶ沢 710m (3151) '16 高森公園 770m (3236) '16 大沢川沿い 480m (4680) '17 林道弓矢沢線 850m (5244) '17	初夏に穂を出し、よじれたような芒(のき)が特徴。 和名は茎をカニの穴に入れてつり出す遊びをした。
ナギナタガヤ <i>Vulpia myuros</i>	越年草 乾いた荒地	新田原 600m (2272) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (4652) '17 松岡城址間ヶ沢 550m (5176) '16	(帰) ヨーロッパ・西アジア原産 秋に芽生え春から夏 に開花結実。和名は穂が薙刀の形になることによる。生 態系被害防止外来種
ムラサキナギナタガヤ <i>Vulpia octoflora</i>	1年草-2年草 荒地 草地	ほたるパーク山吹周辺 440m (4643) '17	(帰) 北米原産。稈は直立し、高さ15~30cm、葉身 は強く内巻きし、長さ2~10cm。小穂の先端に長さ3 ~7mmの紫色を帯びる芒がある。
シバ <i>Zoysia japonica</i>	多年草 庭 野原 法面	量販店南東 438m'16 太白公園・不動滝(長野県植物研究会誌51号)'17	北海道南部から南の日本全土に広く自生し、スキとと もに日本の原野植物の代表種である。
コウライシバ <i>Zoysia pacifica</i>	多年草 ゴルフ場	ほたるパーク山吹周辺 440m	本州から九州に分布、踏圧に耐えるので広場やサッカー 場やゴルフ場に用いられる。
<b>■フサザクラ科 Eupteleaceae</b>			
フサザクラ <i>Euptelea polyandra</i>	落葉高木 溪谷	牛牧・堂所南 725m (3030) '16 林道二又沢線終点 785m (4797) '17 不動滝周辺 10600m'16 高森公園 770m'16 林道弓矢沢線 860m'16 林道小沼大沢線 1025 16	(固) 1属1種からなる落葉高木で、和名は赤い房状 の花の咲く様子を、満開のサクラに見立てたもの。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ケシ科 Papaveraceae</b>			
クサノオウ <i>Chelidonium majus</i> subsp. <i>asiaticum</i>	1年草～越年草 荒地 道端	太白公園 635(2087)'16 胡麻目大橋西方 470m(4218)'17 ほたるパーク山吹西側 437m'16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m'16 下市田親水公園南 416m'16 松岡城址西 550m'16	全草に約 21種のアルカロイド成分を含み、その多くが人間にとって有毒。黄色い液はその最たるもの。
キケマン <i>Corydalis heterocarpa</i> var. <i>japonica</i>	越年草 畦道	田沢・田沢川南側 620m'16 林道小沼大沢線 (1025)'16 不動滝～駐車場 1060m'16 山吹・量販店南東 438m'17 追分・正木 545m'17 林道弓矢沢線 880m'17	春、太い直立した茎から花序を伸ばし多数の鮮黄色で筒状の花を咲かせる。有毒で悪臭がある。
ムラサキケマン <i>Corydalis incisa</i>	越年草 木陰	胡麻目川沿い 505m(3591)'16 山吹・竜口 480m(3853)'17 松岡城址間ヶ沢 550m(4393)'17 山吹・小沼 460m(4951)'17	全草有毒。ウスバシロチョウの幼虫の食草であり、このためウスバシロチョウも有毒となる。
フウロケマン <i>Corydalis pallida</i> var. <i>pallida</i>	越年草 日当たりの地	牛牧・堂所南 725m(3051)'16 山の寺薬草園付近 890m(6274)'18 松岡城址 550m(6333)'18	(図) ミヤマキケマンと比べると、本種は花数が少なめで、背丈も低いものが多く、素朴な感じ。
ミヤマキケマン <i>Corydalis pallida</i> var. <i>tenuis</i>	越年草 崩壊地 磯地 法面	不動滝～駐車場 1060m(3093)'16 牛牧・高森公園 770m(3230)'16 道吉原線 1000m(3468)'16 田沢・田沢川南側 670m(3561)'16 林道二又沢線終点 785(4808)'17	(図) フウロケマンの変種で、母種より大きく丈夫で高さ 20～45cm。
ハナビシソウ <i>Eschscholzia californica</i>	1年草 栽培 逸出	山吹町菅住宅周辺 450m(6566)'18	(裁・逸) カルフォルニアポピー。カリフォルニア州の州花。明治時代に渡来し、家紋の花菱に似ているために、この名がある。
タケニグサ <i>Macleaya cordata</i>	多年草 日当たりの草地 路傍	田沢・林道吉原線 1000m'16 林道弓矢沢線 900m'16 山吹・量販店付近 435m'16 牛牧神社 640m'16 林道不動滝線 790m'16 下市田天竜川河原 410m'16	高さ 1～2m、全体に粉白を帯びる。茎は中空で、切ると有毒の黄色の乳液をだす。
ケナシタケニグサ <i>Macleaya cordata</i> f. <i>glabra</i>	多年草 日当たりの草地 路傍	林道弓矢沢線一の沢 880m(6136)'17	タケニグサの葉裏が無毛なもの。
ナガミヒナゲシ <i>Papaver dubium</i>	1年草 荒地	国道・山吹交差点 440m(3065)'16 下市田親水公園 420m(3180)'16 松岡城址間ヶ沢 550m(5149)'17 山吹・量販店南東 438m(5575)'17	(帰) 地中海沿岸の原産 4～5月紅色、もしくは肉色と評されるオレンジ色の花を付ける。
ヒナゲシ <i>Papaver rhoeas</i>	1年草 栽培 逸出	山吹・下平 440m(4986)'17	(帰) ヨーロッパ原産木) コクリコ、虞美人草の名でも知られる 1年草。薄紙のような 4 枚の花びらがしわ状になり、小さいながらも優雅な花である。
<b>■アケビ科 Lardizabalaceae</b>			
ゴウアケビ <i>Akebia × pentaphylla</i>	蔓性落葉低木 林縁	牛牧・堂所南 725m(3042)'16 中学校南・唐沢洞 480m'16 高森公園 770m'16 牛牧浄化センター 560m'16	アケビとミツバアケビの雑種。形態は、小葉は 5 枚ながら緩やかな鋸歯を持つなど、両種の特徴をもつ。
アケビ <i>Akebia quinata</i>	蔓性落葉低木 林縁	山吹・増野 700m(4622)'17 山の寺キャンプ場 875m(4932)'17 吉田城山 547m'17 月夜平 660m'17 大島山区民会館周辺'17 胡麻目大橋北斜面 470m'17	葉は 5 つの楕円形の小葉が掌状につく複葉で、互生する。
ミツバアケビ <i>Akebia trifoliata</i>	蔓性落葉低木 林縁	林道出原線起点 740m(2166)'16 月夜平 660m(4405)'17 林道吉田線終点 870m(4720)'17 南小学校 527m'16 太白公園 640m'16 黒沢川順礼沢 520m'16	小葉が 3 枚。往々にしてアケビと混じって生育している。
ムベ (トキワアケビ) <i>Stauntonia hexaphylla</i>	蔓性常緑低木 栽培 逸出	山吹・市田ウォーキングコース 440m(3958)'16 竜口八幡神社 450m'16	(裁・逸) 関東地方以西の温暖な地域に分布。昔は果実をよく食べたものだが、今は観賞に利用。栽培したものが出た。
<b>■ツツラフジ科 Menispermaceae</b>			
アオツツラフジ <i>Cocculus trilobus</i>	蔓性常緑低木 林縁	竜口八幡神社 450m(3146)'16 大沢川 443'16 松岡城址間ヶ沢 500m'17 太白公園 640m'16 湯ヶ洞周辺 660m'16 南小学校 527m'16 山吹駅周辺 460'16	有毒植物 緑色の細いつるは、枝がかれし右巻き方向に他の物に巻きつき長さ 2m 以上に伸びる。
<b>■メギ科 Berberidaceae</b>			
ヒイラギナンテン <i>Berberis japonica</i>	常緑低木 公園 庭園	秋山神社 500m(3916)'16 中学校南・唐沢洞 480m'16 下市田 4 区洞 475m'16 順礼沢 520m'16 山吹・小沼 450m'16	(裁・逸) ヒマラヤ原産 和名は葉や果実がナンテンに似て、ヒイラギのようにとげのあることによる。生態系被害防止外来種
メギ <i>Berberis thunbergii</i>	落葉低木 林縁 原野	胡麻目川沿い 530m(1541)'16 駒場・新田線 530m(2025)'16 本高森山登山路 1220m(3634)'16 林道吉田線 820m(4743)'17 高森カントリークラブ西方 880m(4848)'17	和名は茎を煎じて洗眼薬に利用されていたことによる。枝の節や葉に棘があり、別名「コトリトマズ」
イカリソウ <i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	落葉多年草 林縁 林床	吉田城岸 465m(6269)'18	春に咲く花は赤紫色で、鐘のような特異な形をしているため、イカリソウの名がある 薬草
ナンテン <i>Nandina domestica</i>	常緑低木 公園 庭園 林内	胡麻目川沿い 505m'16 松岡城址銚子ヶ洞 500m'16 中学校南・唐沢洞 480m'16 泰山神社 500m'16 下市田 4 区洞 470m'16 子安神社 470m'16	(帰) 中国原産 初夏に白い花が咲き、晩秋から初冬にかけて赤色(まれに白色)の球形の果実をつける。
<b>■キンポウゲ科 Ranunculaceae</b>			
ツクバトリカブト <i>Aconitum japonicum</i> subsp. <i>maritimum</i>	多年草 林縁 林内	林道小沼大沢線 1005m(1922)'16	有毒植物 草丈 1m ほどになり、秋に上部に青紫色の長さ 4cm ほどの兜(かぶと)型の花をつける。
ツクバトリカブト×カワチブシ <i>Aconitum grosse-dentatum</i> × <i>A. japonicum</i> subsp. <i>maritimum</i>	多年草 林縁 林内	山の寺・観音沢 954m(6617)'18 山の寺 800m(長野県植物研究会誌 52 号)'18	ツクバトリカブトとカワチブシの交配種
ニリンソウ <i>Anemone flaccida</i>	多年草 林床 川べり	胡麻目大橋西方 470m(4220)'17 牛牧・小沼曾洞 720m'17	春の山野を代表する花 1本の茎から 2本の花茎を伸ばし直径約 2cmの白い花を 2輪ずつ咲かせる。
ヤマオダマキ <i>Aquilegia buergeriana</i> var. <i>buergeriana</i>	多年草 草地 林縁 道端	山の寺 770m'16 堂所橋南 725m'16 林道小沼大沢線 1025m'16 不動滝～駐車場 1060m'16 吉田山～山の寺 1000m'16 林道弓矢沢線 860m'16	(図) 和名のオダマキの由来は花の形が、麻糸を巻きつけた管に似ていることから。
キバナヤマオダマキ <i>Aquilegia buergeriana</i> var. <i>buergeriana</i> f. <i>flavescens</i>	多年草 草地 林縁 道端	増野大沢川沿い 750m(6451)'18	萼片が黄色のもの
イヌシヨウマ <i>Cimicifuga biternata</i>	多年草 樹下 沢沿い	胡麻目川沿い 530m(1665)'16	(図) 根出葉は長い葉柄があり、ふつう 2回 3出複葉、ときに 1回 3出複葉 花に花柄がない。
サラシナシヨウマ <i>Cimicifuga simplex</i>	多年草 湿った林中 沢沿い	山の寺キャンプ場 875m(4442)'17 胡麻目川沿い 480m'16 本高森山登山路 1560m'16 不動滝直上 1080m'16	根出葉が 3回 3出複葉で、花に花柄がある。本種やその他同属植物の根茎は生薬である。
ボタンヅル <i>Clematis apiifolia</i> var. <i>apiifolia</i>	落葉つる性半低木 林縁 道端	大沢川沿い 475m(1272)'16 山吹駅周辺 460m(1349) 胡麻目川沿い 530m(1686) 山の寺南側 835m(3430) やすらぎ荘周辺 500m'16 林道不動滝線 980m'16	有毒 和名は、葉の様子がボタン(牡丹)に似、つる性であることからついた。葉は 1回 3出複葉
コボタンヅル <i>Clematis apiifolia</i> var. <i>biternata</i>	落葉つる性半低木 林縁 道端	下市田親水公園南 416m'16 山吹・正木 635m'16 山の寺境内 770m'16 林道不動滝線 980m'16 新田・青木ヶ沢 710m'16 南小学校 527m'16	(図) 葉は 2回 3出複葉
ハンショウヅル <i>Clematis japonica</i>	落葉つる性半低木 林縁 林内	黒沢川順礼沢 520m(4892)'17 寺沢川沿い 500m(4916)'17 林道弓矢沢線 850m(5305)'17 大島川本沢 1150m(5395)'17	和名は下向きに咲く花の形を半鐘にたとえたことに由来する。
カザグルマ <i>Clematis patens</i>	落葉性つる性多年草 草地 林縁	下市田 4 区 420m(6789)'17	RL(環 NT/ 県 CR) 林縁に生え、鑑賞用にも植えられている。茎は褐色で木質化する。5～6月に短い若枝の先に白色または淡紫色の花を単生する。
クサボタン <i>Clematis stans</i>	落葉半低木 林縁 草原	大島川本沢 1080m(4430) 不動滝～駐車場 1060m'16 林道弓矢沢線 980m'16	(図) 有毒 和名は、葉がボタン(牡丹)に似ることからついた。センニンソウ属の仲間であるが、茎は直立し、高さは 1m になる。
センニンソウ <i>Clematis terniflora</i>	落葉つる性半低木 日当たりの草地 林縁	下市田天竜川河原 420m(1049)'16 山吹・小沼 468m(5604)'17 山吹・市田ウォーキングコース 420m'16 山吹・量販店付近 435m'16 追分・正木 545m'17	有毒 和名は瘦果に付く綿毛を仙人の髭に見たてたもの。別名が「ウマクワズ(馬食わず)」



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■キンボウゲ科 Ranunculaceae</b>			
クロタネソウ <i>Nigella damascena</i>	1年草 栽培 逸出	山吹町菅住宅周辺 439m (7069) '17	(帰) 地中海 - 西アジア原産 日本には江戸時代末期に渡来しており、現在一部地域で逸出したものが野生化。
オキナグサ <i>Pulsatilla cernua</i>	多年草 草地 栽培	山の寺境内 880m '17	RL (環 VU / 県 EN) 花後にできるタネに白く長い毛があり、そのタネが密集して風にそよぐ姿を老人の白髪に見立てて、オキナグサの和名がある。
ケキツネノボタン <i>Ranunculus cantoniensis</i>	多年草 水田の畔 溝	駒場 - 新田線 550m (3360) '16 高森カントリークラブ東 740m (3427) '16 大沢川沿い 480m (4679) '17 山吹・越田 590m '16 南大島川北 500m '16 山の寺キャンプ場 880m '16	瘦果(そうか)の先がほとんど曲がらないことが、キツネノボタンとの違い。
ウマノアシガタ <i>Ranunculus japonicus</i>	多年草。 日当たりの草地	松岡城址間ヶ沢 500m (4346) '17 大沢川沿い 480m (4676) '17 田沢大橋西方 770 (4954) '17 寺沢川周辺 490m '16 山吹・越田 570m '16 高森公園 770m '16	日当たりのよい山野に生息する多年草。枝分かれをした花茎の先に1つずつ黄色い花をつける。
ヤマキツネノボタン <i>Ranunculus silerifolius</i> var. <i>silerifolius</i>	多年草 山地の陰湿地	やすらぎ荘北 430m (1242) '16 山の寺北側林道 800m (1507) '16 胡麻目川沿い 530m (1654) '16 林道小沼大沢線 (1977) '16 下市田天竜川河原 410m '16	斜上毛が多く、花茎が細長いものをいう。無毛なものを変種のキツネノボタンとする。
カラマツソウ <i>Thalictrum aquilegifolium</i> var. <i>intermedium</i>	多年草 山地の草原	林道弓矢沢線 900m '16 山吹・市田ウォーキングコース 420m '16 山吹・小沼 450m '16 泰山神社 500m '16 寺沢川沿い 470m '16 山の寺境内 770m '16 高森公園 770m '16	花の姿をカラマツの葉に見立てたのが名の由来。
アキカラマツ <i>Thalictrum minus</i> var. <i>hypoleucum</i>	多年草 山地の草原	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1213) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1311) '16 大丸山公園北斜面 530m '16 寺沢川沿い 470m (5511) '17 山の寺境内 (1405) '16	広く山野に自生する。高さ約1メートル。葉は裏面が白色を帯びた羽状複葉。八月頃、黄白色の小花を円錐花序につける。
ミヤマカラマツ <i>Thalictrum tuberiferum</i>	多年草 山地の林内や湿った 岩上	大島川本沢 1080m (5339) '17 田沢川沿い 514m (5987) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2485) '16	名は、深山に生えるカラマツソウの意味。
<b>■アワブキ科 Sabiaceae</b>			
アワブキ <i>Meliosma myriantha</i>	落葉高木 山地	林道不動滝線 770m (2541) '16 竜口八幡神社 450m (3144) '16 林道弓矢沢線 1050m (5284) '17	水分が多く、燃やすと切り口から泡を吹出すのでこの和名がある。
ミヤマハハソ <i>Meliosma tenuis</i>	落葉低木 山地の林縁、沢筋	竜口八幡神社 460m '16 高森町登山路 1140m '16 田沢川沿い 500m '16	和名の由来は葉がコナラに似ていることから。ハハソはコナラの別名。
<b>■ヤマグルマ科 Trochodendraceae</b>			
ヤマグルマ <i>Trochodendron aralioides</i>	常緑広葉樹 林中	山吹・山吹 480m (4106) '16	樹皮から捕虫・捕鳥に用いられたとりもちを作る。
<b>■マンサク科 Hamamelidaceae</b>			
マンサク <i>Hamamelis japonica</i>	落葉小高木 山地	大島川干川沢 1200m (2731) '16	マンサクの語源は、早春に咲くことから、「まず咲く」「まんざく」が訛ったものともいわれている。
オオバマンサク <i>Hamamelis japonica</i> var. <i>megalophylla</i>	落葉小高木 山地	大島川本沢 1080m (5315) '17 大島川本沢 1150m (5401) '17	3～4月に葉に先駆けて花が咲く。葉身はマンサクより一回り大きい。本州(若手から関東の太平洋側)
<b>■カツラ科 Cercidiphyllaceae</b>			
カツラ <i>Cercidiphyllum japonicum</i>	落葉高木 溪谷	大島川干水ノ沢 1200m (2773) '16 高森カントリークラブ西方 880m (4851) '17	低山上部の溪谷に産し、街路樹や公園樹としても植栽される。
<b>■ユズリハ科 Daphniphyllaceae</b>			
ユズリハ <i>Daphniphyllum macropodum</i>	落葉高木 山地	萩山神社 500m (3907) '16 南大島川北斜面 530m (4045) '16 山吹 480m (4106) '17 松岡城址銚子ヶ洞 500m '16 中学校南・唐沢洞 480 '16 下市田4区洞 475m '16	RL (環 / 県 NT) 暖温帯性 種子が鳥によって運ばれて自生、あるいは観賞用に植栽される。
<b>■スグリ科 Grossulariaceae</b>			
ヤブサンザシ <i>Ribes fasciculatum</i>	落葉低木 二次林 林縁	天白公園 635m (2072) '16	果実は秋に赤く熟して美しい。直径7-8mmで、先端には萼筒と雄しべの一部が残っている。
コマダケスグリ <i>Ribes japonicum</i>	落葉低木 溪谷 針葉樹林中	大島川本沢 1080m (5336) '17	(固) 和名は木曾駒ヶ岳で発見されたことによる。果実は液果となり、7～8月に赤黒色に熟し食用となる。
ザリコミ <i>Ribes maximowiczianum</i>	落葉低木 二次林 林縁	林道弓矢沢線 600m (5221) '17 林道弓矢沢線 1050m (5267) '17	ザリコミの葉はカエデの葉と似るが、カエデの葉はが対生なのに対し、ザリコミは葉は互生。
<b>■ユキノシタ科 Saxifragaceae</b>			
チダケサシ <i>Astilbe microphylla</i>	多年草 湿原 湿った林縁	山の寺キャンプ場 880m (1759) '16 山吹・下平 450m (2389) '16 林道吉原線 960m (5628) '17 大島川干水ノ沢 1210m '16	和名はこの花茎に乳茸と呼ばれるキノコを刺して持ち帰ったことによる。園芸種「アスチルベ」はこの仲間。
アカショウマ <i>Astilbe thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>	多年草 林縁	大島川干水ノ沢 1200m (2474) '16 本高森山登山路 1220m (3630) '16 林道二又沢線 690m (4784) '17 弓矢沢橋付近 650m (5122) '17 大島川本沢 1080m (5309) '17	(固) 根際から生える葉は3回3出複葉。和名は根茎の皮が赤色であることによる。
ヒマラヤユキノシタ <i>Bergenia stracheyi</i>	常緑多年草 庭先 人家周辺	山吹・下平 455 (m) '19	ヒマラヤ山脈周辺原産 葉はキャベツに似た形で、らせん状に茎につき、桃色の花が春に多数、咲き美しい。耐寒性が高く育てやすい。
イワネコノメソウ <i>Chrysosplenium echinus</i>	多年草 山地	大島川干水ノ沢 1200m (2767) '16 林道不動滝線 980m (3739) '16 田沢大橋西側 770m (4358) '17 林道弓矢沢線 760m (5438) '16 林道吉田線 820m (4761) '17	緑色の萼裂片が開出し、裂開直前の葯が赤～オレンジ色。根生葉が花時になくなっていく。
ツルネコノメソウ <i>Chrysosplenium flagelliferum</i>	多年草 山の半陰地	林道小沼大沢線 1005m (1928) '16 干水ノ沢 1200m (2799) '16 不動滝 - 上駐車場 1070m (3092) '16 高森公園 770m (3227) '16 山の寺キャンプ場 875m (4444) '17	葉が円形の繊細な種。葉が互生、走出枝がある。
ネコノメソウ <i>Chrysosplenium grayanum</i>	多年草 湿地	やすらぎ荘北 430m (1246) '16 林道弓矢沢線 800m (1584) '16 牛牧・堂所南 725m (3045) '16 山吹・竜口 480m (3861) '16 胡麻目川大橋下 470m (4169) '17	ヤマネコノメソウに似ているが、葉が対生するほか、雄しべが4個もしい特徴。多くの近縁種は普通8個。
ヤマネコノメソウ <i>Chrysosplenium japonicum</i>	多年草 山地	高森カントリークラブ北 800m (3297) '16 山吹・正木 635m (3449) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (3937) '16 萩山神社南洞 470m (4521) '17	葉が互生するのが大きな特徴。この特徴を持つものは、ツルネコノメソウなど数種があるだけ。
ニッコウネコノメ <i>Chrysosplenium macrostemon</i> var. <i>shioharensis</i>	多年草 湿気のある半日陰	林道二又沢線終点 680m (4211) '17 林道不動滝線 750m (4241) '17 林道弓矢沢線 600m (5229) '17	茎葉が細長くなる。花序同志が接してつき、ひとつの茎にひとつの花がついているように見える。
コガネコノメソウ <i>Chrysosplenium pilosum</i> var. <i>sphaerospermum</i>	多年草 湿り気のある半日陰	林道二又沢線起点付近 680m (4205) '17 胡麻目大橋西方 470m (4225) '17 田沢大橋西方 470m (4359) '17 山の寺キャンプ場 875m (4436) '17	萼が黄色で大きく直立し、周辺の苞とはっきり色がちがう。
マルバネコノメソウ <i>Chrysosplenium ramosum</i>	多年草 山の半陰地	林道不動滝線 980m (3734) '16 干水ノ沢 1200m (2511) '16 吉田山 - 山の寺 1100m (3762) '16 林道弓矢沢線 600m (5230) '17	茎葉が円形で繊細な種。茎葉が対生すること、茎に毛があることで見わけることができる。
コチャルメルソウ <i>Mitella pauciflora</i>	多年草 溪谷	大島川干水ノ沢 1200m (2797) '16 牛牧・堂所南 725m (3022) '16 高森カントリークラブ北洞 800m (3303) '16 増野大沢川付近 770m (3324) '16 田沢大橋西方 770m (4362) '17	(固) 山地の溪流沿いや湿った林床などに生育する。果実の形が楽器のチャメラに似ている。
ヤグルマソウ <i>Cyanus segetum</i>	多年草 深山の湿った地	大島川干水ノ沢 1200m (2489) '16 不動滝 - 駐車場 1060m '16	根出葉は5枚の小葉からなる掌状複葉で、この形が、矢車に似ることが、和名の由来。
ダイモンジソウ <i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>alpina</i>	多年草 深山の湿った岩場	天白公園 - 不動滝 (長野県植物研究会誌 51号) '17	和名は、花が「大」の字に似ることからついた。
クロクモソウ <i>Micranthes fusca</i> var. <i>kikubuki</i>	多年草 深山溪谷の岩上	大島川干水ノ沢 1200m (2523) '16 大島川本沢 1150m (5396) '17	草丈20cmほど、和名は花の様子から。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ユキノシタ科 Saxifragaceae</b>			
ユキノシタ <i>Saxifraga stolonifera</i>	常緑多年草 湿った半日陰地の岩場	山吹・市田ウォーキングコース 470m'16 寺沢川周辺 490m'16 松岡城址 銚子ヶ洞 520m'16 不動滝・駐車場 1060m'16 林道吉田線起点 665m'16	本種は種子に因る種子繁殖と、親株の根から地上茎である走根を出して栄養繁殖する。
<b>■ベンケイソウ科 Crassulaceae</b>			
ツメレンゲ <i>Orostachys japonica</i>	多年生の多肉植物 河川敷 堤防の石垣	南大島川上橋付近 440m'16 大沢川山吹駅付近 454m 山吹交差点付近 450m	RL (環 NT/ 県 NT) クロツバメシジミの主要な食草
ホソバノキリンソウ <i>Pheidimus aizoon</i>	多年草 草原	泰山神社 500m'16 山の寺南 835m'16	キリンソウが岩場や海岸など、より乾燥した環境に生えるのに対して、ホソバノキリンソウは草地に多い。
キリンソウ <i>Pheidimus aizoon</i> var. <i>floribundus</i>	多年草 岩場 石垣	天白公園 - 高森公園 725m'725m (7045) '19	岩場や乾燥しやすい草原に生える多肉質の植物
コモチマンネングサ <i>Sedum bulbiferum</i>	越年草 道端 庭先	胡麻目大橋北斜面 470m (4158) '17 ほたるパーク山吹周辺 440m (4767) '17 林道吉田線 710m (4765) '17 黒沢川順礼沢 520m (4866) '17 明神橋北 430m'17	多肉植物で、茎の葉の付け根にムカゴを生じ、これが落下して繁殖する。
ヨーロッパタイトゴメ <i>Sedum acre</i>	多年草 ランドカパーで栽培・逸出	山吹駅周辺 454m'19 山吹・小沼発電所付近 440m'19	(帰) ヨーロッパ - 小アジア、北アフリカ原産 初めグランドカバーなどに庭に植えられたりしたものが逸出して野生化したものと考えられている。
ツルマンネングサ <i>Sedum sarmentosum</i>	多年草 河川敷 道端	ほたるパーク山吹周辺 440m (4686) '17 明神橋北 430m'17 山吹・量販店南東 438m'17 中学校南・唐沢洞 510m'16 万年橋付近 442m'16 国道山吹交差点付近 440m'16	(帰) 中国、朝鮮半島原産 つる性で繁殖力が旺盛、地を這うようにしてつぎつぎと殖えていく。
ヒメレンゲ <i>Sedum subtile</i>	多年草 谷の岩場	大沢川沿い 500m (4711) '17 寺沢川沿い 500m (4908) '17 大島川本沢 1080m (5337) '17	山地の溪流沿いなどの湿った場所に走根を伸ばして広がる。
<b>■アリノトウグサ科 Haloragaceae</b>			
アリノトウグサ <i>Gonocarpus micranthus</i>	多年草 日当たりの湿地	越田原 760m (1635) '16 林道矢沢線 980m (3202) '16	湿地、草地、畦などの日当たりのよい場所に生育する草丈 30cmほどの小型の多年草。
<b>■ブドウ科 Vitaceae</b>			
ノブドウ <i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>	つる性落葉低木 藪 林縁	泰山神社 500m'16 田沢川沿岸 500m'16 南小学校 527m'16 南大島川上橋付近 440m'16 山吹駅周辺 460m'16 天白公園 640m'16 林道出原線 880m'16	果実は、熟すと光沢のある青色や紫色などに色づくが、食味は不味い[2]。
キレハノブドウ <i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i> f. <i>citruroides</i>	つる性落葉低木 藪 林縁	山の寺境内 770m (1392) '16	葉の切れ込みの深いものをノブドウの品種として区別されることがある。
ヤブカラシ <i>Cayratia japonica</i>	つる性多年草 道端、林縁、荒地	高森カントリークラブ東 765m (1481) '16 牛牧浄化センター南斜面 '16 湯ヶ洞周辺 660m'16 牛牧神社 640m'16 本学神社駐車場 670m'16 松岡城址 銚子ヶ洞 500m'16	和名は藪を覆って枯らしてしまうほどの生育の旺盛さを示している。別名ピンボウカズラ
ツタ <i>Parthenocissus tricuspidata</i>	落葉つる性木本 林内や林縁	山吹・越田 570m'16 吉田南城跡 500m'16 新田・青木ヶ沢 710m'16 高森公園 770m'16 牛牧浄化センター 560m'16 南小学校付近 '16 山の寺境内 760m'16	節から先端が吸盤になった巻きひげをのぼし、樹冠や岩盤をよじ登る。紅葉が美しい。別名はナツツタ
ヤマブドウ <i>Vitis coignetiae</i>	つる性落葉低木 山野	山の寺境内 760m (1390) '16 大島川本沢 1080m (5360) '17 県道山吹停車場線 912m (5727) '17 不動滝駐車場 970m'16 高森公園 770m'16	果実は球形で秋に熟し黒紫色になる。甘酸っぱく、生食できる。
エビヅル <i>Vitis ficifolia</i> var. <i>ficifolia</i>	つる性落葉低木 山野	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1206) '16 高森カントリークラブ東 765m (1496) '16 天白公園 635m (2068) '16 林道出原線 815m (2184) '16 山吹・小沼 570m (2328) '16	葉の裏面は淡褐色または白色のクモ毛に覆われ、秋まで残る。
サンカクヅル ギョウジャノミズ <i>Vitis flexuosa</i>	つる性落葉低木 山野	林道出原線終点 910m (2967) '16 林道吉田線終点 870m (4730) '17 '17 林道二又沢線 740m (4328) '17 林道吉原線 1020m (2428) '16 林道矢沢線 980m (3195) '16	和名は葉が三角形をしていることから。別名は「行者の水」で、山中でこの茎を切ると水が出たことから。
<b>■マメ科 Fabaceae</b>			
クサネム <i>Aeschynomene indica</i>	1年草 水田 湿地	山吹・量販店南東 436m (5601) '16	草丈は 50 ~ 100cm ほどで、水田や河川敷などに生育。和名は葉がネムノギに似ていることに由来する
ネムノギ <i>Albizia julibrissin</i>	落葉高木 河原 雑木林	国道山吹交差点周辺 440m'16 牛牧浄化センター 560m'16 本学神社 680m'16 大沢川河口 442m'17 やすらぎ荘付近 500m'16 南大島川大橋付近 540m'16	花は枝先に集まって夏に咲く。淡紅色のおしべが長く美しい。香りは桃のように甘い。
イタチハギ <i>Amorpha fruticosa</i>	落葉低木 道端、河川敷、荒地	天竜川自動車学校東側 420m (1843) '16 万年橋付近 440m (3128) '16 '16 山吹・下平 440m (5004) '17 林道矢沢線 900m'16 下市田天竜川河原 410m'16	(帰) 生態系被害防止外来種 北アメリカ原産 日本の侵略的外来種フースト100に指定されているが、法面緑化に利用される。別名「クロバナエンジュ」
ヤブマメ <i>Amphicarpaea bracteata</i> subsp. <i>edgeworthii</i>	つる性1年草 林縁 草藪	市田郵便局西北 450m (1003) '16 林道弓矢沢線 780m (1183) '16 山吹駅周辺 460m (1348) '16 下市田4区洞 470m (2217) '16 万年橋南側 440m (2887) '16	地上の解放花の他に、地下に閉鎖花をつけ、地中にも果実をつける。
ゲンゲ <i>Astragalus sinicus</i>	越年草 湿った草地	胡麻目川沿い 505m (3583) '16 山吹・竜口 480m (3856) '16 大沢川沿い 480m (4930) '17 寺沢川沿い 470m'16 黒沢川沿い 490m'16	中国原産の越年草 花は蜜源植物になり、休耕田の雑草防止策に利用したり緑肥にした。
エニシダ <i>Cytisus scoparius</i>	落葉低木 荒地、法面へ植栽	戒壇不動付近 1245m'16	(帰) 地中海地方原産 觀賞用や花材として植栽されるほか、荒地への治山植栽にも利用される。生態系被害防止外来種
アメリカヌスビトハギ <i>Desmodium obtusum</i>	1年草 道端 林縁 草藪	明神橋付近 420m (1173) '16 天竜自動車学校東側 420m (1833) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m (1877) '16 北小学校 518m (5559) '17	(帰) 北アメリカ原産 果実は 1-3 節 葉の下面に細かい脈が目立つ。
アレチヌスビトハギ <i>Desmodium paniculatum</i>	2年草 道端 林縁 草藪	南信州山吹支所付近 500m (2011) '16 山吹・量販店東 430m (6735) '18	(帰) 生態系被害防止外来種 北アメリカ原産 果実は 4-6 節にむくれ、各節間とも三角形に近い。
ノササゲ <i>Dumasia truncata</i>	つる性の多年草 半日陰の林縁	山の寺キャンプ場 880m (1327) '16 駒場 - 新田線 520m (2034) '16 '16 山吹・垣外 510m (5821) '17 林道弓矢沢線 880m (6113) '17 松岡城址 銚子ヶ洞 500m (6150) '17	淡黄色の花弁、濃紫色に熟すマメ果が特徴。
ツルマメ <i>Glycine max</i> subsp. <i>soja</i>	1年草 河川敷 草藪	下市田天竜川河原 420m (1094) '16 万年橋付近 445m (1229) '16 天竜自動車学校河原 420m (1845) '16 明神橋付近 420m'16	ダイズの本種とされ、マメ果が茶褐色の毛に覆われていて「枝豆」にそっくりである。
フジカンゾウ <i>Hyloidesmum oldhamii</i>	多年草 半日陰になる林縁、林床	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1222) '16 林道弓矢沢線 800m (1569) '16 吉田南段丘 470m (2448) '16 山吹・市田ウォーキングコース 455m (5667) '17	和名は花がフジに似ている、葉がマメ科の甘草(カンゾウ) : 著名な漢方薬) に似ていることによる。
ヌスビトハギ <i>Hyloidesmum podocarpum</i> subsp. <i>oxyphyllum</i>	1年草 草地 林縁	山の寺境内 770m (1414) '16 越田原 760m (1625) '16 吉田南段丘 470m (2449) '16 林道不動滝線 770m (2578) '16 林道吉原線 960m (5626) '17	果実は 2 節からなり、その表面は触れるとざらつき、衣服などによくくっつく。マジックテープのようである。
オイハギ <i>Hyloidesmum podocarpum</i> subsp. <i>oxyphyllum</i> var. <i>japonicum</i>	2年草 草地 林縁	天白公園 - 不動滝 '17 (長野県植物研究会誌 51 号) '17 山の寺観音沢 - 観音沢 (長野県植物研究会誌 51 号) '18	ヌスビトハギ×ヤブハギ
ヤブハギ <i>Hyloidesmum podocarpum</i> subsp. <i>oxyphyllum</i> var. <i>mandshuricum</i>	1年草 林内、林縁の陰地	林道小沼大沢線 760m (1962) '16 松岡城址 銚子ヶ洞 520m'16	ヌスビトハギに似ている。葉は、ヌスビトハギは散らばってつくが、本種は下部にかたまってくる。
マルバヌスビトハギ <i>Hyloidesmum podocarpum</i> subsp. <i>podocarpum</i>	1年草 半日陰の林縁、林内	山吹・小沼 468m (5612) '17 山吹駅周辺 458m (6659) '18	葉は 3 出複葉で互生し 長さ 3cm ~6cm の倒卵形 ~ 広倒卵形 頂小葉の中央部より上が最も幅が広い。
トウコマツナギ <i>Indigofera bungeana</i>	落葉低木 道路法面	下市田天竜川河原 420m (1099) '16 山の寺境内 770m (1425) '16 '16 湯ヶ洞付近 660m (1595) '16 南大島川川上橋付近 440m (1814) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m'16	(帰) 中国原産。道路整備した場所を緑化目的で植栽される。別名「キダチコマツナギ」コマツナギより大きい。

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
■マメ科 Fabaceae			
コマツナギ <i>Indigofera bungeana</i>	落葉低木 日当たりのよい山道、土手	やすらぎ荘周辺 500m (1297) '16 下市田天竜川河原 415m (5064) '17 明神橋北 430m '17 山吹・量販店南東 438m '17 南大島川川上橋付近 540m	和名は「駒繫ぎ」という意味で、葦が丈夫で、馬をつなぎとめることができることから名付けられた。
マルバヤハズソウ <i>Kummerowia stipulacea</i>	多年草 河原 道端	明神橋付近 420m (1172) '16 万年橋付近 445m (1226) '16 下市田天竜川河原 406m (5526) '17 北小学校 518m (5547) '17 南大島川川上橋付近 440m (1818) '16	ヤハズソウに似て葉が丸みを帯びるからこの和名がある。茎には上向きの毛が生えている。
ヤハズソウ <i>Kummerowia striata</i>	多年草 河原 道端	ほたるパーク山吹周辺 440m (1434) '16 南信州山吹支所付近 500m (2017) '16 林道出原線 815m (2171) '16 太白公園 630m (5710) '17	葉の先を引張ってちぎると矢筈の形になることからこの和名である。茎には下向きの毛が生えている。
イタチササゲ <i>Lathyrus davidii</i>	多年草 高原の林縁や草原	吉田南段丘 470m (2450) '16 下平・下平橋付近 480m (2858) '16 山吹・正木 635m (3446) '16 山吹・小沼 460m (4378) '17 中学校南・唐沢洞 490m '16	夏に咲く直立した花序が目立つ。和名は、花色がイタチの毛色に似ていること由来するといわれる。
ヤマハギ <i>Lespedeza bicolor</i> var. <i>bicolor</i>	落葉半低木 アカマツ林の林縁や林内	高森カントリークラブ東 765m (1491) '16 太白公園 635 (2099) '16 本学神社北斜面 680m (2870) '16 出原・林道出原線 815m (2179) '16 山吹・小沼 468m (5608) '17	花は、初秋から秋に多くつけ、紅紫色の蝶型花。秋の七草のハギは本種がマルバハギ。
キハギ <i>Lespedeza buergeri</i>	落葉低木 山野	太白公園 635 (2091) '16	開花時期は6月-9月、花の色は淡いクリーム色に紅紫色が混じる。花の後にできる実は豆果である。
メドハギ <i>Lespedeza cuneata</i> var. <i>cuneata</i>	多年草 河原 堤防	下市田天竜川河原 420m (1057) '16 明神橋付近 420m (1157) '16 林道矢沢線 800m (1587) '16 山吹・下平 440m (4982) '17 北小学校 518m (5550)	緑化に利用され法面に吹き付けられる。空中窒素の固定能力があり、痩せ地の緑化に適しているから。
マルバハギ <i>Lespedeza cyrtobotrya</i>	落葉低木 山野	山の寺キャンプ場 880m (1127) '16 越田原 760m (1623) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m (1896) '16 林道吉原線 960m (5619) '17	本種は花柄が短く花が葉の間に咲いている。ヤマハギは花柄が長く葉の間から花穂が突き出している。
ツクシハギ <i>Lespedeza homoloba</i>	落葉半低木 路傍・法面・林縁	林道弓矢沢線 780m (1176) '16	本種はヤマハギとよく似ているが、花では顎裂片の先端が円頭であり脈が目立たない点で区別される。
ネコハギ <i>Lespedeza pilosa</i> var. <i>pilosa</i>	多年草 日当たりの良い草地や畑地	牛牧浄化センター南斜面 520m '16 山の寺境内 760m '16 林道弓矢沢線 880m '17	地を這うように伸び、白に紫の斑紋を持つ花を付ける。全体に軟らかな毛を持つ。
ケハギ <i>Lespedeza thunbergii</i> subsp. <i>patens</i>	落葉低木 河原 山野	県道・山吹停車場線 912m (5726) '17	(固) 野生種の萩(ハギ)の中では花が最も大きい。ミヤハギとは葉が丸いことで見分けられる。
マキエハギ <i>Lespedeza virgata</i>	落葉半低木 岩場 路傍	大沢川沿い 475m (1290) '16 天竜自動車学校東側 420m (1859) '16 山吹・小沼 480m (5773) '17	岩場など土壌の浅い路傍などに生育する。高さは40-60cmで萩としては小形のかわいいうハギである。
ミヤコゴサ <i>Lotus corniculatus</i> subsp. <i>japonicus</i>	多年草 道端	山の寺・観音沢(長野県植物研究会誌 52号) 18	道端などに普通に見られる野草。春に黄色い花を多数つける。茎は根元で分枝して、地表を這う。
ムラサキウマゴヤシ <i>Medicago sativa</i>	多年草 牧草	出原神社 615m (6346) '18 山吹・量販店東 430m (6728) '18	(帰) 中央アジア原産 アルファルファ、ルーサンとも呼ばれる。頑丈な根株から多数の茎を叢生し、伸びると1m程になる。
シロバナシナガワハギ <i>Melilotus officinalis</i> subsp. <i>abusus</i>	1年草~越年草 河原	下市田工業団地東 420m (1061) '16 万年橋付近 440m (3133) '16 下市田親水公園付近 420m (3182) '16 山吹・下平 440m (3181) '17	(帰) 中央アジア~ヨーロッパ原産。花序は長さ3~10cmでシナガワハギより長く、花は白色。豆果に網目状のくぼみがあるのが特徴。
シナガワハギ <i>Melilotus officinalis</i> subsp. <i>saueolens</i>	越年草~2年草 河原 土手	下平天竜川河原 440m (5017) '17	(帰) 江戸時代にユラシア大陸(中央アジア、ヨーロッパ)から帰化したmで、品川付近に多かった事からその名がある。
クス <i>Pueraria lobata</i>	つる性落葉多年草 山野	太白公園 630m (5700) '17 やすらぎ荘北西山麓 530m (5900) '17 山吹唐沢川 443m '16 吉田城山 547m '17 明神橋北 430m '17 湯ヶ洞付近 660m '16	根を用いて食材の葛粉や漢方薬が作られ、万葉の昔から秋の七草の一つに数えられている。
トキリマメ <i>Rhynchosia acuminatifolia</i>	つる性落葉多年草 林縁	山吹・小沼 480m (5771) '17	マメ果の色が晩秋に鮮やかな赤色に熟す。小葉は卵型葉の基部の方が幅が広がる。
ハリエンジュ(ニセアカシア) <i>Robinia pseudoacacia</i>	落葉高木 河原 荒地	湯ヶ洞線北斜面 490m (4566) '16 万年橋付近 445m (4706) '17 林道弓矢沢線 700m (5299) '17 山吹・唐沢川 443m '17 明神橋北 430m '16 山吹駅周辺 460m '16	(帰) 生態系被害防止外来種 北米原産 1873年に渡来し街路樹、公園樹、砂防・土止めに植栽。現在、植生荒廃で問題になる。
クララ <i>Sophora flavescens</i>	多年草 荒地 川べり	やすらぎ荘付近 490m (5039) '16 山の寺キャンプ場 880m '16 林道弓矢沢線 960m '16	全草有毒であり、根の部分が特に毒性が強い。絶滅危惧種のおそれがある。食用の食草。
クスダマツメクサ <i>Trifolium campestre</i>	多年草 道端 土手	下市田親水公園 420m (3179) '16 下市田天竜川河原 410m (4491) '17 万年橋 445m (4592) '17 ほたるパーク山吹周辺 440m (4671) '17 明神橋北 430m '17	(帰) ヨーロッパ原産 空き地や道端などに生える雑草。和名は、花序が薬玉のように見えることから。
コムツツメクサ <i>Trifolium dubium</i>	多年草 道端 河原	万年橋付近 445m '16	(帰) 本種はコムツツメクサに比べ、葉はわずかに先端がくぼみ、無毛であることで区別可能。
ムラサキツメクサ アカツメクサ <i>Trifolium pratense</i>	多年草 草地 道ばた 土手	北小学校 518m (5554) '17 明神橋北 430m '17 大島山区民会館周辺 650 '17 太白公園 635m '17 万年橋付近 445m '17 南小学校 527m '16 南大島川川上橋付近 440m '17	(帰) 牧草や家畜飼料として広く栽培される。土壌を肥沃にする緑肥としても利用される。別名「アカツメクサ」
シロツメクサ <i>Trifolium repens</i>	多年草 道ばた 畦道、芝生	ほたるパーク山吹周辺 440m (4656) '17 牛牧浄化センター 560m '16 山吹・下平 450m '17 山の寺境内 800m '17 万年橋南側 445m '16 明神橋付近 420m '16	(帰) ヨーロッパ原産 日本へは1846年に渡来。牧草として育てられたものが日本各地で野生化している。
ツルフジバカマ <i>Vicia amoena</i>	つる性の多年草 林縁 草原	牛牧浄化センター南斜面 520m (1901) '16	山野に生えるつる性の多年草。クサフジによく似るが葉は10-16小葉からなる。
ハラクサフジ <i>Vicia amurensis</i>	つる性の多年草 林縁 草原	下市田天竜川河原 420m (1056) '16 山吹・大沢川 437m (5789) '17 万年橋付近 445m '16	和名は野原に咲くクサフジに似る。クサフジの花期が初夏~夏と比べ、本種は夏の終り~秋。
クサフジ <i>Vicia cracca</i>	つる性の多年草 日当りの草地	下市田天竜川河原 420m (1089) '16 南大島川川上橋付近 440m (1810) '16 万年橋南側 440m (2829) '16 山吹・量販店南東 435m (2914) 山吹・大沢川 443m '17	山野に普通にみられる花と葉がフジに似たつる性の多年草
ズズメノエンドウ <i>Vicia hirsuta</i>	つる性の越年草 田畑 草地	山吹・越田 580m (3502) '16 大島山区民会館周辺 650m (4254) '17 松岡城間ヶ沢 500m (4326) '17 下市田・中谷 420m (4517) '17 ほたるパーク山吹周辺 440m (4637) '17	葉は12~14個の小葉からなり、先は巻きむげになる。
ヒロハクサフジ <i>Vicia japonica</i>	つる性の越年草 土手 草敷	万年橋付近 445m (1228) '16	クサフジに似ているが、小葉の数が少なく、花序も短い。
ヨツバハギ <i>Vicia nipponica</i>	つる性の越年草 路傍 堤防	出原中里小胡桃沢 610m (1255) '16 湯ヶ洞線北斜面 490m (4568) '17 越田原 760m '16	葉は2-4対の小葉からなり花は紅紫ないし青紫色で、長さ約1センチメートル。
オオハクサフジ <i>Vicia pseudo-orobus</i>	つる性の越年草 草敷 土手	山の寺キャンプ場 880m (1117) '16 山吹・市田ウォーキングコース 455m (1223) '16 松岡城間ヶ沢 500m (5879) '17 山吹・下平 450m (5897) '17	ヒロハクサフジよりさらに小葉が大きく、数が少ない
カラスノエンドウ <i>Vicia sativa</i> subsp. <i>nigra</i>	つる性の越年草 路傍 堤防	山吹・越田 580m (3501) '16 松岡城間ヶ沢 500m (4342) '17 山吹・小沼 460m (4385) '17 月夜平 660m (4413) '17 下市田・中谷 420m (4516) '17	花期は春にエンドウに似た小型の紅紫色の花を付ける。豆果は黒く熟する。別名「ヤハズエンドウ」
カスマグサ <i>Vicia tetrasperma</i>	つる性の越年草 草地 林縁	松岡城間ヶ沢 500m (4333) '17 下市田天竜川河原 410m (4490) '17 やすらぎ荘北西の沢 540m '16 山吹・越田 570m '16 中学校南・唐沢洞 510m '16 万年橋付近 445m '16	よく似たカスマグサは小葉が4~6対で、ズズメノエンドウよりも少ない。
ナンテンハギ <i>Vicia unijuga</i>	つる性の越年草 路傍 堤防	寺沢川沿い 470m (4958) '16 寺沢川沿い 490m '16	和名は葉の形が、ナンテンの葉に似ていて、花がハギ(萩)に似ているということ。別名「フタバハギ」
エビラフジ <i>Vicia venosa</i> subsp. <i>cuspidata</i>	つる性多年草 木陰	市田・山吹ウォーキングコース 480m '16	和名はエビラ「矢を入れて背中に負う道具」に、葉が茂った様子が似ていることから。
ナヨクサフジ <i>Vicia villosa</i> subsp. <i>varia</i>	つる性1年草 河川敷 道端	本学神社 680m (2338) '16 国道・山吹交差点 440m (3079) '16 万年橋付近 442m (4707) '17 明神橋北 430m (5086) '17 山吹・下平 440m (5086) '17	(帰) ヨーロッパ原産で飼料や緑肥として栽培されている。巻きむげで絡み付き蔓状に長く伸びる。生態系被害防止外来種



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■マメ科 Fabaceae</b>			
ヤブツルアズキ <i>Vigna angularis</i> var. <i>nipponensis</i>	つる性多年草 草原 林縁	下市田・江戸川沢川 414m (5793) '17 山吹田沢川 433m (5829) '17 山吹・小沼 460m (6000) '17	アズキの花に似て、ツル性なのでツルアズキで、藪に生育するということで「ヤブツルアズキ」。
フジ (ノダフジ) <i>Wisteria floribunda</i>	つる性高木 日当りのよい山地	林道吉田線 820m (4744) '17 万年橋付近 445m (4947) '17 林道二又沢線 690m '16 月夜平 660m '17 吉田山・山の寺 1000m '16 林道不動滝線 790m '16	(園) つるは木に巻きついて登る。直射日光好む好日性植物である。つるは右巻き(上から見て時計回り)
<b>■バラ科 Rosaceae</b>			
ヒメキンミズヒキ <i>Agrimonia nipponica</i>	多年草 谷沿い	山の寺キャンプ場 880m (1135) '16 林道小沼大沢線 1050m (1981) '16 林道出原線終点 910m (2957) '16 林道不動滝線 1090m (6173) '17	本種は葉は3~5小葉の羽状複葉で、小葉は楕円形、鈍鋸歯。花は直径約5mm。
アイノキンミズヒキ <i>Agrimonia</i> × <i>nippono-pilosa</i>	多年草 山地	山の寺観音沢 1000m (長野県植物研究誌 52号) '18	ヒメキンミズヒキ×キンミズヒキ
キンミズヒキ <i>Agrimonia pilosa</i> var. <i>japonica</i>	多年草 道端 原野	山の寺境内 760m (1398) '16 林道出原線起点 740m (2158) '16 新田原 570m (2292) '16 太白公園 630m (5720) '17 山吹・小沼 460m (6001) '17	本種は小葉が5~11枚で先端が尖る。花径が10mmで、雄しべは10~13本、果実は直径4mmほど。
オオキンミズヒキ <i>Agrimonia pilosa</i> var. <i>viscidula</i>	多年草 山地の湿地	越田原 760m (1624) '16 林道吉原線 960m (5644) '17 林道弓矢沢線 880m (6137) '17	植物体に長毛を密生し葉の鋸歯の大きな個体。
アズキナシ <i>Aria alnifolia</i>	落葉高木 乾燥した尾根筋	駒田・新田線 520m (2043) '16 牛牧役人平 725m (3050) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m '16 新田諏訪神社 620m '16 高森カントリークラブ北側 830m '16	5-6月に白い花を密生し、10-11月に果実を実らせる。果実は小さな梨状、冬季の小鳥の餌になる。
ウラジロノキ <i>Aria japonica</i>	落葉高木 山地	本高森山登山路 1310m (3648) '16 林道小沼大沢線 920m (3692) '16 吉田山山頂 1450m '16	(園) 樹高20mほどになり、花期は5~6月。枝先に白色の花を多数つける。果期は10~11月。果実はナンザ果。
ヤマブキシヨウマ <i>Aruncus dioicus</i> var. <i>kamtschaticus</i>	多年草 林縁、草地、岩場	大島川本沢 1080m (5341) '17 不動滝~駐車場 1060m '16 高森公園 770m '16 前高森山登山路 1150m '16 林道吉田線終点 870m '17	春、莖先の葉がまだ展開しないものは山菜として食用。和名は葉がヤマブキに似ていることから。
アカツギザクラ <i>Cerasus</i> × <i>compta</i>	落葉高木 山地	林道不動滝線 960m '17	カスミザクラ×ベニヤマザクラ
ヤマザクラ <i>Cerasus jamasakura</i> var. <i>jamasakura</i>	落葉高木 山地	林道吉原線 1000m (3278) '16 林道小沼大沢線 920m (3691) '16 山の寺キャンプ場 875m (4425) '17 高森カントリークラブ西方 880m (4842) '17 本学神社 680m '16	野生の桜の代表的な種で和歌にも多く詠まれている。寿命が長ときに樹高30mを超える大木になる。
ウスゲヤマザクラ <i>Cerasus jamasakura</i> f. <i>pubescens</i>	落葉高木 山地	山吹・正木 740m (5031) '16 林道小沼大沢線 1000m (5208) '17 林道弓矢沢線 850m (5234) '17	本種は小花柄・葉柄・葉等に毛がまばらに生える、ヤマザクラの一型。
カスミザクラ <i>Cerasus leveilleana</i>	落葉高木 山地	越田原 760m (1612) '16 牛牧・堂所南 725m (3043) '16 山吹・越田 580m (3491) '16 萩山神社南洞 470m (4352) '17 湯ヶ洞線北斜面 490m (4564) '17	花柄に短い毛があるので別名「ケヤマザクラ」。樹の様子が見えるから「カスミザクラ」。
ミヤマザクラ <i>Prunus maximowiczii</i>	落葉高木 山地	前高森山 1060m (2626) '16	花期は5~6月上旬、花は葉が完全に展開した後に咲き花序に葉状の苞があり、花後も宿存して目立つ。
タカネザクラ (ミネザクラ) <i>Cerasus nipponica</i> var. <i>nipponica</i>	落葉高木 山地	高森山山頂 1890m (3686) '16 本高森山登山路 1560m (3673) '16 本高森山登山路 1310m (3641) '16 前高森山~吉田山 1450m (3751)	低山上部~亜高山に自生する。別名「ミネザクラ」
オオヤマザクラ <i>Cerasus sargentii</i> var. <i>sargentii</i>	落葉高木 山地	不動滝~上駐車場 1060m (3099) '16 本高森山登山路 1220m (3611) '16 林道不動滝線 980m (3732) '16 林道小沼大沢線 1025m (3774) '16 林道吉原線 1000m '16	低山上部に自生。ヤマザクラに比べて花が大きく、花の色も濃い。別名「ベニヤマザクラ」
エドヒガン <i>Cerasus itosakura</i>	落葉高木 山地	林道弓矢沢線 780m (1193) '16 駒場~新田線 520m (2020) '16 月夜平 660m (4416) '17 林道二又沢線 740m (4829) '17 大沢川沿い 480m (4928) '17	和名の通り春の早くに花を咲かせる。萼(がく)の下部に球状のふくらみがあるのが特徴。長寿樹
シダレザクラ <i>Cerasus itosakura</i> var. <i>itosakura</i> f. <i>ascendens</i>	落葉高木 人家周辺(栽培)	吉田南城跡 500m '16 (栽培) 中学校南・唐沢洞 470m '16 南小学校 527m (栽培) 寺沢川沿い 480m '16 下市田観水公園南 416m '16 瑠璃寺	エドヒガンに枝垂れる種。長寿樹で天然記念物に指定されるものが多い。
ソメイヨシノ <i>Cerasus</i> × <i>yedoensis</i>	落葉高木 人家周辺(栽培)	高森公園 770m '16 太白公園 630m '17 松岡城址 550m '17	(栽) エドヒガンとオオシヤマザクラの交配で生まれた日本産の園芸品種 各地で植栽され観賞される。
クサボケ <i>Chaenomeles japonica</i>	落葉低木 土手 荒地	山の寺キャンプ場 875m (4430) '17 林道吉田線 820m (4747) '17 大沢川沿い 715m '16 松岡城址間ヶ沢 480m '16 林道弓矢沢線 980m '16 高森公園 770m '16	中国大陸原産。本州から四国、九州にかけて植栽、または自生。盆栽や果実酒に活用
ビワ <i>Eriobotrya japonica</i>	常緑亜高木 人家周辺	下市田4区洞 475m (2203) '16 南大島川北斜面 530m (4050) '17 原城 510m '17	(栽・逸) 中国南西部原産 四国、九州に自生し、果樹として栽培される。町内にも逸出したものが生えている。
シロバナヘビイチゴ <i>Fragaria nipponica</i>	多年草 日当りのよい草地	大島川本沢 1080m (5358) '17	花期は5~7月。花茎の先に花をつける。果実は花後に径1cmの球形~卵形になり、赤熟し食用になる。
オオダイコンソウ <i>Geum aleppicum</i>	多年草 山野	松岡城址鎌子ヶ洞 510m (5483) '17 林道弓矢沢線 760m (5501) '17	本種は羽状複葉で頂小葉は細長い、集合果は楕円形で長さ約2cmであること。全草は長毛が密生。
ダイコンソウ <i>Geum japonicum</i>	多年草 山野	林道小沼大沢線 760m (1979) '16 田沢大橋西側 750m (2235) '16 新田原 570m (2281) '16 大島川干水/沢 1200m (2791) '16 中学校南・唐沢洞 510m (2848) '16	本種は羽状複葉で頂小葉は円形~卵形、集合果は球形である。
ヤマブキ <i>Kerria japonica</i>	落葉低木 林の木陰	山道・駒場新田線 520m (2049) '16 山の寺キャンプ場 875 (4426) '17 太白公園 640 '16 牛牧小水曾洞 750m '17 月夜平 660m '17 林道吉田線 700m '17	バラ科ヤマブキ属(本種のみの一属一種)の落葉低木。群生し黄色の花をつける。
ズミ <i>Malus toringo</i> var. <i>toringo</i>	落葉小高木 荒地や湿地	林道出原線 980 (2969) '16 牛牧・堂所南 725m (3034) '16 山吹・増野 700m (4625) '17 林道吉田線終点 870m (4723) '17 林道小沼大沢線 920m (5746) '17	高さ10メートルほどの落葉小高木。枝にはトゲがある。晩春から初夏にかけ、枝いっぱい花をつける。
オオウラジロノキ <i>Malus tschonoskii</i>	落葉高木 山地	林道弓矢沢線 850m (5238) '17	(園) 本州、四国、九州に分布し、山地のやや乾いた尾根などに生育する。
コゴメツギ <i>Neillia incisa</i>	落葉低木 山地	大丸山公園北斜面 530m (1739) '16 林道小沼大沢線 775m (1902) '16 太白公園 635m (2071) '16 林道不動滝線 770m (2558) '16 順礼沢 520m (4872) '17	和名の由来は、花序のようすが米が砕けた米に見立てたことによる。
イヌザクラ <i>Padus buergeriana</i>	落葉高木 丘陵 山地	胡麻目川沿い 480m (3289) '16 萩山神社南洞 470m (4535) '17 本学神社 680m '16	開花は5月、花序枝には葉がつかないのが特徴。果実は6月に熟して赤色から黒色になる。
ウツミザクラ <i>Padus grayana</i>	落葉高木 丘陵 山地	林道出原線 980m (2986) '16 月夜平 660m (4404) '17 萩山神社南洞 470m (4533) '17 湯ヶ洞線北斜面 490m (4543) '17 山吹・新田原 580 (5185) '17	小さな花をたくさん総状のブラシのようにつける。春の山で木全体が白く霞んだように見える。
シダレウメ <i>Prunus mume</i> f. <i>pendula</i>	落葉亜高木 栽培樹	出原神社 600m (6389) '18	(栽) 中国原産で、日本へは古代に渡来した。特徴は枝が垂れることである。
トキワサンザシ (ピラカンサス) <i>Pyracantha coccinea</i>	常緑樹 庭園木 逸出	下市田工業団地東 420m (1051) '16 万年橋付近 445m (4583) '17 南大島川上橋付近 440m '16 山吹・量販店付近 435m '16	ヨーロッパ南部~西アジア原産。花期は4-5月頃、11月頃に果実が赤く熟し、翌年1月頃まで果実がついている。単に「ピラカンサ」というと本種のことが多い。生態系被害防止外来種
オヘビイチゴ <i>Potentilla anemonifolia</i>	多年草 田畑の畦道	本学神社 680m (2339) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3170) 松岡城址間ヶ沢 500m (4329) '17 下市田・中谷 420m (4502) '17 ぼたのバーク山吹周辺 440m (4645) '17	ヘビイチゴとそっくりではあるが、ヘビイチゴの小葉が三枚に対し、この果実は五枚であるので区別が可能。
ヒメヘビイチゴ <i>Potentilla centigrana</i>	多年草 草地	国道・山吹交差点 440m (3071) '16 下市田・中谷 420m (4504) '17 林道吉田線 820m (4762) '17 林道弓矢沢線 850m (5243) '17 山の寺キャンプ場 875m '17	花期6~7月、果実は、一見未熟な萼に見えるが、赤く熟すことはなく、食べても美味しくない。
カワラサイコ <i>Potentilla chinensis</i>	多年草 河原 日当りのよい砂礫地	天竜自動車学校東側 420m (1841) '16 山吹・量販店東 435m (2910) '16 下市田天竜川河原 417m '16 明神橋北 430m '17	和名の由来は太い根がミササイコの根に似て、河原に生えることから。
ミツモトソウ <i>Potentilla cryptotaeniae</i>	多年草 谷沿い、水辺、湿った林縁	林道不動滝線床波沢駐車場 970m (2822) '16	和名の由来は別名のとおり水源のようなどころに生えることから。別名「ミサモトソウ」

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>バラ科 Rosaceae</b>			
キジムシロ <i>Potentilla fragarioides</i> var. <i>major</i>	多年草 日当りのよい雑木林 草原	山吹・竜口 480m (3863) '16 山吹・小沼 460m (4374) '17 松岡城址 550m '16 吉田南城跡 500m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16 山吹駅北方 480m '16	和名の由来は、花後の葉が放射状に展開し、その株の姿がキンギフ林むムシロに例えられたことによる。
ミツバツチグサ <i>Potentilla freyniana</i>	多年草 日当りのよい丘陵 山道	林道出原線 615m (2167) '16 高森公園 770m (3221) '16 駒場 - 新田線 550m (3376) '16 林道吉原線 1000m (3471) '16 寺沢川周辺 490m (3545) '16	日当たりのよい丘陵地に多い。和名の由来のように地下茎は短く肥厚(クリ)する。
ヘビイチゴ <i>Potentilla hebiichigo</i>	多年草 畦道や野原	牛牧・堂所南 725m (3038) '16 駒場 - 新田線 550m (3353) '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 530m (3410) '16 中学校南・唐沢洞 480m (3477) '16 萩山神社南洞 (470m) '17	赤い実は、毒ではないものの食べてみても美味しくはない。和名の由来は蛇に食べさせるなど。
ヤブヘビイチゴ <i>Potentilla indica</i>	多年草 半日陰の畔道	胡麻目川沿い 500m (2704) '16 駒場 - 新田 550m (3354) '16 山吹・下平 450m (4464) '17 寺沢川沿い 500m (4910) '16 山吹・下平 450m (4936) '17	本種はヘビイチゴより実も葉も大きく、果実の粒々の表面が滑らか、従って果実に艶がある。
ツルキンバイ <i>Potentilla rosulifera</i>	多年草 落葉樹林の湿った地	高森カントリークラブ北 780m-830m (3301) '16	和名は走出枝をもち、キンボウゲ科のキンバイソウのような、黄色で梅のような花を咲かせることによる。
カマツカ (ケカマツカ) <i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>villosa</i>	落葉小高木 山地	大島川干水ノ沢 1200m (2521) '16 本高森山登山路 1220m (3627) '16 増野・大沢川 770m '16 林道小沼大沢線 1025m '16 林道不動滝線 960m '16	和名は材が硬くて折れにくいので、鎌の柄に使われたことから。別名「ウシコロシ」
シロヤマブキ <i>Rhodotypos scandens</i>	落葉低木 山地 栽培	林道吉田線 820m (4748) '17	中国地方に分布し、石灰岩地に稀に自生する。観賞用に全国の植物園や庭などに植栽されている。
テリノイバラ <i>Rosa luciae</i> var. <i>luciae</i>	常緑つる性低木 河川敷の礫地	林道吉原線 1025m (2425) '16 山吹・下平 440m (4995) '17 下市田天竜川河原 415m (5057) '17 山吹・市田ウォーキングコース 440m (3932) '16	本種は「イバラ」とは、葉のつやが強い、葉が小さく揃う、花数が少ないがずっと大きいことで区別される。
ノイバラ <i>Rosa multiflora</i>	落葉つる性低木 河川敷	林道吉原線 1020m (2427) '16 湯ヶ洞線北斜面 490m (4542) '17 山吹・正木 740m (5021) '17 やすらぎ荘付近 490m (5038) '17 山吹・小沼 460m (5994) '17	日本のノバラの代表的な種。沖縄以外の日本各地の山野に多く自生。接ぎ木の台木に使用される。
アズマイバラ <i>Rosa onoei</i> var. <i>oligantha</i>	落葉低木 丘陵地、低山の林縁	山道・駒場新田線 520m (2045) '16 林道出原線 815m (2168) '16 新田原 570m (2313) '16 本学神社 680m (2346) '16 高森カントリークラブ東 740m (3422) '16	托葉がノイバラのように櫛の歯状にならず、縁には腺毛がある。
ミヤコイバラ <i>Rosa paniculigera</i>	落葉低木 丘陵地、低山の林縁	林道吉原線 960m (5620) '17	アズマイバラとよく似るが、花柄に腺毛があり、頂小葉と側小葉に差の少ないものをミヤコイバラとする。
クマイチゴ <i>Rubus crataegifolius</i>	落葉低木 山地の林縁 草藪縁	林道吉田線 710m (4769) '17 高森カントリークラブ西方 880m (4856) '17 林道不動滝線 980m '16 新田諏訪神社 620m '16 林道小沼大沢線 1000m '16	花期は4月-6月、白い径1~1.5cmほどの花が数個が集まって咲く。果実は6月ごろに赤く熟し食用可
ゴヨウイチゴ <i>Rubus ikenoensis</i>	落葉低木	山の寺キャンプ場 880m '16	葉は掌状複葉で小葉は5枚。6、7月、開花。集合果は球形、赤く熟し、食べられる。
ニガイチゴ <i>Rubus microphyllus</i>	落葉低木 林縁 荒地	太白公園 635m (2067) '16 田沢大橋西側 750m (2233) '16 林道吉原線 1000m (3279) '16 吉田城址 480m (4390) '17 月夜平 660m (4390) '17	果実は赤く熟すと甘い種子(核)に苦みがあるため名前の由来になった。初夏の山でデザートになる。
モミジイチゴ <i>Rubus palmatus</i> var. <i>coptophyllus</i>	落葉低木 林縁 荒地	太白公園 635m (2098) '16 林道出原線起点 740m (2150) '16 駒場 - 新田線 550m (3357) '16 本高森山登山路 1220m (3632) '17 林道吉田線 820m (4751) '17	葉がもみじに似ているためこの名がある。黄色い実をつけるため別名「黄苺」。果実は食用になる。
ナワシロイチゴ <i>Rubus parvifolius</i>	落葉低木 道端 緑 荒地	林道二又沢線終点 785m '17 明神橋北 430m '17 山吹・量販店南東 438m '16 山吹・唐沢川 443m '17 山吹・正木 740m '17	花期は5~6月 赤紫色の花をつける。果実は食用になり、砂糖を加えてジャムにするなど
エビガライチゴ <i>Rubus phoenicolasius</i>	落葉低木 道端 林縁	田沢大橋西側 750m (2232) '16 高森カントリークラブ西方 880m (4844) '17 大島川本沢 1080m (5369) '17 山の寺キャンプ場 (900m) '16 不動滝駐車場 960m '16	果実は集合果、直径約1.5cmの球形で、8月に赤く熟す。葉の裏が白いので別名ウラジロイチゴ。食用可
ミヤマニガイチゴ <i>Rubus suberataegifolius</i>	落葉低木 道端 林縁	本高森山登山路 1085 (1363) '16 山の寺境内 770m (1423) '16 林道出原線起点 740m (2154) '16 田沢大橋西側 750m (2232) '16	(固) ニガイチゴが生ずる場所より高いブナ帯林の山地の林縁など日当たりのよい場所に生育する。
ワレモコウ <i>Sanguisorba officinalis</i>	多年草 日当たりの土手や畔	山吹・越田 600m (5957) '17 大丸山公園北斜面 530m '17 山吹・下平 470m '16 寺沢川周辺 490m '16 牛牧・堂所橋南 725m '16 やすらぎ荘周辺 500m '16	秋に茎を伸ばし、その先に穂状の可憐な花をつける。穂は短く楕円形で、暗紅色に色づく。
ナナカマド <i>Sorbus commixta</i> var. <i>commixta</i>	落葉高木 山地	本高森山登山路 1560m '16 高森山山頂 1890m '16	赤く染まる紅葉や果実が美しいので、街路樹や公園樹などによく植えられている。
ナンキンナナカマド <i>Sorbus gracilis</i>	落葉低木 日当りのよい林縁	山の寺南側 835m (3429) '16 本高森山登山路 1330m '16	本州(関東以西)、四国、九州の山地のブナ帯に生えて樹高は1-3mほどになる。秋の紅葉が美しい。
アイシモツク <i>Spiraea chamaedryfolia</i> var. <i>pilosa</i>	落葉低木 日当りのよい林縁	山の寺 - 観音沢 954m (6613) '18	山地の日当たりのよい崖地や岩場、林縁に生育する。和名の由来は、福島県の会津地方で発見されたことによる。
シモツク <i>Spiraea japonica</i> var. <i>japonica</i>	落葉低木 日当りのよい林縁	林道不動滝線路上駐車場 1060m (2805) '16 林道不動滝線下駐車場 970m (2814) '16 林道小沼大沢線 920m (3704) '16 吉田山 - 山の寺 1100m (3763) '16	樹高は1mほど、初夏に桃色または白色の花を咲かせ、秋には紅葉する。庭木として親しまれてきた。
ユキヤナギ <i>Spiraea thunbergii</i>	落葉低木 河川の岸壁 岩場	大沢川沿岸 458m (6246) '18 唐沢川沿岸 451m (6252) '18	(備) 3月から5月にかけて、5弁で雪白の小さなものを枝全体につける。そのさまから和名がついた。
<b>グミ科 Elaeagnaceae</b>			
ナツグミ <i>Elaeagnus multiflora</i> var. <i>multiflora</i>	落葉低木 高木 道ばた 林 原野	松岡城址(長野県植物研究会誌 51号) '17	山地に自生、落葉性で夏に実が赤熟する。
アキグミ <i>Elaeagnus umbellata</i> var. <i>umbellata</i>	落葉低木 河川の砂礫地 荒地	駒場 - 新田線 550m '16 山の寺水源池付近 850m '16 松岡城址間ヶ沢 500m '16	和名は、秋に果実が熟すことから。その果実は食用となり、果実酒などに利用される。
<b>クロウメモドキ科 Rhamnaceae</b>			
クマヤナギ <i>Berberis racemosa</i> var. <i>racemosa</i>	つる性落葉低木 林縁 河岸	天竜自動車学校東側 420m (1830) '16 林道小沼大沢線 775m (1910) '16 山吹・越田 570m '16 林道吉田線 700m '16	果実が熟す頃に新たな花が咲くので、花と果実を同時に見ることができる。果実は鳥類の餌となる。
イソノキ <i>Frangula crenata</i>	落葉広葉小高木 山野の湿地	越田原 760m (1631) '16	高さ数m-6m程になる。湿原の周辺や斜面下部の道沿いなどのやや湿った場所に生育することが多い。
ケンボナン <i>Hovenia dulcis</i>	落葉広葉高木 丘陵 山地	山吹・下平 440m (5011) '17 山吹・垣外 510m (5857) 竜口八幡神社 450m '16 大沢川沿い 460m '17 山吹・量販店南東 438m '17 吉田南段丘崖 480 '16	初夏にナンのような白花が咲く。秋に果実が熟す。その根元の枝がふくらんで、甘くなり食べられる。
クロウメモドキ <i>Rhamnus japonica</i> var. <i>decipiens</i>	落葉広葉低木 林縁 林内	牛牧・堂所南 725m (3015) '16 田沢・田沢川南側 670m (3336) '16 林道弓矢沢線 760m (5496) '17 林道不動滝線 800m '16	(固) 果実は堅くほぼ球形で、熟すると黒色。果実のつき方がウメモドキに似ていることこの和名。
<b>ニレ科 Ulmaceae</b>			
アキニレ <i>Ulmus parvifolia</i>	落葉高木 河原	万年橋南側 440m (2897) '16	アキニレは秋樹と書き、これは秋に花が咲くという生態的特徴からきていると言われる。
ケヤキ <i>Zelkova serrata</i>	落葉広葉高木 丘陵 山地	林道二又沢線終点 690m (4778) '17 竜口八幡神社 460m (4979) '17 太白公園 640m '16 萩山神社南洞 460m '17 高森公園 770m '16 山吹・正木 635m '16	帯を逆にしたような樹形が美しく、街路樹や庭木などによく植えられる。
<b>アサ科 Cannabaceae</b>			
エノキ <i>Celtis jessoensis</i>	落葉広葉高木 丘陵 山地	駒場 - 新田線 550m (3361) '16 湯ヶ洞線北斜面 490m (4563) '17 林道吉田線終点 870m (4721) '17 松岡城址鏡子ヶ洞 540m '16 万年橋付近 442m '16	エノキに似るが葉の縁(へり)にはほぼ全体にとがる鋸歯(きよし)があり、果実は熟すと黒色となる。
エノキ <i>Celtis sinensis</i>	落葉広葉高木 丘陵 山地	山吹・市田ウォーキングコース 480m '16 山吹・越田 570m '16 万年橋付近 442m '16 牛牧浄化センター南斜面 520m '16 南大島川大橋付近 540m '16	オオムラサキ、ゴマダラチョウ、テングチョウ タマシシなど多くの昆虫の餌、食樹である。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■アサ科 Cannabaceae</b>			
カナムグラ <i>Humulus scandens</i>	つる性1年草 河川敷 荒地	小沼・大沢川沿い 469m (5587) '17 中学校南・唐沢洞 480m'16 万年橋付近 442m'16 吉田南段丘崖 480m'16 追分・田沢川沿い 500m'16 南大島川上橋付近 440m'16	茎から葉柄にかけて鋭いげがあり、木や電柱、ガードレール等に絡みつく。駆除困難な草本である。
<b>■クワ科 Moraceae</b>			
ヒメコソノ <i>Broussonetia monoica</i>	落葉広葉低木 林縁や道端、荒地	越田原 760m (1219) '16 天白公園 635m (2074) '16 山吹・小沼 570m (2329) '16 林道不動滝線 770m (2538) '16 万年橋 440m (3124) '16 山吹・正木 635m (3450) '16	本種は葉柄が1cm弱と短く、鋸歯が細かい。ヤマグワ、マダブは葉柄が2cm以上あり、鋸歯が粗く突る。
コソノ <i>Broussonetia × kazinoki</i>	落葉低木 河川沿い 栽培	松岡城址間ヶ沢 550m (5479) '17 天白公園 640m'16 追分・正木 545m'16	(栽・逸) コソノはカジノキとヒメコソノの雑種とされ、樹皮の繊維を紙の原料とするために栽培する。
カジノキ <i>Broussonetia papyrifera</i>	落葉広葉小高木 人家周辺	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1211) '16 林道小沼大沢線 760m (1971) '16 山吹・正木 626m (5544) '17 天白公園 630m (5697) '17 林道不動滝線 710m'17	古くから和紙の原料として栽培され、山野に野生化している。
クワクサ <i>Fatoua villosa</i>	1年草 路傍 畑 果樹園	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1224) '16 南信州山吹支所 500m (2013) '16 林道出原線起点 740m (2143) '16 林道不動滝線 860m'16 林道弓矢沢線 840m'16	高さ50cmほどになるが、地味な草で目立ちにくい。葉がクワの形に似ていることが和名となった。
マダブ <i>Morus alba</i>	落葉広葉高木 栽培 人家周辺	林道出原線起点 740m (2146) '16	(栽・逸) 中国原産で養蚕用に植えられ、各地の人里で野生化している。高さ6~15mになる。果実は食用。
ヤマグワ <i>Morus australis</i>	落葉広葉低木 山野	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1215) '16 田沢大橋西側 750m (2221) '16 林道二又沢線 690m (4779) '17 胡麻目川沿い 480m'16 山の寺北側林道 800m'16	本種は花柱が長いマダブは短い。果実はマダブに比べて小さい。
<b>■イラクサ科 Urticaceae</b>			
クサコアカソ <i>Boehmeria gracilis</i>	多年草 林道や林縁の やや湿った所	林道弓矢沢線 780m (1189) '16 追分・田沢川沿い 590m (1647) '16 胡麻目川沿い 530m (1675) '16 林道小沼大沢線 1050m (1939) '16 山吹・下平 470m (2459)	アカソに似て葉柄は赤いが、葉が小さく、卵形~卵状楕円形で、葉先は3裂せず、尾状にこがる。
ヤブマオ <i>Boehmeria japonica</i> var. <i>longispica</i>	多年草 土手 沢沿い	山吹・下平 450m (2386) '16 林道吉原線 1020m (2416) '16 下平・下平橋付近 420m (2714) '16 竜口八幡神社 460m (3140) '16 田沢川 433m (5822) '17	草丈は1mを超える大型の多年草で、叢生して群落を形成する。
カラムシ <i>Boehmeria nivea</i> var. <i>nipononivea</i>	多年草 土手 人家周辺	下市田・浄化センター西 420m (1032) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (1437) '16 山吹駅周辺 460m'16 唐沢川河口 442m'16 山の寺境内 770m'16 原城 510m'16	茎の皮からは衣類、紙、漁網まで利用できる丈夫な韌皮繊維が取れるため、古代から利用されてきた。
アカソ <i>Boehmeria silvestrii</i>	多年草 湿った地	市田郵便局西北 450m (1007) '16 新田原 570m (2311) '16 山吹・下平 450m (2387) '16 大島川本沢 1080m (5314) '17 林道不動滝線床波沢駐車場 970m'16	アカソでは葉先が三深裂しており、普通は茎や葉柄が赤味を帯びるのが特徴。
ウワバミソウ <i>Elatostema japonicum</i> var. <i>majus</i>	多年草 水辺 湿地	新田原 570m (2295) '16 大島川干水ノ沢 1200 (2798) '16 山の寺水源地付近 770m (2832) '16 増野・大沢川付近 770m (3315) '16 順礼沢 520m (4879) '17	水辺や湿地帯に自生している多年草。和名のウワバミ(大蛇)の住みそうな所に生えている草という意味。
ムカゴイラクサ <i>Laportea bulbifera</i>	多年草 溪流沿いの湿った林内	牛牧浄化センター南斜面 520m (1872) '16 松岡城址銚子ヶ洞 520m (2447) '16 吉田南段丘崖 470m (2451) '16 林道不動滝線 770m (2576) '16 寺沢川沿岸 470m'16	種子繁殖のほか、葉脈につくむかごによる栄養繁殖をする。ミヤマイラクサ同様に山菜として食用可。
ミズ <i>Pilea hamaoi</i>	1年草 湿地	林道出原線 880m (2928) '16 市田郵便局西方 450m'16 吉田城山 547m'17 ほたるパーク山吹周辺 440m'16	藪の縁や溪流の縁など陰湿などところに生える。全体は軟らかく多汁で高さ20~40cm、赤色をしていて平滑。
アオミズ <i>Pilea pumila</i>	1年草 道端	林道湯宮沢線 950m (1136) '16 山吹・市田ウォーキングコース 455m (1202) '16 大沢川沿い 475m (1202) '16	道端などの水気のある日陰。葉は対生に生え長楕円形をしておりシワがあって縁はギザギザしている。茎はほぼ直つすく伸び水分を多く含む。
<b>■ブナ科 Fagaceae</b>			
クリ <i>Castanea crenata</i>	落葉広葉高木 山地	湯ヶ洞線北斜面 490m (4946) '16 胡麻目川沿い 520m (5136) '17 大丸山公園北斜面 530m'16 南小学校 527m'16 湯ヶ洞周辺 660m'16 月夜平 660m'17	丘陵陵から低帯に分布する樹木、果実はクリで、食用のために植栽される。
ブナ <i>Fagus crenata</i>	落葉広葉高木 山地	本高森山登山路 1085m (1373) '16 山の寺戒壇不動付近 1130m (6715) '18	落葉広葉樹で、温帯性落葉広葉樹林の主要構成種、日本の温帯林を代表する樹木。
イヌブナ <i>Fagus japonica</i>	落葉広葉高木 山地	本高森山登山路 1220m (1381) '16 前高森山 (1275) '16 不動滝駐車場 970m (2810) '16 林道不動滝線 980m (3735)	(固) 和名はブナより材質が劣ることから。樹皮の色からクロブナとも呼ばれる。ブナより標高が低い地に自生。
クヌギ <i>Quercus acutissima</i>	落葉広葉高木 山地	湯ヶ洞線北斜面 490m (4558) '17 万年橋付近 445m (4582) '17 山吹・増野 700m (4617) '16 天白公園 630m (5698) '17	樹高は15~20mになる。幹から樹液がしみ出て、カブトムシやクワガタなどの甲虫類が集まる。
アベクヌギ <i>Quercus acutissima</i> × <i>Quercus variabilis</i>	落葉広葉高木 山地	松岡城址(長野県植物研究会誌 51号) '17	近縁のアベマキと交雑したもので、両親の中間的な特徴をもつ。
ミズナラ <i>Quercus crispula</i>	落葉広葉高木 山地	林道小沼大沢線 760m (1992) '16 高森カントリークラブ北側 800m (3309) '16 大島川本沢 1080m (5329) '17 高森山 1550m'16 吉田山山頂 1450m'16 不動滝上 1080m'16	温帯の落葉広葉樹林の代表的構成種である。別名「オオナラ」コナラやクヌギより標高の高い地に生育。
カシワ <i>Quercus dentata</i>	落葉広葉中高木 山地 栽培	山吹公園 520m (6809) '19	葉は大きく、縁に沿って丸く大きな鋸歯があるのが特徴。秋に枯れた葉が春までついたり、新芽が出るまでは落葉しない。
アラカシ <i>Quercus glauca</i>	常緑広葉高木 山地	南大島川北斜面 530m (4042) '17 月夜平 660m (4407) '17 湯ヶ洞線北斜面 490m (4555) '17 大沢川沿い 500m (4699) '17 松岡城址 550m'16 原城 510m'16	シラカシとともに照葉樹林の構成種である。常緑広葉樹林帯の上限に生じる。
シラカシ <i>Quercus myrsinifolia</i>	常緑広葉高木 山地	南大島川北斜面 530m (4032) '17 山吹駅北方段丘崖 470m (4067) '17 黒沢川順礼沢 510m (4119) '17 秋山神社 500m (4125) '17 駒場・子安神社 470m'16	社寺林に植栽 シラカシとともに照葉樹林の構成種である。常緑広葉樹林帯の上限に生じる。
ウバメガシ <i>Quercus phillyreoides</i>	常緑広葉高木 山地 逸出	胡麻目大橋北斜面 470m (4183) '16 (逸出)	(栽・逸) カシ類の仲間であるが、乾燥や刈り込みに強いことから街路樹などとしてもよく使われる。
フモトミズナラ <i>Quercus serrata</i> subsp. <i>mongolicoides</i>	落葉広葉高木 山地	新田原 570m (2305) '16 本学神社 680m (2343) '16 出原中里 640m (2996) '16 駒場・新田線 550m (3377) '16 山吹・越田 600m (5931) '16 松岡城址 550m'16	RL(環ノ/県NT) (固) 幹はコナラとよく似ている。葉の形はミズナラやカシワに似ているが、葉裏は無毛。
コナラ <i>Quercus serrata</i> subsp. <i>serrata</i> var. <i>serrata</i>	落葉広葉高木 山地	林道小沼大沢線 760m (1980) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3167) '16 高森カントリークラブ東 740m'16 月夜平 660m (4406) '17 林道吉田線終点 870m (4737) '17	雑木林の主要な構成種。材は木炭の原料やシイタケの原木に使われる。ドングリは動物の大事な食糧。
ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i>	常緑広葉高木 山地 丘陵	牛牧神社 615m (6391) '18	神社の周囲に1本植栽
アベマキ <i>Quercus variabilis</i>	落葉広葉高木 山地	天白公園 635m (2094) '16 月夜平 660m (4403) '17 順礼沢 520m (4870) '17 湯ヶ街道北斜面 490m (4945) '17 山吹支所付近 500m (4474) '17	クヌギによく似た落葉樹木。樹皮はコルク層が発達し、深い割れ目ができる。
<b>■クルミ科 Juglandaceae</b>			
ミゾナシオタフケグルミ <i>Juglans mandshurica</i> notho var. <i>avellana</i>	落葉広葉高木 山地	松岡城址間ヶ沢 '17	オニグルミとヒメグルミの自然雑種。核はおたふくのような形をしている。
ヒメグルミ <i>Juglans mandshurica</i> var. <i>cordiformis</i>	落葉広葉高木 山地	唐沢川河口 442m'16 下市田親水公園南堤防沿い 415m'16 吉田城山 547m'17	オニグルミによく似ているが、核果がハート型なので判別可能
オニグルミ <i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>	落葉広葉高木 山間の川沿い	林道吉田線 710m (4772) '17 寺沢川沿い 470m'17 林道二又沢線 720m'17 山吹・量販店南東 438m'17 追分・正木 545m'17 山吹・大沢川 443m'17	堅い核の中の種子は脂肪に富み美味で、菓子や料理に使われる。動物の重要な食料にもなる
カシグルミ <i>Juglans regia</i>	落葉広葉高木 人家周辺 植栽	厳原 678m (6555) '18	(栽・逸) 葉は大きく羽状になり、秋にクルミになる。殻が薄く手で簡単に割れ、中の種子は食用になる。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■クルミ科 Juglandaceae</b>			
サワグルミ <i>Pterocarya rhoifolia</i>	落葉広葉高木 山地の沢沿い	南大島川干水ノ沢 1200m (2765) '16 南大島川本沢 1080m (5379) '17 林道不動滝線 920m '16 高森公園 770m '16 堂所橋南 725m '16	和名は、沢沿いに見えることから付けられた。クルミと名が付くが、食用にはならない。
<b>■カバネキ科 JBetulaceae</b>			
ミヤマヤシヤブシ <i>Alnus firma</i> var. <i>hirtella</i>	落葉広葉高木 山地の河川沿い	林道弓矢沢線 950m (1149) '16 林道小沼大沢線 1005m (1926) '16 原中里 640m (1996) '16 林道不動滝線 770m (2547) '16 前高森山 1060m (2631) '16	本種は太平洋側のヤシヤブシの山地形と考えられる。葉裏の毛が多いのが特徴
ケヤマハノキ <i>Alnus hirsuta</i>	落葉広葉高木 山地	下市田天竜川河原 420m (1100) '16 林道吉原線 1020m (2426) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2479) '16 林道不動滝線 770m (2546) '16 万年橋南側 440m (2900) '16	本種は葉や枝、冬芽など、全体に毛がある。
ヤマハノキ <i>Alnus hirsuta</i> var. <i>sibirica</i> <i>Alnus</i>	落葉広葉高木 山地	唐沢川河口付近 442m (1512) '16 太白公園～不動滝(長野県植物研究会誌 51号) '17	山地の川岸や溪流沿いに多く、高さ約 10～20m。樹皮は紫褐色。灰色の横長の皮目が目立つ。
ハノキ <i>Alnus japonica</i>	落葉広葉高木 湿地	寺沢川沿い 470m (6689) '17	全国の山野の低地や湿地、沼に自生する。樹高は 15m から 20m、直径 60cm ほど。湿原のような過湿地において森林を形成する数少ない樹木。
ケハノキ <i>Alnus japonica</i> f. <i>koreana</i>	落葉広葉高木 水辺や湿地	新田・青木ヶ沢 710m (3153) '16	ハノキの若枝はほぼ無毛であるが、ケハノキは若枝と若葉に褐色の毛を密生する点で区別。
ヤハズハノキ <i>Alnus matsumurae</i>	落葉小高木 荒地や湿地	大島川本沢 1080m (5323) '17	本州中部地方の低山帯上部・亜高山帯下部に生育する落葉高木。崩壊地や沢沿いなどに多い。
ネコシデ (ウラジロカンバ) <i>Betula corylifolia</i>	落葉広葉高木 山腹	本高森山登山路 1680m '16	亜高山帯に生育する。オオシラビソなどの針葉樹と混生することがしばしばある。別名ウラジロカンバ
ダケカンバ <i>Betula ermanii</i>	落葉広葉高木 尾根 空地	新田・青木ヶ沢 710m (3169) '16 本高森山登山路 1220m '16 本高森山登山路 1680m '16 高森町山頂 1890m '16 前高森山・吉田山 1410m '16	シラカンバよりも更に高い高度に分布する。また、樹皮がかなり赤茶色がかっている点で区別できる。
ミズメ (アズサ ヨグソミネバリ) <i>Betula schmidtii</i>	落葉広葉高木 山地	林道弓矢沢線 800m (5256) '17 林道吉原線 870m '17 林道小沼大沢線 1005m '16 大島川干水ノ沢 1170m '16 前高森山山頂 1565m '16	和名は、傷つくと水のような樹液が出ることから。枝を折ると、サロメチールの匂いがする。
ウダイカンバ <i>Betula maximowicziana</i>	落葉広葉高木 肥沃な潤湿地	越田原 760m (1611) '16 林道出原線 880m (2932) '16 林道弓矢沢線 980m (3203) '16 高森カントリークラブ東側 740m (3419) '16 林道吉原線 870m (4738) '17	和名は「鶴松明樺(ウタイツツカンバ)」の略で、鶴を使っている際の松明として用いられたことから。
シラカンバ <i>Betula platyphylla</i>	落葉広葉高木 日当りの地	本高森山登山路 1680m '16 山の寺キャンプ場 880m '16 林道弓矢沢線 950m '16 林道吉原線 870m '16 林道二又沢線 785m '16 吉田山山頂 1450m '16	高原や山地の日当りのよい場所に生息する樹木。高原のシンボリック存在で長野県の県木。
オノオレカンバ (ミネバリ) <i>Betula schmidtii</i>	落葉広葉高木 尾根 岩場	林道小沼大沢線 (6688) 1000m '18 山の寺戒壇不動付近 1130m (1130) '18	明るい場所を好み、生長が速いが、一代の寿命は 70 年程度と樹木の中では比較的短い
サワシバ <i>Carpinus cordata</i> var. <i>cordata</i>	落葉広葉高木 沢沿い	林道弓矢沢線 780m (1192) '16 林道小沼大沢線 1050m (1934) '16 前高森山 1275m (2641) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2742) '16 林道不動滝線 920m '16	水分の多い、谷沿いの肥沃地に生える。和名は沢沿いに見えるシデの意。
クマシデ <i>Carpinus japonica</i> var. <i>japonica</i>	落葉広葉高木 山腹	林道小沼大沢線 760m (1986) '16 林道吉原線 1025m (2429) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2526) '16 林道不動滝線駐車場 970m (2802) '16	シデの仲間の中では、果穂が最も大きいのでクマの名がつけられた。
アカシデ <i>Carpinus laxiflora</i>	落葉広葉高木 山腹	駒場・新田線 525m (2053) '16 出原二又沢橋付近 640m (2115) '16 新田原 570m (2317) '16 本高森山登山路 1220m '16 寺沢川沿い 500m (4909) '17	冬芽や花芽が、赤みを帯びているための名。観賞用に庭木や公園樹に利用される。
イヌシデ <i>Carpinus tschonoskii</i>	落葉広葉高木 山腹	林道小沼大沢線 760m 林道吉原線 1025m (2430) '16 牛牧・堂所南 725m (3029) 林道弓矢沢線 900m (5289) '17 林道不動滝線 800m 3708m '16	シデとはしめ縄や玉串に垂れ下がる細長い。果穂を四手に見立てた。イヌは、役に立たないものの意。
ツハシバミ <i>Corylus sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>	落葉広葉低木 日当りの林縁	追分・田沢川沿い 590m (1650) '16 林道小沼大沢線 760m (1973) '16 牛牧・堂所南 725m (3041) '16 牛牧・高森公園 770m (3224) '16 萩山神社南側 470m (4937) '17	堅果は黄褐色に熟したら食用になる。食用ナッツの実るセイヨウハシバミはヨーロッパ原産の近縁種。
アサダ <i>Ostrya japonica</i>	落葉広葉高木 山地	山吹・増野 710m (4953) '17 高森公園 770m (6357) '18 林道不動滝線 826m (6367) '18 林道小沼大沢線 770m '16	成長に伴って樹皮が剥がれ落ちる。その様子から別名「蓑被り」や「ハネカワ」と呼ばれる。
<b>■ウリ科 Cucurbitaceae</b>			
アマチャヅル <i>Gynostemma pentaphyllum</i> var. <i>pentaphyllum</i>	つる性の多年草 藪や林内	山吹・市田ウォーキングコース 460m (1195) '16 山吹・正木 740m (5024) '17 山吹・小沼 450m '16 黒沢川順沢 490m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16 下市田保育園 430m '16	葉が甘味があることから、「アマチャヅル茶」としてゲストアなどで売られて、一時はブームにもなった。
アレチウリ <i>Sicyos angulatus</i>	つる性の多年草 河川敷 荒地	下市田・江戸ヶ沢川 414m (5796) '17 山吹・田沢川 443m '17 明神橋付近 420m '16 天竜自動車学校東側 420m '16 南大島川大橋付近 540m '16 大沢川沿い 475m '16	(帰) 北米原産 特定外来生物に指定されている。河川敷や河川沿いに繁殖、駆除が困難である。
キカラスウリ <i>Trichosanthes kirilowii</i> var. <i>japonica</i>	つる性の多年草 人家周辺 垣根	下市田・天竜川河原 420m (1050) '16 山吹駅周辺 460m (1352) '16 松岡城址間ヶ沢 500m '16 太白公園 640m '16 ぼたるパーク山吹周辺 440m '16 万年橋南側 445m '16	古くは塊根をつぶし、水でさらし乾燥し、天花粉に加工し、おしろいの原料、あせもの予防などに用いた。
スズメウリ <i>Zehneria japonica</i>	つる性 1 年草 原野や水辺	山吹・市田ウォーキングコース 460m (1196) '16 下市田・江戸ヶ沢川 414m (5798) '17 太白公園 640m '16 やすらぎ荘周辺 500m '16 追分・田沢川沿岸 500m '16	(帰) 和名は、果実がカラスウリより小さいことからとか、果実をスズメの卵に見立てたこととか言われる。
<b>■ニシキギ科 Celastraceae</b>			
ツルウメモドキ <i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>orbiculatus</i>	落葉つる性木本 日当りのよい山野	大島川干水ノ沢 1200m (2783) '16 万年橋南側 440m (2896) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3148) '16 林道不動滝線 800m (3718) '16 湯ヶ洞線北斜面 490m '17	秋に果実は淡黄色に熟し裂開し鮮やかな橙赤色の仮種皮に被われた種子が現れる。観賞用になる。
イヌツルウメモドキ <i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>orbiculatus</i> f. <i>papillosus</i>	落葉つる性木本 日当りのよい山野	林道弓矢沢線 950m (1140) '16 林道弓矢沢線 850m (5236) '17 大島川本沢 1080m (5311) '17 不動滝付近 1090m (6184) '17	イヌツルウメモドキは葉裏に乳頭突起のある品種。
オニツルウメモドキ <i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>strigillosus</i>	落葉つる性木本 日当りのよい山野	山吹・正木 740m (5027) '17 林道不動滝線 1090m '17	本種は脈上に畝状の突起と突起毛があるもの。
ニシキギ <i>Euonymus alatus</i> var. <i>alatus</i>	落葉低木 林縁 マツ林 庭木	越田原 760m (1630) '16 太白公園 635m (2097) '16 林道出原線 980m (2987) '16 林道小沼大沢線 920m (3706) '16 山吹・増野 700m (4606) '17 順沢沢 520m '17	和名は美しい紅葉を錦に例えたことによる。枝にコルク質の翼が 4 枚、十字に発達する。
コマユミ <i>Euonymus alatus</i> var. <i>alatus</i> f. <i>striatus</i>	落葉低木 林縁 マツ林 庭木	林道小沼大沢線 775m (1918) '16 太白公園 635m (2089) '16 林道出原線起点 740m (2155) '16 月夜平 660m (4424) '17 湯ヶ洞線北斜面 490m (4521) '17	秋の赤い実と、紅葉が美しい。庭木としてもよく植えられる。枝にコルク質の翼がないのが本種である。
ツルマサキ <i>Euonymus fortunei</i>	常緑つる性低木 雑木林の林縁	山吹駅北方面丘 470m (4066) '17 山吹・市田ウォーキングコース 442m '16 萩山神社 500m '16 松岡城址鏡子ヶ洞 500m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16 高森公園 770m '16	緑色の枝の各所から多数の気根をだして他の樹木をよじ登るか、地上を這う。
カントウマユミ <i>Euonymus sieboldianus</i> var. <i>sanguineus</i>	落葉低木 山野	下市田親水公園南 415m (1716) '16 牛牧・堂所南 725m (3021) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3166) '16 牛牧・浄化センター付近 550m (3268) '16 山吹・正木 635m (3448) '16	マユミの変種で、葉の裏面の脈上に突起状の短毛が密生する。別名ユトマユミ。
マサキ <i>Euonymus japonicus</i>	常緑広葉低木 林縁 生垣	万年橋付近 442m '16	刈り込み強く、密生することから、生け垣や庭木としてもよく用いられる。
ヒロハツリバナ <i>Euonymus macropterus</i>	落葉低木 山野	本高森山登山路 1220m (3620) '16 林道吉原線 870m (4741) '17 弓矢沢橋付近 650m (5108) '17	葉は広く、花弁、雄しべ、萼片はともに 4 個であるので、ツリバナの仲間との識別に役立つ。
サワダツ <i>Euonymus melananthus</i>	落葉低木 湿った沢筋	大島川干水ノ沢 1200m (2780) '16 林道出原線 980m (2982) '16	(帰) 別名「アオジクマユミ」マユミに似た赤い実をぶら下げるからか、枝が緑色でアオジクカ。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ニシキギ科 <i>Celastraceae</i></b>			
ツリバナ <i>Euonymus oxyphyllus</i> var. <i>oxyphyllus</i>	落葉低木 山野	林道小沼大沢線 760m (1982) '16 増野・大沢川付近 770m (3317) 本高森山登山路 1220m (3602) '16 高森カントリークラブ西方 880m (4846) '17 林道不動滝線 1060m '17	和名は、花や実が長い柄に下垂し、下向きに付くため。花弁、雄しべ、萼片ともに5個。
<b>■カタバミ科 <i>Oxalidaceae</i></b>			
イモカタバミ <i>Oxalis articulata</i> subsp. <i>rubra</i>	多年草 草地 人家周辺	山吹・下平 450m '18	(帰) 本種は根に芋状の塊茎を持ちムラサキカタバミとほとんど同じ花を付けるが、中央部が濃く、ムラサキカタバミの萼が白であるのに対し黄色。
ケカタバミ <i>Oxalis corniculata</i> var. <i>trichocaulon</i>	多年草 草地 人家周辺	やすらぎ荘周辺 500m (1317) '16 国道・山吹交差点 440m (3068) '16 下市田親水公園付近 420m (3189) '16 下市田中谷 420m (4513) '17 下市田・江戸ヶ沢川 415m (6095) '17	カタバミの変種 カタバミは葉縁に毛があるものの表面は無毛、本種は葉の表面や茎に毛が密生する。
カタバミ <i>Oxalis corniculata</i>	多年草 道端 庭 耕作地	竜口八幡神社 450m (3145) '16 下市田・江戸ヶ沢川 415m (6127) '17	葉は日が陰ったり夜になると折りたたむ。この様子が片側が食べられたようであるが和名の由来。
オッタチカタバミ <i>Oxalis dillenii</i>	多年草 道端 石垣	下市田浄化センター西 420m (1043) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1326) '16 山の寺境内 770m (1393) 南小学校校庭 527m (1522) '16 林道不動滝線 770m (2575) '16	(帰) 北アメリカ原産 茎が立ちあがり枝を放射状に伸ばす。花柄が下を向くこと、茎に白い毛が多い。
エゾノタチカタバミ <i>Oxalis stricta</i>	多年草 林内、原野	万年橋付近 442m (3398) '16 山吹・小沼 460m (4371) '17 下市田・天竜川河原 410m (4483) '17 下市田・中谷 420m (4514) '17 竜口八幡神社 460m (4977) '17	カタバミは地上茎が這い、花は1-8個付くのに対し、本種は地上茎は直立、斜上し、花は1-3個。
<b>■トウダイグサ科 <i>Euphorbiaceae</i></b>			
エノキグサ <i>Acalypha australis</i>	1年生 畑 路傍	南信州山吹支所付近 500m (2007) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5467) '17 やすらぎ荘北西 530m (5923) '17 泰山神社 500m '16 南小学校 527m '16 山吹駅周辺 460m '16	葉がエノキに似ているので「エノキグサ」。雄花の基部に繻み状の苞葉があるので別名「アミガサウ」
トウダイグサ <i>Euphorbia helioscopia</i>	越年草 道端 草原	はたるパーク山吹西側 430m (3893) '16 胡麻日大橋北斜面 470m (4149) '16 山吹駅周辺 450m (4190) '16 松岡城址 550m '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m '16	有毒植物 茎や葉を傷つけると有毒な乳液を出す。和名は室内の照明に用いた灯明を置く灯台のこと。
タカトウダイ <i>Euphorbia lasiocaula</i>	多年草 日当たり荒地や畑 湿地	高森カントリークラブ西方 880m (4847) '17 山の寺キャンプ場 875m '17 不動滝・駐車場 1060m '16	有毒植物 草丈は70センチメートルほどとなり、背の高いトウダイグサの意で形態はよく似ている。
ナツトウダイ <i>Euphorbia sieboldiana</i>	多年草 路傍 畑地 草地	山の寺キャンプ場 875m (4429) '17	有毒植物 花は早春から春に咲き、初めに咲く意味のハツが和名のナツに転化したもの。
オオニシキソウ <i>Euphorbia nutans</i>	1年生 道端、荒地、畑	南小学校 527m (1745) '16 天白公園 635m (2075) '16 北小学校 518m (5549) '17 やすらぎ荘北西 530m (5903) '16 下市田天竜川河原 405m (5515) '16	(帰) 北アメリカ原産 基部は直立して上部は枝分かれし、高さ40cm程度になる。傷つけると乳液が出る。
ハイニシキソウ <i>Euphorbia prostrata</i>	2年生 道端、荒地、畑	やすらぎ荘 500m '16 山吹・市田ウォーキングコース 455m '16 市田郵便局西方 450m '16	(帰) アメリカ原産 葉の長さは、コニシキソウの半分程度の長さしかなく、葉の中央には模様がない。
シラキ <i>Neoshirakia japonica</i>	落葉広葉樹高木 山地	林道矢沢線 950m (1139) '16 出原二又線 640m (2109) '16 林道不動滝線 (2572) '16 吉田山・山の寺 1100m (2752) '16 田沢・田沢大橋付近 750m (2252) '16	和名は樹皮は灰白色でなめらか。
<b>■ヤナギ科 <i>Salicaceae</i></b>			
ヤマナラシ <i>Populus tremula</i> var. <i>sieboldii</i>	落葉広葉樹高木 日が当たる空地	越田原 760m (1609) '16 林道小沼大沢線 920m (3705) '16 山吹・増野 710m (4628) '17 湯ヶ洞周辺 660m '16	葉は長い柄を持っており、風が吹くと葉がバタバタとゆれて音を出す。これが和名の「山鳴ら」の由来。
アメリカヤマナラシ <i>Populus tremuloides</i>	落葉広葉樹高木 日が当たる地	湯ヶ洞周辺 660m (1607) '16	(栽・逸) 白樺に似た白い樹皮の落葉高木で、カナダやアメリカに分布。
シダレヤナギ <i>Salix babylonica</i>	落葉広葉樹高木 公園樹 街路樹	寺沢川沿い 480m '16 下市田親水公園 416m '16 中学校南・唐沢洞 500m '16	(帰) 中国原産 奈良時代に渡来。和名は細い枝、葉が長く枝垂れることに由来。公園や街路樹として植栽。
ハッコヤナギ <i>Salix caprea</i>	落葉広葉樹高木 日当りのよい山地	越田原 760m (1828) '16 不動滝駐車場 970m (2801) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3152) '16 林道弓矢沢線 880m (3210) '16 林道小沼大沢線 920m '16	別名「ヤマネコヤナギ」。低山から丘陵地のやや開けた明るい場所に生じる。早春の花穂が目立つ。
オオバヤナギ <i>Salix cardiophylla</i> var. <i>urbaniana</i>	落葉広葉樹高木 肥沃な湿潤地	林道小沼大沢線 1005m '16	渓谷の河床や河岸に生える。葉は大きく、葉裏は、帯緑白色。5月~6月に、黄緑色の花を密につける。
シロヤナギ <i>Salix dolichostyla</i> subsp. <i>dolichostyla</i>	落葉広葉樹高木 川原の礫地 湿地	天竜自動車学校河原 420m (1821) '16 万年橋 445m (4584) '17	(固) 和名は、樹皮が白っぽく、葉の裏も白いことによる。
コゴメヤナギ <i>Salix dolichostyla</i> subsp. <i>serissifolia</i>	落葉広葉樹高木 湿地 川岸	下市田工業団地天竜川河原 420m (1060) '16 明神橋付近 420m (1155) '16 天竜自動車学校天竜川河原 420m (1851) '16 万年橋付近 440m (3127) '17	ヤナギ科の中では、大木になり、樹高は25mになる。よく分枝し、下枝は広がるため、樹冠は丸くなる。
ネコヤナギ <i>Salix gracilistyla</i>	落葉広葉樹低木 川べり	林道不動滝線 770m (2540) '16 増野・大沢川沿い 770m (3332) 山吹・越田 580m (3500) '16 天竜自動車学校河原 420m (1863) '16 万年橋付近 440m (4588) '17	花期は3-4月、和名は銀白色の毛で目立つ花穂をネコの尾に見立てた。花穂は生け花に用いられる。
イヌコリヤナギ <i>Salix integra</i>	落葉広葉樹低木 川岸	林道弓矢沢線 950m (1144) '16 越田原 760m (1732) 不動滝駐車場 970m (2804) '16 天白公園 630m (5713) '17 林道小沼大沢線 1025m (3781) '17	和名の由来は、コウリヤナギ(コリヤナギともいう)に似ているが、役に立たないという意味から。
シバヤナギ <i>Salix japonica</i>	落葉広葉樹低木 丘陵 山地	林道不動滝線床波沢駐車場 975m '16 林道不動滝線 1000m '16	中部以東の山地に自生。枝は水平に出て先が少し垂れる。4月ごろ、葉とともに花穂を出し、黄色の雄花と緑色の雌花をつける。
ウンリュウヤナギ <i>Salix babylonica</i> var. <i>matsudana</i> 'Tortuosa'	落葉広葉樹低木 公園樹 街路樹	下市田親水公園 415m (1709) '16 万年橋付近 442m (3391) '16 下市田天竜川河原 406m (5534) '17 田沢川沿岸 500m '16	(栽・逸) 中国原産のベキヤナギの園芸種で、枝がクネクネと屈曲して下垂する。生け花用に用いられる。
カワヤナギ <i>Salix miyabeana</i> subsp. <i>gymnolepis</i>	落葉広葉樹低木 川べり	下市田工業団地河原 420m (1046) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1307) '16 山の寺北側林道 800m (1504) '16 下市田親水公園 415m (1711) '16 万年橋付近 442m (3129) '16	本種は、低木で株立ちすること、葉表に皺はないこと、葉縁は裏側に巻かないことが特徴。
タチヤナギ <i>Salix triandra</i>	落葉広葉樹高木 川べり	下市田工業団地河原 420m (1090) '16 千水ノ沢 1200m (2527) '16 林道不動滝線床波沢駐車場 970m (2817) '16 下市田親水公園 416m '16	本種は、側脈は目立たない、側脈が裏面に隆起しない、葉裏は無毛ことが葉の特徴。
オノエヤナギ <i>Salix udensis</i>	落葉広葉樹高木 湿地 谷間	林道弓矢沢線 950m (1146) '16 林道不動滝線 980m (3723) '16 林道小沼大沢線 1025m (3775) '16 大島川本沢 1080m (5361) '17	本種は高木で1本立ちすること、葉表は葉脈が凹むため皺が目立つ、葉縁が裏側に巻くことが多いこと。
<b>■スミレ科 <i>Violaceae</i></b>			
エゾノタチツボスミレ <i>Viola acuminata</i>	多年草 林床 半日陰	山吹・正木 635m (3437) '16 中学校南・唐沢洞 480m (3483) '16 寺沢川沿い 490m (3550) '16 山の寺南側 835m '16 堂所橋南 725m '16 国道山吹交差点 440m '16	タチツボスミレより葉先が尖りより高く立ち上がる。花弁の側弁に毛が密集している。
エイザンスミレ <i>Viola eizanensis</i>	多年草 林床 半日陰	林道二又沢線起点 680m (4206) '17 山の寺境内 780m '16	(固) 本種は葉が細く裂け一目で他のスミレとは区別がつきやすい。和名は比叡山に生えていたから。
コタチツボスミレ <i>Viola grypoceras</i> var. <i>exilis</i>	多年草 林床 半日陰	牛牧・堂所南 725m (3040) '16 田沢川沿い 670m (3341) '16 山吹・越田 580m (3512) '16 林道不動滝線 980m (3728) '16 松岡城址 550m (3883) '16	タチツボスミレの変種。葉は三角形から腎形。母種に比べて深い心形にならない。葉の鋸歯が粗い。
タチツボスミレ <i>Viola grypoceras</i> var. <i>grypoceras</i>	多年草 半日陰 林縁	高森カントリークラブ東 765m (1471) '16 田沢大橋西側 750m (2272) '16 牛牧・堂所南 725m (3039) '16 林道矢沢線 980m (3194) '16 松岡城址 500m (3521) '16	ごく身近に見られるスミレ類の一つ。丸い葉と立ち上がる茎が特徴である。
ケタチツボスミレ <i>Viola grypoceras</i> f. <i>pubescens</i>	多年草 崖 渓流沿い	山吹・越田 580m (3515) '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m (3566) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (3928) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (4249) '17	タチツボスミレの変種で、特徴としては、茎や花柄、葉などに毛がある。タチツボスミレは無毛。
オトメスミレ <i>Viola grypoceras</i> f. <i>purpurelocalcarata</i>	多年草 林縁 半日陰	山吹・竜口 480m (3867) '16 胡麻日大橋北斜面 470m (4179) '17	タチツボスミレの花が白色で距が淡紫色になる品種。和名は牧野博士が箱根乙女峠で発見に由来。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■スミレ科 Violaaceae</b>			
アオイスミレ <i>Viola hondoensis</i>	常緑多年草 湿った林床 林縁	山の寺境内 770m (1297) '16 山道・駒場新田線 530m (2031) '16 山吹・正木 635m (3454) '16 中学校南・唐沢洞 480m (3478) '16 林道二又沢線 665m (3824) '16	(固) タチツボスミレとは、花弁はよじれていることが多く、また花茎を高く伸ばさず葉のすぐ上で開花。
コスミレ <i>Viola japonica</i>	多年草 畑 林縁	ほたるパーク山吹周辺 440m (1466) '16 山道・駒場新田線 550m (3372) '16 山吹・越田 580m (3503) '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m (3579) '16	本種は葉が長三角形であることがタチツボスミレとの 区別点。タチツボスミレでは葉は卵状楕円形。
マルバスイレ <i>Viola keiskei</i>	多年草 落葉広葉樹林床	山吹・越田 580m (3415) '16 山吹・小沼 460m (4286) '17 林道二又沢線 980m '16	本種は花色がほぼ純白。ただ、唇弁に僅かに紫条が入る。 葉は名の通りほぼ円形。
ケマルバスイレ <i>Viola keiskei f. okuboi</i>	多年草 道端や土手 林縁	胡麻目川沿い 505m (3588) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (4239) '17 林道不動滝線 800m '16 高森公園 770m '16 南小学校 527m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16	本種はスミレの中でもっとも丸いほぼ円形の葉をもち (マルバスイレ)、葉や花茎にも丸いものがあるタイプ。
オオタチツボスミレ <i>Viola kusanoana</i>	多年草 道端や土手、林縁	田沢大橋西方 770m (4266) '17 山の寺キャンプ場 875m (4933) '17 山吹・越田 570m '16 松岡城址間ヶ沢 520m '16	本種は、花の後ろ側に袋状に伸びた距(か)の色が白く、 タチツボスミレは距が青い。
スミレ <i>Viola mandshurica</i>	多年草 道端 石垣	やすらぎ荘北西の洞 530m (4295) '17 山吹公園 520m (6810) '19 松岡城址西側 550m '16 下市田観水公園 416m '16 山吹・越田 590m '16 万年橋南側 445m '16	和名は花の形が木工の使う墨入れに似ているから。葉は 長めの葉柄があって、少しやじり形っぽい。
ケスミレ <i>Viola mandshurica f. ciliata</i>	多年草 道端 石垣	山吹・新田原 580m (5183) '16 荻原神社境内 500m (3914) '16	スミレの有毛な品種
イブキスミレ <i>Viola mirabilis var. subglabra</i>	多年草 丘陵や山地の半日陰	松岡城址周辺 480m (3522) '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m (3578) '16	他のスミレに比べて早く咲く。花期は無茎に見え、距が 白く、側弁に毛があることが同定のポイント。
ニオイタチツボスミレ <i>Viola obtusa</i>	多年草 林縁 半日陰	山吹・市田ウォーキングコース 440m (3954) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (4316) '17 胡麻目川沿い 505m '16 山吹駅北 480m '16 寺沢川沿い 490m '16 大沢川沿岸 450m '16	花は濃紫色で、花弁がまとまって咲き、中心の白がはっ きり。距はぼつてりして、紫色を帯びる。
アカネスミレ <i>Viola phalacrocarpa</i>	多年草 日当たりの山野	中学校南・唐沢洞 480m (3480) '16 山吹・越田 580m (3511) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (3946) '16 吉田南城跡 500m (3951) '16 胡麻目大橋北斜面 470m (4155) '17	本種は一株の花数が多い、花色は濃紅紫色で、花弁は 長さ1cmほど。葉などに毛が多いのも特徴。
オカスミレ <i>Viola phalacrocarpa f. glaberrima</i>	多年草 日当たりの山野	やすらぎ荘北西の洞 530m (4297) '16	本種はアカネスミレの変種で、毛のないものをいう。
ミヤマスミレ <i>Viola selkirkii</i>	多年草 山地	本高森山登山路 1600m '16	低山上部の落葉広葉樹林内に生育。
フモトスミレ <i>Viola sieboldii</i>	多年草 痩せた山地、丘陵	田沢川沿い 670m '16 不動滝直上 1080m '16 本高森山登山路 1080m '16 前高森山登山路 1060m '16	和名は、山麓でよく見かけることから。葉裏は紫色を帯 びる。花柄は暗紫色。花は直径約1cm、白色、
フリフモトスミレ <i>Viola sieboldii f. variegata</i>	多年草 痩せた山地、丘陵	本高森山登山路 1600m (3681)	本種はフモトスミレに白い斑が入ったものをいう。
アメリカスミレサイシン <i>Viola sororia</i>	多年草 人家周辺	山吹・正木 635m (3438) '16 林道出原線 1000m (3469) '16 田沢川南側 670m (3557) '16 山吹・竜口 480m (3852) '16 大島山区民会館周辺 650m (4257) '17	(帰) 北アメリカ原産 葉は円形で多数つく。花は大き く花弁が白色のものも紫色のものも2つのタイプがあ る。
サンシキスミレ <i>Viola tricolor</i>	多年草 人家周辺	山吹・竜口 480m '19	(帰・逸) 一年生もしくは短命な多年生の野草。園芸種 であるパンジーの原種の一つ。
アギスミレ <i>Viola verecunda var. semilunaris</i>	多年草 湿った土地	山の寺キャンプ場 880m (1794) '16 出原二又沢橋付近 640m (2124) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3155) '16	ツボスミレの変種。花は母種とよく似ている。葉は大き くなり、葉の形がブーメラン形をしているのが特徴。
ツボスミレ <i>Viola verecunda</i>	多年草 湿地	南信州山吹支所 500m (2003) '16 牛牧・堂所南 725m (3047) 不動滝駐車場 1060m (3113) '16 やすらぎ荘北西 530m (3406) '16 山道・駒場新田線 550m (3373) '16	ごく小型で、長く茎を出し、白い花をつける。別名「ニ オイスマスミレ」
シハイスミレ <i>Viola violacea var. violacea</i>	多年草 山間地	天白公園 - 不動滝(長野県植物研究会誌 51号) '17	立ち上がる茎のない、小柄なスミレ類で、スミレに似 ているが、やや小柄で赤みが強い。全体に毛がない。
ノジスミレ <i>Viola yedoensis</i>	多年草 日当たりのよい道端	下平北向き斜面 470m '16 やすらぎ荘北西 540m '16 ほたるパーク山吹周辺 440m '16	日当たりのよい乾き気味の環境を好む。全体に白い短毛 が多い。
ヒカゲスミレ <i>Viola yezoensis</i>	多年草 谷沿いや沢沿いの 林床	山吹・正木 635m (3453) '16 山吹駅北方 470m '16	湿度の高い半日陰に生える。根を伸ばして増え群生する ことがある。
<b>■オトギリソウ科 Hypericaceae</b>			
オトギリソウ <i>Hypericum erectum</i>	多年草 道端 野原	山の寺キャンプ場 880m (1786) '16 林道出原線 815m (2174) '16 林道不動滝線 770m (2580) '16 大島川干水ノ沢 1170m '16	草地や山野に自生し高さ20~60cmにまで生育、夏 に2cm程の黄色い花を咲かせる。
ミヤコオトギリ <i>Hypericum kinashianum</i>	多年草 山地の湿った地	天白公園 - 不動滝(長野県植物研究会誌 51号) '17	オトギリソウに似ているが花は小さく(花弁の長さ4-7 mm、オトギリソウは9-10mm)で葉は細い。葉は長楕円 状線形 - 線形。葉に黒点がある。
コケオトギリ <i>Hypericum laxum</i>	多年草 休耕田 湿地	出原中里小胡桃沢 610m (1261) '16	小型の草本植物で、湿地や休耕田などに生育する8-9 月に咲く花は黄色。
セイヨウオトギリ <i>Hypericum perforatum subsp. perforatum</i>	多年草 荒地	山吹・正木 635m (5030) '17 やすらぎ荘周辺 490m (5035) '17 松岡城址間ヶ沢 500m '17 林道不動滝線 920m '16	(帰) ユーロピア原産 草丈1mほどになり、6月-8 月に黄色い花をつける。
サワオトギリ <i>Hypericum pseudopetiolatum</i>	多年草 湿った林下	大沢川沿い 475m (1287) '16	茎は直立、上部で分枝。草丈30cmほどになり、黄色い 5弁花をまばらにつける。
<b>■フウロソウ科 Geraniaceae</b>			
オランダフウロ <i>Erodium cicutarium</i>	越年草 道端 荒地	ほたるパーク山吹周辺 440m (1455) '16 山吹駅周辺 439m '16 胡麻目大橋北斜面 470m '17	(帰) ユーロピア大陸原産 本種の特徴はキュンドル のような果の形とノコギリソウを連想させる葉である。
アメリカフウロ <i>Geranium carolinianum</i>	越年草 道端 放棄畑	ほたるパーク山吹周辺 445m (3345) '16 山吹・小沼 460m (4386) '17 下市田中谷 420m (4518) '16 竜口八幡神社 460m (4964) '17 万年橋付近 450m '16	(帰) 北アメリカ原産 戦後、牧草などに種子が混ざ り持ち込まれた。路傍や荒地、畑などに繁茂する。
ヤワゲフウロ <i>Geranium molle</i>	多年草 道端 原野	国道山吹交差点付近 450m (6414) '18	(帰) ヨーロッパ原産 葉は根生葉で、5~9深裂して、 さらに浅く切れ込んでいる。植物全体に軟毛を有する。 春に淡紅紫色の花が咲く。
チゴフウロ <i>Geranium pusillum</i>	1年草、越年草 道端、荒地	竜口八幡神社 415m (4975) '17	(帰) ヨーロッパ原産の1年草または越年草で、日当 りの良い道端や荒地、畑などに生える。
ゲンショウコ <i>Geranium thunbergii</i>	多年草 道端 原野	山の寺キャンプ場 880m (1124) '16 林道弓矢沢線 950m (950m) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (1453) '16 田沢大橋西 750m (2267) '16 林道弓矢沢線 800m (5260) '17	生薬 日本全土の山野や道端に普通に見られる。和名 は「(胃腸に) 実際に効く証拠」の意味。
<b>■ミソハギ科 Lythraceae</b>			
ホソバヒメミソハギ <i>Ammannia coccinea</i>	1年草 水田	市田郵便局西 450m (1019) '16 高森浄化センター西 420m (1039) '16 下市田天竜川河原 420m (1084) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (1432) '16 江戸ヶ沢川 415m (6096) '17	(帰) アメリカ大陸原産 茎は四角柱状で直立し、高 さ20-30cm、大きな草体ではよく分枝する。
キサシガサ <i>Rotala indica</i>	多年草 水田 水田の畔	市田郵便局西 450m (1022) '16 国道山吹交差点周辺 440m '16	水田や湿地に生え高さ10~15cm。茎は柔らかく、し ばしば紅紫色を帯びる。花は1個ずつつき、淡紅色。
<b>■アカバナ科 Onagraceae</b>			
ウシタキソウ <i>Circaea cordata</i>	多年草 湿った地	天白公園 - 高森公園 725m (7032) '19	ミズタマソウによく似ているが、ウシタキソウの方が毛 が多く、茎、葉が異なる。花期は8-9月。
タニタデ <i>Circaea erubescens</i>	多年草 湿った地	山の寺キャンプ場 880m (1780) '16 大島川本沢 1080m (5307) '17 大島川干水ノ沢 1170m '16	山間の湿った地に耐える草で、長く伸びた茎先に花枝を 付けて先端に白、またはピンク色の花が咲く
ミズタマソウ <i>Circaea mollis</i>	多年草 山地に日陰	林道弓矢沢線 780m (1180) '16 胡麻目川沿い 530m (1662) '16 山の寺キャンプ場 880m (1764) '16 林道出原線 880m (2940) '16 吉田城山 547m (5651) '17	和名は「水玉草」の意で、白い毛の生えた球形の子房を 「霧がかかった水玉」に見立てたもの。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■アカバナ科 Onagraceae</b>			
ケゴンアカバナ <i>Epilobium amurense</i> subsp. <i>amurense</i>	多年草 山地に湿った地	大島川干水ノ沢 1200m (2513) '16 林道不動滝線床波沢駐車場 970m (2815) '16 大島川本沢 1150m (5385) '17	イワアカバナに似るが、本種は茎に稜があり2列の毛が生える点で異なる。
イワアカバナ <i>Epilobium amurense</i> subsp. <i>cephalostigma</i>	多年草 山地の岩場 草地	越田原 760m (1608) '16 大島川干水ノ沢 1210m '16	和名は、岩場に生え秋に葉が赤くなることから。アカバナは雌しべの柱頭がこん棒状で、本種は球状。
アカバナ <i>Epilobium pyrricholophum</i>	多年草 水湿地	出原二又沢橋付近 640m (2104) '16 やすらぎ荘北西山麓 530m (5915) '17 林道不動滝線 1090m (6169) '17 越田原 760m '16 大島川干水ノ沢 1200m '16	茎、子房、萼裂片は花期にも紅紫色をおび、花がすむと赤色の草もみじが美しく、赤花の名がついた。
ヤマモモソウ (ハクチョウソウ) <i>Oenothera lindheimeri</i>	多年草 道端 草地	南大島川上橋付近 440m (1805) '16 明神橋付近 420m (2880) '16 天竜川~量販店 435m (2905) '16	(帰) 北アメリカ原産 和名「ヤマモモソウ」は花の色に因み、別名「ハクチョウソウ」は花が白い蝶のように見えることに因む。
チョウジタデ <i>Ludwigia epilobioides</i> subsp. <i>Epilobioides</i>	1年草 水田、湿地	市田郵便局西 450m (1015) '16 下市田工業団地天竜川河原 420m (1083) '16 下市田親水公園南水田 415m '16 やすらぎ荘北 450m '16 山の寺キャンプ場 900m '16	水田に生育する雑草。稲作の伝来とともにもたらされた史前帰化植物の一つであると考えられている。
ミズキンバイ <i>Ludwigia peploides</i> subsp. <i>stipulacea</i>	多年草 水辺	下市田江戸ヶ沢川 (6093) '17	RL(環 NT/県-) 水辺に生育する抽水性の多年生草本。
メマツヨイグサ <i>Oenothera biennis</i>	越年草 河原 荒地	下市田天竜川河原 420m(1048) '16 松岡城址銚子ヶ洞 510m(5492) '17 山吹・量販店南東 436m (5569) '17 下市田親水公園南 416m '16 追分・正木 545m '17	(帰) 北アメリカ原産 花は黄色で直径2~5cm。オオマツヨイグサの花より小さいので「メマツヨイグサ」。
オオマツヨイグサ <i>Oenothera glazioviana</i>	越年草 河原 荒地	やすらぎ荘周辺 500m (1298) '16 市田港周辺 420m '16 山の寺境内 800m '16 万年橋付近 440m '16	(帰) 北アメリカ原産 花は夕方に開き朝にはほむ黄色い一日花。花径は大きく、6-8センチくらいある。
ユウゲショウ <i>Oenothera rosea</i>	多年草 道端	はたるパーク山吹周辺 440m (1464) '16 下市田天竜川河原 410m (5051) '17	(帰) 北アメリカ原産 観賞用に栽培されていたものが野化したものと思われる。
モモイロヒルザキツキミソウ <i>Oenothera speciosa</i> var. <i>Childsii</i>	多年草 庭先 道端	南大島川沿い 480m (6624) '18	(裁・逸)(帰) 北アメリカ原産、生命力が強く観賞用から野生化したものがあちこちで見られる。白い花のヒルザキツキミソウの桃色種
ヒルザキツキミソウ <i>Oenothera speciosa</i>	多年草 道端 庭先	国道山吹交差点付近 450m (6416) '18	(裁・逸) 和名の由来は、背に咲くツキミソウと違って、昼間にも開花していることによる。
マツヨイグサ <i>Oenothera biennis</i>	多年草 河原 土手	明神橋付近 418m (6077) '17 市田港周辺 420m '16	高さ70cm、線形の葉を互生。5-7月に5cmほどの花を開花。夕方開いて翌朝しほむ黄赤色に変わる。
ツキミソウ <i>Oenothera tetraptera</i>	多年草 庭先 道端	南大島川沿い (6242) '19	(帰) メキシコ原産で江戸時代に渡来した。花期は6-9月ごろで、花は夕方の咲き始めは白色であるが、翌朝のしほむ頃には薄いピンク色となる。
<b>■ミツバウツギ科 Staphyleaceae</b>			
ミツバウツギ <i>Staphylea bumalda</i>	落葉広葉低木 山地	山道・駒場新田線 530m (2039) '16 山吹・小沼 450m (2337) '16 林道二又沢線起点 665m (3838) '16 林道吉田線 820m (4755) '17 山の寺キャンプ場 875m (4931) '17	和名の由来は葉が三つ葉で、枝がウツギと同じように空洞になっていることから。若芽は食用になる。
<b>■キブシ科 Stachyuraceae</b>			
キブシ <i>Stachyurus praecox</i>	落葉広葉低木 山地	林道小沼大沢線 775m (1907) '16 大島川本沢 1150m (5391) '17 大沢川沿いため池付近 926m (6441) '18 山の寺観音沢 954m (6652) '18	山地の明るい場所に生える。成長が早く、一年で2mくらいは伸びる。先駆植物的な木本で、荒地にもよく出現する。
ケキブシ <i>Stachyurus praecox</i> f. <i>leucotrichus</i>	落葉広葉低木 山地	山の寺キャンプ場 880 (1326) '16	太平洋側に分布するキブシの変種で、主に日本海側に分布し、葉の裏の脈上に毛が生えている。
<b>■ウルシ科 Anacardiaceae</b>			
ヌルデ <i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>	落葉広葉小高木 伐採地	林道小沼大沢線 920m (5442) '17 追分・正木 545m '17 松岡城址間ヶ沢 500m '17 月夜平 660m '17 太白公園 640m '16 湯ヶ洞周辺 660m '16 越田原 760m '16	樹高7mほどに成長する小高木。伐採などの掘乱跡地にいち早く生育する代表的な先駆樹種である。
ツタウルシ <i>Toxicodendron orientale</i>	つる性落葉高木 林中 林縁	松岡城址銚子ヶ洞 480m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16 山道・駒場新田線 520m '16 山の寺境内 750m '16 新田諏訪神社 620m '16 堂所南 725m '16 高森公園 770m '16	樹木や岩などに寄りかかり気根を出してはい上がる。葉は枚の小葉。ウルシ科の植物でかぶれる。
ヤマウルシ <i>Toxicodendron trichocarpum</i>	落葉広葉小高木 伐採跡 疎林内	山の寺キャンプ場 880m '16 林道小沼大沢線 770m '16 牛牧浄化センター南斜面 520m '16 田沢大橋西 750m '16 太白公園 640m '16 月夜平 660m '16	春の芽立ちのときは赤色をおび、秋には鮮やかな紅葉となる。樹液に触れるとかぶれる。
ウルシ <i>Toxicodendron vernicifluum</i>	落葉広葉高木 川べり	山吹・市田ウォーキングコース胡麻目川橋付近 447m '17	本種はアレルギー性接触性皮膚炎 [4] (いわゆる「ウルシかぶれ」) を起こしやすいことで有名である。これは、ウルシオールという物質によるもの。
<b>■ムクロジ科 Sapindaceae</b>			
オオモミジ <i>Acer amoenum</i> var. <i>amoenum</i>	落葉広葉小高木 谷間	不動滝~駐車場 1060m (3097) '16 本高森山登山路 1220m (3604) '16 林道吉田線 710m (4766) '17 林道吉田線 820m '17 高森公園 770m '16 林道矢沢線 980m '16	北海道~九州の山地の谷間に生える。丘陵から低山上部まで生育。庭園木としてもよく植栽される。
フカギレオオモミジ <i>Acer amoenum</i> var. <i>amoenum</i> f. <i>palmatipartitum</i>	落葉広葉小高木 谷間 斜面	山の寺キャンプ場 980m (1337) '16 林道小沼大沢線 775m (1916) '16 下市田4区洞 470m (2210) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2787) '16 林道弓矢沢線 850m (5235) '17	オオモミジの葉が深裂するタイプ。逆に、浅裂するタイプはヒロハモミジと呼ばれる。
ヤマモミジ <i>Acer amoenum</i> var. <i>matsumurae</i>	落葉広葉小高木 谷間 斜面	不動滝周辺 1060m (植栽)	日本海側の山地の谷間など、やや湿り気のある斜面に生える。日本海側の多雪地に多く見られる。
アサノハカエデ <i>Acer argutum</i>	落葉広葉小高木 谷間 斜面	山の寺キャンプ場 880m (1762) '16 干水ノ沢 1200m (2503) '16 林道吉原線 1000m (3457) '16 林道不動滝線 980m (3743) '16 高森カントリークラブ西 880m (4855) '17	深山に生え、高さ7mほどになる。葉の形が麻に似ることから名付けられた。
ナンゴクミネカエデ (オオハミネカエデ) <i>Acer australe</i>	落葉広葉小高木 谷間 斜面	本高森山登山路 1360m (3669) '16	ブナ林などの発達する低山上部に成育する。本種はコミネカエデとよく似ている。別名「オオハミネカエデ」
ホソエカエデ <i>Acer capillipes</i>	落葉広葉高木 山地の河岸	大島川干水ノ沢 1200m (2537) '16 林道不動滝線 770m (2581) '16	本種はウリハダカエデとは、葉裏の脈先に水かき状の膜がある、葉柄は赤色であることで判別可能。
ウリカエデ <i>Acer crataegifolium</i>	落葉広葉小高木 道端 二次林	不動滝駐車場 970m (2809) '16 増野・大沢川付近 770m (3320) '16 本高森山登山路 1360m (3660) '16 林道小沼大沢線 1050m (3785) '16 萩山神社洞 470m (4530) '17	樹皮はなめらかで緑色を帯び、表面に黒い斑点をもつことから「ウリの肌」を思わせるので、この和名。
ヒトツバカエデ <i>Acer distylum</i>	落葉広葉小高木 山腹 沢沿い	本高森山登山路 1220m (1370) '16 不動滝~駐車場 1050m (3095) '16 林道小沼大沢線 920m (3688) '16 吉田山山頂 1450m '16 林道小沼大沢線 1000m '16	(因) カエデの仲間だが葉は大きなハート形で、切れ込みのない一枚葉であるため、和名が命名された。
カラコギカエデ <i>Acer tataricum</i> subsp. <i>aidzuense</i>	落葉広葉小高木 湿地	山の寺キャンプ場 875m '16 湯ヶ洞線北側斜面 490m '16 林道吉田線終点 870m '16 山吹・下平 500m '16	和名は樹皮が剥がれて、鹿の子模様になり、カノコギが訛ってカラコギになったという。
ハウチワカエデ <i>Acer japonicum</i>	落葉広葉高木 山地	前高森山 1060m (2630) '16 林道吉田線終点 820m (4757) '17 大島川本沢 1150m (5383) '17 林道吉原線 1080m (6027) '17	低山上部に生育。和名は、大きな葉の形が、天狗の羽団扇に似ているために由来。
コミネカエデ <i>Acer micranthum</i>	落葉広葉少高木 山地	高森山 1080m (1384) '16 林道吉原線 1020m (2423) '16 増野・山吹停車場線 770m (2595) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2723) '16 高森カントリークラブ北 800m (3298) '16	(因) 亜高山に生息するミネカエデに似るが、葉の裂片先端が尾状に伸び、花、果実ともに小さい。
イロハモミジ <i>Acer palmatum</i>	落葉広葉高木 山地 公園	牛牧浄化センター南斜面 520m (1895) '16 田沢大橋西側 750m (2269) '16 林道不動滝線 770m (2552) '16 干水ノ沢 1200m (2722) '16 やすらぎ荘北西 530m (3411) '16	日本では最もよく見られるカエデ属の種で、紅葉の代表種。公園、庭園などに植栽。園芸種も多い。
ウラゲエンコウカエデ <i>Acer pictum</i> subsp. <i>dissectum</i> f. <i>connivens</i>	落葉広葉高木 山地	大島川干水ノ沢 1200m (2522) '16 不動滝駐車場 970m (2803) '16 林道二又沢線 785m (4806) '17 林道弓矢沢線 1050m (5270) '17	イタヤカエデの1品種 葉裏の主脈沿いに有毛、他部は無毛。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ムクロジ科 Sapindaceae</b>			
イトマキイタヤ (モトゲイタヤ) <i>Acer pictum</i> subsp. <i>savatieri</i>	落葉広葉高木 山地	不動滝周辺 1060m (6177) '16	イタヤカエデの1品種 葉は7~9裂 葉の先端尾状葉裏の主脈分岐元のみ褐色毛あり。
ハナノキ <i>Acer pycnanthum</i>	落葉広葉高木 植栽	南小学校 527m'16 林道吉田線 820m'17 山吹公園 590m'17 出砂良 444m'17	(帰) RL(環VU/県VU)(裁) 長野、岐阜、愛知に自生地。山地の湿地にまれに生える。公園樹や街路樹として、よく植えられている。
ウリハダカエデ <i>Acer rufrinerve</i>	落葉広葉少高木 湿度のある山地	干水ノ沢 1200m (2771) '16 林道吉原線 1000m (3281) '16 高森カントリークラブ北側 800m (3307) '16 増野・大沢川沿い 770m (3318) '16 本高森山登山路 1220m (3603) '16	(帰) 樹皮は暗い青緑色の模様、この色がマクワウリの未熟な実の色に似ていることが和名の由来。
コハウチワカエデ <i>Acer sieboldianum</i>	落葉広葉少高木 山地	林道小沼大沢線 760m (1968) '16 林道吉原線 1025m (2431) '16 干水ノ沢 1200m (2491) '16 前高森山 1275m (2646) '16 林道出原線 980m (2983) '16	(帰) 葉は9裂以上に葉柄が有毛で長い点特徴。オオイタヤメグツは葉柄が無毛。ハウチワカエデは短柄。
ヒノウチワカエデ <i>Acer tenuifolium</i>	落葉広葉少高木 山地	林道不動滝線 770m (2565) '16 前高森山 1060m (2625) '16 干水ノ沢 1200m (2728) '16 林道出原線 880m (2933) '16 高森公園 770m (3239) '16	紅葉が美しい。葉身は4-7cm、普通9-11裂 切れ込みの最深部に丸いすきまがあるのが特徴。
オガラバト <i>Acer ukurunduense</i>	落葉広葉低木 山地	高森山 1880m (6589) '18 本高森山登山路 1680m'16 本高森山登山路 1830m'16 高森山山頂 1890m'16	和名は、材が麻幹(おがら) にもういカエデの意。花が穂状に開くのでホザキカエデともいう。
トチノキ <i>Aesculus turbinata</i>	落葉広葉高木 山地	吉田山 - 山の寺 1000m'16	(帰) 新緑や秋の黄葉が美しいことなどから全国の街路樹、公園樹に利用された。果実は食用になる。
ムクロジ <i>Sapindus mukorossi</i>	落葉広葉高木 山地 植栽(寺院)	山吹田沢 700m (5966) '17	有毒 果皮はサポニンを含み石鹸代わりに用いられる。種子は数珠や羽根突きなどの材料にされる。
<b>■ミカン科 Rutaceae</b>			
マツカゼソウ <i>Boenninghausenia albiflora</i> var. <i>japonica</i>	多年草 日当りの悪い林床	林道弓矢沢線 950m (1148) '16 胡麻目川沿い 530m (1660) '16	ミカン科で唯一の草本 花期は長く夏から秋まで。その姿が実に涼しげな風情のあるのが和名の由来。
コクサギ <i>Orixa japonica</i>	落葉広葉低木 湿った沢沿い	山吹・竜口 480m (3859) '16 林道吉田線 820m (4754) '17 林道弓矢沢線 760m (5423) '17 原城 510m'16 堂所橋南 725m'16	山野の林下や沢沿いに生える。群生しているとき花の時期は、その香りで分かる。カラスアゲハの食草
キハダ <i>Phellodendron amurense</i>	落葉広葉低木 日当りの山地	胡麻目川沿い 520m (5134) '17	樹皮の薬用名はオウバクで、強い抗菌作用を持ち、病原菌に効能があり、健胃整腸剤として用いられる。
ツルシキミ <i>Skimmia japonica</i> var. <i>intermedia</i> f. <i>repens</i>	落葉広葉低木 林床	萩神社 500m (4129) '17 下市田 4区洞 475m'16	太平洋側に分布するミヤマシキミの日本海側の多雪地帯に適応した変種。日本海要素の一種である。
サンショウ <i>Zanthoxylum piperitum</i>	落葉広葉低木 半日陰の林床	下平橋付近 450m (4460) '17 萩神社南側 470m (4524) '17 山吹・増野 700m (4612) '17 順礼沢 520m (4869) '17 白髭神社 500m (4917) '17	香辛料として新芽、若葉、つぼみ、果実などを利用。木はすりこぎの材料としても有名。
アサクラサンショウ <i>Zanthoxylum piperitum</i> f. <i>inerme</i>	落葉広葉低木 半日陰の林床	林道吉田線 710m (4777) '17	棘のない栽培品種を言う。
イヌサンショウ <i>Zanthoxylum schinifolium</i>	落葉広葉低木 半日陰の林床	出原二又沢橋付近 640m (2102) '16 林道出原線 815m (2175) '16 大沢川沿い 500m (4703) '17 林道出原線終点 786m'16 林道不動滝線 790m'16	姿や葉が似たサンショウとはトゲが対生(イヌサンショウは互生)なので容易に区別できる。
<b>■ニガキ科 Simaroubaceae</b>			
ニワウルシ (シンジユ) <i>Ailanthus altissima</i>	落葉広葉高木 植栽(公園 庭木)	寺沢川沿い 500m (4915) '17 山吹・越田 600m (5955) '17 下市田保育園北側 430m'16 本学神社駐車場 670m'16 山吹・下平 470m'16 吉田南段丘 480m'16	(帰) 中国原産 明治初期に渡来 葉は大型の羽状複葉 果実は秋に熟し披針形で中央に種子がある。
<b>■センダン科 Meliaceae</b>			
センダン <i>Melia azedarach</i>	落葉広葉高木 植栽(公園 庭木)	下市田 4区洞 470m (2215) '16	伊豆半島以南の暖地沿岸に野生状に生育。また庭園樹、街路樹として植えられることも多い。
<b>■アオイ科 Malvaceae</b>			
イチビ <i>Abutilon theophrasti</i>	1年草 耕作地 荒地	松岡城址間ヶ沢 550m (5465) '17	(帰) インド原産 繁殖力旺盛なので、日本の侵略的外来種ファースト100に、生態系被害防止外来種に指定。
タチアオイ <i>Aleca rosea</i>	多年草 道端 荒地		(裁・逸) 草丈は1-3mで茎は直立。花期は6-8月で、花は花茎の下から上に咲き上っていく。梅雨入りの頃に咲き始め、梅雨明けと共に花期が終わる。
カラスノゴマ <i>Corchoropsis crenata</i>	1年草 畑 道端	山の寺境内 770m (1420) '16 やすらぎ荘北西 530m (5911) '17 林道不動滝線 800m (6199) '17 下市田天竜河原 410m'16 山道・駒場新田線 505m'16	RL(環ノ県NT) 花弁が黄色で中央から仮雄蕊が突き出している。和名は種子をカラスの食べるゴマに例えたもの。
ゼニアオイ <i>Malva mauritiana</i>	多年草 道端 荒地	国道山吹交差点付近 450m (6412) '18 万年橋付近 445m'16	(帰) 庭植え河川敷や荒地などに生息する。葉の脇に淡い紅紫色の5弁花をつける。花径は3センチくらいで、花弁には濃い色の縦筋が入る。
アメリカキンゴジカ <i>Sida spinosa</i>	1年草 逸出	山吹・量販店東 430m (6741) '18	(帰) 熱帯アメリカ原産。牧場の周辺、放棄畑、道端などの荒地に生育する1年草。高さ1m近くまで生長するが、多くは60cm程度。
<b>■フウチョウソウ科 Cleomaceae</b>			
セイヨウフウチョウソウ <i>Tarenaya hassleriana</i>	1年草 道端 荒地	大沢川上流 7600m'19	(裁・逸) 蝶が舞う姿にも似た美しい花を咲かせる草本で、観賞用に栽培され、また日本でも逸出帰化している。
<b>■アブラナ科 Brassicaceae</b>			
ハクサンハタザオ <i>Arabidopsis halleri</i> subsp. <i>gemmifera</i> var. <i>senanensis</i>	2年草 荒地 砂礫地	林道不動滝線 890m (5049) '17	低山 - 高山帯の日当たり良い草地や林縁、砂礫地に生育する多年草。
ミヤマハタザオ <i>Arabidopsis kamchatica</i> subsp. <i>kamchatica</i>	多年草 岩場 砂礫地	林道不動滝線 800m (3709) '16 林道不動滝線 980m (3731) '16	低山帯 - 高山帯の砂礫地や岩場に生える5-30cm多年草。草丈は低く、角果が長いのが特徴。
シロイヌナズナ <i>Arabidopsis thaliana</i>	1年草 越年草 道端	山吹・竜口 480m (3854) '16 ほたるパーク山吹西側 430m (3884) '16 山吹・小沼 440m (4007) '16 牛牧・小木曾洞 720m (4160) '17 林道二又沢線起点 680m (4271) '17	(帰) 北アフリカ大陸原産 一代代が約2ヶ月と短い、こと、多数の種子がとれることなどでモデル植物と有名。
ヤマハタザオ <i>Arabis nipponica</i>	越年草 山地の林縁 草むら	牛牧・高森公園 770m (3223) 牛牧堂平南 725m (3046) 不動滝周辺 1060m (3111) 山吹・正木 635m (3444)	細く硬い茎が80cmほどに直立するため目立つ。和名はこの様子を旗竿に例えたもの。
ハルザキヤマガラシ <i>Barbarea vulgaris</i>	2年草 河原	胡麻目川沿い 480m (3293) '16 万年橋付近 442m (3394) '16 下市田天竜河原 410m (4498) '17 明神橋北 430m (5092) '17 下市田親水公園南 416m'16	(帰) ヨーロッパ原産 雑草化しており、生態系被害防止外来種や侵略的外来種ファースト100に指定されている。
カラシナ <i>Brassica juncea</i>	越年草 荒地 土手	下市田親水公園 418m (6250) '18 松岡城址 560m'18 下市田小川沿い 412m (6254) '18	(裁・逸) 培野菜(からし菜)として栽培され、葉菜は油炒めやおひたし、漬物などに利用される。
セイヨウアブラナ <i>Brassica napus</i>	越年草 草原 土手	ほたるパーク山吹西側 430m (3890) '16 胡麻目大橋北斜面 470m (4156) '17 月夜平 660m (4415) '17 松岡城址 560m'18	(帰) ヨーロッパ原産 セイヨウカラシナとは葉柄がなく茎を抱くこと、在来種とは茎が白味を帯びることで判別。
アブラナ <i>Brassica rapa</i> var. <i>oleifera</i>	2年草 河原 土手	大島山区民会館周辺 650m (4251) '17 下市田天竜川河原 410m (4492) '17	古くから野菜として、また油を採るため栽培されてきた作物。別名「ナノハナ(菜の花)」、「ナタネ(菜種)」
ナズナ <i>Capsella bursa-pastoris</i> var. <i>triangularis</i>	越年草 田畑 道端 草原	やすらぎ荘北西 540m (3575) '16 松岡城址 550m (3870) '16 ほたるパーク山吹西側 430m (3899) '16 胡麻目大橋北斜面 470m (4153) '17	田畑や荒地、道端など至るところに生える。ムギ栽培の伝来と共に日本に渡来した史前帰化植物
ヒロハコンロンソウ <i>Cardamine appendiculata</i>	多年草 山地の谷間	干水ノ沢 41240m (2472) 胡麻目川沿い 480m (3286)	山地の谷間に生え、コンロンソウより葉が大形で、5-7月、白色花を開く

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■アブラナ科 Brassicaceae</b>			
タチタネツケバナ <i>Cardamine fallax</i>	越年草 原野 河原	大島山区民会館周辺 650m (4255) '17 胡麻目川西方 470m (4303) '17 山吹下平橋付近 420m (4450) '17 山吹・小沼 460m (4381) '17 ぼたるパーク山吹周辺 450m (4195) '17	全草に毛が多く、茎は細く直立、葉脈ごとに稲妻型に曲がる。果期にも根生葉が残る。
ミチタネツケバナ <i>Cardamine hirsuta</i>	1年草 越年草 空地 道端	田沢・田沢川南 670m (3337) '16 中学校南・唐沢洞 480m (3479) '17 山吹・越田 580m (3489) '17 胡麻目川沿い 505m (3592) '16 松岡城址 550m (3871) '16	(帰) ヨーロッパ原産 タネツケバナよりもやや乾燥した場所に生えることが和名の由来。
ジャンシジ <i>Cardamine impatiens</i>	1年草 越年草 やや湿った日陰	山吹・正木 635m (3455) 山吹・市田ウォーキングコース 421m (3064) '16	高さは 40-50cm。茎は細く、稜がある。葉は羽状に分裂して、小葉は幅が非常に細く、さらに切れ込む。
コンロンソウ <i>Cardamine leucantha</i>	多年草 渓流沿い	原城 540m '16 大沢川沿い 450'16 中学校南・唐沢洞 480m '16	花は 4 月から咲き初夏まで次々と白い花を付ける。和名は中国の雪の積もった崑崙山に由来。
ミズタガラシ <i>Cardamine lyrata</i>	多年草 水田 湿地	不動滝 1060m (3106) '16 田沢・林道吉原線 (3458) '16 増野・大沢川沿い 770m (3312) '16 ぼたるパーク山吹 440m (3312) '16 胡麻目川沿い 505m (3586) '16	山地の水湿地に生える草。花期は 4-6 月で茎先に総状花序をつけ 4 弁の白い花をつける。
オオバタネツケバナ <i>Cardamine scutata</i>	越年草 山地の溪谷沿い	胡麻目川沿い 480m (3285) '16 山吹・正木 635m (3443) '16 田沢川南側 670m (3559) '16 山吹・竜口 480m (3864) '16 松岡城址 550m (3877) '16 明神橋 418m (6081) '17	タネツケバナに似ているが、普通葉にはほとんど毛がなく、頂小葉が目だつて大きいことなどで識別できる。
ミズタネツケバナ <i>Cardamine scutata</i>	1年草 越年草 水田	山吹・正木 635m (3455) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (3936) '16 胡麻目大橋西方 470m (4176) '17 ぼたるパーク山吹周辺 450m (4187) '17	開花は 2-3 月、水気が多いところにも生え冬でもさく。葉はうすくタネツケバナよりナヨナヨしている。
タネツケバナ <i>Cardamine occulta</i>	1年草 越年草 田 水辺	中学校南・唐沢洞 480m (3476) '16 松岡城址 500m (3517) '16 寺沢川周辺 490m (3541) '16 胡麻目川沿い 505m (3582) '16 ぼたるパーク山吹西側 430m (3891) '16	水田などの水辺に群生する雑草。全体に柔らかい越年草、あるいは一年草。高さ 20cm ほど。食用。
マルバコンロンソウ <i>Cardamine tanakae</i>	越年草 山野の林床	林道吉原線 1000m (3464) '16 牛牧・小水曾洞 720m '17 胡麻目川沿い 505m '16	全体に毛が生え、コンロンソウより小型。花は径約 1cm の白色 4 弁花。コンロンソウより花期がやや早い。
イヌナズナ <i>Draba nemorosa</i>	1年草 越年草 農地周辺	胡麻目川沿い 480m (3288) '16 ぼたるパーク山吹 430m (3343) '16 林道二又沢線起点 680m (4772) '17 月夜平 660m '17 上段道路 700m '17 市田港 420m '16	本種は、道端や農地周辺などに多い。ナズナに似ているが、花が黄色なので間違えることはない。
ワサビ <i>Eutrema japonicum</i>	多年草 渓流	山吹・市田ウォーキングコース 440m (3947) '16 林道二又沢線起点 680m (4210) '17 竜口八幡神社 460m (4969) '16 林道弓矢沢線 700m (5300) '17 増・大沢川 770m '16	冷涼な気候と渓流など日陰を好む。根や葉、茎などを食用。根はすりおろしてさしみのスパイスに使う。
マメゲンバインズナ <i>Lepidium virginicum</i>	2年草 空地 道端	南小学校校庭 527m (1746) '16 高森公園 770m '16 ぼたるパーク山吹 440m (1461) '16 万年橋 442m (3134) '16 牛牧浄化センター 550m (3274) '16	(帰) 北アメリカ原産 ナズナとは、茎が直立して花時には根出葉が残らず、果実が丸っこいことなどが異なる。
オランダガラシ <i>Nasturtium officinale</i>	多年草 湿地 小川	ぼたるパーク山吹 430m (3351) '16 山吹・下平 440m (5012) '17 大沢川沿岸 475m '16 国道山吹交差点付近 440m '16 寺沢川沿い 480m '16	(帰) ヨーロッパ原産 水中または湿地に生育。クレソン(フランス語:Cresson)またはクレス(cress)ともいう。生態系被害防止外来種
ショカツサイ (シベリヤダイコン) <i>Orychophragmus violaceus</i>	多年草 栽培 野化	山吹・市田ウォーキングコース 440m (3961) '16 竜口八幡神社 460m (4973) '17 吉田城岸 465m (6265) '18	(帰) 中国原産 花期は 4-5 月、鮮やかな紫色の花である。観賞用として栽培、野生化しているものも多い。
イヌガラシ <i>Rorippa indica</i>	多年草 水田の畔 空地	山吹・下平 450m (2455) '16 ぼたるパーク山吹 437m (3349) '16 田沢川沿い 433m (5812) '17 万年橋南側 445m '16 松岡城址西側 550m '16 明神橋北 430m '17	草丈は 20-50cm。生育期間は 10-7 月で、空地、庭、水田、路傍に生える。果実は長さ約 2cm の長角果
スカシタゴボウ <i>Rorippa palustris</i>	越年草 水田の畔	下市田工業団地天竜川河原 410m (1074) '16 山吹・下平 450m (2458) '16 下市田親水公園堤防 415m (1722) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (5163) '17 下市田河原 410m (4493) '16	水田の畔などのやや湿った所に生える。イヌガラシによく似ているが、イヌガラシより果実の長さが短い。
カキネガラシ <i>Sisymbrium officinale</i>	1年草~越年草 荒地 庭	松源寺付近 560m (6807) '19	(帰) ヨーロッパ原産。日本には明治末期に入り、全国的に帰化している。日当たりのよい道ばたや荒地などに生え。高さ 40~80cm になる。
ゲンバインズナ <i>Thlaspi arvense</i>	1年草 多年草 草原	松岡城址 550m (3873) '16 月夜平 660m (4418) '17	(帰) ヨーロッパ原産 ゲンバインズナの短角果は楕円形で先端がくぼみ、軍配のような形である。
ハタザオ <i>Turritis glabra</i>	2年草 多年草 山野 道端	下市田親水公園 420m (3178) '16 下市田天竜川河原 410m (4481) '17 高森公園 770m '16 市田港周辺 420m '16	茎は分枝せず、葉とともに粉白色を帯び、上部の茎葉は毛がなく全縁、基部は矢尻状になり茎を抱く。
<b>■ビャクダン科 Santalaceae</b>			
ツクバネ <i>Buckleya lanceolata</i>	落葉広葉低木 林下 林縁	林道弓矢沢線 780m (1191) '16 山の寺キャンプ場 880m (1338) '16 林道出原線終点 910m (2951) '16 林道二又沢線 665m (3815) '16 林道吉原線 960m (5640) '17	ツガ、モミ、などに半寄生。高さは 1~2m。10 月、花後に長さ 3cm ほどの色が残り、羽根つきの羽根に似る。
カナビキソウ <i>Thesium chinense</i>	半寄生の多年草 日当たり山野や芝地	高森カントリークラブ東側 765m (1500) '16 天竜自動車学校東河原 420m (1835) '16 万年橋南側 440m (2898) '16 下市田親水公園付近 420m (3181) '16	茎葉は白緑色で、高さ約 30cm で多数の枝に分れ、白色の小花をつけ、壺状の球果になる。
<b>■オオバドリギ科 Lorantheae</b>			
マツグミ <i>Taxillus kaempferi</i>	半寄生性の低木 マツ、ツガに寄生	萩山神社 480m (4124) '17 本学神社 700m '16	RL(環ノ県NT) 寄生性の樹木。和名は松グミであり、松の上に生え、実がグミのようなのでこう呼ばれる。
<b>■タデ科 Polygonaceae</b>			
クリンユキフデ <i>Bistorta suffulta</i>	多年草 山地の林床 林縁	不動滝・駐車場 1060m '16 林道不動滝線波伏駐車場 975m '16 不動滝直上 1080m '16	和名は白い花を雪に、花穂を筆に、何段にも咲く花を九輪塔に見立てたものである。
ソバ <i>Fagopyrum esculentum</i>	1年草 畑 荒地	大丸山公園北側 540 (7117) '19	(栽・造) 種子を製粉して蕎麦粉として利用し、それを用いた麵(蕎麦)や蕎麦がき等を食用にする。
イタドリ <i>Fallopia japonica var. japonica</i>	多年草 荒地 道端	林道弓矢沢線 950m (1145) '16 ぼたるパーク山吹 440m (1448) '16 高森カントリークラブ東 765m (1472) '16 南大島川上橋付近 440m (1806) '16 天白公園 630m (5699) '17	古くから山菜として茎を食用とするほか、若葉は乾燥してたばこの代用として、根茎は薬用にする。
メイゲツソウ <i>Fallopia japonica var. japonica f. colorans</i>	多年草 荒地 道端	天白公園 630m (5689) '17 林道小沼大沢線 1050m (5765) '17 山吹 514m (5988) '17	花の色が特に赤みを帯びたものは、メイゲツソウ(ペニイタドリ)と呼び、母種の亜種として扱われる。
ケイタドリ <i>Fallopia japonica var. uzenensis</i>	多年草 荒地 道端	山吹・量販店南東 436m (5602) '17	本種はオオイタドリの変種で葉に毛があるだけで他はオオイタドリと同じ。
ミヤマタニソバ <i>Persicaria debilis</i>	1年草 低山の谷筋	山の寺キャンプ場 880m (1804) '16 林道小沼大沢線 1005m (1925) '16 田沢大橋西側 750m (2273) '16 林道不動滝線 770m (2561) '16 千水ノ沢 1200m (2727) '16	茎は細く 30cm ほど、葉は柔らかい三角形。7 月-10 月、白色の花を付ける。生育の悪いミソソバに似る。
ミズヒキ <i>Persicaria filiformis</i>	多年草 草敷	林道弓矢沢線 800m (1581) '16 林道小沼大沢線 (1933) '16 林道出原線 815m (2187) '16 下市田 4 区洞 475m (2194) '16 田沢大橋西側 750m (2263) '16	細く真っ直ぐに伸びた花穂に、米粒大の小花(実は萼)を疎らに付ける。比較的味な草花である。
ヤナギタデ <i>Persicaria hydropiper</i>	1年草 水田 小川の水辺	明神橋付近 420 (1162) '16 寺沢川沿い 470m (5845) '17 山吹・越田 (5941) '17 下市田天竜川河原 406m (6059) '17 市田郵便局西方 (450m) '16	和名は、葉がヤナギに似ていることから。別名「マタデ」、「ホンタデ」ともいう。葉を噛むと辛い。
サナエタデ <i>Persicaria lapathifolia var. incana</i>	1年草 道端 畑	明神橋北 430m (5103) '17 松岡城址間ヶ沢 500m (5159) '17 山吹・新田原 580m (5178) '17	オオイヌタデと似るが高さは 50cm とやや小形で節は低い。花期は 5 月-10 月、花は淡紅色または白色。
オオイヌタデ <i>Persicaria lapathifolia var. lapathifolia</i>	1年草 荒地 河原	下市田天竜川河原 420m (1076) '16 明神橋付近 420m (1166) '16 万年橋付近 445m (1232) '16 天竜自動車学校東河原 420m (1856) '16 田沢川 433m (5814) '17	茎葉よく分枝して高さは 1.5m になり、節はふくらむ。花期は 6~11 月、淡紅色または白色の花をつける。
シロバナイヌタデ <i>Persicaria longisetata f. albiflora</i>	2年草 荒地 河原	山吹・越田 600m (5949) '17	オオイヌタデの白花品種
イヌタデ <i>Persicaria longisetata</i>	1年草 道端	大沢川沿い 475m (1285) '16 林道弓矢沢線 800m (1565) '16 下市田親水公園堤防沿い 415m (1718) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (5882) '17 山吹・越田 600m (5940) '17	本種はヤナギタデに対し、葉に辛味がなくて役に立たないという意味で和名にイヌを冠せられた。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
■タデ科 Polygonaceae			
ハルタデ <i>Persicaria maculosa</i> subsp. <i>hirticaulis</i>	2年草 道端 草地	ほたるパーク山吹周辺 440m (1436) '16 新田原 600m (2274) '16 増野・青木ヶ沢 715m-730m (6474) '17	花期は4月-10月、春から咲くので和名「ハルタデ」。ただ、春咲くものと秋咲くものとは形が異なる。
ヤノネグサ <i>Persicaria muricata</i>	1年草 水田 畔	山の寺キャンプ場 980m (1335) '16 林道弓矢沢線 800m (1585) '16 山の寺南側 850m (3797) '16 山吹・越田 600m (5943) '17 林道小沼大沢線 770m '16	茎には短い逆さ刺があり、高さ約 50 センチメートル。葉の形状が矢じりに似ているが和名の由来。
シヅヒキ <i>Persicaria neofiliformis</i>	多年草 林床	松岡城址間ヶ沢 450m (5143) '16 竜口八幡神社 450m '16 秋山神社 460m '16 胡麻目川沿い 500m '16 山の寺キャンプ場 940m '16 新田原 570m '16	ミズヒキとは、全草ほとんど毛がないこと、葉が細長く厚いこと、花が密集して付くことなどで判別可能。
タニソバ <i>Persicaria nepalensis</i>	1年草 田の畔 谷筋	山の寺キャンプ場 880m (1119) '16 林道弓矢沢線 880m (1185) '16 湯ヶ洞周辺 660m (1605) '16 田沢大橋西側 750m (2266) '16 山吹・小沼 460m (5997) '17	茎は分岐しながらよく伸びる。花被は白色でわずかに紅色を帯びる。茎と葉は秋に鮮やかに紅葉。
イシミカワ <i>Persicaria perfoliata</i>	つる性1年草 河原 道端	林道出原線 815m (2173) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5160) '17	茎は長さ 1~2m、下向きの鋭い刺で他の草や木にからむ。花序の基部には丸い葉状の苞があり目立つ。
ハナタデ <i>Persicaria posumbu</i>	1年草 湿った林下、林縁	林道弓矢沢線 950m (1152) '16 山道・駒場新田線 520m (2051) '16 田沢大橋西側 750m (2264) '16 林道出原線 880 (2925) '16 林道二又沢線起点 665m (3830) '16	本種は、イヌタデに似るが、より繊細で花序がまばら。イヌタデが里に生えるのに本種は山の日陰。
ホソバハナタデ <i>Persicaria posumbu</i> var. <i>stenophylla</i>	3年草 道端 草地	林道不動滝線 1090m (長野県植物誌 51号 '17)	葉の細い変種
ボントクタデ <i>Persicaria pubescens</i> var. <i>acuminata</i>	1年草 湿地	林道弓矢沢線 780m (1186) '16 林道弓矢沢線 780m (1567) '16 山吹・越田 600m (5942) '18 江戸ヶ沢川 415m (6129) '17	本種はヤナギタデに似ているが、辛味がない。和名のボントクは愚鈍者を意味するボントクのこと。
アキノウナギツカミ <i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i>	つる性1年草 放棄水田 沼地	山の寺境内 770 (1388) '16 湯ヶ洞周辺 660m (1602) '16 林道小沼大沢線 760m (1984) '16 田沢大橋西側 750m (2229) '16 林道不動滝線 770m (2539) '16	茎から葉柄、中脈の下半分にかけては鋭い曲がった棘があり、他の植物に引っかかって生育する。
ママコノシリヌグイ <i>Persicaria senticosa</i>	つる性1年草 林縁 道端	越田原 760m '16 山吹・市田ウォークコース 455m '16 林道出原線 780m '16 山吹・量販店南東 438m '16	林縁などに成育し、長く伸びて垂れ下がることもある。葉の裏や茎に鋭い棘があり、触るととても痛い。
ネバリタデ <i>Persicaria viscofera</i> var. <i>viscofera</i>	1年草 草原	松岡城址間ヶ沢 500m (5883) '17	草丈 40-80cm、茎は直立し、粗い毛があり、茎の上部の節間や花柄の一部に粘液を出して粘る。
ナガボハナタデ <i>Persicaria posumbu</i>	1年草 草原	市田郵便局西 450m (1012) '16 山の寺キャンプ場 880m (1126) '16 田沢大橋西側 750m (2258) '16 林道吉原線 1080m (6018) '17 林道不動滝線 1090m (6186) '17	ハナタデによく似ているが、花序が糸状に細長く、花と花との間隔が 7-10mm と疎らにつくという特徴がある。
ミゾソバ <i>Persicaria thunbergii</i>	1年草 溝、河川、湿地	山の寺キャンプ場 980m (1336) '16 本高森山登山路 1085m (1359) '16 天竜自動車学校東 420m (1854) 林道小沼大沢線 760m (1967) '16 林道不動滝線下駐車場 970m (2818) '16	花期は晩夏から秋にかけてで、茎の先端で枝分かれした先に、直径 4~7mm ほどで、根元が白く先端が薄紅色の多数の花を咲かせる。
ヒカゲミゾソバ <i>Polygonum thunbergii</i> var. <i>coreanum</i>	2年草 溝、河川、湿地	松岡城址 (銚子ヶ洞 - 間ヶ沢) (長野県植物研究会誌 51号) '17	7~9月 湿った林縁などに生えるミゾソバの変種。茎は中空で下向きの明瞭なトゲがある。
ミチヤナギ (ニワヤナギ オオミチヤナギ) <i>Polygonum aviculare</i> subsp. <i>aviculare</i>	1年草 道端 庭先	ほたるパーク山吹周辺 440m (1458) '16 下市田親水公園堤防沿い 415m (1708) '16 南小学校 527m (1753) '16 明神橋付近 418m (6082) '17	本種は葉の形が柳(やなぎ)の葉に似ていて、道端に生える事からミチヤナギ(道柳)の和名がある。
ハイミチヤナギ <i>Polygonum aviculare</i> subsp. <i>depressum</i>	1年草 校庭 庭先	南小学校 527m (1747) '16	(帰) ヨーロッパ原産 本種はミチヤナギに似ているが、節の間が短く、葉も小さい。近年、勢力を伸ばしている。
スイバ <i>Rumex acetosa</i>	多年草 田の畔 荒地	月夜平 660m (4412) '17 下市田中谷 420m (4519) '17 湯ヶ洞線北斜面 490m (4540) '17 山吹駅周辺 439m '16 吉田南城跡 500m 中学校南・唐沢洞 480m '16	日当たりの良い田のあぜや荒地・原野に自生。ギンギシより少し小形の多年草草本。別名はスカンボ
ヒメスイバ <i>Rumex acetosella</i> subsp. <i>pyrenaicus</i>	多年草 道端 荒地	林道不動滝線 750m (4230) '17 県道・山吹停車場線 455m (4898) '17 山吹・量販店南東 438m '16 山の寺境内 770m '16 太白公園 640m '16 明神橋付近 430m '16	(帰) ヨーロッパ原産 明治の初めに渡来した。全体に小形で細い。和名はスイバより小型であることから。生態系被害防止外来種
アレチギンギシ <i>Rumex conglomeratus</i>	多年草 道端 川岸 荒地	万年橋付近 442m (3396) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5450) '17	(帰) ヨーロッパ原産 道ばたや川岸などに生え、高さ 1m ほど。ほかのギンギシ類に比べてほっそりしている。
ナガバギンギシ <i>Rumex crispus</i>	多年草 道端 荒地	松岡城址間ヶ沢 550m (5449) '17 下市田親水公園 420m (3072) '16 山吹・下平 440m (4990) '16 下市田天竜川河原 410m (5081) '17	(帰) 化ヨーロッパ原産 道端に生え、高さ 1.5m になる。根生葉は長い柄があり、長楕円形で縁は縮れて波打つ。生態系被害防止外来種
ギンギシ <i>Rumex japonicus</i>	多年草 道端 田畑の畔	万年橋付近 445m (4709) '17 下市田中谷 420m (4959) '17 南小学校 527m '16 泰山神社 500m '16 唐沢川河口 442m '16	茎は 60~100cm。葉は下部にむらがり、長柄があり、長楕円形で鈍頭、長さ 10~25cm、縁は波状。
エゾギンギシ <i>Rumex obtusifolius</i>	多年草 荒地 放棄畑	やすらぎ荘周辺 500m (1291) '16 南小学校 527m (1740) '16 天竜自動車学校東河原 420m (1827) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m (1878) '16	(帰) ヨーロッパ原産 道端や荒地に生える。高さ 1m ほど。茎や葉柄、葉の中脈がしばしば赤みを帯びる。生態系被害防止外来種
キバナムギナデシコ <i>Tragopogon pratensis</i>	多年草 湿り気の草地	山吹・スーパー付近 440m '19	(帰) ヨーロッパの地中海沿岸から西部が原産 湿り気のある草地や道ばたなどに生え、高さは 60-70cm。明治時代のはじめに渡来し、に帰化。
■ナデシコ科 Caryophyllaceae			
オオヤマフスマ <i>Arenaria lateriflora</i>	多年草 林内 林縁	牛牧役人平 725m (3027) '16 増野大沢川付近 770m (3313) '16 万年橋付近 442m (3393) '16 山の寺南側 835m (3433) '17 山吹・増野 710m (4631) '17	果実は広卵形の蒴果となり、3裂してさらに2浅裂する。種子は黒褐色で光沢があり、卵形で長さ約 1mm になり、白い付属体(種托)がある。
ノミノツツリ <i>Arenaria serpyllifolia</i>	1年草 越年草 道端	牛牧・堂所南 725m (3027) '16 増野・大沢川付近 770m (3313) '16 万年橋付近 442m (3399) '16 山の寺南側 835m (3433) '16 山吹・増野 710m (4632) '17	本種は「蚤の綴り」とのこと、蚤はつぎはぎの粗末な着物といった意味。小さな葉を綴りに見立てたもの。
ミミナグサ <i>Cerastium fontanum</i> subsp. <i>vulgare</i> var. <i>angustifolium</i>	2年草 田畑 道端	胡麻目川沿岸 480m (3291) '16 山の寺南側 835m (3434) '16 田沢川沿い 670m (3560) '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 530m (3565) '16 大沢川沿い 480m (4685) '17	茎は分岐して、高さ 20cm 内外、卵形の葉を対生する。5~6月に白色で径 5~6mm の5弁花を開く。
オランダミミナグサ <i>Cerastium glomeratum</i>	1年草 越年草 畑 道端 荒地	山吹・越田 580m (3482) '16 寺沢川周辺 490m (3549) '16 林道不動滝線 800m (3721) '16 ほたるパーク山吹周辺 450m (4191) '17 胡麻目大橋西方 470m (4216)	(帰) ヨーロッパ原産 ミミナグサは、萼片と花弁の長さが同じ、本種は萼片の方が短いので花弁がはみでる。
タガソソコ <i>Cerastium pauciflorum</i> var. <i>amurense</i>	多年草 落葉樹下	堂所橋南 725m '16 林道不動滝線 980m '16 不動滝 - 駐車場 1060m '16	RL(環 VU/ 県 NT) 和名は花が香るので古今集の「色より香こそあはれと思ほゆれ、誰袖ふれし宿の梅ぞも」に由来。
ノハラナデシコ <i>Dianthus armeria</i>	1年草 草原 河原	山吹・下平 440m (5013) '17 山吹・量販店南東 (438) '16 下市田天竜川河原 410m '16 明神橋付近 420m '16 唐沢川河口 442m '16	(帰) ヨーロッパ原産 '67年に長野県で確認された。草丈は 50cm。5~8月に 1cm 程の淡紅色の5弁花を開花。
エゾカワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> var. <i>superbus</i>	多年草 河原 草地	林道弓矢沢線 780m (1194) '16 山の寺キャンプ場 980m (1344) '16 唐沢川河口付近 442m (1510) '16 越田原 760m (1616) '16 下市田親水公園堤防 415m (1721) '16	花期は 6~9月、先が尾状になる苞が 2対あり、その下部の 1対は大きい。かく片の長さは 2-3cm。
シロバナエゾカワラナデシコ <i>Dianthus superbus</i> var. <i>superbus</i> f. <i>albiflorus</i>	多年草 河原 草地	下市田天竜川河原 410m (5058) '17 明神橋北 430m (5087) '17	カワラナデシコの白花種
イヌコモチナデシコ <i>Petrorhagia dubia</i>	2年草 草地 道端 荒地	万年橋付近 440m (2888) '16 山吹・下平 440m (4988) '17 下市田天竜川土手 415m (5055) '17 山吹・量販店南東 438m '17	(帰) ヨーロッパ原産 コモチナデシコと似ており、見分けるのは極めて困難、種子の模様でかろうじて区別。
コモチナデシコ <i>Petrorhagia prolifera</i>	3年草 草地 道端 荒地	下市田天竜川河原 420m (1106) '16 天竜自動車学校河原 420m (1861) '16 下市田親水公園付近 420m (3183) '16	(帰) ヨーロッパ原産 イヌコモチナデシコは種子に洋梨形で円すい状突起、本種の種子には盾形で低い隆起。
ワチガイソウ <i>Pseudostellaria heterantha</i>	多年草 林縁	山の寺南側 835m (3432) '16 林道不動滝線 980m (3737) '16	高さ 5-15cm。花期は 4-6月で花びらが白く 5枚あり、雄しべの葯が紫色の花を咲かせる。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ナデシコ科 Caryophyllaceae</b>			
ツメクサ <i>Sagina japonica</i>	1年草 道端 庭先	大沢川沿い 480m (4691) '17 明神橋北 430m'17 寺沢川沿い 470m'17	和名は、鳥の爪のような形状をした葉に由来する説、葉の形を切った爪と見立てたとする説などがある
サボンソウ <i>Saponaria officinalis</i>	多年草 道端 荒地	万年橋付近 445m (1227) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1303) '16 南大島川上橋付近 440m (1817) '16 下市田天竜川河原 410m (5069) '17 追分・正木 545m'16	(帰) ヨーロッパ原産 明治初期に薬用、観賞用として導入。根茎にはサボンソウという薬用成分が含まれる。
ムシトリナデシコ <i>Atocion armeria</i>	1年草 越年草 庭先 河原 道端	天竜自動車学校天竜川河原 420m (1853) '16 山吹・下平 440m (4987) '17 明神橋北 430m (5084) '17	(帰) ヨーロッパ原産 江戸時代に渡来した。高さ60cmほどで茎の上部の節の下から粘液をだし虫がくっつく。生態系被害防止外来種
シロバナムシトリナデシコ <i>Silene armeria f. albiflora</i>	2年草 越年草 庭先 河原 道端	下市田親水公園 420m (6509) '16	(帰) 白花品
ナンバンハコベ <i>Silene baccifera var. japonica</i>	多年草 林縁 荒地	林道弓矢沢線 950m (1151) '16 林道小沼大沢線 1050m (1958) '16 山吹・小沼 468m (5610) '17 田沢川沿い 433m (5815) '17	本種は帰化種ではない。和名は、その花や果実の形(液果状)が風変わりであることによる。
フシグロ <i>Silene firma</i>	越年草 のよい山地 日当り	山の寺境内 770m (1389) '16 下市田天竜川河原 405m (5519) '17	茎は高さ80cm。茎の節が暗紫色を帯びる。和名は茎の節が赤黒くなるのに由来。花は地味である。
ケフシグロ <i>Silene firma f. pubescens</i>	越年草 日当りのよい山地	林道不動滝線 960m (6196) '17 林道弓矢沢線一の沢 880m'17	本種はフシグロと同じ地域に分布し、茎や葉、萼に毛のあるものをいう。
センジュガンビ <i>Lychnis gracillima</i>	多年草 深山	林道小沼大沢線 1050m(1944) '16 大島川干水ノ沢 1200m(2483) '16	全草草質で軟らかい。茎は直立し高さ約40cm。7-8月、茎頂に径約2cmの白花をつける。
フシグロセンノウ <i>Lychnis miqueliana</i>	多年草 林下	林道弓矢沢線 950m (1153) '16 牛牧役人平 725 (3020) '16	(帰) 花期は7~10月。野草では珍しい色の朱赤色の花を、分枝した茎の先にまばらに数個付ける。
ウシハコベ <i>Stellaria aquatica</i>	越年草 多年草 林下	胡麻目川沿い 505m'16 山道・駒場 - 新田 550'16 中学校南・唐沢洞 480m'16 堂所橋南 725m'16 寺沢川沿い 470m'17 林道吉田線 700m'17	ハコベに似るが、大形である。花柱は5個、よく似たコハコベ、ミドリハコベは3個である。
サワハコベ <i>Stellaria diversiflora</i>	多年草 林下の湿地	林道弓矢沢線 760m (5421) '17 田沢川南岸 620m'16	茎の上部が斜上して分枝し、長さは5~30cmになる。茎の下部は地を這って、節からひげ根を出す。
コハコベ <i>Stellaria media</i>	1年草 越年草 道端 畑	ぼたるパーク山吹西側 430m (3892) '16 市田中谷 410m (4201) '17 林道不動滝線 750 (4235) '17 山吹・小沼 460m (4370) '17 明神橋北 430m (5096) '17	道ばたに生える春の七草の一つ。ミドリハコベによく似るが、全体にやや小型で茎が暗紫色を帯びる。
ミドリハコベ <i>Stellaria neglecta</i>	2年草 越年草 道端 林縁	山の寺境内 770m (1417) '16 高森公園 770m (3229) '16 山吹・市田ウォーキングコース 440m (3927) '16 天白公園 635m'16 大島山区民会館周辺 650m'17	コハコベの茎は紫色を帯びているのに対して、本種は茎が緑色を帯びている。
ミヤマハコベ <i>Stellaria sessiliflora</i>	山地の谷沿い	牛牧・堂所南 725m (3049) '16 林道不動滝線波沢駐車場 975m (3121) '16 田沢川沿い 670m (3554) '16 林道吉田線 820m (4760) '17 山の寺境内 790m'16	5枚の花弁は深く裂けるので、一見10弁に見える。コハコベの花より大きい。
ノミノフスマ <i>Stellaria uliginosa var. undulata</i>	1年草 越年草 春の田	中学校南・唐沢洞 470m (3475) '16 山吹・越田 580m (3507) '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 530m (3570) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (4332) '17 山吹・小沼 460m (4380) '17	ハコベよりひと回り小さくか細い草。明るい緑色で無毛。和名は小さな葉をノミの道具にたとえたもの。
<b>■ヒコ科 Amaranthaceae</b>			
ヒカゲイノコヅチ <i>Achyranthes bidentata</i>	多年草 樹林内 竹林内	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1204) '16 高森カントリークラブ東 765m (1473) '16 林道小沼大沢線 70m (1974) '16 林道不動滝線 770m (2577) '16	林内や竹やぶなど、日のあまり当たらないところに生える。別名「イノコヅチ」
ヒナタイノコヅチ <i>Achyranthes bidentata var. fauriei</i>	多年草 日向の道端 原野	明神橋付近 420m (1156) '16 山吹・市田ウォーキングコース 455m (1205) '16 寺沢川沿い 470m (5842) '17 山の寺境内 780m'16 山吹・量販店南東 438m'17	日当たりのよい道端や原野に生える。似たヒカゲイノコヅチは毛が少なく小苞の基部の付属体大きい。
ヒメアオケイトウ <i>Amaranthus arenicola</i>	1年草 畑 荒地	山吹町菅住宅周辺 439m (7075) '19	(帰) 北アメリカ原産 1950年代に主に西日本で見られるようになった。草丈は1mは、全体に毛は無い。花は非常に小さく、一つ一つは目立たない。
イヌビユ <i>Amaranthus blitum</i>	1年草 畑 荒地	大沢川沿い 437m (5780) '17 田沢川沿い 433m (5827) '17 山吹・市田ウォーキングコース 455m (1212) '16 山吹天竜堤防沿い 430m'16 下市田親水公園 415m (1707) '16	全体に柔らかい。茎は枝分れて斜上し、高さ20cm内外。菱形卵形で先端のへこむ互生する。
ホソアオケイトウ <i>Amaranthus hybridus</i>	1年草 道端 荒地	下市田浄化センター西 420m (1029) '16 明神橋付近 420m (1164) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1315) '16 万年橋南側 440m (2894) '16 南小学校 727m (1520) '16	(帰) 茎は赤みを帯びることが多く高さ1.5mになる。枝や葉には軟毛。茎の先や葉腋に緑色の花穂がつく。別名はムラサキアオケイトウ
ムラサキアオケイトウ <i>Amaranthus hybridus</i>	1年草 荒地	やすらぎ荘北西山麓 530m (5918) '17	(帰) 熱帯アメリカ原産。ホソアオケイトウに花穂が濁った紅紫色になるもの。
ノゲイトウ <i>Celosia argentea</i>	1年草 庭先(栽培) 荒地	明神橋付近 420m (1162) '16	(帰) 草地、庭植えに生息する。花の色は赤から銀色へと変化する。花は下から上へと咲き上がる。
ケイトウ <i>Celosia cristata</i>	1年草 栽培 野化	山吹・量販店南東 436m (5602) '17	(栽培・逸) 夏から秋に、赤・桃色・黄色などの花穂ができる。それがニワトリの鶏冠に似ているのでこの和名。
シロザ <i>Chenopodium album</i>	1年草 畑 荒地	下市田天竜川河原 420m (1052) '16 明神橋付近 420m (1159) '16 万年橋付近 445m (1233) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1310) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5162) '17	成長した個体では高さ1mを超える。生長すると茎は木化。若い葉が白粉を密につけるのがシロザ。
アカザ <i>Chenopodium album var. centrurubrum</i>	2年草 畑 荒地	下市田天竜川河原 406m (6055) '17 山吹・量販店南東 438m (6732) '18	生長が早く、高さ1m程度に達し[3]、特に窒素分の多い土地にはよく育つ。風媒花であるため花粉が飛散しやすく、アレルギーの原因になる。
コアカザ <i>Chenopodium ficifolium</i>	1年草 畑 道端	明神橋付近 420m (1161) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5150) '17 田沢川 433m (5813) '17 万年橋付近 445m'16	(帰) ユーラシア原産 各地の畑や道ばた、荒地などに多い。高さ30~60cm。葉は浅く3裂することが多い。
アメリカアリタソウ <i>Dysphania anthelmintica</i>	1年草 道端 荒地	天竜自動車学校天竜川河原 420m (1866) '16	(帰) 南アメリカ原産 以前は回虫駆除用の薬草とされたが、現在では強い毒作用があるので用いられない。
ケアリタソウ <i>Dysphania ambrosioides</i>	1年草 道端 荒地	下市田天竜川河原 420m (1105) '16 明神橋付近 420m (1165) '16 万年橋付近 445m (1236) '16 天竜自動車学校河原 420m (1838) '16	(帰) 本種はアリタソウに毛があるものをいう。
ゴウシュウアリタソウ <i>Dysphania pumilio</i>	1年草 荒地 道端	下市田天竜川河原 420m (1044) '16 ぼたるパーク山吹周辺 440m (1443) '16 南小学校 527m (1751) '16	(帰) 濠州原産 荒地や路傍・畑地の雑草として生育。茎や葉の裏面には黄色い腺体があり、悪臭がある。
<b>■ハマミズナ科 Aizoaceae</b>			
マツバギク <i>Lampranthus spectabilis</i>	多年草 栽培 逸出	南大島川川上橋付近 440m'17 追分・正木 545m'17 山吹駅付近 455m'17 山吹・小沼 450m'16	(栽培・逸) 南アフリカ原産 花弁は紫色で光沢がある。朝に花が開き、夕方に花が閉じる。長期間開花を繰り返す。
<b>■ヤマゴボウ科 Phytolaccaceae</b>			
ヨウシュヤマゴボウ <i>Phytolacca americana</i>	多年草 荒地	下市田浄化センター西 420m (1036) '16 林道出原線 815m (2186) '16 林道弓矢沢線 760m (5494) '17 県道・山吹停車場線 912m (5725) '17	(帰) 北アメリカ原産 明治時代初期以降に各地で繁殖している。有毒植物で全体にわたって有毒である。別名はアメリカヤマゴボウ
<b>■オシロイバナ科 Nyctaginaceae</b>			
オシロイバナ <i>Mirabilis jalapa</i>	1年草、多年草 道端	山吹・小沼 455m'19	(栽培・逸) 南アメリカ原産で江戸時代始めごろに渡来。花が美しいため観賞用に栽培されるが、広く野生化もしている。
<b>■ザクロソウ科 Molluginaceae</b>			
ザクロソウ <i>Triglocha stricta</i>	1年草 庭 路傍	明神橋付近 420m (1170) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1301) '16 山吹駅周辺 460m (1347) '16 ぼたるパーク山吹周辺 440m (1444) '16 南小学校 527m (1750) '16	畑地や路傍に普通な夏緑一年生雑草。葉や果実がザクロをほうふつとさせることが和名の由来という。
クルマバザクロソウ <i>Mollugo verticillata</i>	2年草 庭 路傍	下市田天竜川河原 420m (1075) '16 明神橋付近 420m (1168) '16 南小学校 527m (1748) '16 ぼたるパーク山吹周辺 440m'16	(帰) 南アメリカ原産 ザクロソウは葉が4-5枚するが輪生するが、本種は葉が4-7枚輪生する。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■スベリヒコ科 <i>Portulacaceae</i></b>			
マツバボタン <i>Portulaca grandiflora</i>	1年草 庭、道ばた	山吹・小沼 455m'19	(栽・逸) 葉は多肉で、高温と乾燥に対して強い、種子は非常に細かく、こぼれ種でもよく繁殖する。開花期は6-9月、花を観賞するためよく栽培される。
スベリヒコ <i>Portulaca oleracea</i>	1年草 畑 庭	山吹・下平 450m'16 山吹天竜川堤防沿い 430m'16 南小学校 527m'16 南大島川上橋付近 440m'16 山吹駅周辺 460m'16 松岡城址間ヶ沢 500m'17	茎は赤紫色を帯び地を這って分枝。葉は長円形の肉質で互生。夏期、黄色の小なな花を付ける。
<b>■ミズキ科 <i>Cornaceae</i></b>			
ウリノキ <i>Alangium platanifolium</i>	落葉広葉低木 樹下 林縁	林道小沼大沢線 1050m (1952) '16	花弁は6枚で花が開くと巻きあがってカールし長い葯が出てくる。葉がウリに似ているのが和名の由来。
ミズキ <i>Cornus controversa</i>	落葉広葉高木 山野	林道吉田線 710m (4770) '17 林道二又沢線 740m (4822) '17 太白公園 640m'16 本学神社 680m'16 山吹・越田 '16 林道弓矢沢線 980m'16 高森カントリークラブ北 780m'16	階段状に伸びていく枝ぶりが特徴的。和名は樹液が多くて春先に枝を折ると水が滴り落ちることによる。
ヤマボウシ <i>Cornus kousa</i> subsp. <i>kousa</i>	落葉広葉小高木 山地	不動滝・駐車場 1060m'16	花は6-7月に咲く。和名は花の形状を山法師(僧兵)の坊主頭と頭巾(白い総苞片)に見立てた名。
クマノミズキ <i>Cornus macrophylla</i>	落葉広葉高木 山野	太白公園 635m (2065) '16 吉田南段丘崖 480m'16	本種はミズキより花期は1月ほど遅く、葉は枝に対生する。和名は、三重県熊野に産するミズキの意味。
<b>■アジサイ科 <i>Hydrangeaceae</i></b>			
ウツギ <i>Deutzia crenata</i>	落葉広葉低木 道端 崖地 河岸	山の寺キャンプ場 940m (2409) '16 林道不動滝線 890m (5049) '17 林道弓矢沢線 880m (6219) '17	和名は「空木」の意味で、茎が中空であることに由来。花は「うつぎ」の頭文字をとって「卯(う)の花」。
ピロドウツギ <i>Deutzia crenata</i> f. <i>pubescens</i>	落葉広葉低木 道端 崖地 河岸	山の寺境内 770m (1400) '16 山道・駒場新田線 530m (2057) '16 太白公園 635m'16 出原中里 670m (2377) '16 牛牧・堂所南 725m (3017) '16 山吹・正木 635m (3435) '16	葉や花に毛が多いウツギである。別名「ケウツギ」
ヒメウツギ <i>Deutzia gracilis</i>	落葉広葉低木 崖地 河岸	胡麻目川沿い 480m (3294) '16 万年橋 445m (4586) '17 山吹上平 510m'17	(固) 本州の関東地方以西に分布し、河岸の崖上の日当たりのよい場所などに生育する。園芸に利用。
ウラジロウツギ <i>Deutzia maximowicziana</i>	落葉広葉低木 林縁 崖地 河岸	林道不動滝線 980m'16	葉の裏に星状毛が密生して白く見えるので、「ウラジロ」。ウツギに似るが、枝がやや細い。5月に開花。
マルバウツギ <i>Deutzia scabra</i> var. <i>scabra</i>	落葉広葉低木 乾燥した斜面 崖地	順礼沢 520m (4880) '17 林道弓矢沢線 800m (5254) '17 山の寺キャンプ場 940m'16	(固) 葉が丸いウツギ。ウツギとは、茎が中空の木を指す。日当たりの良い、やや乾燥した斜面によく生える。
コアジサイ <i>Hydrangea hirta</i>	落葉広葉低木 林内 林縁	太白公園 635m (2078) '16 林道出原線終点 910m (2948) '16 山吹・増野 700m (4607) '17 山吹・新田原 580m (5194) '17 林道吉原線 960m'17	(固) 花期は6-7月、アジサイ属に特徴的な装飾花はなく、すべてが普通花。白色-淡青色の5弁花が密集。
タマアジサイ <i>Hydrangea involucrata</i>	落葉広葉低木 沢沿い 林縁	山の寺キャンプ場 875m (4434) '17 林道二又沢線終点 785m (4799) '17 林道吉原線 960m (5633) '17 林道小沼大沢線 1050m (5756) '17	(固) 本種は和名「タマアジサイ」のように、蕾が球形で一か月ほどして、弾けるような花を咲かせる。
ノリウツギ <i>Hydrangea paniculata</i>	落葉広葉低木 湿った林、沢	林道二又沢線起点 665m (3823) '16 林道弓矢沢線 850m (5245) '17 林道吉原線 960m (5617) '17 太白公園 630m (5705) '17 吉田城山 547m'17	本種は樹皮が粘液を含み、かつて製紙用の糊とされたのが和名の由来。園芸にミナツギがある。
ツルアジサイ <i>Hydrangea petiolaris</i>	落葉つる性木本 山地	山の寺・観音沢(長野県植物研究会誌 52号) '18	ゴトウツルともいう。北海道、本州、四国、九州に分布し、山地の岩崖や林縁に自生する。
ヤマアジサイ <i>Hydrangea serrata</i> var. <i>serrata</i>	落葉広葉低木 湿った林、沢	林道小沼大沢線 775m (1911) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2481) '16 山の寺キャンプ場 875m (4432) '17 林道吉田線 870m (4735) '17 大島川本沢 1080m (5504) '17	半日陰の湿り気のある林や沢沿いに生育するので、別名「サワアジサイ」 アジサイ類は有毒。
バイカウツギ <i>Philadelphus satsumi</i>	落葉広葉低木 林縁	林道不動滝線 800m (3717) '16 高森公園 770m'16 林道弓矢沢線 850m'16 大島川干水ノ沢 1170m'16 田沢大橋西 750m'16 山の寺キャンプ場 875m'17	(固) 花はウメの花(5弁)に似ているが、花弁は4枚、直径3-4cmの白色。和名は梅花空木の意味。
ケバイカウツギ <i>Philadelphus satsumi</i> f. <i>nikoensis</i>	落葉広葉低木 林縁	大島川干水ノ沢 1200m (2724) '16	バイカウツギの中で葉裏に毛があるものをいう。
イワガラミ <i>Hydrangea hydrangeoides</i>	つる性落葉木本 岩崖 林縁	本高森山登山路 1220m (3622) '16 順礼沢 520m (4889) '17 吉田城山 547m'17 松岡城址間ヶ沢 500m'17 中学校南・唐沢洞 480m'16 山の寺境内 770m'16	花期は6月-7月、小さな両性花が集まる花序のまわりに、萼片が1枚の白色の装飾花が緑どる。
<b>■ツリフネソウ科 <i>Balsaminaceae</i></b>			
キツリフネ <i>Impatiens noli-tangere</i>	1年草 湿地 水辺	林道弓矢沢線 850m (5232) '17 太白公園 630m (5688) '17 大沢川 715m'16 萩山神社 460m'16 山の寺キャンプ場 940m'16 松岡城址間ヶ沢 500m'17	有毒 夏から初秋、茎の上部の葉腋に黄色い花を、細い花柄で吊り下げる。果実に触れると弾ける。
ツリフネソウ <i>Impatiens textorii</i>	1年草 湿地 水辺	林道出原線起点 740m (2156) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2793) '16 山吹・小沼 460m (5992) '17 堂所橋南 725m'16 高森公園 770m'16 大沢川 715m'16	花はキツリフネに似るが、色が赤紫色である、後ろに伸びる距の先端が渦巻状に巻くこと本種の特徴。
ナメラツリフネソウ <i>Impatiens textorii</i> f. <i>nudipedicellata</i>	2年草 湿地 水辺	山吹・寺沢川沿い 470m (5848) '17	ツリフネソウの一品種、花軸の下部に毛がないもの、他の部分は同様。
<b>■モッコク科 <i>Pentaphragaceae</i></b>			
サカキ <i>Cleyera japonica</i>	常緑広葉小高木 栽培(神社) 常緑林	下市田4区洞 475m (2193) '16 萩山神社 400m (2657) '16 出原中里 640m (2998) '16 南大島川北斜面 530m'16 中学校南・唐沢洞 480m'16 松岡城址間ヶ沢 480m'16	神棚や祭壇に供えるなど、神道の神事にも用いられる常緑樹種。神社境内で見かけることが多い。
ヒサカキ <i>Eurya japonica</i> var. <i>japonica</i>	常緑広葉低木 常緑林	山吹・山吹 480m (4105) '17 萩山神社 500m (4143) '16 竜口八幡神社 460m (4963) '16 胡麻目川北斜面 500m'17	花期は3-4月、枝の下側にびっしり多数咲く。花は白っぽいクリーム色で壺状で、強い芳香を放つ。
<b>■カキノキ科 <i>Ebenaceae</i></b>			
カキノキ <i>Diospyros kaki</i>	落葉広葉亜高木 人家周辺	松岡城址(銚子ヶ洞-間ヶ沢)(長野県植物研究会誌 51号) '17	中国原産(奈良時代に渡来)本州(西部)、四国、九州で栽培。赤い実のなるさつまから、赤き実あるいは、赤木が略されて「カキ」になった。
ヤマガキ <i>Diospyros kaki</i> var. <i>sylvestris</i>	落葉広葉亜高木 山野	増野・山吹停車場 770m (2584) '16 湯ヶ洞線北斜面 490m (4550) '17 牛牧浄化センター 560m'16 萩山神社 460m'16 林道吉田線起点 665m'16	(帰) 本種は山に自生し栽培品種の接ぎ木の台木として利用される。栽培品種に比べ葉が小形で毛が多い。
マメガキ <i>Diospyros lotus</i> var. <i>laevis</i>	落葉高木 荒地	山吹・量販店東 430m (6747) '18	(帰) マメガキは中国原産の落葉高木。果実は直径1.5cmほどで小さく、これが豆柿の和名になったのである。
<b>■サクラソウ科 <i>Primulaceae</i></b>			
マンリョウ <i>Ardisia crenata</i>	常緑広葉小低木 スギ林 カシ林	南大島川北斜面 530m (4031) '16 萩山神社 500m (4136) '17 大丸山公園北斜面 530m'16 山吹駒場子安神社 510m'16 下市田4区洞 470m'16 順礼沢 520m'16	冬に熟す果実が美しい。特に名前がめでたいのでセンリョウ(千両)などとともにも正月の縁起物とされる。
カラタチバナ <i>Ardisia crispa</i>	常緑小低木 常緑樹林	下市田4区洞 475m (2189) '16	RL(環ノ県CR)常緑樹林帯に生育。葉は常緑で冬に赤い果実をつけ美しいので、鉢植えなど栽培もされる。
ヤブコウジ <i>Ardisia japonica</i>	常緑広葉小低木 スギ林 カシ林	下市田4区洞 475m (2190) '16 南大島川北斜面 530m'16 順礼沢北斜面 510m (4113) '17 市田・山吹ウォーキングコース 442m'16 竜口八幡神社 450m'16	果実は秋に赤く熟し、冬も残っている場合が多い。正月の飾りものとして使われることもある。
ノジロオカタラノオ <i>Lysimachia barystachys</i> × <i>L. clethroides</i>	多年草 湿地	山の寺観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52号) TCCN18-0901) '18	ノジロオとオカタラノオの交配種。葉がヌメトラノオに似るが、花序の先は垂れ、葉や花序に淡褐色の毛が多い。
オカタラノオ <i>Lysimachia clethroides</i>	多年草 日当たりのよい草原	やすらぎ荘周辺 500m (1293) '16 高森カントリークラブ付近 960m (1557) '16 林道不動滝線 770m (2551) '16 林道弓矢沢線 980m (3206) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5144) '17	花期は6月-7月、白色の小なな花を茎の先に総状につけ下方から開花していく。花穂の先端が垂れる。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■サクラソウ科 Primulaceae</b>			
ヌマトラノオ <i>Lysimachia fortunei</i>	多年草 沼沢地	高森カントリークラブ東 765m (1485) '16 山の寺キャンプ場 880 (1775) '16 林道吉原線 960m (5650) '17	花期は7月~8月 花序は直立し垂れない。似たオカトノオは、葉の幅が広く花穂の上部が見られる。
コナスビ <i>Lysimachia japonica</i> f. <i>subsessilis</i>	多年草 道端 林縁 草原	田沢大橋西 750m (2271) '16 本高森山登山路 1600m (3683) '16 堂所橋南 725m '16 竜口八幡神社 450m '16 秋山神社 460m '16 山吹・市田ウォーキングコース 420m '16	花は直径5-7mm、黄色、まれに白花も見られる。和名の由来は果実がナスに似て小さいことから。
<b>■ツバキ科 Theaceae</b>			
ヤブツバキ <i>Camellia japonica</i>	常緑広葉高木 丘陵 植栽	市田中谷 410m (4199) '17 竜口八幡神社 460m (4980) '17 山吹・市田ウォーキングコース 420m '16 秋山神社 500m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16 泰山神社 500m '16	花期は冬から春にかけてにまたがり、早咲きのものは冬さなかに咲く。常緑広葉樹林の代表的樹木。
チャノキ <i>Camellia sinensis</i>	常緑広葉低木 栽培(畑) 野化	下市田4区洞 475m (2195) '16 南大島川北斜面 530m (4047) '16 順礼沢 520m '16 胡麻目川北斜面 500m '16 湯ヶ洞線北斜面 490m '16 秋山神社 500m '16	(帰) 中国原産 各地で栽培され、逸出により野生化している。幹は直立状で、高さ2mほどになる。
ナツツバキ <i>Stewartia pseudocamellia</i>	落葉広葉高木 山野	湯ヶ洞周辺 660m (1592) '16 越田原 760m (1614) '16 大白公園 640m '16	(帰) 別名はシャロノキ(娑羅樹)。仏教の聖樹である娑羅樹(さらのき)に擬せられ、この名がついた。
<b>■ハノキ科 Symlocaceae</b>			
タンナサワフタギ <i>Symplocos coreana</i>	落葉広葉低木 落葉 沢沿い	山の寺キャンプ場 880 (1132) '16 林道小沼大沢線 775m (1903) '16 千水ノ沢 1200m (2490) '16 本高森山登山路 1310m (3639) '16 弓矢沢橋付近 650m (5117) '17	6月頃に白い花を開花。果実の形はゆがみ、黒紫色に熟す。葉の鋸歯は荒く先端は内側に曲がる傾向。
サワフタギ <i>Symplocos sawafutagi</i>	落葉広葉低木 溪流沿い、湿原周辺	大丸山公園北斜面 530m (1729) '16 不動滝-駐車場 1060m (3101) '16 林道吉原線 1000m (3280) '16 本高森山登山路 1360m (3662) '16	4-5月に白い花を開花。秋には果実があざやかなルリ色となる。葉の鋸歯は小さい。
<b>■イワウメ科 Diapensiaceae</b>			
ヤマイワカガミ <i>Schizocodon ilicifolius</i> var. <i>intercedens</i>	常緑多年草 針葉樹林の林床	本高森山登山路 1140m '16 吉田山-山の寺 1375m '16	イワカガミやヒメイワカガミが緩い起伏の鋸歯であるのに対して、本種は先が尖った明瞭な鋸歯となる。
ナガバイワカガミ <i>Schizocodon soldanelloides</i> var. <i>longifolius</i>	常緑多年草 樹林の林床	本高森山登山路 1500m (6579) '18 前高森山-吉田山登山路 1410m-1520m (3747) '16	葉がやや長め。鋸歯が11対以上ある。
オオイワカガミ <i>Schizocodon soldanelloides</i> var. <i>magnus</i>	常緑多年草 林床 岩場	本高森山登山路 1460m '16	葉は長い柄があり、革質、円形で3角状の鋸歯が多数あり、長さ幅ともに8-12cm、表面に光沢がある。
イワウチワ <i>Shortia uniflora</i>	常緑多年草 落葉広葉樹林床	林道出原線 880m '16	(帰) 和名は葉の形状が扇扇に似た形状であることに由来する。
<b>■エゴノキ科 Styracaceae</b>			
オオバサガラ <i>Pterostyrax hispida</i>	落葉広葉小高木 谷沿い	大島川干水ノ沢 1200m (2488) '16 牛牧・堂所南 725m (3033) '16 大島川本沢 1080m (5353) '17 山の寺境内 835m '16 林道小沼大沢線 725m '16	初夏の沢沿いの林に房状の白い花序を下げる。葉は大きく生ちよう速度も速い。
エゴノキ <i>Styrax japonicus</i>	落葉広葉小高木 雑木林	林道出原線 980m (2970) '16 林道弓矢沢線 980m (3212) '16 月夜平 660m (4423) '17 湯ヶ洞線北斜面 490m (4551) '17 山吹・増野 700m (4618) '17	和名は、果実を口に入ると喉や舌を刺激してえぐい(えぐい)ことに由来。別名は「チシャノキ」
ハクウンボク <i>Styrax obasita</i>	落葉広葉小高木 丘陵 山地	中学校南・唐沢洞 510m (2849) '16	初夏 樹全体が白い花で覆われる。この花の咲く様子が、白い雲を思わせるのが和名の由来。
コハクウンボク <i>Styrax shiratanus</i>	落葉広葉小高木 山地	大島川干水ノ沢 1200m (2531) '16 不動滝-駐車場 1060m (3102) '16 本高森山登山路 1310m (3645) '16 前高森山-吉田山 1490m 吉田山山頂 1450m '16	ハクウンボクより葉が小さく、緑(へり)に大きくてとがった鋸歯がある。6月に白色の花を開く。
<b>■マタタビ科 Actinidiaceae</b>			
サルナシ <i>Actinidia arguta</i> var. <i>arguta</i>	つる性の落葉高木 林縁 河岸	林道弓矢沢線 760m (5431) '17 山吹・越田 570m '16 増野・大沢川 770m '16 山の寺境内 770m '16 堂所橋南 725m '16 林道小沼大沢線 1050m '16 高森公園 770m '16	花は白色で、果実はキウイフルーツをかなり小さくしたような(2-3cm)緑色の果実に熟す。
オニマタタビ <i>Actinidia chinensis</i> var. <i>setosa</i>	つる性落葉木本 (畑) 野化	秋山神社 460m '16 山吹・市田ウォーキングコース 442m '16 泰山神社 500m '16 追分・正木 545m '16 牛牧浄化センター南斜面 520m '16 山吹・小沼 450m '16	(栽・逸) ニュージーランドが、中国原産のサルナシを品種改良し、1934年頃から商業栽培を開始した果物。
ミヤママタタビ <i>Actinidia kolomikta</i>	つる性落葉木本 林縁	本高森山登山路 1310m (3635) '16 大島川本沢 1150m (5402) '17 不動滝-駐車場 1060m '16	花期には花穂の近くの葉の表面のほとんどが白化し、花が終わる頃には紫紅色を帯びるのが特徴。
マタタビ <i>Actinidia polygama</i>	つる性落葉木本 林縁	山の寺キャンプ場 900m (2836) '16 林道二又沢線起点 665m (3833) '16 林道吉田線 820m (4749) '17 高森カントリークラブ西方 880m (4840) '17 林道小沼大沢線 1050m '16	6月-7月 花穂の近くの葉が白化し、送粉昆虫を誘引するサインか。ネコがマタタビに強い反応を示す。
<b>■リョウブ科 Clethraceae</b>			
リョウブ <i>Clethra barbinervis</i>	落葉広葉小高木 林縁 空地	高森山 1550m (1371) '16 林道二又沢線終点 690m (4791) '17 高森カントリークラブ西方 880m (4841) '17 山吹・越田 600m (5958) '17 太白公園 640m '16 月夜平 660m '17	若葉は山菜とされ、庭木としても植えられる。昔は飢饉のときの救荒植物として利用された。
<b>■ツツジ科 Ericaceae</b>			
ウメガサソウ <i>Chimaphila japonica</i>	常緑矮小木本 草原の空地	前高森山 1275m (2651) '16	花が梅の花に似ているので「梅」、広鐘型の花が下向きにつく様子を「笠」にたとえた命名。
ホツツジ <i>Elliottia paniculata</i>	落葉広葉低木 岩場	林道小沼大沢線 760m (1966) '16 林道不動滝線 770m (2571) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2737) '16 林道吉原線 1080m (6024) '17 新田・青木ヶ沢 710m '16	有毒 日当たりの良い山地、岩場に生える。夏に花の穂が無数に立ち。食すると中毒症状が生じる。
ベニドウダン <i>Enkianthus cernuus</i> f. <i>rubens</i>	落葉広葉低木 岩尾根	前高森山 1275m (2650) '16 本高森山登山路 1220m (3626) '16 本高森山登山路 1360m (3668) '16 前高森山-吉田山 1450m (3749) '16	5-6月頃、紅色の筒状の形をした花がたくさん垂れ下がって咲く。秋の紅葉も非常に鮮やか。
ハナヒリノキ <i>Eubotryoides grayana</i>	落葉広葉低木 林縁	林道吉田線 820m (4742) '16 前高森山登山路 1275m '16 南小学校 527m '16 (栽培)	有毒 全草有毒で誤食すると吐き気、下痢などの中毒症状を起こす。和名のハナヒリはくしゃみの意味。
ウラジロハナヒリノキ <i>Eubotryoides grayana</i> var. <i>hypoleuca</i>	落葉広葉低木 低木林内 岩地	本高森山登山路 1180m '16	(帰) 葉の裏面が白色を帯び、花序軸ともに無毛。日本海側に分布し、山地の日当たりのよい地に生育する。
シャクジョウソウ <i>Hypoptis monotropa</i>	多年草 山中の暗い場所	前高森山 1335m (2655) '16	腐生植物 植物体全体が淡黄褐色。茎の高さは5cmになり茎には葉が退化した鱗片葉が多数互生。
ネジキ <i>Lyonia ovalifolia</i> var. <i>elliptica</i>	落葉広葉小高木 山地	林道弓矢沢線 850m (5249) '17 新田・青木ヶ沢 710m '16 本高森山登山路 1080m '16 越田原 760m '16 山吹・市田ウォーキングコース 480m '16 越田原 760m '16	和名の由来は、幹がむじれることから。花期は5-6月、白っぽい鐘型の花を下向きに咲かせる。
アキノギンリョウソウ <i>Monotropa uniflora</i>	多年草 山中の日陰	松岡城址 鏡子ヶ洞 550m (6157) '17	和名の由来はギンリョウソウに似て秋に花をつけることから。光合成を行わない腐生植物。
ギンリョウソウ <i>Monotropastrum humile</i>	多年草 山地の湿り気のある地	やすらぎ荘北西の沢 530m '16 本高森山登山路 1080 '16 吉田山山頂 1450m '16	腐生植物としてはもっとも有名なもの。別名ユウレイタケ。全体が白色で葉緑体をもたない。
アセビ <i>Pieris japonica</i> subsp. <i>japonica</i>	常緑広葉低木 山地の乾燥した地	不動滝周辺 '16 吉田南城跡 500m '16	本種は乾燥した山地に自生するが、庭園樹、公園樹として植栽されるほか、花もの盆栽等としても利用。
コバノイチヤクソウ <i>Pyrola alpina</i>	常緑多年草 亜高山針葉樹林の林床	林道小沼大沢線 760m (1981) '16 本高森山登山路 1200m (6584) '18	(帰) 葉は、長さ1.5-3cm、幅1.3-2.5cmの楕円形または円形で、長さが幅より長く、先は円い短くたがり、縁にはとがった短い鋸歯がある。
ベニバナイチヤクソウ <i>Pyrola incarnata</i>	常緑多年草 針葉樹林林縁林床	松岡城址 鏡子ヶ洞 520m '16 本高森山登山路 1080m '16 越田原 760m '16	林縁に群生することが多い。花が紅色で美しいので人気があるが、半寄生植物なので栽培は難しい。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ツツジ科 Ericaceae</b>			
イチヤクソウ <i>Pyrola japonica</i>	常緑多年草 広葉樹林の林縁	山吹・増野 710m (4634) '17 松岡城址 550m '16 前高森山登山路 1150m '16 天白公園 640m '16 林道小沼大沢線 780m '16	葉草 和名の由来は花期の全草を乾燥させてものが民間薬とされたため。生薬としても利用。
マルバノイチヤクソウ <i>Pyrola nephrophylla</i>	常緑多年草 広葉樹林の林縁	前高森山 1275m (2653) '16	葉の形は同属のジンヨウイチヤクソウに似るが、本種にはジンヨウイチヤクソウにある葉脈に沿う白斑がない
ジンヨウイチヤクソウ <i>Pyrola renifolia</i>	常緑多年草 針葉樹林の林床	前高森山 1275m (2654) '16 林道出原線 980m (2991) '16 前高森山登山路 1310m (3650) '16 前高森山～吉田山 1450m '16	本種の葉の特徴は、葉の表面の葉脈上に白い斑が入る。先端はとがらないのも。ほぼ円形で腎臓型。
ウスギヨウラク <i>Rhododendron benhallii</i>	落葉広葉低木	大島川干水ノ沢 1200m (2739) '16	5月ごろ淡黄色の花が開く。花冠は鐘状筒形で紫点があり、花柄は細長くて腺毛(せんもう)が多い。
ミツバツツジ <i>Rhododendron dilatatum</i> var. <i>dilatatum</i>	落葉広葉低木 痩せ尾根 岩場	林道弓矢沢線 780m (1179) '16 林道小沼大沢線 1060m (1953) '16 本学神社 680m (2340) '16 前高森山 1060m (2633) '16 不動滝～駐車場 975m (3120) '16	4月頃に咲く紅紫色の大柄な花が咲く。花が終わると枝先に三枚の葉が出てくることからこの名がついた。
サツキ <i>Rhododendron indicum</i>	常緑小低木 栽培 川の岩場	本学神社 680m (栽培)	(固) 日当たりがよく川沿いなどに自生。開花期は5月下旬から6月上旬で、ヤマツツジなどよりも1か月ほど遅れて咲く。庭や盆栽などで栽培される。
キョウマルシヤクナゲ <i>Rhododendron japonoheptamerum</i> var. <i>kyomaruense</i>	常緑低木 低山～亜高山	本高森山登山路 1550m (植栽?)	RL (環 VU / 県 NT) 長野県南部と静岡県北部の南アルプス南部の山地に分布。花は淡い紅色。
ヤマツツジ <i>Rhododendron kaempferi</i> var. <i>kaempferi</i>	半落葉低木 マツ林、雑木林	本学神社 680m (2345) '16 前高森山～吉田山 1460m (3752) '16 山吹・小沼 460m (4376) '17 月夜平 660m (4409) '17 林道吉田線終点 870m (4719) '17	日本の野生ツツジの代表種で、ツツジでは分布域がもっとも広い。4-6月に朱赤色、紅紫色の花が咲く。
ヒカゲツツジ <i>Rhododendron keiskei</i>	常緑低木 河岸の岩場 日陰	本高森山登山路 1230m '16	(固) 崖や谷沿いなどやや日当たりの悪い場所に自生。開花は4月～5月、花の色は淡い黄白色。
ウラジロヨウラク <i>Rhododendron multiflorum</i>	落葉低木 林縁 湿地	前高森山 1135m (2635) '16 本高森山登山路 1310m (3653) '16 林道不動滝線 980m (3744) '16 大島川干水ノ沢 1200m '16 県道・山吹停車場線 770m '16	和名は、花が仏像が身につけている装身具(瓔珞・ようらく)に似ていること、葉の裏が白いことによる。
レンゲツツジ <i>Rhododendron molle</i> subsp. <i>japonicum</i>	落葉広葉低木 山地	本高森山登山路 1360m (3664) '16 牛牧高森公園 770m (3243) 本高森山登山路 1360m (3664) '16 松岡城址東 500m '16 増野大沢川 770m '16 高森カントリークラブ北 830m '16	有毒 日当たりのよい草原に多く自生。花は朱色。花の色が黄色い種類としてキンレンゲツツジがある。
コヨウラクツツジ <i>Rhododendron pentandrum</i>	落葉広葉低木 林縁 岩地	本高森山登山路 1220m (3624) '16 本高森山登山路 1680 '16 林道弓矢沢線 980m '16	和名は、花の様子が仏像が身につけている装身具(瓔珞・ようらく)に似、花が小さいことによる。
バイカツツジ <i>Rhododendron semibarbatum</i>	落葉広葉低木 林縁	林道二又沢線 640m (2116) '16 林道出原線 980m (2972) '16 林道吉原線 1080m (6032) '17 新田諏訪神社 620m '16 林道小沼大沢線 1025m '16 本学神社 680m '16	山地に広く生える。和名は、花がウメの花を思わせることによる。紅葉が美しいので盆栽に活用される。
トウゴクミツバツツジ <i>Rhododendron wadanum</i>	落葉広葉低木 林縁	本高森山登山路 1230m (1378) '16 前高森山登山路 1060m (2627) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2734) '16 不動滝～駐車場 1060m (3105) '16	花期はミツバツツジより少し遅く5月中旬～6月上旬。標高の高い場所(標高800m以上)に見られる。
ムサシミツバツツジ <i>Rhododendron × tatauoi</i>	落葉広葉低木 林縁	本高森山登山路 1220m (3596) '16	本種は、低山下部に生育するミツバツツジと低山上部に生育するトウゴクミツバツツジとの雑種。
ウスノキ <i>Vaccinium hirtum</i> var. <i>pubescens</i>	落葉広葉低木 林縁	天白公園 635m (2077) '16 出原二又線付近 640m (2111) '16 田沢大橋西側 750m (2254) '16 本学神社 680m (2438) 大島川干水ノ沢 1200m (2525)	花期は4-5月、1-2個の花を下向きにつける。7-9月に果実は赤熟、先端が白のようにへこむ。食用可。
アキシバ <i>Vaccinium japonicum</i>	落葉広葉低木 明るい林縁	本高森山登山路 1085 (1360) '16 前高森山登山路 1135m (2636) '16 干水ノ沢 1200m (2754) '16 吉田山～山の寺 1100m (3769) '16 山吹・増野 700m (4604) '16	花期は6-7月、蕾は下垂し、花冠は開くと外側に反って巻き上がる。この様子はウリノキの花に似る。
ナツハゼ <i>Vaccinium oldhamii</i>	落葉広葉低木 林縁	林道吉原線 1000m (2414) '16 山吹・増野 700m (4603) '17 大沢川沿い 500m (4698) '17 大島川本沢 1080m (5368) '17 本学神社 680m '16 松岡城址東 500m '16	果実は径7～8mmになる球形の液果で黒色に熟し食用可。和名は夏にハゼノキのように紅葉にするから。
スノキ <i>Vaccinium smallii</i> var. <i>glabrum</i>	落葉広葉低木 林縁	越田原 760m (1621) '16 大丸山公園北斜面 530m (1726) '16 下市田4区洞 475m (2202) '16 新田原 570m (2282) '16 萩山神社 400m (2659) '16	果実は液果で球形(7-8mm)。熟すと黒紫色になり、食べられる。酸味があるのが和名の由来。
オオハスノキ <i>Vaccinium smallii</i> var. <i>smallii</i>	落葉広葉低木 林縁 林内	林道小沼大沢線 760m (1959) '16 本高森山登山路 1310m (3642) '16 大島川干水ノ沢 1200m '16	和名の由来は、葉に酸味があり嚼むと酸っぱいことによる。秋には赤く紅葉し、目立つ。
アオジクスノキ (ヒメウスノキ) <i>Vaccinium yatabei</i>	落葉広葉小低木 林床	本高森山登山路 1085m (1357) '16 田沢大橋西側 750m (2226) '16 林道出原線 980m (2977) '16 高森カントリークラブ北側 780m '16 林道吉原線 1000m '16 新田原 570m '16	地に這うように生える。本年枝の先に緑白色の花をつける。葉の縁に細かい鋸歯があるのが特徴的。
<b>■ガリア科 Garryaceae</b>			
アオキ <i>Aucuba japonica</i> var. <i>japonica</i>	常緑広葉低木 樹陰	山の寺南側 850m (3807) '16 駒場子安神社 470m (4058) '16 萩山神社 500m (4135) '17 胡麻目川北斜面 470m (4185) '17 白髭神社付近 500m (4920) '16	(固) 常緑の高さは2mほどの低木、枝は太く緑色。果実は卵形の液果で、秋頃から赤熟する。
フィリアオキ <i>Aucuba japonica</i> 'Variegata'	常緑広葉低木 樹陰 栽培・逸出	南大島川北斜面 530m (4028) '16 山吹駅北段丘 460m (4079) '16 胡麻目大橋西方 470m (4186) '17 松岡城址 500m (4330) '16	アオキの名は、葉も枝も年間を通して、緑色をしているところに由来。本種は斑入りの品種をさす。
<b>■アカネ科 Rubiaceae</b>			
ヒメヤエムグラ (コメツバヤエムグラ) <i>Galium divaricatum</i>	1年草 乾いた草地や路傍	国道・山吹交差点 440m (3078) '16	(帰) 南ヨーロッパ原産 1992年に神奈川県で採集され、その後、各地で確認。別名「コメツバヤエムグラ」
ヒメヨツバムグラ <i>Galium gracilens</i>	多年草 丘陵 土手	山の寺キャンプ場 900m (2841) '16 山の寺境内 760m '16	茎は4稜があり、下部で枝分かれして斜上し、長さ20～40cm。葉は4個が輪生する。全体に小型で、花期が長く、7月まで見られる。
ケルマムグラ <i>Galium japonicum</i>	多年草 広葉樹林の林床	大島川干水ノ沢 1200m (2478) '16 胡麻目大橋北斜面 470m (4159) '17 林道不動滝線 800m '16 胡麻目川沿い 500m '16 林道弓矢沢線 950m '16	全国に分布し、低山上部のブナ帯などの落葉広葉樹林の林床、草地、路傍などに生育する。
キクムグラ <i>Galium kikumugura</i>	多年草 林縁	林道弓矢沢線 上平 660m (6074) '17 林道弓矢沢線 1の沢 880m (6107) '17	本種は先が丸い4枚～6枚の葉を付けること、花柄の基部に小さな葉状の苞があることが特徴。
キヌタソウ <i>Galium kinuta</i>	多年草 草地 林縁	高森カントリークラブ東 765m (1492) '16 新田原 570m (2297) '16 山吹・下平 470m (2464) '16 山吹・下平 470m (2464) '16 新田原 570m '16	和名は柄のついた果実を陸「衣類を柔らかくするために使う種(つち)」に見立てたもの。
ケルマバソウ <i>Galium japonicum</i>	多年草 道端 林沖	林道弓矢沢線 1050m (5273) '17 不動滝～駐車場 1060m '16 本高森山登山路 1460m '16 大島川干水ノ沢 1200m '16	葉は6-10枚輪生。果実は球形でかぎ状毛が密に生え、乾くとクマリンの芳香がある。
オオハヤエムグラ <i>Galium pseudoasperrum</i>	多年草 日当たりの草地	林道弓矢沢線 950m (1141) '16 林道小沼大沢線 1005m (1921) '16 山吹・小沼 570m (2322) '16 林道不動滝線 800m (3719) '16	茎は4稜で稜上に生えた下向きの棘で他のものに絡まって長さ1m位になる。果実は熟すと黒くなる。
ヤエムグラ <i>Galium spurium</i> var. <i>echinosperum</i>	越年草 土手 草むら	万年橋付近 440m (3125) '16 ほとるパーク山吹周辺 445m (3348) '16 胡麻目川大橋北斜面 470m (4150m) '17 湯ヶ洞線北斜面 490m (4548) '17	葉を8枚ほど輪生。茎には下向きの棘がある。果実は鉤状の毛が生えており、衣服に付着する。
ケナシヨツバムグラ <i>Galium trachyspermum</i> var. <i>multi-rhizum</i>	多年草 田の畔 道端	林道弓矢沢線 780m (1188) '16	葉は卵状長楕円形・卵形で4枚輪生。果実にかぎ状の毛のない。
ヨツバムグラ <i>Galium trachyspermum</i>	多年草 田の畔 道端	山の寺境内 770m (1394) '16 林道不動滝線 1060m (5068) '17 林道小沼大沢線 785m '16 林道弓矢沢線 780m '16	4個の葉のうち2個は托葉が変化したもの。花期は5月～6月、淡黄緑色で小さな花を数個つける。
ホンノヨツバムグラ <i>Galium trifidum</i>	多年草 湿地	胡麻目川沿い 530m (1655) '16 山の寺キャンプ場 880m '16	湿地に生え、葉は普通4個、ときに5～6個輪生し、長さ0.7～1.4cm。葉の先が丸い。く、花冠は3裂する。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■アカネ科 Rubiaceae</b>			
ケツバムグラ <i>Galium trachyspermum</i> f. <i>hispidum</i>	多年草 田の畔 道端	山吹駒場 - 新田の山道 550m (3368) '16	ヨツバムグラの有毛品
オククルマムグラ <i>Galium trifloriforme</i>	多年草 林内	不動滝周辺 1060m (3112) '16 林道吉原線 1000m (3284) '16 林道弓矢沢線御代の館	葉は6枚輪生で、茎や葉の裏面中脈に下向きの刺状毛 ががあり、かなり毛深い。
カワラマツバ <i>Galium verum</i>	多年草 土手 畦道 河原	下平・天竜川堤防 430m (1705) '16 下市田天竜川堤防 415m (5056) '17 明神橋北 430m (5098) '17 大沢川沿い 475m '16 山吹・越田 590m '16	和名は「河原松葉」で、河原に生育する松のように細い 葉の植物であるという意味。
チョウセンカワラマツバ <i>Galium verum</i> subsp. <i>asiaticum</i> var. <i>trachycarpum</i> f. <i>album</i>	多年草 土手 畦道 河原	天竜自動車学校東 420m (1860) '16 下市田観水公園南 420m (6482) '18 松岡城址 (長野県植物研究会誌 51号) '17	花の色が白っぽい、果実が有毛な品種。
オオハシカガサ <i>Neanotis hirsuta</i> var. <i>glabra</i>	1年草 山道	県道・山吹停車場線 912m (5730) '17	本種は葉は長卵形で長さ4cmに達し、また葉に毛が少 なくてつやがあり、萼が無毛である。日本海側要素
ハシカガサ <i>Neanotis hirsuta</i> var. <i>hirsuta</i>	1年草 山野のやや湿った地	林道出原線 880m (2918) '16 林道二又沢線 665m (3816) '16	山野の木陰に生える。葉は地をはい長さ30cmほど。 花期は8-10月、花冠は白色、蒴果は球形。
ヘクソカズラ <i>Paederia foetida</i>	つる性多年草 道端 草敷	高森カントリークラブ東 765m (1497) '16 田沢川沿い 433m (5808) '17 明神橋北 640m '16 吉田城山 547m '16 湯ヶ洞周辺 660m '16 山吹・量販店南東 438m '16	葉や茎に悪臭があることから屎尿臭 (ヘクソカズラ) の 和名がある。別名「ヤイトバナ」、「サオトメバナ」。
アカネ <i>Rubia argyi</i>	つる性多年草 野原、路傍、林縁	田沢・田沢川沿い 590m (1636) '16 湯ヶ洞線北斜面 490m (4547) '17 山吹・田沢川 433m (5821) '17 山吹・下平 470m '16 やすらぎ荘周辺 500m '16	草木染の染料 根を乾燥すると赤黄色から橙色で根 であることからアカネ (茜) と名づけられた。
ハナヤエムグラ <i>Sherardia arvensis</i>	1年草 荒地地、畑	出原 620m (6548) '18	(帰) ヨーロッパ原産。各地に帰化しているが、あまり 多くはない。荒地や芝生に生え、高さ30~60cmに なる。
<b>■リンドウ科 Gentianaceae</b>			
リンドウ <i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i>	多年草 草原 林縁	山の寺キャンプ場 880m '16	山野草の代表的なもの。人里に近い野山から山地の明 るい林床や草原に生じる。民間薬として利用。
ハルリンドウ <i>Gentiana thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>	多年草 草原 林縁	林道小沼大沢線 1025m '16	RL (環ノ県 NT) 早春にロゼット状の根生葉を地表に広 げる。花期は3~5月。花茎を抽苔し、先端に紫色の 花をつける。
エゾリンドウ <i>Gentiana triflora</i> var. <i>japonica</i>	多年草 湿地帯	山の寺キャンプ場 880m (1776) '16	(帰) 湿地に育つことから、水に浸らないよう、背の 高い草に負けないように、仲間の中で最も背が高い。 花は日があたっての時だけ開き、曇天、雨天時は、筆 先の形をした蕾状態になって閉じている。
フデリンドウ <i>Gentiana zollingeri</i>	多年草 草地	林道小沼大沢線 920m (3695) '16 山吹・増野 710m (4633) '17	ハルリンドウとよく似るが、本種は、根出葉が大変小さ くロゼット状にならないことで区別できる。
ホソバナツリリンドウ <i>Pterygocalyx volubilis</i>	多年草 日当りの野原	天白公園 - 不動滝 (長野県植物研究会誌 51号) '17	RL (環 VIノ県 NT) ツリリンドウの花冠は5裂して副片 があるのに対して本種は4裂して副片はなく、また、ツ リリンドウの果実は赤い液果なのに対して本種は乾いた 蒴果。
アケボノソウ <i>Swertia bimaculata</i>	2年草 湿った地 日陰	本高森山登山路 1085 (1362) '16 大島川本沢 1150m (5407) '17 林道不動滝線 800m (6201) '17 山の寺キャンプ場 880m '16	花の色は白ないしクリーム色。和名は花冠の斑点を夜明 けの星空に見立てたことに由来する。
センブリ <i>Swertia japonica</i>	2年草 草原	林道出原線 880m (2944) '16 林道出原線 815m '16	RL (環ノ県 NT) 民間薬として、ドクダミ、ゲンショウ ことならんで有名。和名は「千回振出してまた苦し い」という意味。
ツリリンドウ <i>Tripterospermum japonicum</i>	つる性の多年草 樹陰	田沢大橋西側 '750m (2255) '16 萩山神社 500m (4138) '17 本高森山登山路 1360m '16 本学神社 '16 林道不動滝線 770m '16 林道吉田線 665m '16	蔓が地面を這ったり草木にからむ。開花は8~10月、 淡紫色の花をつけて、紅紫色の果実が実る。
<b>■キョウチクトウ科 Apocynaceae</b>			
イケマ <i>Cynanchum caudatum</i>	つる性の多年草 林縁 林内	林道弓矢沢線 950m (1154) '16 林道不動滝線床波沢駐車場 970m (2824) '16 山の寺キャンプ場 900m (2842) '16 林道弓矢沢線 980m (3197) '16 小沼大沢線 1050m (5768) '16	有毒 蝶のアサギマダラの食草、幼虫はイケマの毒を体 内に蓄積して鳥などの外敵から身を守るという。
コイケマ <i>Cynanchum wilfordii</i>	つる性の多年草 湿った林縁	天白公園 - 高森公園 725m (7043) '19	姿も生育環境も、イケマによく似る。花冠の裂片はイケ マではそり返るが、コイケマではそり返らずに斜上する。
ガガイモ <i>Metaplexis japonica</i>	つる性の多年草 草地 荒地地	林道弓矢沢線 800m (1564) '16 市田港周辺 420m '16 牛牧浄化センター 560m '16 万年橋南側 445m '16 南小学校付近 527m '16 市田郵便局西方 450m '16	種子は扁平な楕円形で翼があり、長い絹糸のような毛が ある。かつてはこの毛を朱肉に用いた。
オオカモメヅル <i>Vincetoxicum sublaeolatum</i> var. <i>macranthum</i>	つる性多年草 林内 林縁	天白公園 - 不動滝 (長野県植物研究会誌 51号) '18 林道弓矢沢線 950m '16	花が終ると長さ5~7cmの、ガガイモ科特有の袋果 (実) を2個水平につける。秋に袋果が割れ、種髪(毛 束)をつけた種子がはじける。
コカモメヅル <i>Vincetoxicum floribundum</i>	つる性多年草 林縁、林床	山の寺キャンプ場 880m (800) '16	オオカモメヅルが長さ15cmを越える大きな葉もあるの に、本種は葉は長さはせいぜい6-8cmほど。
ツルニチニチソウ <i>Vinca major</i>	つる性常緑多年草 半日陰	月夜平 660m (4414) '17 竜口八幡神社 460m (4971) '17 胡麻目川沿い 505m '16 吉田南城跡 500m '16 山吹駅周辺 460m '16 松岡城址間ヶ沢 500m '16	(帰) 南ヨーロッパ原産 観賞用に栽培。身近で野化し て生える。生態系被害防止外来種
スズサイコ <i>Vincetoxicum pycnostelma</i>	多年草 土手	田沢 770m (6923) '19 胡麻目川付近 438m (7099) '19	RL (環 NTノ県 NT) 花夜間に開き、日が当たると閉じる 性質。袋果は細長い披針形で長さ5~8cm。種子は卵 形でやや翼があり、長さ4~5mm。
<b>■ムラサキ科 Boraginaceae</b>			
ハナイバナ <i>Bothriospermum zeylanicum</i>	1年草 越年草 道端 畑	山の寺キャンプ場 880m (1798) '16	花期は3月-11月、花は葉と葉の間に生ずる。花冠は淡 青紫色で直径2~3mm。
オニルリソウ <i>Cynoglossum asperinum</i>	多年草 湿った道ばた、林縁	大島川本沢 1080m (5313) '17 林道弓矢沢線一の沢 880m (6218) '17 大島川干水ノ沢 1240m '16	全体に毛が多く、茎の下部には長さ2以上の開出毛が ある。根生葉は花時にはなく、長い葉柄がある。
ホタルカズラ <i>Lithospermum zollingeri</i>	多年草 道ばた 林縁	山吹・山吹 480m (4099) '17 吉田城岸 465m (6262) '18	花期は4月-5月、茎の上部の葉の付け根に青紫色の鮮 やかな花をつける。和名は、草むらの中に点々とする 花の色をホタルの光にたとえたもの。
ヒレハリソウ (コンフリー) <i>Symphytum officinale</i>	多年草 荒地地	越田原 760m (1615) '16 山吹・山吹 500m (4476) '17 山の寺参道 770m '16 本学神社 680m '16 山吹・正木 635m '16 越田原 760m '16 山吹・小沼 450m '16	(帰) ヨーロッパ・西アジア (コーカサス地方) 原産。 英名「コンフリー」初夏に淡紅色の釣鐘状の花を付ける。
キュウリガサ <i>Trigonotis peduncularis</i>	越年草 道端 庭	高森カントリークラブ東 765m (1494) '16 やすらぎ荘北西の谷・市 の沢 540m (3569) '16 山吹・竜口 480m (3860) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (4322) '17 下市田観水公園 416m '16	花期は3~5月、茎の先にサソリ形花序をだし、直径 約2mmの淡青紫色の花を次々に開く。
<b>■ヒルガオ科 Convolvulaceae</b>			
コヒルガオ <i>Calystegia hederacea</i>	つる性多年草 畑 線路	吉田城山 547m '16	ヒルガオと似るが、花弁が直径3-4cmと小さい、花柄 に輪れたひれがある、葉の形などに差異がある。
ヒルガオ <i>Calystegia pubescens</i> f. <i>major</i>	つる性多年草 畑 道端	やすらぎ荘周辺 500m (1296) '16 山の寺境内 800m '16 下平天竜川堤防沿い 430m '16 南小学校 527m '16 はたろパーク山吹周辺 440m '16 吉田城山 547m '16	春から夏にかけて繁茂。夏に薄いピンク色で直径 5-6cmの花を咲かせる。花の形は漏斗形。
アメリカネナシカズラ <i>Cuscuta campestris</i>	つる性寄生 1年草 日当りの草敷	市田郵便局西北 450m (1002) '16 明神橋付近 420m (1158) '16 胡麻目川沿い 530m (1687) '16 天竜自動車学校東河原 420m (1868) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5147) '17	(帰) 北アメリカ原産 他の植物に吸盤で絡みついて生 長する寄生植物であり、葉は退化し葉緑素をもたない。
ネナシカズラ <i>Cuscuta japonica</i>	つる性寄生 1年草 日当りの草敷	山吹・正木 626m (5541) '17 県道・山吹停車場線 912m (5721) '17 田沢川 433m (5816) '17 松岡城址間ヶ沢 500m (5883) '17	根は発芽の時だけ生じ、のちに寄生し、吸根を出し、養 分を吸収して生長。葉は退化し鱗片状となる。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ヒルガオ科 Convulvulaceae</b>			
マルバロウソウ <i>Ipomoea coccinea</i>	つる性1年草 野原	山吹・量販店南東 439m (5660) '17 下市田・江戸ヶ沢川 414m (5794) '17 南大島川大橋付近 540m'16 万年橋付近 445m'16 明神橋付近 420m'16	(帰) 熱帯アメリカ原産 江戸時代、観賞用として持ち込まれ野生化したもの。他の雑草に絡みついて伸びる。
アメリカサガオ <i>Ipomoea hederacea</i>	つる性1年草 道端	瑠璃寺 630m'19	(帰) 熱帯アメリカ原産。江戸時代の末期に観賞用に導入されたが、第二次世界大戦後に帰化が認められた。現在では各地の道ばたなどで見られる。
マルバアメリカサガオ <i>Ipomoea hederacea</i> var. <i>integriscula</i>	つる性1年草 野原 道端	下市田浄化センター西 420m (1038) '16 明神橋付近 418m (6080) '17	(帰) 熱帯アメリカ原産 茎はつるになり長さ数m。葉は心臟形で、青色、紫色、紅色のロート形の花をつける。
マメアサガオ <i>Ipomoea lacunosa</i>	つる性1年草 野原 道端	明神橋付近 418m (6087) '17	(帰) 北アメリカ原産 茎はつるとなり数mになる。夏には直径1.5cmほどの淡紫色から白色の花をつける。
マルバアサガオ <i>Ipomoea purpurea</i>	つる性1年草 野原 道端	ほたるパーク山吹周辺 440m (1452) '16 山吹駅周辺 460m'16 やすらぎ荘周辺 500m'16 南小学校付近 527m'16	(帰) 熱帯アメリカ原産 本種は葉が3-5裂する、マルバアメリカサガオとは分裂しない。
ルコウソウ <i>Ipomoea quamoclit</i>	つる性1年草 野原 道端	山吹駒場子安神社 510m'16 山吹駅構内 460m'16	和名「ルコウソウ」は繸紅草と書き、繸は糸を意味し、糸のように葉が細く赤い花と言うこと。
<b>■ナス科 Solanaceae</b>			
クコ <i>Lycium chinense</i>	落葉低木 草叢 林縁	追分・田沢川沿い 580m (1638) '16 胡麻目川沿い 530m (1670) '16 下市田4区洞 470m (2216) '16 山吹・市田ウォーキングコース 450m (4090) '17 松岡城址東側 470m'16	食用・薬草 葉を香味野菜として食べたり乾燥して茶にする。果実を生食したり、飲料などの製造に使う。
イガホウズキ <i>Physalisstrum echinatum</i>	多年草 林縁 木陰	胡麻目川沿い 530m (1537) '16	本種はホウズキのように萼が果実を包むが、その表面に多数の突起がある。
ホオズキ <i>Alkekengi officinarum</i> var. <i>franchetii</i>	多年草 栽培 野化	下市田浄化センター西 420m (1030) '16	(帰) 東南アジア原産 主に観賞用や食用として栽培されるが、野生のものもある。
フルナスビ (オニナスビ) <i>Solanum carolinense</i>	多年草 放棄地 荒地	高森カントリークラブ付近 960m (1558) '16 下市田親水公園堤防沿い 415m (1724) '16 松岡城址間ヶ沢 500m'16	(帰) 茎や葉に鋭いトゲが多く、種子が家畜の糞などに混じて広がり繁茂する。駆除困難な植物。
ヤマホシ <i>Solanum japonense</i>	多年草 林縁	林道弓矢沢線 880m (6110) '17 山の寺境内 760m'16	本種は花冠が淡紫色で基部が濃紫色。果実は直径6-7mm。種子は長さ約2mm。
ヒヨドリジョウゴ <i>Solanum lyratum</i>	多年草 林縁	山吹・市田ウォーキングコース 455m (1221) '16 山の寺境内 770m (1427) '16 山道・駒場新田線 530m (2022) '16 林道二又沢線 690m'17 天白公園 640m'16	本種は全体に腺毛が多い。また、花が白く、花冠の基部が緑色。
イヌホオズキ <i>Solanum nigrum</i>	1年草 畑 道端 庭	下市田天竜川河原 420m (1053) '16 下市田親水公園堤防沿い 415m (1717) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5457) '17 大沢川沿い 475m (1283) '16 やすらぎ荘北 430m'16	史前帰化植物 本種では花茎の分枝が僅かにすずれて並んでつくこと。果実は熟すと光沢のない黒色の果実となる。
アメリカイヌホオズキ <i>Solanum emulans</i>	1年草 荒地	松岡城址鏡子ヶ洞 550m (6153) '17 松岡城址間ヶ沢 500m'17	(帰) 北アメリカ原産 全草有毒 本種は花(果)柄が1か所で枝分かれして花や果実をつける。
<b>■モクセイ科 Oleaceae</b>			
ミヤマアオダモ <i>Fraxinus apertisquamifera</i>	落葉広葉高木 山野	本高森山登山路 1880m (6592) '17	(帰) 低山でよく見るマルバアオダモによく似ていたが、葉がとわずかに鋸歯がある。
ケアオダモ <i>Fraxinus lanuginosa</i> f. <i>lanuginosa</i>	落葉広葉高木 山野	牛牧浄化センター南斜面 520m (1885) '16 前高森山 1275m (2649) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2760) '16 山吹・越田 580m (3494) '16 松岡城址 480m (3525) '16	裏面は灰緑色で脈上に粗い開出毛が密生する。別名「アラゲアオダモ」
アオダモ <i>Fraxinus lanuginosa</i> f. <i>serrata</i>	落葉広葉高木 山野	大島川干水ノ沢 1200m (2497) '16 林道弓矢沢線 900m (5293) '17	葉には明瞭な鋸歯があり、白い5~6mmの小花を多数つける。秋には膜状の花を持った翼果が成熟。
マルバアオダモ <i>Fraxinus sieboldiana</i>	落葉広葉高木 山野	林道小沼大沢線 775m (1915) '16 天白公園 635m (2079) '16 林道出原線 980m (2973) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3159) '16 湯ヶ淵線北斜面 490m (4552) '17	和名のマルバは、縁に明瞭な鋸歯がなく滑らかであるためといわれている。
ネズミモチ <i>Ligustrum japonicum</i>	常緑広葉小高木 植栽 野化	竜口八幡神社 460m (4094) '16	暖温帯性 熟した実がネズミのフンに似ており、葉がモチノキに似ているため。
イボタノキ <i>Ligustrum obtusifolium</i>	落葉広葉低木 明るい林縁 山道	胡麻目川沿い 530m (1651) '16 山道・駒場新田線 530m (2041) '16 山の寺キャンパ 940m (2402) '16 林道出原線 880m (2945) '16 順礼沢 520m (4868) '17	和名は木に寄生する虫が分泌するイボタノキがイボ取り、止血などに効果ありとされたことに由来。
ピロイドイボタ <i>Ligustrum obtusifolium</i> f. <i>velutinum</i>	落葉広葉低木 林縁 山道	出原神社 615m (6393) '18	葉の裏面に毛を密生する品種
ミヤマイボタ <i>Ligustrum tschonoskii</i>	落葉広葉低木 山野	天白公園 - 不動滝 (長野県植物研究会誌 51号) '17	常緑広葉樹林帯の上部からブナ帯にかけて生育し、落葉広葉樹林内や林縁などに生育する。
ヒイラギ <i>Osmanthus heterophyllus</i>	常緑広葉樹 常緑広葉樹林内	下市田4区洞 475m (2201) '16 南大島川北斜面 530m (4051) '16 山吹駅北方段丘 470m (4065) '16 順礼沢 520m'16 駒場子安神社 470m'16	暖温帯性 葉は革質で光沢があり縁には先が鋭い刺となった鋸歯がある。老樹は縁は丸くなる。
<b>■オオバコ科 Plantaginaceae</b>			
アワゴケ <i>Callitriche japonica</i>	1年草 日当たりの悪い湿った地	山の寺キャンプ場 880m'16	暖温帯性 茎は長さ1~4cmで、よく分枝し地をはう。葉は対生し、長さ3~6mmの倒卵形または卵円形。
ジキタリス キツネノテブクロ <i>Digitalis purpurea</i>	2年草 植栽	山の寺境内 800m'16	(栽培・逸) ヨーロッパ原産 有毒 本種には全草に猛毒があり観賞用に栽培する際には取り扱いに注意が必要。
ヌッパウラン <i>Nuttallanthus canadensis</i>	1年草 2年草 日当たりの地	国道山吹交差点 440m (3073) '16 大沢川沿い 460m (4367) '17 下市田天竜川土手 440m (4482) '17 万年橋付近 445m (4594) '17 ほたるパーク山吹周辺 440m (4653) '17	(帰) 北アメリカ原産 高さは20~60cmで、先端に紫色の花をつけ下の方に細長い葉をつける。花期は4~6月。
オオバコ <i>Plantago asiatica</i> var. <i>densuscula</i>	多年草 道端	松岡城址間ヶ沢 550m (5464) '17 牛牧堂所橋南 725m'16 林道小沼大沢線 1025m '16 山の寺哲学の道 770m'16 本学神社 680m'16 林道不動滝線床波沢駐車場 920m'16	野原や荒地、道端などに普通に自生する雑草。踏みつけに強く、道端などの場所によく見られる。
エゾオオバコ <i>Plantago camtschatica</i>	多年草 砂地	下市田親水公園付近 420m (3190) '16	植物体全体に白色の軟毛が密生する。太い根茎から7~11個の葉が束生し、地面に広がる。
トウオオバコ <i>Plantago japonica</i>	多年草 湿った草地	松岡城址間ヶ沢 550m (5464) '17	オオバコに似るが全体に無毛で大型になる。根茎から10~17個の葉が束生し、斜めに立つ。
ヘラオオバコ <i>Plantago lanceolata</i>	多年草 河川敷 荒地	下市田工業団地東河原 420m (1647) '16 万年橋付近 440m (3138) '16 下市田天竜川河原 410m (4486) '17	(帰) ヨーロッパ原産 ヘラ状の葉を放射状に伸ばし、その上へ茎を幾本も伸ばして花の穂をつける。
ツボミオオバコ <i>Plantago virginica</i>	1年草 道端 荒地	高森カントリークラブ東 765m (1480) '16 下市田天竜川河原 410m (5060) '17 市田港周辺 420m'16	(帰) 北アメリカ原産 本種の花は、多くは花冠を開くことなく、始終つばんだままであるところから、この和名
オオカワヂシャ <i>Veronica anagallis-aquatica</i>	1年草 多年草 小川	下市田天竜川河原 410m (4485) '17	(帰) ヨーロッパからアジア北部の原産 河川や湖沼の岸辺などに生育し、根茎を伸ばして繁殖する。特定外来生物
タイヌノフグリ <i>Veronica arvensis</i>	越年草 2年草	国道山吹交差点 440m (3069) '16 山吹・越田 580m (3508) '16 下市田中谷 420m (4505) '17 ほたるパーク山吹周辺 440m (4654) '17 月夜平 660m'16 山吹駅 439m'16	(帰) ヨーロッパからアフリカの原産 オオイヌノフグリに似るが、茎が直立し、花が小さい、ので目立たない。
コゴメイヌノフグリ <i>Veronica cymbalaria</i>	越年草 道端 畑	胡麻目大橋下 477m (6693) '18	(帰) 地中海、南ヨーロッパ原産 草丈10-15cmでオオイヌノフグリより小形で白い花をつける。茎や葉に毛が多い。
フラサバノフ <i>Veronica hederifolia</i>	越年草 畑 道端	林道不動滝線 800m (3713) '16 胡麻目大橋北斜面 470m (4178) '17	(帰) コーラシア大陸原産 本種はオオイヌノフグリによく似ているが、花が小さく、萼や葉に長い毛が目立つ。
オオイヌノフグリ <i>Veronica persica</i>	越年草 路傍 畦道	山吹・越田 580m (3488) '16 ほたるパーク山吹西側 430m (3896) '16 麻目大橋北斜面 470m (4177) '17 下市田中谷 410m (4203) '17 大沢川沿い 480m (4678) '17	(帰) 欧亜大陸原産 秋に芽を出し冬に広がり早春に花をつけ春の終わりに枯れる。身近にありふれた雑草。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■オオバコ科 Plantaginaceae</b>			
カワジシャ <i>Veronica undulata</i>	越年草 河川 水田	下市田天竜川河原 410m (5054) '17	RL(環 NT/ 県 NT) 水田や川岸、田の畔など湿潤な場所に生育する。オオカワジシャに圧倒され、減少してきている。
クガイソウ <i>Veronicastrum japonicum</i> var. <i>japonicum</i>	多年草 山野の日当たりの草地	本高森山登山路 1600m (5599) '18	花冠から長く突き出る。果実は蒴果で長さ 2.5 mm の卵形になる。
<b>■ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae</b>			
フサフジツギ <i>Buddleja davidii</i>	落葉広葉低木 河川敷	万年橋付近 442m (3395) '16 下市田天竜川河原 406 (5521) '17 天白公園 630m (5701) '17 下平天竜川河原 435m '16	(帰) 6月-7月ごろ、枝先の小さな淡い紫色の花をいっぱい咲かせる。園芸種の「ブッドレア」は本種のこと。生態系被害防止外来種
フジツギ <i>Buddleja japonica</i>	落葉広葉低木 河岸	林道弓矢沢線 980m '16	(帰) 有毒植物 魚を麻酔させる作用がある 7-9月、枝先に、多数の淡紅紫色の花を一方に並べて開く。
イナヅキヒナノウスツボ <i>Scrophularia musashiensis</i> var. <i>ina-vallicola</i>	多年草 沢沿い	大島川干水ノ沢 1200m (2502) '16 不動滝駐車場付近 1010m '16	RL(環 / 県 EN) (帰) 関東-近畿に分布する多年草。沢沿いのやや明るい所に生える。花は暗赤紫色。
ピロードモズイカ <i>Verbascum thapsus</i>	2年草 河川敷 堤防	下平天竜川河原 440m (5010) '17 明神橋北 430m '17 山吹・唐沢川 443m '17 下市田親水公園南 416m '16 万年橋 440m '16 やすらぎ荘周辺 500m '16 市田港 420m '16	(帰) 欧州原産 ロゼットから伸長し長い花穂に黄色い小花を密集する毛深い2年生植物
<b>■アゼナ科 Linderniaceae</b>			
タケアゼナ <i>Lindernia dubia</i> subsp. <i>dubia</i>	1年草 水田	やすらぎ荘周辺 500m (1300) '16 下平天竜川堤防沿い 430m (1703) '16	(帰) 北アメリカ原産 アメリカアゼナのタイプで葉にやや不明瞭な鋸歯があるが基部が円形となる。
アメリカアゼナ <i>Lindernia dubia</i> subsp. <i>major</i>	1年草 田の畔	市田郵便局西 450m (1014) '16 大沢川沿い 475m (1274) '16 山吹・下平 470m (2461) '16 やすらぎ荘北西の山麓 530m (5921) '17 松岡城址間ヶ沢 500m '17	(帰) 北アメリカ原産 本種は近年帰化したもので、葉に明確な鋸歯の有るものが特徴。
アゼトウガラシ <i>Vandellia micrantha</i>	2年草 水田	牛牧大東 610m (6959) '19	RL(環 / 県 NT) 和名は畦にはえ、果実が唐辛子に似ている事から。畦道や湿地に生える1年草
アゼナ <i>Lindernia procumbens</i>	1年草 水田	下市田浄化センター西 420m (1042) '16 下市田親水公園堤防沿い 415m (1723) 山吹・量販店西 420m (2903) '16 大沢川沿い 469m (5579) '17	本種は葉に柄がなく鋸歯がない。
<b>■シソ科 Lamiaceae</b>			
キランソウ <i>Ajuga decumbens</i>	多年草 草地 石垣	松岡城址(長野県植物研究会誌 51号) '17	根生葉が地面に張り付くように広がることから、ジゴクノカマノフタともいう。
タチキランソウ <i>Ajuga makinoi</i>	多年草 草地 石垣	竜口八幡神社境内 448m (6251) '18 松岡城址間ヶ沢 470m '16	(帰) RL(環 NT/ 県 NT) 本種はキランソウによく似ているが、花冠の上唇が大きく2裂する点に着目すれば迷うことはない。
ジュウニヒトエ <i>Ajuga nipponensis</i>	多年草 明るい林中	中学校南・唐沢洞 480m (3482) '16 松岡城址周辺 480m (3538) '16 下平橋付近 420m (4354) '17 山吹・小沼 460m (4379) '17 林道二又沢線終点 690m (4792) '17	(帰) 和名は、花の咲く様子を宮中の女官などが着る十二単に見立てたものである。
ムラサキシキブ <i>Callitriche japonica</i>	落葉広葉低木 林内	山吹・小沼 570m (2326) '16 干水ノ沢 1200m (2532) '16 林道二又沢線終点 690m (4788) '17 順礼沢 520m (4873) '17 秋山神社南洞 470m (4938) '17	各地の林などに自生し、また果実が紫色で美しいので観賞用に栽培される。
クサギ <i>Clerodendrum trichotomum</i>	落葉広葉小高木 日当たりの原野	湯ヶ洞線北斜面 490m (4580) '16 大沢川沿い 715m (5588) '17 林道二又沢線終点 770m '17 林道吉田線終点 870m '17 山の寺キャンプ場 880m '16	葉は大きく柔らかく、葉を触ると、一種異様な臭いがする。このことが和名の由来 先駆植物
クルマバナ <i>Clinopodium coreanum</i> subsp. <i>coreanum</i>	多年草 山地の日当たりの草原	明神橋付近 420m (1169) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1320) '16 高森カントリークラブ付近 960m (1552) '16 林道不動滝線 770m (2579) '16	和名の由来は花が数段の仮輪に輪生することから。夏の終わりからつける花は唇形で紅紫色を帯びる。
トウバナ <i>Clinopodium gracile</i>	多年草 湿った畔	大沢川沿い 715m (2597) '16 高森公園 770m (3245) '16 明神橋 420m '16 林道弓矢沢線 780m '16 牛牧浄化センター南斜面 520m '16 林道小沼大沢線 1050m '16	花冠は白色に淡紫色を帯び、下唇の中央裂片が大きい、萼に長い毛があることでヤマトウバナと区別。
イヌトウバナ <i>Clinopodium micranthum</i> var. <i>micranthum</i>	多年草 山地の木陰	山の寺キャンプ場 880m (1109) '16 林道弓矢沢線 780m (1181) '16 林道小沼大沢線 1005m (1923) '16 田沢大橋西側 750m (2243) '16 干水ノ沢 1200m (2519) '16	花冠は白色に淡紫色を帯び、下唇の中央裂片が大きい、萼に長い毛があることでヤマトウバナと区別。
カラミント(オオトウバナ) <i>Clinopodium nepeta</i>	多年草 栽培 逸出	田沢 730m (6954) '19	(帰) ヨーロッパ~ヒマラヤ原産 夏から秋に、白に近い薄紫色の小さな花を咲かせる。花の色には白や紅紫などの花色の品種がある。
ミヤマトウバナ <i>Clinopodium micranthum</i> var. <i>sachalinense</i>	多年草 山地の木陰	天白公園~高森公園 725m (7047) '19 大丸山公園北側 540m (7121) '16	イヌトウバナを基本種とする変種。茎は直立または斜めに立ち上がり、高さは 30 ~ 70cm になる。
ミカエリソウ <i>Comanthosphace stellipila</i>	多年草 草敷	増野大沢川沿い七百五十 m (6257) '19 大丸山公園北側 540m (7121) '19	RL(環 / 県 CR) 和名「見返り草」は、美しい花なので、通り過ぎたときに 人が「見返る」ほどだから、という由来。
ナギナタコウジュ <i>Elsholtzia ciliata</i>	1年草 山道端	林道弓矢沢線 800m (1591) '16 林道出原線起点 740m (2165) '16 田沢大橋西側 750m (2246) '16 天白公園 635m '16 山道・駒場新田線 505m '16	秋に花穂をつくり、淡紅紫色の花を一方に密につける。和名はこの形が薙刀形に似ていることに由来。
カキドウソ <i>Glechoma hederacea</i> subsp. <i>grandis</i>	多年草 道端 畑 庭先	増野・大沢川沿い 770m (3314) '16 胡麻目大橋下 470m (4173) '17 山吹・小沼 460m (4338) '16 月夜平 660m '17 秋山神社南洞 480m '17 堂所橋南 725m '16	茎は長く這い所々から根を下ろす。隣接地から垣根を通して進入してくることがカキドウソの和名の由来。
セキヤノアキチョウジ <i>Isodon effusus</i>	多年草 山の日陰	不動滝周辺 1060m (6193) '17 林道不動滝線 1060m (6193) '17	(帰) 本種は関東・中部地方に分布する。アキチョウジとは萼が細く尖ることや花柄の長いことで見分ける。
ヤマハッカ <i>Isodon inflexus</i>	多年草 山道端	山の寺キャンプ場 980m (1340) '16 追分・田沢川沿い 590m (1637) '16 山吹・小沼 570m (2327) '16 林道弓矢沢線 980m (3199) '16 林道二又沢線起点 665m (3840) '16	和名は「山に育ち、ハッカに似ていること」であるが、しかしハッカのような香りはなく、まったく無臭。
ヒキオコソ <i>Isodon japonicus</i>	多年草 乾いた山野	大島川干水ノ沢 1120m (2735) '16 林道不動滝線 800m (6198) '17	本種を、秋、地上部を刈り採り、日干しにしてよく乾燥させる。これを、生薬で「延命草」という。
コウシヤマハッカ <i>Isodon umbrosus</i> var. <i>latifolius</i>	多年草 林縁 林内	林道小沼大沢線 775m (1920) '16 林道小沼大沢線 1050m (1940) '16 干水ノ沢 1200m (2528) '16	(帰) 和名はイヌヤマハッカの変種で甲信地方に多いことから。本種は葉の幅が広く cm 以上もある。
オドリコソウ <i>Lamium album</i> var. <i>barbatum</i>	多年草 半日陰の草原	山吹・正木 635m (3452) '16 林道不動滝線 940m '16 山吹・越田 570m '16	花期は4-6月、白色またはピンク色の花で、花のつき方が、笠をかぶった踊り子達が並んだ姿に似る。
ホトケナヅ <i>Lamium amplexicaule</i>	1年草 越年草 田の畔 道端	ぼたるパーク山吹西 430m (3897) '16 下市田中谷 410m (4198) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (4324) '16 吉田城跡 500m '16 市田港周辺 420m '16 山吹駅周辺 439m '16	秋に芽吹き春に花を咲かせて実を結ぶ。本種はこの生活史である。春の七草の「ホトケナヅ」とは異なる。
ヒメオドリコソウ <i>Lamium purpureum</i>	1年草 越年草 道端 庭先	胡麻目大橋北斜面 470m (4147) '17 山吹駅周辺 450m (4192) '17 下市田中谷 410m (4204) '17 高森公園 770m '16 不動滝周辺 1060m '16 堂所橋南 725m '16	(帰) ヨーロッパ原産 道端や空地などのありふれた草。早春に小さな唇形の淡い紅紫色の花を多数つける。
シロバナヒメオドリコソウ <i>Lamium purpureum</i> f. <i>albiflorum</i>	2年草 越年草 道端	山吹下平橋付近 444m (6247) '18	(帰) ヒメオドリコソウの群生している中に生じる。
メハジキ <i>Leonurus japonicus</i>	越年草 日当たる道端	下市田天竜川河原 406m (5678) '17 山吹・田沢川 433m (5820) '17	RL(環 / 県 NT) 和名は子どもが枝を折って目をはじいたことに由来。8-9月ごろ、淡紅紫色の花を数個ずつつける。
ヒメシロネ <i>Lycopus maackianus</i>	多年草 湿地	山の寺キャンプ場 880m (1774) '16	姫白根の意味で、本種より大型のシロネ(白根、 <i>Lycopus lucidus</i> )が、地下茎が白いのでシロネといい、シロネより小型であるため、ヒメシロネという。
レモンバーム <i>Melissa officinalis</i>	多年草 日陰の湿地	国道・山吹交差点 440m (6419) '18	(帰) 南ヨーロッパ原産。和名はコウス(ハッカ(香水薄荷)、セイヨウヤマハッカ。食べ物や飲料の香り付けやハーブとして医療に利用されてきた。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■シソ科 Lamiaceae</b>			
ヨウシュハッカ <i>Mentha arvensis</i>	多年草 湿った草地	下市田工業団地東 420m (1087) '16 山の寺キャンプ場 880m (1108) '16	(帰) ヨーロッパ等原産。ハッカと本種は別種として分類されているが、中間的なものも見られ、典型的なものでないといえども外観では区別できない。
ハッカ <i>Mentha canadensis</i>	多年草 日の当たる湿地	市田郵便局西 450m (1017) '16 下市田天竜川河原 406m (6064) '17 唐沢川河口 442m '16	夏・秋にごく淡い紫色(白に近い)の小花が集まって咲く。葉を軽くこすると喉や鼻孔がすーっとする。
オランダハッカ <i>Mentha spicata 'Crispa'</i>	多年草 日の当たる湿地	ほたるパーク山吹周辺 440m (2915) '16	(帰) ヨーロッパ原産。江戸時代の1820年代に導入された。全国的に市街地の道ばたなどに帰化している。全体は無毛で、強いハッカ臭がある。
コショウハッカ <i>Mentha × piperita</i>	多年草 栽培 逸出	市田郵便局西北 450m (1001) '16	(帰) ヌマハッカ×ミドリハッカの交配種、ヨーロッパ原産。明治以降ペパーミントの名で導入。ハーブとして家庭用に栽培。全国的に逸出して野生化。
マルバハッカ <i>Mentha suaveolens</i>	多年草 日の当たる湿地	胡麻目川付近 438m (7098) '19	(帰) 東西ヨーロッパから地中海地域西部に分布。芳香があり、料理用ハーブ、グラウンドカバーとしてもっとも普通に用いられるの宿根草。
ヒメジソ <i>Mosla dianthera</i>	1年草 休耕地 湿地	湯ヶ洞周辺 660m (1599) '16 山道・駒場新田線 530m (2058) '16	休耕地や湿地、湿った道端などに生える。花期は9-10月 花冠は白色でわずかに淡紅色。
イヌコウジュ <i>Mosla scabra</i>	1年草 道端	林道弓矢沢線 950m (1137) '16 林道出原線 880m (2921) 県道・山吹停車場線 912m (5736) '17 林道不動滝線 800m (6208) '17	ヒメジソに似るが、本種は葉の鋸歯が6~13対、萼の先は鋭く、花軸には毛が多いことで区別される。
アオジソ <i>Perilla frutescens var. crispa f. viridis</i>	1年草 栽培 野化	下市田・江戸ヶ沢川 414m (5799) '16	(裁・逸) 中国原産 栽培種が逸出し野生化している。葉と茎が緑色。アカジソ、チリメンジソなどの品種もある。
エゴマ <i>Perilla frutescens var. frutescens</i>	1年草 植栽 野化	林道弓矢沢線 860m '16	(帰) 東南アジア原産 食用または油を採るために栽培される。花序は総状花序で、白色の花を多数つける。
ウツボグサ <i>Prunella vulgaris subsp. asiatica var. lilacina f. asiatica</i>	多年草 日当りのよい草地	林道吉原線 960m (5641) '17 山の寺境内 780m '16 林道不動滝線 800m '16 田沢大橋西側 750m '16	花期は5-7月で、紫色の唇形花を密集して咲く。花後花穂は暗褐色に変化、別名を夏枯草(カコソウ)
アキノタムラソウ <i>Salvia japonica</i>	多年草 山野の道端	山の寺キャンプ場 880m (1785) '16 山道・駒場新田線 530m (2035) '16 中学校南・唐沢洞 510m (2845) '16 林道出原線終点 910m (2959) '16 出原中里 640m (3014) '16	野原に普通な多年草。細長い穂が伸びて、夏から秋に薄紫色の花が付き、白色の花を多数つける。
ミヤマタムラソウ <i>Salvia lutescens var. crenata</i>	多年草 山野の道端	青森カントリー東 765m (1483) '16 吉田南段丘崖 470m (2454) '16 山吹・下平 470m (2466) '16 林道不動滝線 770m (2554) '16 寺沢川沿岸 470m '16	花は淡紫色で花冠は長い毛が生える。タツノタムラソウは濃紫色で花冠外側に毛は少ない。別名はケナツノタムラソウ
タツノタムラソウ <i>Salvia lutescens var. intermedia</i>	多年草 山野の道端	胡麻目川沿い 530m (1530) '16 南信州山吹支所付近 500m (2014) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5446) '17 松岡城址 鏡子ヶ洞 510m (5485) '17 新田原 570m '16	RL (環ノ 県 DD) 全体がアキノタムラソウによく似ているが、花は濃紫色で、雄しべがまっすぐに突き出る。
ミゾコウジュ <i>Salvia plebeia</i>	多年草 山地の湿った地	林道弓矢沢線 800m (1580) '16 林道出原線 815m (2188) '16	RL (環 NT/ 県 CR) 山間の溜池畔の湿った草地や護岸の隙間に生育。
オカタンミソウ <i>Scutellaria brachyspica</i>	多年草 丘陵の林縁 草地	山吹・新田原 580m (5198) '16	(帰) タツノミソウの仲間でもっとも小さい。花序はタツノミソウより短く、茎の先に固まって花がつく。
タツノミソウ <i>Scutellaria indica var. indica</i>	多年草 草原 道端	胡麻目川沿い 500m (2712) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3154) 山吹山吹交差点 440m '16 山吹・小沼 450m '16	本種はこの仲間でもっとも普通に見られ、平地から低山の草原や道端、森林内の開けた場所などに生える。
シノバツタミソウ <i>Scutellaria laeteviolacea</i>	多年草 湿り気のある地	新田原 570m (2294) '16	葉の裏が紫がかり、表面には葉脈に沿って紫色の模様が入るのが特長のタツノミソウ。
イヌゴマ <i>Stachys aspera var. hispida</i>	多年草 湿地	市田郵便局西 450m (1020) '16 大沢川沿い 475m (1284) '16 山の寺境内 770m (1407) '16 下市田観水公園堤防 415m (1706) '16 県道・山吹停車場線 912m (5724) '17	茎は高さ 30 ~ 60cm、葉は対生し、葉面にしわがある。夏、茎頂に花穂を出し、淡紅色の花をつける
イブキジャコウソウ <i>Thymus quinquecostatus var. ibukiensis</i>	常緑広葉小低木 岩場	越田原 760m (1618) '16 千早原 720m (6289) '18 大島山高森公園 776m (6349) '18	花期は6~8月、花冠は紅紫色の唇形。和名は、伊吹山に多く産し、芳香があることから
カリガネソウ <i>Tripura divaricata</i>	多年草 やや湿った道端	山吹・寺沢川沿い 470m (5836) '17	RL (環ノ 県 NT) 和名は花の形状が雁に似ている草であることに由来。別名ホカケソウ(刈草)とも呼ばれる。
<b>■サギゴケ科 Mazaceae</b>			
ムラサキサギゴケ (サギゴケ) <i>Mazus miquelii</i>	多年草 湿った他の群	胡麻目大橋北斜面 470m (4154) '17 下市田中谷 420m (4512) '17 山吹・小沼 460m (4387) '17 大沢川沿い 480m (4689) '17 ほたるパーク山吹周辺 438m (6324) '18 間ヶ沢 450m-550m '16	湿ったあぜ道などの日当たりの良い場所に生え、匍匐茎で広がっていく。花期は春~初夏、花は紫または白である。
トキワハゼ <i>Mazus pumilus</i>	1年草 やや乾いた地	山吹ホームセンター周辺 440m (6792) '19 山吹龍口 445m (7013) '19 やすらぎ荘北西の沢 530m '16	道ばたや畑などに多く見られる。高さ5~20cm。サギゴケに似ているが、やや乾いたところにも生え、匍匐はださない。
<b>■ハエドクソウ科 Phrymaceae</b>			
ミゾホオツキ <i>Erythranthe inflata</i>	多年草 水湿地、湧水のほとり、溝	ほたるパーク山吹周辺 440m (4663) '16 胡麻目川沿い 520m (5139) '17 大沢川沿い 469m (5589) '17	果実がホオズキのように見えるのが和名の由来。茎や葉など全体に柔らかく、花は直径約1.5cm、花冠は黄色。
ハエドクソウ <i>Phryma esquirolii</i>	多年草 林下の日陰	南信州山吹支所付近 500m (2015) '16 田沢大橋西側 750m (2237) '16 新田原 570m (2302) '16 林道弓矢沢線 650m (5127) '17 泰山神社 500m '16	有毒 和名は、蠅毒草の意で、この植物全体に有毒成分があり、根をすりおろしたり、煮詰めた汁でハエ取り紙をつくるのに使われている。
<b>■キリ科 Paulowniaceae</b>			
キリ <i>Paulownia tomentosa</i>	落葉広葉高木 日当たる地	大沢川沿い 469m (5580) '16 林道吉原線 1000m '16 下市田4区洞 470m '16 やすらぎ荘周辺 500m '16	(帰) 中国原産 初夏に淡い紫色の筒状の花をつける。葉は広卵形で大きい。種子には翼がついており、風で散布される。
<b>■ハマウツボ科 Orobanchaceae</b>			
ママコナ <i>Melampyrum roseum var. japonicum</i>	1年草 林縁、疎林	出原中里 640m (2381) '16 前高森山 - 吉田山 1450m (3754) '16 林道吉原線 960m (5647) '17	半寄生植物 花卉に2つ並んだ白い膨らみが米粒のように見えること、または、若い種子が米粒に似ていることが和名の由来。
コシオガマ <i>Phtheirospermum japonicum</i>	1年草 日当たりの草地	林道不動滝線 800m (6210) '17	半寄生植物 全体にやわらかな曲がった腺毛が密に生え、さわるとべたつく花期は9-10月。枝の上部の葉腋ごとに1個の淡紅黄紫の花をつける。
<b>■キツネノマゴ科 Orobanchaceae</b>			
キツネノマゴ <i>Justicia procumbens var. leucantha f. japonica</i>	1年草 湿った道端	下市田浄化センター西 420m (1027) '16 山の寺境内 760m '16	道端に生える小柄な雑草 やや湿ったところを好む。夏に赤紫の小ざな花をつける。果実は熟すと二裂し種子を弾き飛ばす。
<b>■ノウゼンカズラ科 Bignoniaceae</b>			
キササゲ <i>Catalpa ovata</i>	落葉広葉高木 河岸 河川軸	山吹・下平 440m (5015) '17 胡麻目川沿岸 520m (5137) '17 山吹・正木 626m (5537) '17 山吹道分橋西 600m (6449) '18 下市田観水公園南 420m 545m (6488) '18	(帰) 中国原産とされるが日本各地の河川敷など、湿った場所に野生化。花期は6~7月。淡い黄色の内側に紫色の斑点がある花を咲かせる。
<b>■クマツヅラ科 Verbenaceae</b>			
ヒメビジョウサクラ <i>Glandularia tenella</i>	多年草 荒地 草原	国道・山吹交差点付近 440m (3048) '16 松岡城址間ヶ沢 450m-550m (5166) '17 山吹・量販店東店南東 438m (5658) '17	(帰) ナンアメリカ原産 園芸種として作り出された品種だが、植栽されていたものが逸出し、野生化したものも多く、帰化植物とされることもある。
ヤナギハナガサ <i>Verbena bonariensis</i>	多年草 河岸 河川敷	下市田天竜川河原 420m (1069) '16 下市田・江戸ヶ沢川 414m (5803) '19	(帰) ナンアメリカ原産 園芸植物として導入されたが、野生化して空き地や道端などに生える。小さな桃色の5弁花を集合させて咲かせる。
ヒメワダレソウ <i>Phyla nodiflora var. minor</i>	多年草 庭 栽培 逸出	山吹町住宅周辺 439m (7062) '19	イワダレソウとヒメワダレソウを交配して作られた品種。グラウンドカバーとして公園や庭園に植えられる。道端などに逸出。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ハナイカダ科 Helwingiaceae</b>			
ハナイカダ <i>Helwingia japonica</i>	落葉広葉低木 谷間	林道吉田線 710m (3330) '16 増野大沢川付近 770m (3330) '16 黒沢川順礼沢 500m (4022) '16 萩山神社 500m (4126) '17 山吹駅北方段丘 470m (4055) '16	葉の上に花が咲いている様子を葉を筏にたたとえてついた和名。雌雄異株(しゅういしゅ)の落葉性低木で、雌花は花後、実が黒く成熟する。
<b>■モチノキ科 Aquifoliaceae</b>			
イヌツゲ <i>Ilex crenata</i> var. <i>crenata</i>	常緑広葉低木 山野	下市田4区洞 475m (2199) '16 本学神社 680m (2347) '16 黒沢川順礼沢 500m (4022) '16 萩山神社 500m (4126) '17 山吹駅北方段丘 470m (4055) '16	葉は1.5~3cmで楕円形、厚みがある革質。花期は5-6月頃で、雌雄異株である。果実は黒く熟し、径6~7mm。
ハイイヌツゲ <i>Ilex crenata</i> var. <i>radicans</i>	常緑広葉低木 山野	本高森山登山路 1550m (1352) '16 林道小沼大沢線 760m (1970) '16 萩山神社 500m (3917) '16 南大島川北斜面 (4030) '16 牛牧小水曾洞 720m '17	北海道~本州の日本海側の多雪地に生える。イヌツゲの変種。下部は地をはい、高さ1~1.5mになる。日本海要素
タラヨウ <i>Ilex latifolia</i>	常緑広葉高木 常緑樹林内	萩山神社 500m (4145) '16 山吹・市田ウォーキングコース 420m '16 松岡城址東斜面 470m '16 下市田4区洞 475m '16 胡麻目川北斜面 500m '16	暖温帯性 静岡以西~九州、中国、四国に分布する。葉の裏面を傷つけると字が書けることから、郵便局の木として定められている。
アオハダ <i>Ilex macropoda</i>	落葉広葉高木 落葉広葉樹林内	山吹・山吹 500m (4469) '17 山吹・増野 700m (4601) '17 吉田城山 547m '17 松岡城址 鍾子ヶ洞 460m '17 林道出原線 740m '16 林道不動滝線 770m '16	5~6月に緑白色の花を咲かせ、9~11月に直径7mmほどの赤い果実を付ける。外皮を剥くと緑色をしていることからこの名がついた。
ソヨゴ <i>Ilex pedunculosa</i>	落葉広葉小高木 林内	太白公園 635m (2095) '16 竜口八幡神社 460m (3147) '16 萩山神社 500m '16 松岡城址 550m '16 山道・駒場新田線 530m '16 新田諏訪神社 620m '16	和名の由来は「そよ」いで葉が音を立てる様子が由来とされ、「戦」と表記される。冬でも葉が青々と茂っていることから「冬青」の表記も見られる。
ツルツゲ <i>Ilex rugosa</i>	常緑広葉低木 山野	本高森山登山路 1550m (1374) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2776) '16 本高森山登山路 1220m (3623) '16	針葉樹林内の林床を這い長さ20~50cm。花期は6~8月、緑色がかった白色の4弁花を咲かせる。果実は径6mmの球状に赤熟し、4個の種子がある。
ウメモドキ <i>Ilex serrata</i>	常緑広葉低木 山野	牛牧浄化センター南斜面 520m (1888) '16 林道出原線 980m (2984) '16 やすらぎ荘北西山麓 530m (5909) '17 本学神社 680m '16 吉田山山頂 1450m '16	低山に生育、庭木、鉢植、盆栽など使われる。鑑賞の対象は果実である。和名は、葉がウメの葉に似ていることや花も梅に似ていることに由来。
<b>■キキョウ科 Campanulaceae</b>			
ツリガネニンジン <i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>	多年草 林縁 日当たりの草原	胡麻目川沿い 530m (1652) '16 山吹・小沼 468m (5609) '17 林道吉原線 960m (5619) '17 太白公園 630m (5703) '17 高森公園 770m '16 大丸山公園北面 530m '16	和名の由来は、花が釣鐘状で、根が朝鮮人参(チョウセンニンジン)に似ているところからきている。春の若芽は山菜として親しまれている。
シデシャジン <i>Asyneuma japonicum</i>	多年草 草地 林縁	太白公園 不動滝 '17 (長野県植物研究会誌 51号) '17	和名の由来は、花冠裂片の細裂のようすを神前に供える四手にたとえたもの。
ヤマホタルブクロ <i>Campanula punctata</i> var. <i>hondoensis</i>	多年草 林縁 草原	大島川本沢 1080m (5310) '17 山の寺境内 770m '16 下北向き斜面 470m '16 林道不動滝線 1060m '16 本高森山登山路 1230m '16 本学神社 680m '16	(国) 茎に垂れ下がるようにして円筒形をした薄い紅紫色の花をところどころにつける。花の長さは4-5センチで、先が浅く5つに切れ込む。
ツルニンジン <i>Codonopsis lanceolata</i>	つる性多年草 林内	新田原 570m (2296) '16 山吹・小沼 570m (2321) '16 黒沢川順礼沢 490m (2694) '16 下平・下平橋付近 420m (2718) '16 萩山神社南河 470m (4528) '17	春に茎を出、他物に巻きつきながらのびる。茎や根を切ると乳液が出る。夏~秋にかけ花冠が釣鐘状で外側は白く内側に部分的に赤紫色の花が咲く。
ミゾカケン(アゼムシロ) <i>Lobelia chinensis</i>	多年草 水田	大丸山公園北側 540m ((7115) 19	日本全土の田の湿り気のあるところに生える。高さ10~15cm。茎は細く、地を這って長く伸び、節から根を出して増える。
サワギキョウ <i>Lobelia sessilifolia</i>	多年草 湿原 湿地	新田原 570m (2296) '16 山吹・小沼 570m (2321) '16 黒沢川順 礼沢 490m (2694) '16 下平・下平橋付近 420m (2718) '16 萩山神社南河 470m (4528) '17	有毒 すらりと伸びた茎に、さわやかな青紫色の花が長い穂になって咲き、切れ込みの深い独特の花形が特徴。
タニギキョウ <i>Peracarpa carnosa</i>	多年草 谷間の木陰	山の寺キャンプ場 880 (1795) '16 増野大沢川 770m '16 山吹・正木 635m '16 林道小沼大沢線 1000m '16 前高森山登山路 1565m '16	ごく小柄で、柔らかい草。外見的にはキキョウの類というよりは、ハコベの仲間とでもいう方が似つかわしいような草。小さな群落をつくることが多い。
キキョウ <i>Platycodon grandiflorus</i>	多年草 日当たりの野原	山の寺キャンプ場上 880 '16	RL(環 VI/ 県 VI) 秋の風物詩や身近な野草として万葉の昔から親しまれている。野生は減少の傾向にある。
キキョウソウ <i>Triodanis perfoliata</i>	1年草 道端 荒地	県道・山吹停車場線 455 (4896) '17 下市田天竜川堤防 415 (5065) '17 山吹・量販店南東 438m '17	(帰) 北アメリカ原産 キキョウ(桔梗)に似た小さな青紫色の花を咲かせる。花冠は漏斗状で、先が5つに深く裂ける。花は下から上へ咲き上がる。
<b>■キク科 Asteraceae</b>			
ノブキ <i>Adenocaulon himalaicum</i>	多年草 樹陰	胡麻目川沿い 530m (1683) '16 山吹・市田ウォーキングコース 470m '16 山の寺境内 770m '16 新田原 570m '16	葉がフキにやや似ていて、地味な花を咲かせ、粘りけのある種子を付ける。
オクモミジハゲマ <i>Ainsliaea acerifolia</i> var. <i>subapoda</i>	多年草 樹陰	湯ヶ洞周辺 660m (1603) '16 追分・田沢川沿岸 590m (1644) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3163) '16 前高森山-吉田山 1450m (3759) '16 林道弓矢沢線 880m (6112) '17	草丈は60cmほどで花茎に段違いに白いテープ状の花が咲く 雄べが長く3つほど飛び出る 葉はモミジのような形で、縁には鋸歯がある
ブタクサ <i>Ambrosia artemisiifolia</i>	1年草 草原 荒地	胡麻目川沿い 530m (1663) '16 山吹・正木 626m (5538) '17 林道小沼大沢線 920m (5749) '17 吉田南段丘 480m '16 松岡城址間ヶ沢 550m '17	(帰) 北アメリカ原産 明治初期に渡来し、全国の道端や河原などに分布。花粉症の原因として知られる。
オオブタクサ <i>Ambrosia trifida</i>	1年草 河川敷き 荒地	下市田天竜川河原 420m (1085) '16 万年橋付近 445m (1225) '16 天竜自動車学校河原 420m (1862) '16 明神橋北 430m (5089) '17 松岡城址間ヶ沢 550m (5455) '17	(帰) 北アメリカ原産 北海道、本州、四国、九州に分布している。河川敷や荒地などに大群落をつくる。花粉症の原因として知られる。生態系被害防止外来種
ホソバヤマハハコ <i>Anaphalis margaritacea</i> var. <i>angustifolia</i>	多年草 山地崩壊地	林道弓矢沢線 650m (5711) '17	(国) 本種はヤマハハコの変種で西日本型、やや小型で、中間では枝分かれせず、葉が細い。
ヤマハハコ <i>Anaphalis margaritacea</i> var. <i>margaritacea</i>	多年草 崩壊地 道路法面	林道不動滝線 770m (2555) '16 林道二又沢線終点 690m (4787) '17 越田原 760m '16	茎の高さは50cmほどに、茎には灰白色の綿毛が密生。葉の表面はつやのある緑色だが、裏面は茎と同じ灰白色の綿毛が密生する。
カワラハハコ <i>Anaphalis margaritacea</i> var. <i>yedoensis</i>	多年草 河原	林道不動滝線 790m '16	(国) 本種は茎の中部で枝分かれし、葉が線形、河原に生えることからこの名がついた。全体が白色の細い毛で覆われヤマハハコより葉が細い。
カミツレモドキ <i>Anthemis cotula</i>	1年草 道端 荒地	松岡城址間ヶ沢 550m (5148) '17 ほたるパーク山吹周辺 440m (6319) '18	(帰) ヨーロッパ原産 花期は6~9月、頭状花を茎の先に1つずつ咲かせる。葉は2~3回羽状に深裂し、互生する。牧草地、道端、荒地、畑などに生育。
カワラヨモギ <i>Artemisia capillaris</i>	多年草 河原	明神橋付近 420m (1171) '16 万年橋付近 445m (1238) '16 下市田天竜川河原 405m (5513) '17 山吹・小沼 468m (5615) '17 山吹・量販店南東 438m '16	河原に生育するカワラヨモギは、花茎が伸びて高さ1m近くになる。花茎はやや木化しており、硬い。葉は2回羽状に分裂し、細くて繊細である。
ヨモギ <i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>	多年草 畔 草地	山の寺境内 770m (1421) '16 ほたるパーク山吹 440m (1441) '16 天竜自動車学校河原 420m (1864) '16 林道吉原線 960m (5625) '17 林道小沼大沢線 920m (5755) '17	本種は群生して地下茎で増殖する。春の若葉は古くから邪気を払うと信じられ、端午の節句に菖蒲(しょうぶ)とともに浴湯に入られる。
オトコヨモギ <i>Artemisia japonica</i>	多年草 荒地 河原	林道出原線 815m (2183) '16	地下茎がないので、株立ちとなる。葉はやや厚く、乾燥には比較的強い。長さ4-8cm。葉はへら形あるいはくさび形
イヌヨモギ <i>Artemisia keiskeana</i>	多年草 乾いた地	山道・駒場新田線 530m (2029) '16 林道吉原線 960m (5638) '17 湯ヶ洞線北側斜面 490m '17 国道山吹交差点 440m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16 林道弓矢沢線 950m '16	茎は叢生(そうせい)し、花をつけなくて先にロゼット状に葉をつける短茎と、花をつける長い花茎がある。
ヤマヨモギ <i>Artemisia montana</i>	多年草 草地	大島川本沢 1080m (5359) '17 大島川本沢 1150m (5386) '17	本州にはオオヨモギ、エゾヨモギの別名があるように、プナ帯を中心とした山地帯の草地に生育する。草丈が高くなり、時として2mを超える。
シロヨメナ <i>Aster leiophyllus</i> var. <i>leiophyllus</i>	多年草 林縁の半日陰	林道出原線 910m (2962) '16 山吹田沢 700m (5971) '17 林道不動滝線 1090m '17	草丈50cm前後、初秋から秋の初めまで、茎頂で花柄を分けて径2cm前後のやや小さい白色のキク型の花を皿型(散房状)にやや多くつける。
ゴマナ <i>Aster glehnii</i>	多年草 路傍 林縁	山の寺キャンプ場 880m (1128) '16 林道出原線 880m (2939) '16 林道不動滝線 800m (6207) '17 林道小沼大沢線 1000m '16 林道不動滝線 790m '16	(国) 高さ1.5mにもなる大型の草本で、草原や路傍・林縁にも生育する。8月から9月にかけて、直径1.5cmほどの白い頭花をたくさんつける。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■キク科 Asteraceae</b>			
ユウガギク <i>Aster iinumae</i>	多年草 日当りの道端 畔	林道弓矢沢線 800m (1589) '16 山の寺キャンプ場 880m (1757) '16 天竜自動車学校河原 420m (1867) '16 駒場新田線 530m (2046) '16 太白公園 630m (5687) '17	(国) 草丈 100cm ほど 開花は 7-10 月 花色は白-薄青紫、花径 2.5cm ほど。 花を潰すと柚子の香がするが和名の由来。
ノコンギク <i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>	多年草 道端	林道弓矢沢線 950m (1147) '16 山の寺境内 770m (1406) '16 山道・駒場新田線 530m (2036) '16 田沢大橋西側 750m (2242) '16 やすらぎ荘北西山麓 530m (5927) '17	(国) 和名は野にある紺色の菊に由来。近縁種のヨメナやカントウヨメナと比べると本種は花が固まってつき、葉がざらついている。
シラヤマギク <i>Aster scaber</i>	多年草 林縁 疎林	山の寺キャンプ場 880 (1129) '16 南小学校 527m (1525) '16 牛牧浄化センター南斜面 520m (1821) '16 山道・駒場新田線 550m (2021) '16 太白公園 630m (5704) '17	和名の意味は白山菊で、花が白く、山に生えることの意味。白い花をつける野菊は多いが、茎の下部の葉が卵形なのは特で判別は容易。
ヨメナ <i>Aster yomena</i>	多年草 湿った土地	山の寺観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52 号) '18	本州中部以西、四国、九州に分布する。道端にごく普通の植物であるが、高森町では稀である。やや湿ったところを好む。
オケラ <i>Atractylodes ovata</i>	多年草 乾燥した山地	松岡城址 520m (6846) '19	春、若芽を 揚げ物などにして 食べるとおいしい。
コバナセンダングサ <i>Bidens bipinnata</i>	1 年草 荒地	南大島川上橋付近 440m (1815) '16	(帰) 南アジア原産 日本には古い時代に渡来した高さ 50cm の 1 年草。頭花は直径 6-10mm、舌状花は 1-3 個で、花冠は黄色。
センダングサ <i>Bidens biternata</i>	1 年草 湿地	やすらぎ荘北西山麓 530m (5904) '17 山吹・小沼 460m (6002) '17 下市田天竜川河原 406m (6026) '17 明神橋付近 418m (6075) '17 松岡城址 銚子ヶ洞 550m '17	高さ 100cm の 1 年草。古い時代に帰化したものといわれる。頭花は黄色、直径 8mm、回りに 0-5 個ある舌状花は結実しない。
アメリカセンダングサ <i>Bidens frondosa</i>	1 年草 道端 空地 湿地	林道弓矢沢線 800m (1586) '16 湯ヶ洞周辺 660m (1597) '16 南信州山吹支所付近 500m (2008) '16 山吹・越田 600m (5938) '16 下市田天竜川河原 406m (6063) '17	(帰) アメリカ原産 果実は扁平であり、先に向かって幅が広がる。先には 2 本の刺があり、下向きのかき状の剛毛が表面にある。生態系被害防止外来種
コシロノセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> var. <i>minor</i>	2 年草 道端 草地	南大島川橋下 570m (6746) '18	コセンダングサには花びら(舌状花)がないが、本種には白い花びらがある。先端に細いいかざ状の毛を付けた細い実が球状にできる。
コセンダングサ <i>Bidens pilosa</i> var. <i>pilosa</i>	1 年草 道端 荒地	市田郵便局西北 450m (1004) '16 下市田天竜川河原 420m (1045) '16 天竜自動車学校河原 420m (1828) '16 山吹・小沼 460m (6003) '17 山吹・越田 600m (5937) '17	(帰) 北アメリカ原産 茎の長さは 100 cm ほど。花期は 9 ~ 10 月、黄色の頭花は筒状、瘦果は細長く 7 ~ 15 mm、先端に棘があり衣服などに付きやすい。
タウコギ <i>Bidens tripartita</i>	1 年草 水田 休耕田	下平天竜川堤防沿い 430m (1696) '16 下市田・江戸ヶ沢川 415m (6121) '17	湿地、水田、休耕田、用水路脇などに生える 1 年草。以前はあちこちの水田に見られ、稲の草芽であったが、近年は減少傾向が著しい。
ヒメキンセンカ <i>Calendula arvensis</i>	越年草 野化 果樹園 庭先	山吹駅北斜面 460m (6240) '18 山吹・小沼 448m (6752) '19	(裁・逸) 地中海原産 多年草で果樹園や庭先に生え秋から春の欠けて化や 3 月から 5 月に開花。キンセンカを一回り小さくしたような花。
ヤブタバコ <i>Carpesium abrotanoides</i>	1 年草 越年草 湿った日陰	林道出原線 880m (2938) '16 田沢大橋西側 750m '16 下市田保育園北側 430m '16	タバコに似た葉を付ける直立した茎の先端から、横に伸びる枝を長く伸ばし、そこに多数の葉と花を並べた独特の姿をしている。
コヤブタバコ <i>Carpesium cernuum</i>	越年草 湿った日陰	林道厳原線 880m (2923) '16	オオガンクビソウに似ているが、それよりも葉や頭花が小さく、よく似たヤブタバコは花が葉腋につく。
ガンクビソウ <i>Carpesium divaricatum</i> var. <i>divaricatum</i>	多年草 山野の木陰	山の寺キャンプ場 880m (1120) '16 山の寺北側林道 800m (1503) '16 大島川干水ノ沢 1170m '16 前高森山登山路 1060m '16	和名の由来は花がキセルの雁首に似ていることから。分枝先端の長い柄に花が付き花数少ない。
ホソバガンクビソウ <i>Carpesium divaricatum</i> var. <i>abrotanoides</i>	2 年草 野原 荒地	山の寺キャンプ場 880m (1123) '16 高森カントリークラブ付近 960m (1554) '16 林道小沼大沢線 1005m (1924) '16 干水ノ沢 1200m (2482) '16 本沢 1060m (5347)	(国) ホソバガンクビソウは葉脇毎に花柄が付き花数が多。
サジガンクビソウ <i>Carpesium glossophyllum</i>	多年草 乾いた山地や丘陵の木陰	前高森山登山路 1275m (2644) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (5167) '17	根出葉があり、茎の先にキセルのような形に花を付ける。和名はガンクビソウの仲間、葉の形をサジに見立てたものである。
ミヤマヤブタバコ <i>Carpesium triste</i>	多年草 山野の木陰	大島川干水ノ沢 1200m (2775) '16	和名の「ミヤマ(深山)」は、山地の林内に生えるからであり、「ヤブタバコ」は、葉のようすが同属のヤブタバコに似ることによる。
ヤグルマギク <i>Cyanus segetum</i>	1 年草 花壇 庭先	ほたるパーク山吹周辺 438m (4657) '17 下市田観水公園南 420m (6487) '18 明神橋付近 440m (6291) '18	(裁・逸) 高さは 20-100cm で、全体が毛で覆われるため白みを帯びて見える。夏に筒状花からなる矢車状の花が咲く。種子は瘦果で、短い毛が付く。
リュウノウギク <i>Chrysanthemum makinoi</i>	多年草 日当りの山地	太白公園 635m (2066) '16 林道二又沢線起点付近 665m (3844) '16 林道不動滝線 1000m '16 松岡城址 460m-550m '16 山吹・越田 570m '16 前高森山登山路 1205m '16	和名は茎や葉の香りが、中国から伝わった竜腦(リュウノウジュ)から採れる精油 という香料に似ている事に由来する。
トネアザミ <i>Cirsium nipponicum</i> var. <i>incomptum</i>	多年草 日当りの林縁	山の寺観音沢 1000m (長野県植物研究会誌 52 号) '18	(国) 葉が長く深く切れ込み刺が長く鋭い。花は茎先に横向きに咲き、花径 3cm ほどで細い筒状花が集まる。草丈は 60cm-1m ほどに伸びる。
ナンブアザミ <i>Cirsium tonense</i> var. <i>tonense</i>	多年草 野原	松岡城址間ヶ沢 450m-500m (5878) '17	花(頭状花序)は筒状花のみで構成されており、花の色は紫色である。総苞は粘らない。
ノアザミ <i>Cirsium japonicum</i>	多年草 野原	松岡城址間ヶ沢 550m (5141) '17 寺沢川沿い 470m '17 中学校南・唐沢洞 480m '16 山吹駅北方 470m '16 胡麻目川沿い 505m '16 山吹・市田ウォーキングコース 442 '16	(国) 茎の先に頭花を上向きにつけ、筒状花をたくさん咲かせる。花の下にある総苞片が球形で、ねばねばするが特徴である。
スズカアザミ <i>Cirsium suzukaense</i>	多年草 林縁 荒地 草地	山の寺キャンプ場 880m (1114) '16 高森カントリークラブ東 765m (1482) '16 林道原線 740m (2163) '16 松岡城址 銚子ヶ洞 500m (6160) '17 林道吉田線起点 665m '16	(国) 東海地方に普通に見られる。草丈がやや低く、頭花はよく分枝した枝先にほぼ点頭し、総苞が筒形-鐘形、腺体があって粘る。
ヒダアザミ <i>Cirsium tashiroi</i> var. <i>hidaense</i>	多年草 落葉樹林の林床	太白公園 - 不動滝 (長野県植物研究会誌 51 号) '17	RL (環 VU / 県 EN) (国) 山地の落葉広葉樹林の林床に生育。落葉樹林が減少し、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。
ヒメカシヨモギ <i>Erigeron canadensis</i>	2 年草 道端 荒地	下市田工業団地東 420m (1066) '16 山吹・量販店東 438m (5662) '17 南小学校 527m '16 山吹駅周辺 460 (m) '16 万年橋南側 445m '16 市田郵便局西方 450m '16 ほたるパーク山吹周辺 440m '16	(帰) 北アメリカ原産で、世界中に広がっている。日本では明治時代に確認された。
オオアレチノギク <i>Erigeron sumatrensis</i>	越年草 道端 放置畑	万年橋付近 445m (1234) '16 大沢川沿い 475m (1280) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1304) '16 山吹駅周辺 460m (1353) '16 北小学校 518m (5552) '17 下市田天竜川河原 406m (5528) '17	(帰) 南アメリカ原産で、日本では昭和初期からの帰化植物。道端や荒地で見られる雑草。
オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i>	多年草 河原 荒地	万年橋付近 440m (3139) '16 山吹・下平 440m (4996) '17 明神橋北 430m (5083) '17 市田港周辺 420m '16 大沢川河口 442m '16 下市田天竜川河原 410m '16	(帰) 北アメリカ原産 特定外来生物 日本ではワイルドフラワーに利用されていたが、外来種として野外に定着し問題となり、現在は栽培が禁止されている。
コスモス <i>Cosmos bipinnatus</i>	1 年草 栽培 野化	万年橋付近 445m '16 明神橋付近 420m '16 山吹駅周辺 460m '16 山吹・市田ウォーキングコース 455m '16 南大島川上橋付近 440m '16	(帰) メキシコ原産。明治初期に伝えられ、観賞用に花壇などに栽培。いまでは代表的な秋の草花であり、また各地で逸出して野生状態になっている。
キバナコスモス <i>Cosmos sulphureus</i>	1 年草 - 多年草 庭先 逸出 野生化	山吹駅小沼 456m '17	(帰) 原産地はメキシコ 広く園芸品種のひとつとして栽培されているが、一部は逸出して野生化している。
ペニバナボロギク <i>Crassocephalum crepidioides</i>	1 年草 空地 伐採地	出原中里 640m (2001) '16 田沢大橋西側 750m (2228) '16 山吹・小沼 469m (5582) '17 松岡城址間ヶ沢 550m (5869) '16 山吹・越田 600m (5948) '17	(帰) アフリカ原産 柔らかな草で、筒状の先端が赤くなる花をつける。種子は綿毛をつけて、風より散布。空地に先ず侵入して生える「先駆植物」。
ヤクシソウ <i>Crepidastrum denticulatum</i>	1 年草 越年草 のり面 荒地	林道出原線起点 740m (2147) '16 やすらぎ荘北西山麓 530m (5925) '16 萩山神社 460m '16 泰山神社 500m '16 越田原 760m '16 太白公園 640m '16	日当たりのよい乾いた山野に生え、秋に黄色い小花を集合して咲かせる。新しく林道をつけた斜面の裸地に真っ先に侵入するパイオニア植物である。
アメリカタカサブロウ <i>Eclipta alba</i>	1 年草 水田 湿地	市田郵便局西 450m (1013) '16 下市田天竜川河原 420m (1096) '16 やすらぎ荘北 430m (1247) '16 ほたるパーク山吹周辺 440m (1438) '16 山吹・下平 470 (2460) '16	(帰) 熱帯アメリカ原産。タカサブロウに似るが葉は細めで葉の基部に向かい幅が狭まる。タカサブロウはそう果に翼があるが本種には翼はない。
ダンドボロギク <i>Erechtites hieracifolius</i>	1 年草 山地 道端	山吹・市田ウォーキングコース 1214 '16 山吹・越田 600m (5952) '17 泰山神社 500m '16 大沢川沿い 475m '16 高森カントリークラブ東 765m '16 林道出原線 780m '16	(帰) 北アメリカ原産 帰化植物として移入分布する。8 ~ 10 月に薄黄色の花を咲かせ、冠毛をつけた種子を飛散させる。山火の後に大群落を形成する。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
■キク科 <i>Asteraceae</i>			
ヒメジョオン <i>Erigeron annuus</i>	2年草 野原 荒地	南大島川上橋 440m (1807) '16 山吹・下平 440m (5005) '17 明神橋北 430m (5085) '17 山吹垣外 (5867) '17 山吹・量販店南東 436m (5573) '17 下市田親水公園 416m '16	(帰) 北アメリカ原産 秋に芽生えてロゼットを形成し、そのまま越冬して翌年の初夏から夏に花茎を伸ばして開花する。生態系被害防止外来種
ペラペラヨメナ(ペラペラヒメジョオン) <i>Erigeron karvinskianus</i>	越年草 荒地	山吹垣外 510m (5866) '17 寺沢川沿い 480m (6842) '19	(帰) ヒメジョオンによく似た中央アメリカが原産の帰化植物。日本では1949年に確認され、関東~九州に帰化。名前は葉が薄いことから。生態系被害防止外来種
ハルジオン <i>Erigeron philadelphicus</i>	越年草 荒地	2年草 道端 胡麻目大橋西方 470m (4219) '17 松岡城址間ヶ沢 450m-550m (4338) '17 下市田中谷 420m(4506) '17 大沢川沿い 480m(4677) '17	(帰) 北米原産 大正年間に来、路傍や空地にはえる。4~6月に黄色の筒状花と白色の舌状花からなるの頭花を散房状に開く。
ヤナギバヒメジョオン <i>Erigeron pseudoannuus</i>	越年草 荒地	2年草 野原 松岡城址間ヶ沢 550m (5157) '17 下市田天竜川河原 405m (5514) '17 北小学校 518m (5567) '17	(帰) 北アメリカ原産 ヒメジョオンに似ているが葉がへら状でギザギザがなく、毛もない。別名「ヘラヒメジョオン」
ヘラバヒメジョオン <i>Erigeron strigosus muhl</i>	1年草 河川敷	越年草 乾燥地 山吹・量販店南西 436m (5600) '17	(帰) 北米原産 ヒメジョオンに似ているが葉がへら状でギザギザがなく、毛もない。乾燥した立地や痩せた場所に多く、河川堤防などにも生育している。
オオアレチノギク <i>Erigeron sumatrensis</i>	越年草 道端 荒地	越年草 道端 荒地 はたるパーク山吹西側 420m (1035) '16 万年橋付近 445m (1234) '16 大沢川沿い 475m (1280) 出原林道 880m (2930) '16 牛牧浄化センター 570m (1883) '16 南小 527m (1524) '16	(帰) 南アメリカ原産 道端や荒地に見られる。茎は直立し、上方で分岐し高さは1~2m。茎の上部に多数の花をつける。
ヨツバヒヨドリ <i>Eupatorium glehnii</i>	多年草 湿った道端 林内	山の寺キャンプ場 880m (1797) '16 林道小沼大沢線 1050m (1941) '16 林道不動滝線 770m (2548) '16 大島川本沢 1080m (5365) '17 天白公園 630m (5706) '16	ヒヨドリバナの変種 ヒヨドリバナは葉は全縁で対生するが、本種は葉に細かい鋸歯があり、葉が茎の周りに3-4枚輪生する。
サワヒヨドリ <i>Eupatorium lindleyanum var. lindleyanum</i>	多年草 湿原の周辺	山の寺キャンプ場 880m (1777) '16 林道不動滝線 790m '16 林道小沼大沢線 1005m '16	ヒヨドリバナに比べて全体に小型で花の色が暗紅紫色を帯びる点、葉の形が小型で鋸歯が鈍い点などで区別できる。
ヒヨドリバナ <i>Eupatorium makinoi</i>	多年草 湿った道端 林内	高森カントリークラブ付近 960m (1550) '16 山の寺キャンプ場 880 (1782) '16 林道小沼大沢線 1050m (1942) '16 出原中里 640m (2000) '16 林道不動滝線 770m (2556) '16	日本各地の林道の脇、草原や溪流沿いなどの日当たりの良い場所に自生する。ヒヨドリが鳴く頃に開花することから、この和名になったとされる。
オオヒヨドリバナ <i>Eupatorium makinoi var. oppositifolium</i>	多年草 深谷 林縁	山の寺・観音沢(長野県植物研究会誌 51号) '18	林や林の縁などで見かける花で、小さな花を散房状に咲かせる。倒れているようなものが多いが草丈は人の背丈ほどからもっと大きいものである。
コゴメギク <i>Galinsoga parviflora</i>	1年草 道端 庭先	天白公園 - 不動滝(長野県植物研究会誌 52号) '18	(帰) 熱帯アメリカ原産の帰化植物。ハキダメギクに似るが、全体に毛は少なく、細長い。節間はやや長く、葉も小さい。
ハキダメギク <i>Galinsoga quadriradiata</i>	1年草 空地 果樹園 道端	高森カントリークラブ東 765m (1498) '16 天白公園 635m (2086) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (5154) '16 万年橋南側 445m '16 南小学校 527m '16 はたるパーク山吹周辺 440m '16	(帰) 熱帯アメリカ原産 明治時代の初期に渡来し、在では全国に帰化植物として定着している。道端や空き地、果樹園などに広がっている。
テンニンギク <i>Gaillardia pulchella</i>	多年草 道端	県道山吹停車場線 675m (6447) '18	(帰) 北アメリカ原産 夜明け前に出撃する特攻隊員に、島の女性にテンニンギクの花束を渡したため、特攻花と呼ばれている。
コゴメハキダメギク <i>Galinsoga parviflora × Galinsoga quadriradiata</i>	1年草 草地	松岡城址 銚子ヶ洞 550m (6151) '17	コゴメギク×ハキダメギク
ホソバナチチコグサモドキ <i>Gamochaeta calviceps</i>	1年草 道端	下市田親水公園付近 420m (3172) '16	(帰) アメリカ大陸原産。日本では暖地の都会の荒地や道ばたなどに帰化している。高さは15~35cmになり、下部で枝を分け、葉を多数つける。
チチコグサモドキ <i>Gamochaeta pensylvanica</i>	2年草 道端	はたるパーク山吹周辺 440m (4647) '17 大島山区民会館周辺 650m '17	(帰) 北アメリカを原産地草丈は10~30cm。茎はほとんど分岐せず、全体に白い綿毛が密生する。葉はへら形で、両面が白く長い綿毛に覆われる。
ウスベニチチコグサ <i>Gamochaeta purpurea</i>	1年草 道端 芝生	万年橋 445m (4590) '17	(帰) 北米原産 に根生葉はない。葉はへら形、先はやや尖り、基部は細くなり翼になる。頭花が紅色をしているので目立つ。
タチチチコグサ <i>Gamochaeta calviceps</i>	越年草 乾田	出原 678m (6554) '18	(帰) 在来種のチチコグサは、茎葉は少なく根生葉も茎葉も細長く、茎頂だけに花をつけることで区別できる。
クイモモドキ(ヒメヒマワリ) <i>Heliopsis helianthoides</i>	多年草 栽培 庭 逸出	南大島川上橋付近 440m (1808) '16 山吹・正木 626m (5542) '17 本学神社北斜面 680m (2873) '16 北小学校 518m (5551) '17 南小学校 520 (6564) '18 天白公園 - 高森公園 725m (7034) '19	(帰) 原産地は北アメリカ 日本へは明治時代の半ばに渡来した。キクイモ(菊芋)によく似た花を咲かせることからこの名がついた。生育地庭植え植物のタイプ多年草
イヌクイモ <i>Helianthus strumosus</i>	1年草 道端 草地	山吹・下平 440m (4997) '17 明神橋北 430m (5078) '17 南大島川上橋付近 440m '16 万年橋付近 445m '16 松岡城址間ヶ沢 550m '17 山吹田沢川 500m '17	(帰) 北米原産 逸出したものが野生化、空き地や河原などに生える。塊茎はクイモに比べて小さく役に立たないといふことで「犬」の字が冠せられた。
クイモ <i>Helianthus tuberosus</i>	多年草 栽培 荒地	下市田天竜川河原 420m (1088) '16 万年橋付近 445m (1237) '16 下市田4区洞 470m (2218) '16 天白公園 630m (5684) '17 松岡城址間ヶ沢 550m (5872) '17	草丈が2-3メートルに成長し、秋に黄色の花が咲く。食用となる地下の塊茎はしょうがに似ており、イヌリンと呼ばれる成分を多く含む。
キツネアザミ <i>Hemisteptia lyrata</i>	越年草 乾田 道ばた	はたるパーク山吹周辺 440m ((4673) '17 松岡城址 550m '16 寺沢川沿い 480m '16 下市田親水公園 416m '16 市田港周辺 420m '16 やすらぎ荘北西の谷・市の沢 540m '16	道ばたや田畑にごく普通に見られる。和名は、花がアザミに似ているから、アザミではないこと、から、「狐にだまされた。」という意。
ブタナ <i>Hypochaeris radicata</i>	多年草 空地 草原	林道小沼大沢線 700m (5220) '16 天白公園 630m (5708) '16 下市田親水公園南 416m '16 山吹停車場線 640m '17	(帰) ヨーロッパ原産 日本には昭和初期に入ってきたとされ、道路脇、空き地、牧場などで生育。開花時期は6~9月頃。外観は一見タンポポに似る。
カセンソウ <i>Inula salicina var. asiatica</i>	多年草 山地の湿地	下市田天竜川堤防沿い 406m (5669) '17	日当たりのよい山野の草原、湿った草原、水辺の草むら、湿地などに生育する。花期は7月-9月、黄色い頭花をつける。
ニガナ <i>Ixeridium dentatum subsp. dentatum</i>	多年草 道端 草地	泰山神社 500m (1315) '16 林道吉原線 1000m (2424) '16 増野・山吹停車場線 770m (2590) '16 高森公園 770m (3232) '16 大沢川沿い 500m (4692) '17	高さ約50cmで、茎は上部が枝分れし苦みのある白汁を有し、和名の由来にもなる。5~7月に、黄色の5弁花の舌状花を5~7個もつ頭花を散房状に開く。
タカサゴソウ <i>Ixeris chinensis subsp. stigosa</i>	多年草 草原 シバ草原	前高森山 - 吉田山 1490m (3755) '16	RL(環VU/県VU)花期は4月~7月で、直径20mmほどの帯紫白色の頭花を1株に10個ほどつける。シロバナニガナに似ているが、繊細で草丈が低く、頭花の数も少ない。
オオジシバリ <i>Ixeris japonica</i>	多年草 田の畔	山吹・越田 580m (3493) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (4336) '17 山吹下平橋付近 420m (4351) '17 下市田中谷 420m (4507) '17 はたるパーク山吹周辺 440m (4661) '17	日当たりのよい田の畔などのやや湿性の高い場所に生育。茎は立えず、地面を這うように伸びる。春から初夏に径2.5cmほどの黄色い花をつける。
ジシバリ <i>Ixeris stolonifera</i>	多年草 田の畔 山道法面	下市田中谷 420m (4511) '17 寺沢川沿い 440m '16 山吹・越田 590m '16 松岡城址東斜面 470m '17 高森公園 770 '16 山吹・量販店南東 438m '17 林道二又沢線 840m '17	ジシバリの葉は小さく、円形であるのに対し、オオジシバリは葉がへら形で全体に大きい。別名「イワニガナ」
トゲジシバリ <i>Lactuca serriola</i>	1年草 越年草 荒地	やすらぎ荘周辺 500m (1318) '16 はたるパーク山吹周辺 440m (4651) '17 山吹・下平 440m (5000) '17 市田郵便局西方 450m '16 吉田城山 547m '16 松岡城址間ヶ沢 550m '17	(帰) ヨーロッパ原産 茎は1.5mほど、茎の下部、葉縁、葉脈上などにやや硬い刺が多い。葉は互生し羽状に裂けるものと裂けないものがある。
コオニタビラコ <i>Lapsanastrum apogonoides</i>	越年草 田 田の畔	山吹・越田 580m (3496) '16 松岡城址 550m (3875) '16 山吹駅周辺 450m (4397) '17 下市田中谷 420m (4508) '17 はたるパーク山吹周辺 440m (4666) '17	タビラコやホトケノザと似ている、春の七草の一つ。田や周囲のあぜ道などに多く生える。初春の水田ではロゼット葉を広げた姿で見られる。
ヤブタビラコ <i>Lapsanastrum humile</i>	越年草 田の畔 林縁	竜口八幡神社 450m (3141) '16 萩山神社南河 470m (4526) '17 順礼沢 520m (4871) '17 原城 510m '16 中学校南・唐沢洞 510m '16 牛牧浄化センター 560m '16	水田の畔や林縁などのやや湿潤な場所に生育し、薄暗い林縁にも生える。和名は藪に生えるタビラコ(コオニタビラコ)の意味。
ヤブオニタビラコ <i>Lapsanastrum humile × Youngia japonica</i>	越年草 田の畔 林縁	山吹下平橋付近 420m (4352) '17	ヤブタビラコ×オニタビラコ
フランスギク <i>Leucanthemum vulgare</i>	多年草 栽培 野化	はたるパーク山吹周辺 440m (4660) '17 大島山区民会館周辺 650m '17 追分田沢川沿岸 '16	(帰) ヨーロッパ原産 江戸末期観賞用に持ち込まれ、かつては庭園に栽培されたが現在では各地に野生化する。生態系被害防止外来種



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
■キク科 Asteraceae			
メタカラコウ <i>Ligularia stenocephala</i>	多年草 湿った草地	大島川干水ノ沢 1200m (2476) '16	花茎の高さは1mほど。根出葉はフキに似て長い葉柄があり、三角状心形。花期は6月から9月で、茎の上部に黄色い頭花を総状につける。
フクオウソウ <i>Nabalus acerifolius</i>	多年草 林内	高森カントリークラブ西 880m(4863) '17 大島川本沢 1080m(5318) '17 林道不動滝線 1090m (6192) '17 不動滝～駐車場 1060m'16 吉田山-山の寺 1000m'16	茎は高さ約60cm、葉は互生し、カエデに似る。8-9月、紫白色で径約1.5センチメートルの頭花を多数下向きに開く。
サワギク <i>Nemosencio nikoensis</i>	多年草 沢谷	山の寺キャンプ場 940m (2407) '16 山吹・正木 740m (5034) '17 林道弓矢沢線 600m (5226) '17 秋山神社 460m'16 林道二又沢線 690m'17 堂所橋南 725m'16	湿気の多い場所に生息、5-8月に鮮やかな黄色い花を咲かせる。果実期には冠毛がぼろ(襦袢)のように見える。サワギク、ホロギクの名の由来。
ムラサキニガナ <i>Paraprenanthes sororia</i>	多年草 半日陰の林縁、林床	吉田南段丘陵 480m'16 松岡城址銚子ヶ洞 500m'17	RL(環ノ県NT) 茎は中空で、高く、直立し、高さ1mを越える。夏から初秋に、茎頂にまばらに径1cmほどの紫色の花を数個、下向きにつける。
カニコウモリ <i>Parasenecio adenostyloides</i>	多年草 半日陰の林縁、林床	高森山 1880m (6598) '16	亜高山帯の針葉樹林の林床、林縁に自生する。群生することが多い。
モミジガサ <i>Japonicalia delphinifolia</i>	多年草 湿った林床	山の寺水源地付近 850m (2833) '16	別名、シドケ、シトギ、モミジソウ。春、茎が20-30cmに伸び、茎先の葉がまだ展開しないものは山菜として食用にされる。
ウスゲタマブキ <i>Parasenecio farfarifolius</i> var. <i>farfarifolius</i>	多年草 木陰	大島川干水ノ沢 1200m (2476) '16 大島川本沢 1150m (5409) '17 松岡城址銚子ヶ洞 510m (5487) '17	草丈高さ100cm、葉は丸みのある三角形で基部はハート形。裏面には薄くクモ毛がある。茎の上部に黄白色の頭花を円錐状につける。
オクヤマコウモリ <i>Parasenecio maximowiczianus</i> var. <i>alatus</i>	多年草 深山の木陰	干水ノ沢 1170m-1240m (2510) '16	コウモリソウの変種で、中部の葉柄に翼があって茎を抱くことが違いである。
ナガバノコウヤボウキ <i>Pertya glabrescens</i>	小低木 やや乾燥した疎林、林縁	大丸山公園北斜面 530m (1735) '16 田沢大橋西側 750m (2230) '16 松岡城址銚子ヶ洞 520m(2445) '16 林道不動滝線 770m(2542) '16 新田・青木ヶ沢 710m (3169) '16	コウヤボウキの花は、本年度の枝に花を付けるが、本種は2年枝に花がつく。
コウヤボウキ <i>Pertya scandens</i>	小低木 やや乾燥した疎林の下 林縁	山道・駒場新田線 540m'16 堂所橋南 725m'16 高森公園 770m'16 林道二又沢線 785m'16	(国) 9-10月に本年枝の先端に、キク科の花の特徴を示す白い頭花をつつける。和名は高野山ではこの植物で作った帯が用いられたことによる。
カンワバハグマ <i>Pertya robusta</i>	多年草 やや乾燥した林縁、林下	新田原 570m (2286) '16	(国) 茎を分枝させることなく直立させて30-70cmになる。茎の中程に、7枚前後の葉を輪生状につけ、秋に花茎の先に白～淡紫色の頭花をつける。
フキ <i>Petasites japonicus</i>	多年草 路傍 草原	松岡城址間ヶ沢 550m (4340) '17 下北北向き斜面 470m'16 原城 510m'16 胡麻目川沿い 505m'16 高森公園 770'16 山吹・正木 635m'16 本高森山登山路 1230m'16	(国) 早春、多くの鱗片状の苞葉をつけた花茎(ふきのとう)を出す。その後に出る葉(ふき)は長い葉柄がありやや円形を幅 15～30cmほど。
コウゾリナ <i>Picris hieracioides</i> subsp. <i>japonica</i>	2年草 野原 路傍	下市田天竜川河原 410m (4494) '17 万年橋 445m (4589) '17 大沢川沿い 500m (4693) '17 林道小沼大沢線 920m(5740) '17 山吹・越田 600m (5947) '17	高さ30～80cm、切ると白汁が出、全体に褐色または赤褐色の剛毛がある。頭花は径2～2.5cm、黄色の舌状花からなり5～10月に開く。
ハハコグサ <i>Pseudognaphalium affine</i>	越年草 田んぼ 庭先	ぼたるパーク山吹周辺 440m (1430) '16 やすらぎ荘北西 530m (3413) '16 松岡城址間ヶ沢 550m (4327) '17 湯ヶ洞線北斜面 490m (4567) '17 大沢川沿い 480m'17	冬はややロゼットの状態で育ち、春になると茎を伸ばして花をつける。春の七草の1つ、「御影(おきょう)」でもあり、茎葉の若いものを食用にする。
セイトカハハコグサ <i>Pseudognaphalium luteoalbum</i>	1年草 荒地 埋立地	山吹町菅住宅周辺 439m (7068) '19	(備) ヨーロッパ原産 全体に綿毛があり、ハハコグサに似て白っぽく見える。茎は基部で分枝し、下部がやや倒伏して先が直立する。
アキノノゲシ <i>Pterocypsela indica</i>	1年草 2年草 日当りの川岸 草原	出原中里小胡桃沢 610m (1254) '16 下市田・江戸ヶ沢川 415m (6124) '17	高さ100cm～200cm。花期は8-12月。花は淡い黄色、直径2cmほどで舌状花だけでできている。種子はタンポポの綿毛を小さくしたような形。
ホソバアキノノゲシ <i>Lactuca indica</i> f. <i>indivisa</i>	1年草 2年草 日当りの川岸、草原	太白公園 630m (5714) '17 山吹大沢川沿い 437m (5790) '17 下市田・江戸ヶ沢川 415m (6123) '17	アキノノゲシには葉に切れ込みがあるが、切れ込みのない細い葉を持つものは、ホソバアキノノゲシという。
ヤマニガナ <i>Pterocypsela elata</i>	2年草 林縁 草原	山の寺北側林道 800m (1506) '16 山の寺キャンプ場 880m (1792) '16 山吹・小沼 570m (2324) '16 不動滝～駐車場 1060m (3994) '16	1m-2mになり、葉は表面は深緑色、葉の裏は淡白緑色。茎の上部に細い円錐花序をつけ、舌状花だけの頭花をまばらにつける。
アラゲハンゴンソウ(キヌガサギク) <i>Rudbeckia hirta</i> var. <i>pulcherrima</i>	越年草 山間道路沿い 道端	高森カントリークラブ東 765m (1495) '16 越田原 760m (1633) '16 北小学校 518m (5553) '17	(備) アメリカ原産 茎は高さ90cmほど、茎葉ともに粗い剛毛を密生。直径7cmほどの花を長い花茎の先につける。舌状花は黄色、筒状花は暗紫色。生態系被害防止外来種
オオハンゴンソウ <i>Rudbeckia laciniata</i>	多年草 荒地、畑地 河川敷	松岡城址間ヶ沢 550m (5165) '17 太白公園 630m (5685) '17	(備) 北米原産 草丈50～300cm、花期は7月-9月で、計10-14枚の花弁は黄色で細長く、やや垂れ下がる。特定外来生物
キオン <i>Senecio nemorensis</i>	多年草 草原	林道吉原線 900m'16	草丈50-100cm 花期は8-9月、多数の小さく鮮やかな黄色の花をつける。葉は互生し、縁には不揃いの鋸歯があるが、三裂しない。
ノボロギク <i>Senecio vulgaris</i>	1年草 越年草 畑 果樹園 田	ぼたるパーク山吹西側 430m (3895) '16 市田中谷 410m (4202) '17 松岡城址間ヶ沢 550m (4323) '17	開花は温暖な地域では一年中。花は1cm程度の頭状花序で、黄色い筒状花だけの花をつける。種子は長い白色の冠毛を持ち、風で飛散し繁殖。
コメナモミ <i>Sigesbeckia glabrescens</i>	1年草 荒地 道端	種子は長い白色の冠毛を持ち、風によって飛散し、繁殖する。	高さ60cmほど。メナモミに比べて小さい。茎や葉には短い伏毛がまばらに生えるが長い開出毛はない。頭花もやや小さく花柄に腺毛はない。花期は秋。
メナモミ <i>Sigesbeckia pubescens</i>	1年草 ごみ溜め 荒地	山の寺キャンプ場 880 (1125) '16 信州山吹支所付近 500m (2009) '16 田沢大橋西側 750m(2247) '16 下市田天竜川河原 406m(5674) '17	高さ60cmほどになり、大きいものでは1m以上にもなる。花柄には腺毛があり、茎には長い開出毛がある。毛の量は多い。
セイトカアワダチソウ <i>Solidago altissima</i>	多年草 河原 空地	山道・駒場新田線 530m (2037) '16 林道出原線 815m (2185) '16 湯ヶ洞周辺 660m'16 太白公園 635m'16 胡麻目大橋北斜面 470'16 明神橋北 430m'16	(備) 北アメリカ原産 切り花用の観賞植物として導入された植物であり、ススキなどの在来種と競合。生態系被害防止外来種
オオアワダチソウ <i>Solidago gigantea</i> subsp. <i>serotina</i>	多年草 林縁 空地	下市田天竜川河原 420m (1093) '16 松岡城址東南端 450m'18	(備) 北アメリカ原産 セイトカアワダチソウと比べると、本種は背が低く、花穂の先端部分が曲がり、花期も早い。また群落にもならない。生態系被害防止外来種
アキノキリンソウ <i>Solidago virgaurea</i> subsp. <i>asiatica</i>	多年草 日当りの山地	本高森山登山路 1200m (1379) '16 林道出原線終点 910m (2949) '16 林道弓矢沢線 880m (6139) '17 泰山神社 500m'16 本学神社 680m'16 太白公園 630m'16	高さは80cmほどになり、夏から秋に総状の黄色い花を多数つける。別名をアワダチソウといい、花が泡立つように咲くことの意味である。
オニノゲシ <i>Sonchus asper</i>	1年草 越年草 道端 果樹園	松岡城址間ヶ沢 500m (4341) '17 ぼたるパーク山吹周辺 440m (4648) '17 山吹・新田原 580m (5179) '17 山吹町周辺 439m'16 寺沢川沿い 470m'16	(備) ヨーロッパ原産 越年性の一年草であるが、一年中さまざまな成長段階の個体があり、温暖な地域では一年中、開花が見られる。
ノゲシハルノゲシ <i>Sonchus oleraceus</i>	1年草 越年草 道端 果樹園	松岡城址間ヶ沢 500m (4250m) '17 ぼたるパーク山吹周辺 440m (4668) '17	(備) ヨーロッパ原産 史前帰化植物。花期は春から秋で黄色いタンポポのような花が咲く。葉には刺があるが柔らかく触っても痛くない。
キダチコンギク <i>Symphotrichum pilosum</i>	多年草 荒地 草地	山吹・小沼 456m'19	(備) 北アメリカ原産 秋に、白または淡紫色の舌状花と黄色い頭状花を咲かせる。枝の下部は木質化する多年草。和名は(木立紺菊)の意。
ヒロハハウキグサ <i>Symphotrichum subulatum</i> var. <i>squamatum</i>	多年草 荒地 河原	下市田天竜川河原 420m (1097) '16 明神橋付近 420m (1163) '16 万年橋 445m (1236) '16 天竜自動車学校河原 420m (1844) '16	(備) 北アメリカ原産 葉の幅は0.8-2.5cm。筒状花の冠毛が花筒より短い。花序の枝は60～90°で出開。
ヤブレガサ <i>Syneilesis palmata</i>	多年草 落葉樹林内	太白公園～不動滝(長野県植物研究会誌 51号) '17	早春に出る芽は、若葉が綿毛に覆われて愛らしく、名前のおとまり、破れた傘のような形。
オヤマボクチ <i>Synurus pungens</i>	多年草 日の当たる山地	中学校南・唐沢洞 500m'16	花期は9～11月。花茎の先に暗紫色の4～5cmの頭花を下向きに付ける。若葉を餅(もち)に入れて食べるため農家で栽培されることもある。

## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・ 絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■キク科 Asteraceae</b>			
シロバナタンポポ <i>Taraxacum albidum</i>	多年草 草原	やすらぎ荘北西 540m (3577) '16	2月~5月にかけて白い花をつける。頭花は直径 3.5~4.5cm ほど。白く見える部分は舌状花の花冠で、中央の花柱部は黄色である。
セイヨウタンポポ <i>Taraxacum officinale</i>	多年草 日当たりの地 荒地	不動滝~上駐車場 1060m (3107) '16 新田・青木ヶ沢 710m'16	(帰) あまり季節を問わず、黄色い舌状花を長い期間にわたって咲かせる。萼のように見える部分が開花時に反り返ることで在来種とは区別できる。生態系被害防止外来種
アイノコセイヨウタンポポ <i>Taraxacum officinale</i> × <i>T. platycarpum</i>	多年草 草原 道端	ほとるパーク山吹周辺 440m'19	セイヨウタンポポとシナノタンポポの交配種 総苞片の様子によって判別
シナノタンポポ <i>Taraxacum platycarpum</i> subsp. <i>hondoense</i>	多年草 草原 道端	山道・駒場新田線 550m (3356) '16 ほとるパーク山吹周辺 430m (3894) '16	本種はシナノタンポポの亜種。本種は、外総苞片と内総苞片の先端に見られる小角突起と呼ばれる出っ張りがあることが特徴。
サワオグルマ <i>Tephrosia pierottii</i>	多年草 湿原 湿地 放棄田	寺沢川周辺 490m (3552) '16	花期は4月~6月、花茎の高さは60cmほどになり、茎は太く柔らかく中空である。花は黄色の舌状花と筒状花で構成されるキク科の特徴をもつ。
バラモンギク <i>Tragopogon pratensis</i>	2年草 荒地 道端	山吹スパーバー周辺 438m (7058) '19	(帰) ヨーロッパ原産、アサガオのように朝の陽光でのみ、開花。和名では、バラモンギク、キバナバラモンジン、キバナザキバラモンジンとも呼ばれる。
イヌカミツレ <i>Tripleurospermum maritimum</i> subsp. <i>inodorum</i>	越年草~1年草 庭先 道端	ほとるパーク山吹周辺 440m (4675) '17	(裁・逸) ヨーロッパ原産。明治初期に薬用として渡来し、しばしば逸出、野生化している。本種は頭状花が直径 2~3.5cm、果実に3稜がある。
イガオナモミ <i>Xanthium orientale</i> subsp. <i>italicum</i>	1年草 河川敷き 川沿い	下市田天竜川河原 420m (1078) '16 天竜自動車学校河原 420m (1825) '16 下市田・江戸ヶ沢川 414m (5804) '17 下市田大島川 465m (5895) '17 万年橋付近 445m'16	(帰) アメリカ大陸原産 葉が3-5浅裂して鋸歯が細かく、瘦果も大きく(17-30mm)、刺が密生し、鱗片毛や腺毛が多い。
オオオナモミ <i>Xanthium orientale</i> subsp. <i>orientale</i>	多年草 荒地 草地	林道出原線 815m (2172) '16 天白公園 635m (2082) '16 山吹大沢川沿い 469m (5578) '17 山吹交差点 450m (6711) '18	(帰) アメリカ大陸原産 生態系被害防止外来種 イガオナモミに比べて瘦果はより形が鋭い。
オナモミ <i>Xanthium strumarium</i> subsp. <i>sibiricum</i>	1年草 畑 河川敷き	松岡城址間ヶ沢 500m (5877) '17 明神橋付近 418m (6104) '17	RL(環VU/県VU) アジア大陸原産で日本には古くに侵入した史前帰化植物。瘦果が長さ8-14mmと小さく、刺がまばらで、刺の長さも1-2mmと短く、小さな腺毛が密生。
アカオニタビラコ <i>Youngia japonica</i> subsp. <i>elstonii</i>	多年草 道端 草原	高森公園 770m (3233) '16 山吹・越田 580m (3498) '16 山吹・小沼 460m (4384) '17 下市田中谷 420m (4509) '17 滝口八幡宮 460m (4978) '17 山吹・下平 420m (4355) '17	花茎が基部で分岐して多数、直立する。中心の花茎が太く、周囲の花茎がやや細い。葉や茎は全く紫色を帯びない。
アオオニタビラコ <i>Youngia japonica</i> subsp. <i>Japonica</i>	多年草 道端 草原	山吹下平橋 420m (6229) '18 大沢川沿い 750m (6260) '18 吉田城岸 465m (6267) '18	花茎が紫色を帯び、花茎が分岐せずに1本直立し、葉も紫色を帯びる。花茎の太さや茎の毛の量には差があり、茎の細いものほど花序の枝が長い。
<b>■レンブクソ科 Adoxaceae</b>			
レンブクソ <i>Adoxa moschatellina</i>	多年草 草地	山の寺南側 835m (3431) 835m'16 山吹・正木 635m (3439) '16 田沢大橋西方 770m (4363) '17	白色の細く長い地下茎があり、それを横に伸ばして球茎をつくらせて増える。茎は、高さ8~15cmで細くてやわらかく、毛は無い。
ニワトコ <i>Sambucus racemosa</i> subsp. <i>sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>	落葉低木~小高木 日当たりの山地	大島川干水ノ沢 1200m (2507) '16 増野・大沢川付近 770m (3322) '16 林道不動滝線 980m (3725) '16 高森カントリークラブ西方 880m (4838) '16 林道吉原線 1050m'16	若い枝は緑色で、ほとんど無毛。春に展葉と同時に淡黄白色の小さな花を多数付ける。夏に実は熟して赤くなる。
ガマズミ (アラゲガマズミ) <i>Viburnum dilatatum</i>	落葉低木 林縁、林内	越田原 760m (1626) '16 増野・大沢川沿岸 715m (2607) '16 山道・駒場新田線 550m (3355) '16 秋山神社南洞 470m (4523) '17 湯ヶ淵線北斜面 490m (4546) '17	花期は5~6月、白い小さな花の花序を作る。晩夏から秋にかけて果実が赤く熟し、食用となる。最終的に晩秋のころ、この時期がもっとも美味になる。
コバノガマズミ <i>Viburnum erosum</i>	落葉低木 明るい林縁、林内	越田原 760m(1627)'16 林道出原線 980m(2974)'16 高森カントリークラブ東 740m (3421) '16 松岡城址周辺 500m (3533) '17 月夜平 660m (4422) '17	花期は4月~5月、枝先に白い花を咲かせる。葉は対生し、葉身は長楕円形。核果はほぼ球形で、9-10月に赤く熟す。
オオカメノキ <i>Viburnum furcatum</i>	落葉低木~小高木 ブナ林	本高森山登山路 1230m'16 高森山山頂 1980m'16 前高森山登山路 1275m 吉田山山頂 1450m'16 大島川干水ノ沢 1170m'16	花期は4-6月で、白色の小さな両性花のまわりに大きな5枚の花弁を持つ装飾花が縁どる。夏に赤い実をつけ、秋には黒色に熟す。
オトコヨヅメ <i>Viburnum phlebotrichum</i>	落葉低木 林縁	林道小沼大沢線 760m (1960) '16 前高森山 1060m (2632) '16 高森カントリークラブ東 740m (3418) '16 月夜平 660m (4419) '17 林道二又沢線 740m (4828) '16	(帰) 樹高は1~3mになり、花期は4月下旬~6月。短い枝先に白色~薄紅色の花を垂れさげる。果期は8~11月、赤く熟し光沢がある。
ヤブデマリ <i>Viburnum plicatum</i> var. <i>tomentosum</i>	落葉低木 湿り気のある林縁	林道弓矢沢線 800m (1562) '16 林道不動滝線 800m (3711) '16 山吹・山吹 500m (4470) '17 胡麻目川沿い 480m'16	樹高は3-4m、花期は5-6月で、小さな両性花のまわりに、白色の大きな5枚の花弁の装飾花が縁どる。夏に赤い実をつけ、秋には黒紫色に熟す。
ミヤマシグレ <i>Viburnum urceolatum</i> f. <i>procumbens</i>	落葉小低木 山地 林下	本高森山登山路 1085m (1369) '16 本高森山登山路 1650m (6594) '18	シグレはシプレが転化したもの。シプレはガマズミのことであり、深山に生えるガマズミという意味で名づけられた。
オオミヤマガマズミ <i>Viburnum wrightii</i> var. <i>stipellatum</i>	落葉小低木 山地	本高森山登山路 1310m (3646) '16 林道二又沢線終点 785m (4811) '17 大島川本沢 1080m (5378) '17	オオミヤマガマズミは葉が大きく、先端が尾状に伸びて鋭く尖り鋸歯も鋭い
ミヤマガマズミ <i>Viburnum wrightii</i> var. <i>wrightii</i>	落葉低木 山地林縁林下	本学神社 680m (2341) '16 大島川干水ノ沢 1200m (2514) '16 山道・駒場新田線 550m (3364) '16 山吹・増野 700m (4602) '17 林道吉田線終点 870m (4736) '17	樹高は4m、花期は4月下旬~6月。白色の多数の花を密につける。果期は8~10月。果実は核果で、光沢がある暗赤色に熟す。ガマズミより高所に産す。
<b>■スイカズラ科 Caprifoliaceae</b>			
ベニバナツクバネウツギ <i>Abelis spathulata</i> var. <i>sanguinea</i>	落葉低木 山地林縁	本高森山登山路 1220m (3637) '16 本高森山登山路 1360m (3665) '16	(帰) ツクバネウツギの変種で、花色が紅紫色。標高1000mを越える場所に場所に自生。
ツクバネウツギ <i>Abelis spathulata</i> var. <i>spathulata</i>	落葉低木 山地林縁	大島川干水ノ沢 1200m (2743) '16 林道出原線終点 910m (2953) '16 松岡城址付近 500m (3535) '16 林道吉田線終点 910m (4718) '17 大丸山公園北斜面 530m'16	5月、枝の先端に淡黄色の花を2個開く。花冠は筒状鐘形で5浅裂し、内側に黄赤色の斑紋がある。萼片5枚が花冠基部にあり、この形が和名の由来。
ヤマウグイスカグラ <i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>gracilipes</i>	落葉低木 樹林内	山吹・小沼 460m (4377) '17 月夜平 660m (4402) '17 牛牧浄化センター南斜面 520m (1883) '16 松岡城址周辺 500m (3534) '16 増野大沢川 770m'16	樹高は3m。枝には葉柄や花柄とともに毛があり腺毛が混じることがある。花は4~6月に葉の展開より先に、また同時に咲く。花冠は紅色で漏斗状。
スイカズラ <i>Lonicera japonica</i>	常緑つる性木本 林縁 草むら	山吹・正木 740m (5020) '17 寺沢川沿い 480m'16 胡麻目川沿い 505m'16 松岡城址西 550m'16 吉田南城跡 500m'16 堂所橋南 725m'16 林道不動滝線 800m'16	花のつけ根の部分には蜜があり、蜜を吸うことから吸葛(スイカズラ)と呼ばれる。別名「ニドウ」(忍冬)は、冬でも葉が寒さに耐えていることによる。
オミナエシ <i>Patrinia scabiosifolia</i>	多年草 やや乾いた草地	林道吉原線 960m (5649) '17 下市田親水公園堤防沿い 415m'16	十五夜(旧8月15日)に飾る秋の七草のひとつであり、万葉集や源氏物語にも登場する日本人には古くから馴染みの深い植物。
オトコエシ <i>Patrinia villosa</i>	多年草 山道のり面	山の寺キャンプ場 880 (1130) '16 林道弓矢沢線 780m (1177) '16 胡麻目川沿い 530m (1676) '16 林道出原線 815m (2169) '16 林道不動滝線 1060m (6195) '16	オミナエシに似るが、花は乳白色で、全体に粗い毛が目立つ。また、葉は幅が広く、ときに切れ込みがないこともある。
ノジシャ <i>Valerianaella locusta</i>	1年草~2年草 庭地 空地	ほとるパーク山吹周辺 445m (3347) '16 山吹・小沼 460m (4368) '17 万年橋 445m (4596) '17 国道山吹交差点 440m'16 市田港周辺 420m'16 山吹・量販店南東 438m'17	(帰) ヨーロッパ原産 高さは50cmほど。茎が何度も二股に分れて細く伸びる。分岐のすぐ下に長さ1から5センチの葉が対生。青紫色の花をつける
ニシキウツギ <i>Weigela decora</i>	落葉低木 林縁	林道不動滝線 770m (2545) '16 林道弓矢沢線 960m (3201) '16 本高森山登山路 1220m (3613) '16 林道小沼大沢線 960m (3772) '16 堂所橋南 725m'16	和名は、花の色が初めは淡黄白色で、のちに紅色に変わること由来。5~6月に開花。白色の花冠は漏斗形で、先が5裂し、内側のほうが色が濃い。
ヤブウツギ <i>Weigela floribunda</i>	落葉低木 林縁 林内	林道小沼大沢線 1000m (5211) '17 林道弓矢沢線 900m (5286) '17	(帰) 枝が密生して藪のようになることから「ヤブウツギ(藪空木)」の名がついたといわれる。初夏、鮮やかな紅色の花を咲かせる。



## 2. 高森町の植物

和名 学名	生活形 生育地	採集(記録)地 / 標高 / (標本番号) / 採集年	備考 (形態・分類・固有・帰化・栽培・絶滅危惧・希少・食用・薬用等)
<b>■ウコギ科 Araliaceae</b>			
ウド <i>Aralia cordata</i>	多年草 山地 栽培	天白公園 635m (2073) '16 山吹・小沼 468m (5606) '17 新田原 600m '16 本学神社 680m '16 泰山神社 500m '16 萩山神社南洞 470m '17 月夜平 660m '17	山野に自生、畑に栽培もされる。大型で丈が高く、高さ約 1.5m に生長する。香りが強く、山菜や野菜として好まれる。
タラノキ <i>Aralia elata</i>	落葉小高木 日の当たる空地	寺沢川沿い 480m '16 山吹・越田 570m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16 山の寺境内 770m '16 新田諏訪神社 620m '16 高森公園 770m '16 吉田山山頂 1450m '16	春、若芽をとり食用する。ウドに似た香りがあり美味とされる。高さ 2-4m、樹皮の表面には鋭いとげが多数ある。
ミヤマウド <i>Aralia glabra</i>	多年草 山地	不動滝 1090m (6189) '17	ウドに似るが、茎は細長く、全体に無毛で紅紫色を帯び、高さは 80 ~ 150cm になる。
コシアブラ <i>Chengiopanax sciadophylloides</i>	落葉高木 日当たりの山地	高森カントリークラブ西方 880m (4861) '17 順礼沢 520m (4878) '17 林道二又沢線終点 '17 林道吉田線起点 665m '17 下市田 4 区洞 470m '16 山の寺境内 760m '16	(固) ウコギ科のタラノキやウド同様、山や丘、林道脇など、開削・伐採された日当たりのよい明るい斜面に多い。若芽は山菜として食用される。
カクレミノ <i>Dendropanax trifidus</i>	常緑広葉高木 常緑林内	下市田 4 区洞 470m (2205) '16 南大島川北斜面 530m (4043) '16 山吹・山吹 480m (4100) '17 萩山神社 500m (4131) '17 松岡城址間ヶ沢 500m '17	暖温帯性 木が若い若木の頃は葉に深い切れ込みが入りその姿が昔の雨具の「蓑(みの)」に形が似ているところから和名が命名。
ケヤマウコギ <i>Eleutherococcus divaricatus</i>	落葉低木 林内 林縁	竜口八幡神社 460m (4979) '17 大沢川沿い 480m (4684) '17 白髭神社 500m (4923) '16 新田原 580m (5189) '16 山吹寺沢川沿い 470m (5509) '16	高さ 3メートルに達する。枝は灰褐色で幅広い刺(とげ)がある。若枝、葉の裏面脈上、花序に灰褐色の縮毛が密生することが特徴。
ヒメウコギ <i>Eleutherococcus sieboldianus</i>	落葉低木 生垣 畑 庭先	胡麻目川沿い 506m '16 寺沢川沿い 480m '16 山吹・市田ウォーキングコース 420m '16 市田郵便局西方 450m '16	(婦) 中国原産 山村で生垣などに植えられ、時には野生状となっている。根は薬用に、葉は和え物に、幹は酒に用いる。
オカウコギ <i>Eleutherococcus spinosus</i> var. <i>japonicus</i>	落葉低木 林縁	山吹・正木 740m (5032) '17 山吹・寺沢川沿い 470m (5510) '17	(固) ヤマウコギは基部の小葉がほぼ同じ大きさであるが、本種は基部の 2 枚の小葉が他の小葉よりも小さいことで区別できる。別名マルバウコギ
ヤマウコギ <i>Eleutherococcus spinosus</i>	落葉低木 適潤地の林縁	天白公園 635 (2083) '16 順礼沢 490m (2680) '16 林道弓矢沢線 980m (3211) '16 林道小沼大沢線 920m (3694) '16 湯ヶ洞線北斜面 490m (4573) '17	(固) 若芽は山菜として若葉が食用。よく似たオカウコギとは、葉がが大きく、基部の楔型が顕著でない点、鋸歯が単鋸歯で低いことで区別される。
ヤツデ <i>Fatsia japonica</i>	常緑広葉低木 植栽(庭園、公園)	萩山神社 500m (4132) '16 山道・駒場新田線 550m '16 松岡城址東 450m '16 中学校南・唐沢洞 480m '16 下市田 4 区洞 470m '16 順礼沢 520m '16	(栽・逸) 20cm 以上もある大きな葉をつける。葉はつやがありや厚手。形は文字通り掌状だが、7つまたは9つ(奇数)に裂けて、8つに裂けることは稀。
タカノツメ <i>Gamblea innovans</i>	落葉高木 山地の林内、林縁	山吹駅北沢川沿い 440m (3904) '16 下市田 4 区洞 470m '16	(固) 冬芽が鷹の爪を思わせるため、この名が付けられた。葉は 3 枚複葉なので、コシアブラと区別できる。
キツタ (フコツタ) <i>Hedera rhombea</i>	常緑つる性木本 林縁 林内	山吹駅北沢川沿い 470m (4069) '17 萩山神社 500m '16 下平北向き斜面 470m '16 原城 510m '16 寺沢川沿い 480m '16 山道・駒場新田線 550m '16	茎から多数の不定根を出して、他の樹木や岩、石垣などを這い登る。花期は 10 ~ 12 月、茎の先に花序をつける。翌春、黒く熟した小粒の果実をつける。
ノチドメ <i>Hydrocotyle maritima</i>	多年草 湿った道 畦道	万年橋付近 445m (1230) '16 やすらぎ荘周辺 500m (1306) '16 林道吉田線終点 870m '16 山吹・下平 470m '16	茎はまばらに分枝して地を這い、節からひげ根を出して広がる。葉は直径 2 ~ 3cm の腎円形。5 深裂し、基部は心形で開く。花柄は葉より短い。
チドメガサ <i>Hydrocotyle sibthorpioides</i>	常緑多年草 芝生 道端	下市田・江戸川沢川 415m (6126) '16 新田・青木ヶ沢 710m '16 胡麻目川沿い 500m '16	和名は、この葉の汁を傷口につけると血が止まることに由来。葉は直径 1 ~ 1.5cm の円形。切れ込みは浅い、基部はあまり開かない。
オオチドメガサ ヤマチドメガサ <i>Hydrocotyle ramiflora</i>	多年草 道端 荒地	市田郵便局西方 450m (1021) '16 本学神社北斜面 680m (2863) '16 出原中里小胡桃沢 610m (1252) '16 泰山神社 500m (1518) '16 高森公園 770m (3231) '16 山吹・越田 600m (5523) '18	葉は直径 1.5 ~ 3cm の腎円形。浅く裂け、基部は深い心形。花柄は葉の上に伸びて目立つ。
ハリギリ <i>Kalopanax septemlobus</i>	落葉広葉高木 丘陵 山地	竜口八幡神社 460m (4970) '16 林道不動滝線 770m '16 吉田山・山の寺 1245m '16 本高森山登山路 1600m '16 高森カントリークラブ北側 830m '16	若木は枝や樹幹にとげがあるが、老木になるに従い鋭さを失い、縮みとなる。幹の樹皮に深く縦に入った縦裂け目(け)がこの樹木を特徴づける。
トチバニンジン <i>Panax japonicus</i>	多年草 肥沃な林内	本高森山登山路 1560m (3676) '16	地下を長く伸びている根茎はタケの稈(かん)に似ているため、漢方では竹節人參と称してチョウセンニンジンの代用とするが、薬効は劣るといわれる。
<b>■セリ科 Apiaceae</b>			
ミヤマシシウド <i>Angelica pubescens</i> var. <i>matsumurae</i>	多年草 湿地	不動滝(長野県植物研究会誌 12 号) '17	(固) 亜高山帯 - 高山帯下部の開けた草地に生え、シシウドとは茎に毛がないことや、小葉は細く、先は長く尖ることなどで区別できる。
ノダケ <i>Angelica decursiva</i>	多年草 湿った草原 林内	山の寺キャンプ場 880 (1771) '16 山道・駒場新田線 530m (2050) '16 新田原 570m (2293) '16 寺沢川沿い 470m (4906) '17	山野に普通にはえる。茎は高さ 1 ~ 2m、上部が紫色を帯びる。葉は互生し卵形の小葉からなる羽状複葉で葉柄はさや状になって茎を抱く。
アマニュウ <i>Angelica edulis</i>	多年草 林縁 林内	新田・青木ヶ沢 710m '16	茎は直立して高さ 1 ~ 2m になり、ときに 3m に達しする。和名は、「甘にゅう」の意で、本種は食用になり、この茎を食べると甘味があるという。
オオバセンキウ <i>Angelica genuflexa</i>	多年草 渓谷 林内	林道小沼・大沢線 760m (1983) '16	深山から亜高山帯の湿地に生える多年草。草丈は大きく人の背丈ほどになる。葉が各節ごとに曲がり葉全体が半曲するのが大きな特徴。
シラネセンキウ <i>Angelica polymorpha</i>	多年草 林縁 溪流沿い	山の寺境内 770m (1410) '16 田沢大橋西側 750m (2240) '16 林道二又沢線起点 665m (3839) '16 山吹田沢 700m (5965) '17 山の寺キャンプ場 850 (6043) '17	平らで広い皿状になる花序が特徴のひとつ。オオバセンキウの小葉の縁は規則的な鋸歯縁だが、本種は不規則に切れこみ重鋸歯となる。
ドクゼリ <i>Cicuta virosa</i>	多年草 池沼	山吹・駒場温水ため池 510m '16	毒草 ドクツギ、トリカブトと並んで日本三大有毒植物の一つとされる。セリにやがれるが大型で、地下茎は太く筒状の節がある。
ミヤマセンキウ <i>Conioselinum chinense</i> var. <i>filicinum</i>	多年草 沢	大島川本沢 1080m (5380) '17	高さ 40 ~ 80cm 程度になる。特徴は小総苞片が発達し、とてもよく目立つことと、シダに似た形の葉である。
ミツバ <i>Cryptotaenia canadensis</i> subsp. <i>japonica</i>	多年草 林内湿地	新田原 580m (5196) '17 松岡城址間ヶ沢 550m (5474) '17 松岡城址鏡子ヶ洞 510m (5481) '17 中学校南・唐沢洞 480m '16 高森カントリークラブ北側 800m '16 天白公園 635m '16	高さは 40cm ほど。6-8 月に 5 枚の花弁からなる白く小さな花を咲かせる。若葉はおひたしや和え物、吸い物や鍋物、丼物の具として広く用いられる。
ウシミツバ <i>Cryptotaenia canadensis</i> subsp. <i>japonica</i> f. <i>dissecta</i>	多年草 半日陰	大島川本沢 1080m (5325) '17	肥えた半日陰で湿気のある山地に生える。草丈 50cm まで葉は 3 枚に分れており、株から茎を立ち上げて花を咲かせる。
セリ <i>Oenanthe javanica</i>	多年草 湿地 畦道 川岸	出原中里小胡桃沢 610m (1257) '16 大沢川沿い 475m (1278) '16 下市田天竜川河原 406m (5520) '17 下市田観水公園堤防沿い 415m '16 やすらぎ荘周辺 500m '16	独特の香りを持ち、日本では春先の若い茎や根をおひたしや茸類とする。泥の中や表面を横に這うように地下茎を伸ばし、繁殖する。
ヤブニンジン <i>Osmorhiza aristata</i> var. <i>aristata</i>	多年草 陰湿地	山吹・市田ウォーキングコース 420m (3053) '16 松岡城址周辺 480m (3524) '16 山吹下平橋 420m (4458) '17 萩山神社南洞 470m (4527) '17 順礼沢 520m (4888) '16	茎は高さ 50cm ほど。4-5 月、白色花を開く。果実は細長く、長さ 2 センチメートル。和名は、葉がニンジンに似ており、(薬) に生えることによる。
ヤマゼリ <i>Ostericum sieboldii</i>	多年草 山地の木陰	山の寺キャンプ場 880 (1342) '16 田沢大橋西側 750m (2244) '16 林道二又沢線 665m (3818) '16 山吹垣外 510m (5858) '17 林道不動滝線 1060m (6197) '17	茎は高さ 0.6m ほど、葉は 2、3 回三出羽状複葉で、裂片は柔らかく、粗い鋸歯(きょし)がある。7-10 月、散形花序をつくり、白色花を開く。
ハナカザリゼリ(ホワイトレースウ) <i>Orlaya grandiflora</i>	1 年草 庭先 道端	松岡城址間ヶ沢 450m-550m (4262) '17 明神橋北 430m (5097) '17 山吹町民住宅付近 450m (6568) '18	(婦) 地中海原産ホワイトフロー、オルレアなどの名称で販売・栽培されている。近年、野生化しつつある。
イフセントウソウ <i>Pternopetalum tanakae</i>	多年草 岩場	本高森山登山路 1310m (3651) '16	深山の木陰の湿った岩場や苔などに生育。和名はセントウソウより深山に生え、岩の割れ目などに生えるため。
ウマノミツバ <i>Sanicula chinensis</i>	多年草 山地の木陰	山吹・下平 470m (2468) '16 胡麻目川沿い 500m (2700) '16 牛牧役人平 725m (3018) '16 松岡城址間ヶ沢 500m (5152) '17 大島川本沢 1060m (5328) '17	ミツバに似て大きく、香りがなくところからウマノミツバまたはオニミツバという。茎は高さ 40-90cm になり、上部で分枝する。全体にほとんど毛がない。
ヤブジラミ <i>Torilis japonica</i>	越年草 2 年草 山地の日陰	高森カントリークラブ付近 960m (1551) '16 竜口八幡神社 450m (3143) '16 山吹・正木 635m (3442) '16 大沢川沿い 480m (4683) '17 林道弓矢沢線 600m '17	茎は高さ 50cm ほど。5-7 月、白色花を開く。果実は卵形で長さ約 3mm、刺(とげ)を密生し、シラミのように衣服に付着するのでこの名がある。
オヤブジラミ <i>Torilis scabra</i>	越年草 湿地	天白公園 - 不動滝(長野県植物研究会誌 51 号) '17	本種はヤブジラミの近縁の別種で、茎は直立し紫色を帯びる。葉はヤブジラミに似ているが大きく、果実は長さ約 5mm とより大きい。



### ●参考・引用文献

- 下伊那教育会生物委員会（2001）下伊那誌 生物編. 下伊那誌編纂委員会.  
堤久（2015）信州 身近な草花妙. 長野県自然教育研究会.  
堤久（2016）信州 身近な木々妙. 長野県自然教育研究会.  
長野県自然保護研究所（2002）長野県版レッドデータブック 維管束植物編. 長野県.  
長野県植物目録編纂委員会（2017）長野県植物目録 - 長野県植物誌改訂に向けてのチェックリスト -. 長野県植物目録編纂委員会.  
松川町史第二巻編纂専門委員会（2010）松川町史 第二巻松川の自然. 松川町.  
米倉浩司（2012）日本維管束植物目録. 北隆館.  
米倉浩司・梶田忠（2003-）BG Plants 和名-学名インデックス (YList), <http://ylist.info>.

#### 【インターネット】

- ウィキペディア <http://ja.wikipedia.org/wiki/>  
語源由来辞典 <http://gogen-allguide.com/>  
ことばんく <https://kotobank.jp/word/>  
樹木図鑑（コブシ） [www.jugemusha.com/jumoku-zz-kobusi.htm](http://www.jugemusha.com/jumoku-zz-kobusi.htm)